

高齡者等実態調査結果報告書

令和5年3月

習志野市

〈目次〉

序章 調査の概要.....	1
1 調査の概要.....	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査実施概要	3
2 本報告書の見方	3
第1章 一般高齢者、在宅要支援認定者・事業対象者、在宅要介護認定者調査.....	5
1 あなた(あて名のご本人)のご家族や生活状況などについて(問A)	7
(1) 年齢・居住地区	7
(2) 性別	8
(3) 家族構成	8
(4) 日中一人になること.....	9
(5) 介護・介助の状況	9
(6) 介護・介助が必要になった主な原因.....	10
(7) 主な介護・介助者	11
(8) 要支援度・要介護度	12
(9) 経済的にみた現在の暮らしの状況.....	12
(10) 住居の形態.....	13
(11) 市民税の課税状況.....	13
2 からだを動かすことについて(問B)	14
(1) 階段を手すり等にたよらずに昇ること.....	14
(2) 椅子からの立ち上がり	14
(3) 15分くらいの連続歩行.....	15
(4) 最近1年間の転倒経験.....	15
(5) 転倒への不安.....	16
(6) 週1回以上の外出.....	16
(7) 外出回数の前年比較.....	17
(8) 外出を控えること	17
(9) 外出を控えている理由	18
(10) 買い物、散歩での外出頻度	19
(11) 外出時の移動手段.....	20
3 食べることについて(問C)	21
(1) 身長・体重	21
(2) 固いものが食べにくくなったか	21
(3) お茶や汁物等でむせること	22
(4) 口の渇きについて	22
(5) 毎日の歯磨きについて	23
(6) 定期的な歯科受診の有無	23
(7) 歯の数と入れ歯の利用状況	24
(8) 入れ歯の毎日の手入れ状況	24
(9) 噛み合わせは良いか	25

(10) 急激な体重減少の有無	25
(11) 誰かと食事をとにする(共食)機会の有無	25
4 毎日の生活について(問D)	26
(1) 物忘れが多いか	26
(2) 自分で番号を調べて電話をかけること	26
(3) 日付がわからないことの有無	27
(4) 一人での外出	27
(5) 食品・日用品の買い物	28
(6) 食品・日用品の買い物をする人	28
(7) 食事の用意	29
(8) 食事の用意をする人	29
(9) 請求書の支払いの状況	30
(10) 預貯金の出し入れの状況	30
(11) 年金などの書類を書くことの可否	31
(12) 新聞を読むこと	31
(13) 本や雑誌を読むこと	32
(14) 健康についての記事や番組への関心の有無	32
(15) 友人宅への訪問の有無	33
(16) 家族や友人の相談にのることの有無	33
(17) 病人の見舞いの可否	34
(18) 若い人に話しかけることの有無	34
(19) 趣味の有無	35
(20) 生きがいの有無	36
5 地域での活動について(問E)	37
(1) 会・グループ等への参加頻度	37
(2) 活動場所までの交通手段	39
(3) 健康づくり活動、グループ活動に参加者として参加する意思	39
(4) 健康づくり活動、グループ活動に企画・運営者として参加する意思	40
(5) ボランティア活動の輪を広げていくために必要なこと	40
(6) 地域のボランティア活動に支援者として参加する意思	41
(7) 支援者として参加したい地域のボランティア活動	42
6 「たすけあい」について(問F)	43
(1) 「たすけあい」の状況	43
(2) 相談相手について	44
(3) 友人関係について	45
(4) 隣近所や地域で高齢者を支えることの必要性[地域交流・ボランティアについて(在宅要支援認定者等では問H、在宅要介護認定者調査では問B)]	47
(5) 地域のボランティア活動による支援を受ける意思[地域交流・ボランティアについて(在宅要支援認定者等では問H、在宅要介護認定者調査では問B)]	47
(6) 利用したい支援[地域交流・ボランティアについて(在宅要支援認定者等調査では問H、在宅要介護認定者調査では問B)]	48

7 健康について(問G)	49
(1) 健康状態	49
(2) 現在の幸福度.....	49
(3) 最近のうつ傾向の有無.....	50
(4) 最近の心の疲れの有無	50
(5) 通院の状況・頻度	50
(6) 通院時の介助の必要性.....	51
(7) 飲酒	51
(8) 喫煙	51
(9) 治療中や後遺症のある病気	52
(10) 在宅医療・介護についての知識・情報の入手元(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)	53
(11) 人生会議または ACP という言葉の認知度(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)	53
(12) 人生会議または ACP という言葉をどこで知ったか(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)	54
(13) 人生の最終段階の医療・療養について家族や医療・ケアチームと話し合うこと(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)	55
(14) 自身、又は家族の認知症の症状の有無(在宅要支援認定者等では問 L、在宅要介護認定者では問 F)	55
(15) 認知症に関する相談窓口の認知度(在宅要支援認定者等では問 L、在宅要介護認定者では問 F)	56
(16) 認知症に関する相談窓口(在宅要支援認定者等では問 L、在宅要介護認定者では問 F)	56
(17) 自身、又は家族が認知症になった場合のことを考えたことの有無(在宅要支援認定者等では問 L)	57
(18) 認知症について考えた内容(在宅要支援認定者等では問 L)	57
(19) 認知症について考えたことがなかった理由(在宅要支援認定者等では問 L)	58
(20) 認知症サポーター養成講座受講の有無(在宅要支援認定者等では問 L)	58
(21) 1年以内の健康診査受診の有無.....	59
(22) 健康診査を受けた場所・機関.....	59
(23) 1年以内のがん検診受診の有無	59
(24) がん検診を受けた場所・機関	60
8 日常生活で困っていることや将来の不安について(問 H)(在宅要支援認定者等では問 I、在宅要介護認定者では問 C)	61
(1) 困っていることや将来の不安	61
9 介護保険制度の利用について(在宅要支援認定者等調査では問 J、在宅要介護認定者調査では問 D)	63
(1) ケアマネジャーの対応の満足度	63
(2) 介護保険サービスの利用状況.....	63
(3) 利用していない理由	64
(4) 利用しているサービス	65

(5) 利用しているサービスの満足度.....	66
(6) サービス利用時の自己負担割合.....	66
(7) 自己負担分についての感覚.....	67
10 介護保険制度・高齢者施策について(問I) (在宅要支援認定者等調査では問K、在宅要介護認定者調査では問E)	68
(1) 介護保険料と介護サービスのあり方について.....	68
(2) 介護保険料の低所得者への配慮について.....	69
(3) 今後希望する生活場所(在宅要支援認定者等調査では問K、在宅要介護認定者調査では問E).....	70
(4) 今後、もし自身が介護が必要になったら	71
(5) 介護予防のために参加したい活動	71
(6) 介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況など.....	72
(7) 高齢者外出支援事業の認知度.....	73
(8) 高齢者外出支援事業についての情報の入手先.....	73
(9) 今後の高齢者外出支援事業の見直しについて	74
(10) 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納について	74
(11) 運転免許証を自主返納した方に必要な支援	75
(12) 高齢者が地域で在宅生活を続けるために必要な施策.....	76
11 将来への備えについて(問J) (在宅要支援認定者等調査では問L、在宅要介護認定者調査では問F)	77
(1) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内の有無	77
(2) 成年後見制度の認知度.....	77
12 主な介護者の方への質問(在宅要支援認定者等調査では問M、在宅要介護認定者調査では問G)	78
(1) 介護者の年齢.....	78
(2) 主な介護者が行っている介護等.....	79
(3) 介護を行う上で困っていること	80
(4) 介護サービス利用による介護者の変化	81
(5) 介護者としてあったらいいと思う支援.....	82
(6) 介護者の現在の勤務形態等.....	82
(7) 勤め先からの支援について	83
(8) 自由意見等	84
第2章 施設入所者調査	87
1 本人の年齢や性別などについて	89
(1) 年齢	89
(2) 性別	90
(3) 要介護度	90
(4) 市民税課税状況	91
2 入所している施設について	92
(1) 入所施設の種類.....	92
(2) [介護老人福祉施設] 申込から入所するまでの期間	93

(3) 施設入所を選んだ理由	94
(4) 部屋の定員	96
(5) 希望する部屋の種類	96
(6) 今後希望する介護	97
(7) サービスの満足度	97
(8) 施設サービスを受けて良かったこと	98
(9) 施設サービスを受けて不満な理由	100
3 現在の心配ごとや悩みごとについて	100
(1) 現在の心配ごとや悩みごと	100
4 介護保険制度、高齢者施策について	101
(1) 力を入れるべき介護関連施策	101
(2) 介護保険料とサービスのあり方についての意見	102
(3) 65 歳以上の方の保険料について	103
(4) 自己負担割合別のサービス利用料の負担感	104
(5) 利用料の負担感	104
5 将来への備えについて	105
(1) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内	105
(2) 「成年後見制度」の認知状況	106
6 自由意見等	106
 第3章 一般若年者調査	 109
1 年齢や性別などについて	111
(1) 年齢	111
(2) 居住地区	111
(3) 性別	112
(4) 家族構成	112
(5) 住居の形態	113
2 健康について	114
(1) 健康への配慮の状況	114
(2) 健康のため実行していること	115
(3) 情報の入手	119
(4) 用語「ACP」の認知状況	119
(5) 用語「ACP」を知った場所	120
(6) 話し合いの推進についての意見	121
(7) 認知症状のある人の有無（本人・家族）	121
(8) 認知症相談窓口の認知状況	122
(9) 認知症に関する相談先	122
(10) 認知症になったときについて	123
(11) 認知症になったときについて考えたこと	124
(12) 認知症になったときについて	125
(13) 「認知症サポーター養成講座」受講の有無	125
(14) 1年以内の健康診査受診について	126

(15) 健康診査を受けた場所	126
(16) 健康診査を受けなかった理由	127
(17) 1年以内のがん検診受診について	129
(18) がん検診を受けた場所	129
(19) 1年以内の歯科健康診査受診について	130
(20) 歯科健康診査を受けた場所・機関	131
(21) ものを噛んで食えるときの状態	131
3 就労や社会参画などについて	132
(1) 現在の就労状況	132
(2) 働きたい年齢	132
(3) 生きがいを感じることや今後やりたいこと	133
4 地域における交流について	137
(1) 隣近所とのつきあい	137
(2) 隣近所との交流の希望	138
(3) 隣近所や地域で高齢者を支えることの必要性	139
5 介護保険制度・高齢者施策について	140
(1) 介護保険料と介護サービスのあり方について	140
(2) 今後、もし自身が介護が必要になったら	141
(3) 家族などの介護の経験の有無	142
(4) 介護を行う上で困っていること	143
(5) 介護予防・日常生活支援総合事業の認知状況	145
(6) 地域のボランティア活動に支援者として参加する意思	145
(7) 支援者として参加したい地域のボランティア	146
(8) 高齢者外出支援事業の認知度	147
(9) 高齢者外出支援事業についての情報の入手先	147
(10) 今後の高齢者外出支援事業の見直しについて	148
(11) 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納について	148
(12) 運転免許証を自主返納した方に必要な支援	149
(13) 高齢者が地域で在宅生活を続けるために必要な施策	150
6 将来の不安、備えについて	151
(1) 将来の不安	151
(2) 将来、老後の生活に備えて現在していることや必要だと思うこと	153
(3) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内の有無	154
(4) 成年後見制度の認知度	155
(5) 自由意見・要望	156
第4章 サービス提供事業者調査	157
1 事業者の概要について	159
(1) 実施しているサービス	159
2 介護保険サービスについて	160
(1) 提供しているサービス	160
(2) 新たに実施したいサービス	163

(4) 実施したい理由	164
(5) サービス提供上の困りごと.....	165
(6) マンパワーが不足しているサービス・職種	166
3 サービスの質の向上について	168
(1) サービスの質を高めるため行っていること	168
(2) サービスの質的向上を図るうえでの課題	168
(3) 職員の雇用・勤務面での課題	169
(4) 福祉サービス利用に結びついていない要支援高齢者の有無.....	169
(5) 利用に結びついていないサービスの種類.....	170
(6) サービス利用に結びついていない理由	170
(7) 歯や口腔の健康づくりについて取り組んでいること	171
(8) 利用者からよく聞く意見等.....	171
4 ケアマネジメントについて	173
(1) 現在不足しているサービス	173
(2) 利用者からよく聞く意見等.....	174
(3) ケアマネジャーの質を高めるため行っていること	174
(4) 高齢者相談センターが果たしている役割	175
(5) インフォーマルなサービスの活用の状況.....	175
(6) 活用した／しているインフォーマルサービス	176
(7) ケアマネジャーの対応の差	176
5 今後の高齢者介護について	177
(1) 介護サービスの維持・充実と介護保険料とのバランスについて	177
(2) 介護サービスの充実のため行政に希望すること	178
(3) 自治体に求める支援	179
(4) 介護保険についての日頃からの考え.....	179
資 料 <調査票>	181

序章 調査の概要

I 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を築くために策定し、事業の推進を図っている市の「習志野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の次期計画に市民等の意見を反映させ、高齢者の保健福祉や介護サービスの充実に向けた貴重な資料とすることを目的にしています。

(2) 調査実施概要

区分	抽出方法	送付数	有効回収数	有効回収率	(参考) 前回回収率
一般高齢者 (65 歳以上)	無作為抽出	1,500 人	1,011	67.4%	61.1%
要支援認定者・事業対象者①	無作為抽出	1,500 人	976	65.1%	50.8%
在宅要介護認定者②	無作為抽出	1,500 人	819	54.6%	
介護保険施設入所者	全員	816 人	468	57.4%	44.6%
一般若年者 (40 歳以上 64 歳以下)	無作為抽出	1,500 人	729	48.6%	39.5%
介護サービス提供事業者	全事業者	129	63	48.8%	50.5%

・調査方法 … 郵送による配布・回収

・調査期間 … 令和4(2022)年12月15日～令和5(2023)年1月10日

※前回調査(令和元年度)では、①と②を合わせて「在宅認定者等」として、1,500人対象に実施しました。

2 本報告書の見方

- アンケート選択肢や項目等の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出しています。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
また、回答者数が100に満たない場合は百分率(%)を用いて分析を行うことが統計的に正しくないため、分析は実数を用いて行うことを基本としています。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常、100%を超えます。

第1章 一般高齡者、在宅要支援認定者・
事業対象者、在宅要介護認定者調査

【調査回答者】

【設問】このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

(単位%)

	あて名 のご本人	あて名 の方の 配偶者 (夫・妻)	あて名 の方の 子ども	あて名 の方の 親族	友人・ 知人	ケアマ ネジャ ー	施設の 職員	ホーム ヘルパ ー	その他	無回答
一般高齢者 (回答数:1,011)	88.7	1.7	0.7	0.0	0.0				0.0	8.9
在宅要支援認定者等 (回答数:976)	83.2	3.7	5.4	1.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	6.1
在宅要介護認定者 (回答数:819)	38.6	15.6	32.5	4.6	0.0	0.6	1.7	0.1	0.6	5.6

○「あて名のご本人」による回答がいずれも最も多く、一般高齢者が88.7%、在宅要支援認定者等が83.2%、在宅要介護認定者が38.6%となっている。

1 あなた(あて名のご本人)のご家族や生活状況などについて(問A)

(1) 年齢・居住地区

【設問】あなたの年齢／お住まいの地区名をお答えください。

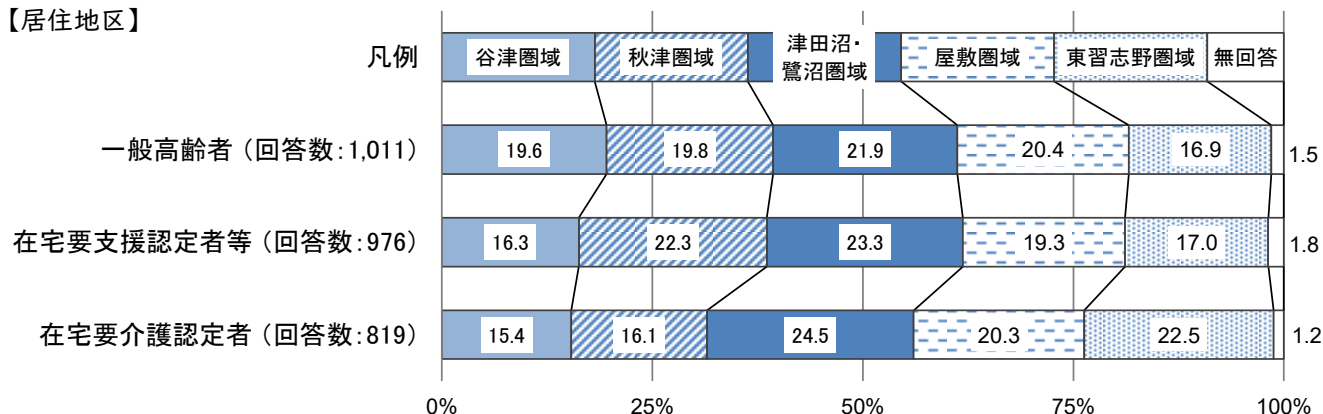
【年齢】

(単位%)

	65歳 ～69歳	70歳 ～74歳	75歳 ～79歳	80歳 ～84歳	85歳以上	無回答
一般高齢者 (回答数:1,011)	21.2	28.9	23.5	16.6	8.2	1.6
在宅要支援認定者等 (回答数:976)	1.7	5.8	13.8	29.7	46.5	2.4
在宅要介護認定者 (回答数:819)	3.5	3.5	7.1	13.1	50.4	1.2

○一般高齢者は「70～74歳」(28.9%)が最も多く、「75～79歳」(23.5%)、「65～69歳」(21.2%)が続いている。在宅要支援認定者等・在宅要介護認定者とも、「85歳以上」がそれぞれ46.5%、50.4%で最も多く、次いで「80～84歳」がそれぞれ29.7%、13.1%で多くなっている。

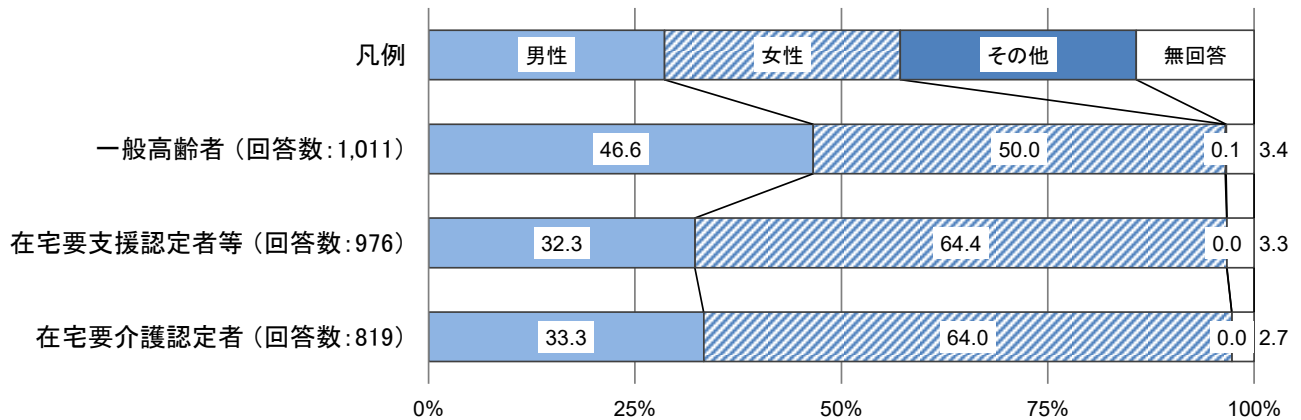
【居住地区】



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者のいずれにおいても「津田沼・鷺沼圏域」が最も多くなっている。

(2) 性別

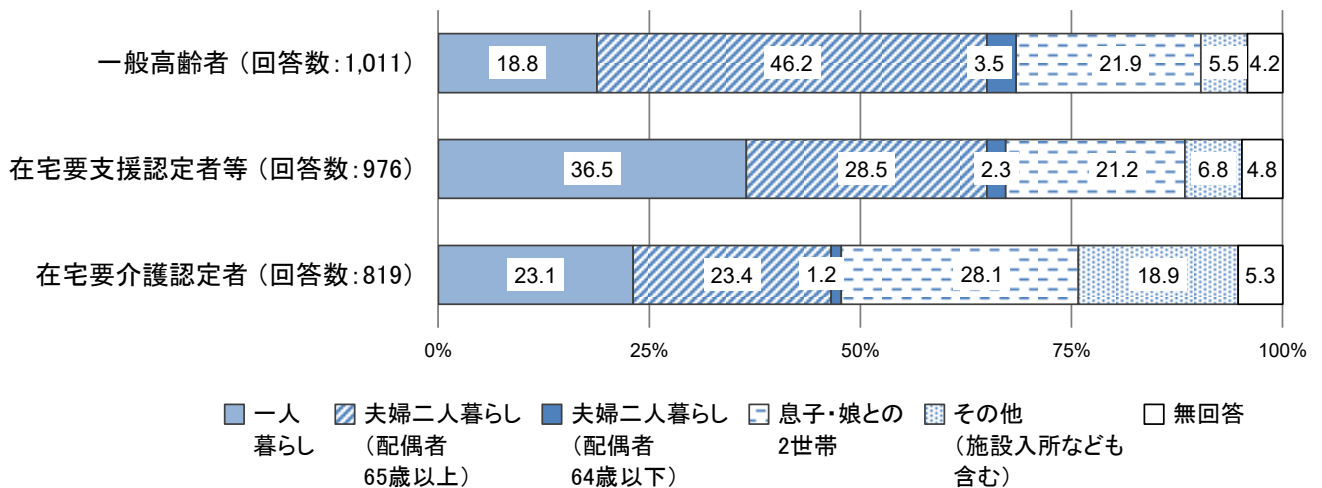
〔設問〕あなたの性別をお答えください。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者のいずれにおいても、「女性」が「男性」より多くなっているが、在宅要支援認定者等、在宅介護認定者ではそれぞれ「女性」が 64.4%、64.0%、「男性」が 32.3%、33.3% と、その差が大きくなっている。

(3) 家族構成

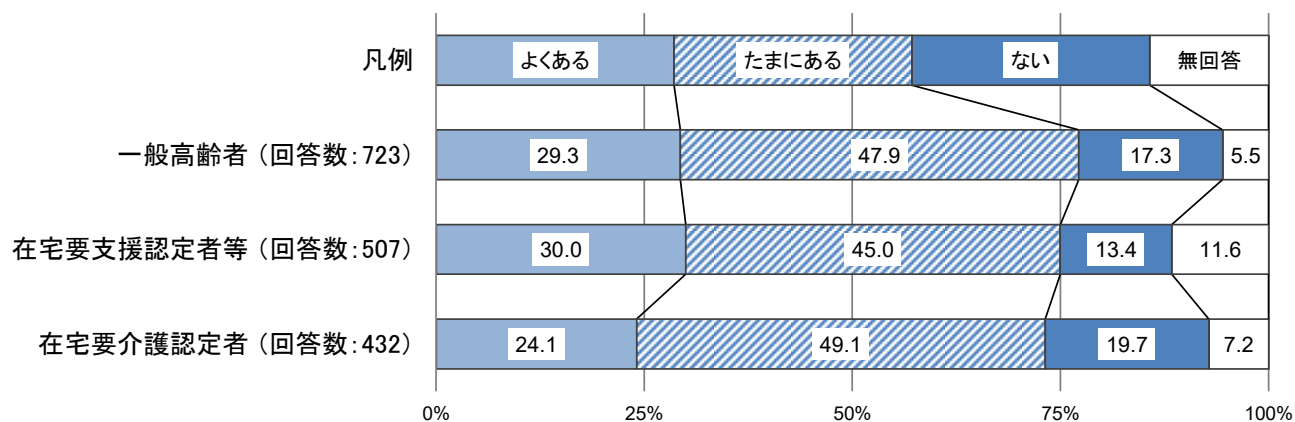
〔設問〕家族構成をお教えてください。



○一般高齢者では「夫婦二人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が46.2%、在宅要支援認定者等では「一人暮らし」が36.5%、在宅要介護認定者では「息子・娘との2世帯」が28.1%でそれぞれ最も多くなっている。また、在宅要介護認定者では「一人暮らし」が23.1%で「夫婦二人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の23.4%とほぼ同じ割合となっている。

(4) 日中一人になること

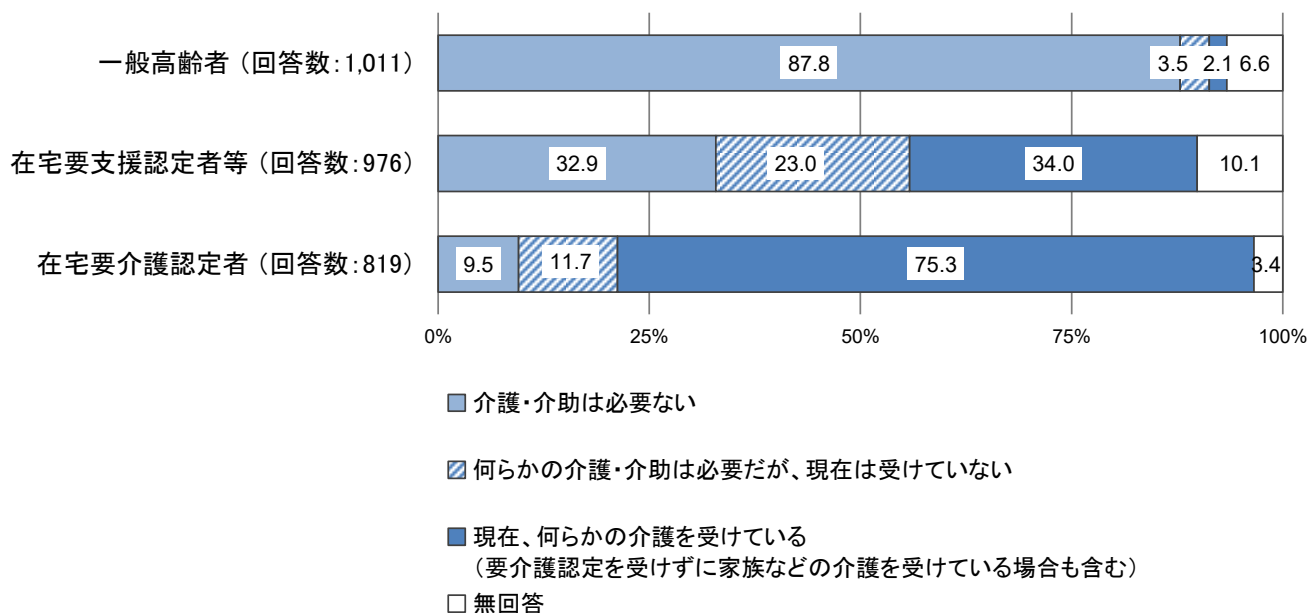
〔設問〕（ご家族と同居されている方のみ）
日中、一人になることがありますか。



○「よくある」は、在宅要支援認定者等が 30.0%で最も多く、次いで一般高齢者で29.3%、在宅要介護認定者で24.1%となっている。

(5) 介護・介助の状況

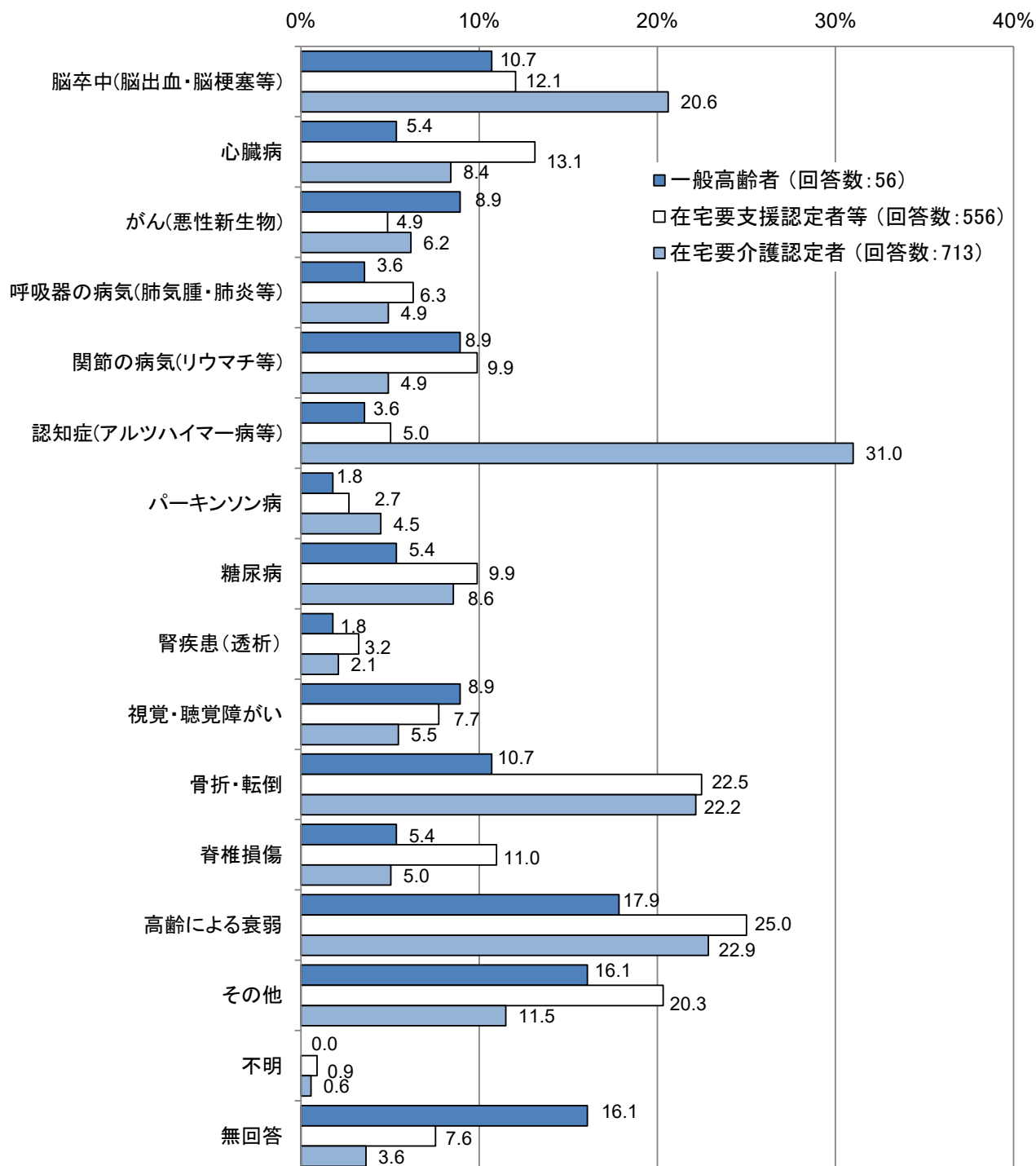
〔設問〕あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。



○一般高齢者では「介護・介助は必要ない」が87.8%、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では「現在、何らかの介護を受けている（要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」がそれぞれ 34.0%、75.3%で最も多くなっている。

(6) 介護・介助が必要になった主な原因

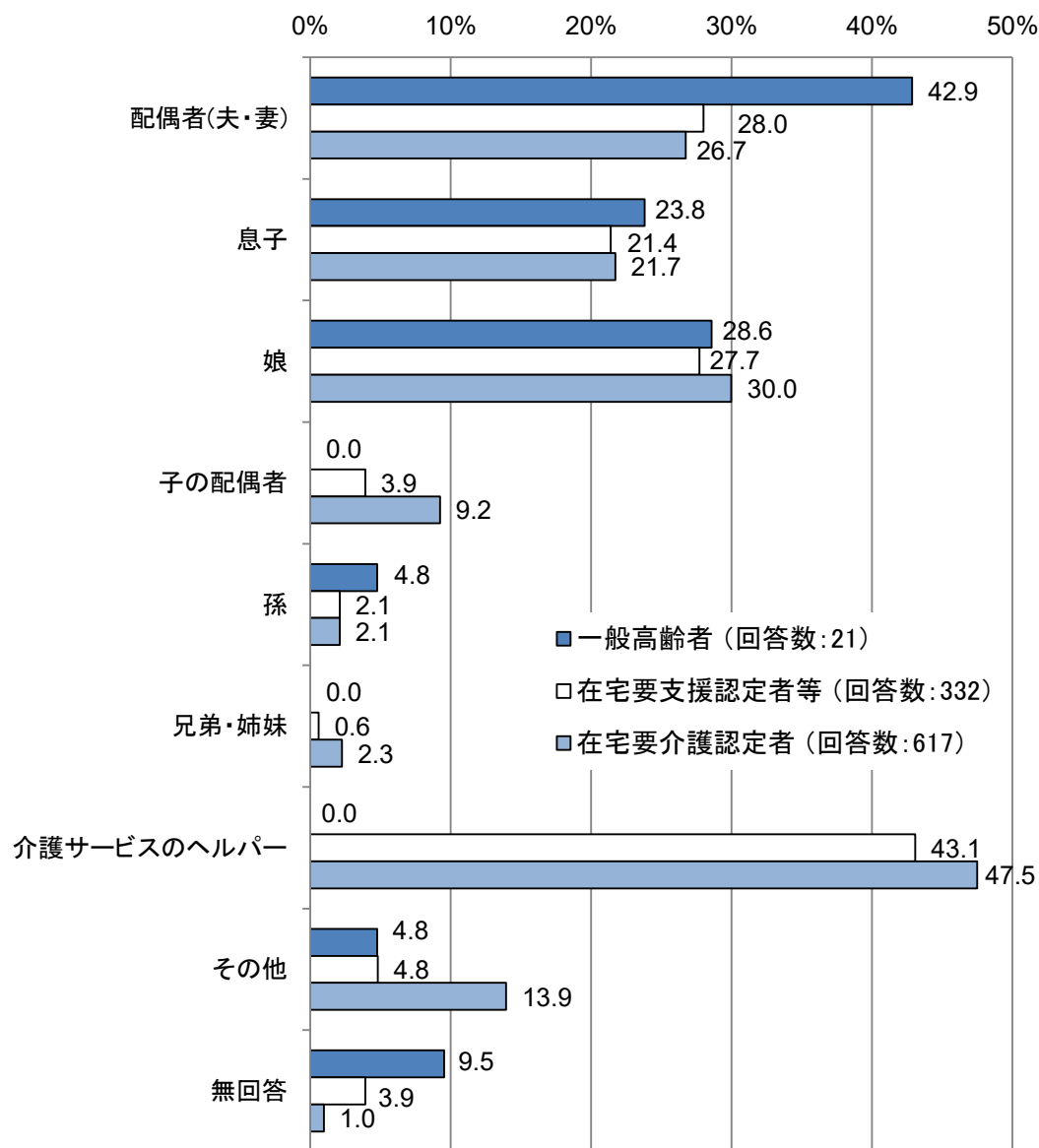
〔設問〕介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)



○一般高齢者では「高齢による衰弱」が 17.9%で最も多く、「その他」が 16.1%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「骨折・転倒」が 10.7%で続いている。在宅要支援認定者等では「高齢による衰弱」が 25.0%、「骨折・転倒」が 22.5%、在宅要介護認定者では「認知症（アルツハイマー病等）」が 31.0%、「高齢による衰弱」が 22.9%などとなっている。

(7) 主な介護・介助者

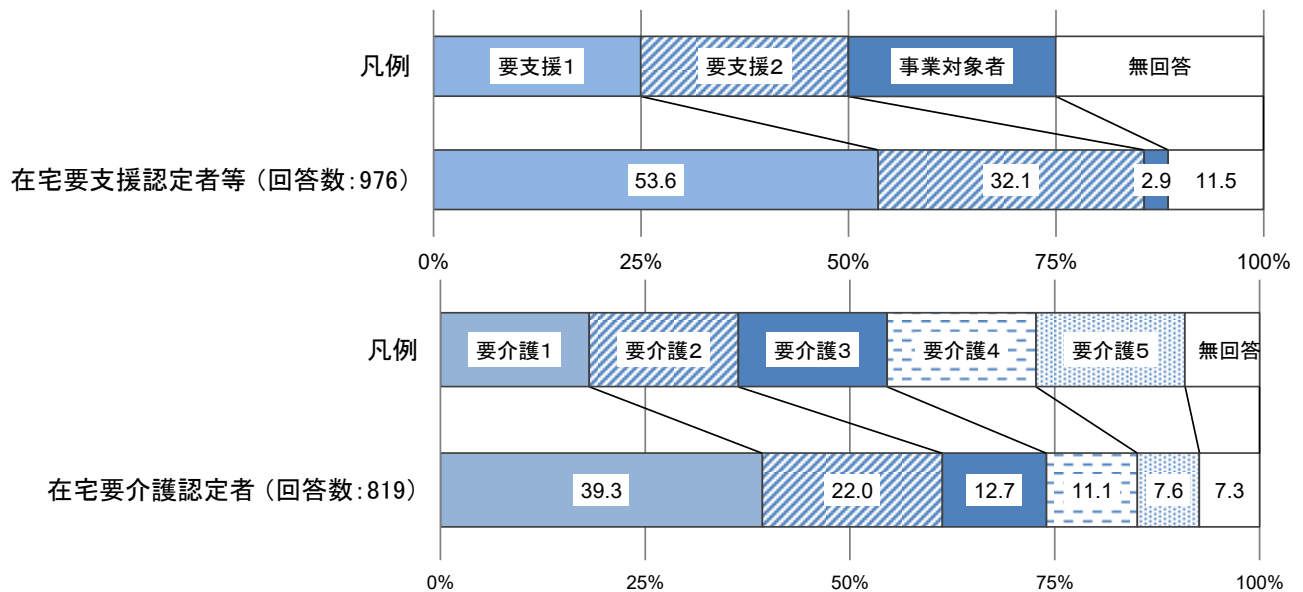
〔設問〕主にどなたの介護・介助を受けていますか。(〇はいくつでも)



○一般高齢者では「配偶者(夫・妻)」が 42.9%で最も多く、次いで「娘」が 28.6%となっている。在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「介護サービスのヘルパー」が最も多く、それぞれ 43.1%、47.5%、次いで在宅要支援認定者等では「配偶者(夫・妻)」が 28.0%、在宅要介護認定者では「娘」が 30.0%となっています。

(8) 要支援度・要介護度

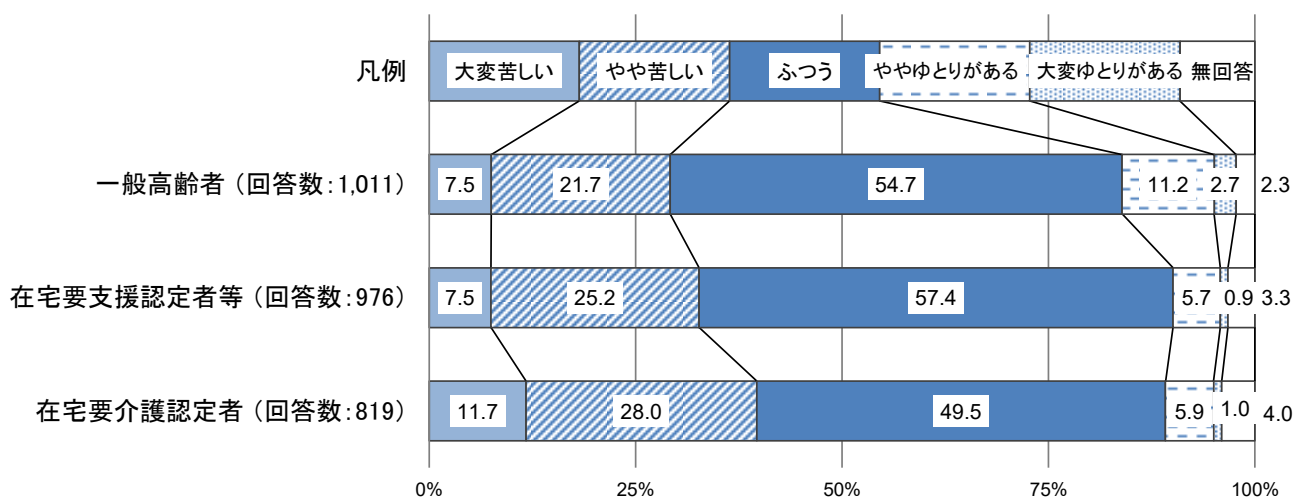
〔設問〕あなたの要介護区分は次のどれにあたりますか。



○在宅要支援認定者等では「要支援 1」が 53.6%で最も多く、次いで「要支援 2」が 32.1%、「事業対象者」が 2.9%となっている。在宅要介護認定者では「要介護1」が39.3%で最も多く、「要介護2」が22.0%、「要介護3」が12.7%となっている。

(9) 経済的にみた現在の暮らしの状況

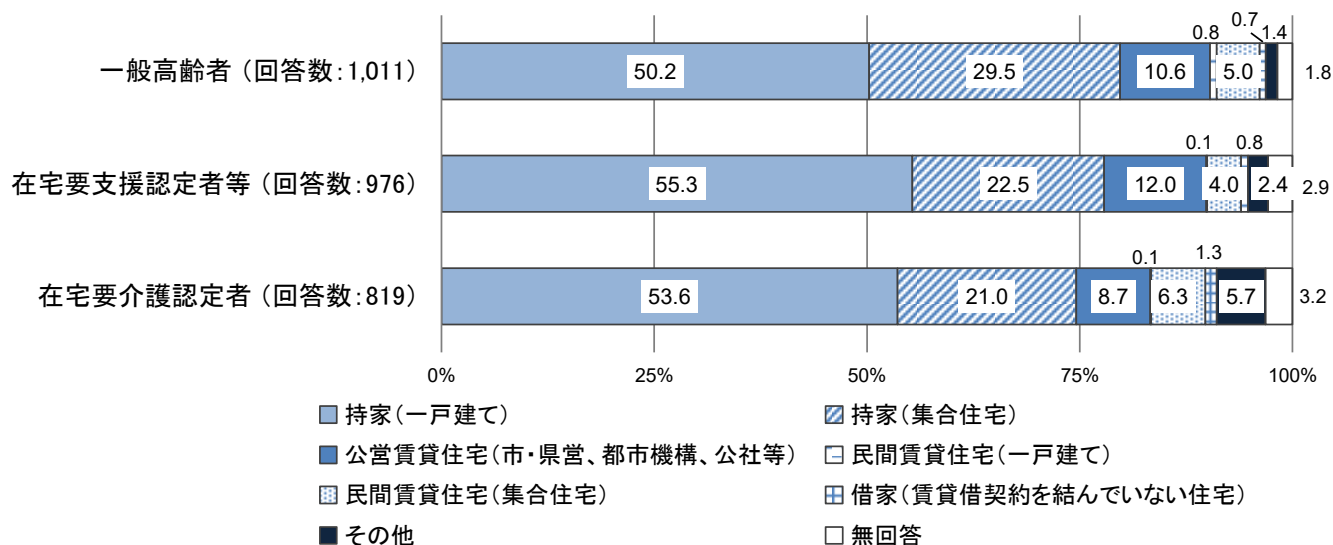
〔設問〕現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「ふつう」が最も多く、それぞれ54.7%、57.4%、49.5%、次いで「やや苦しい」が21.7%、25.2%、28.0%となっている。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合は、在宅要介護認定者、在宅要支援認定者等、一般高齢者の順に多くなっている。

(10) 住居の形態

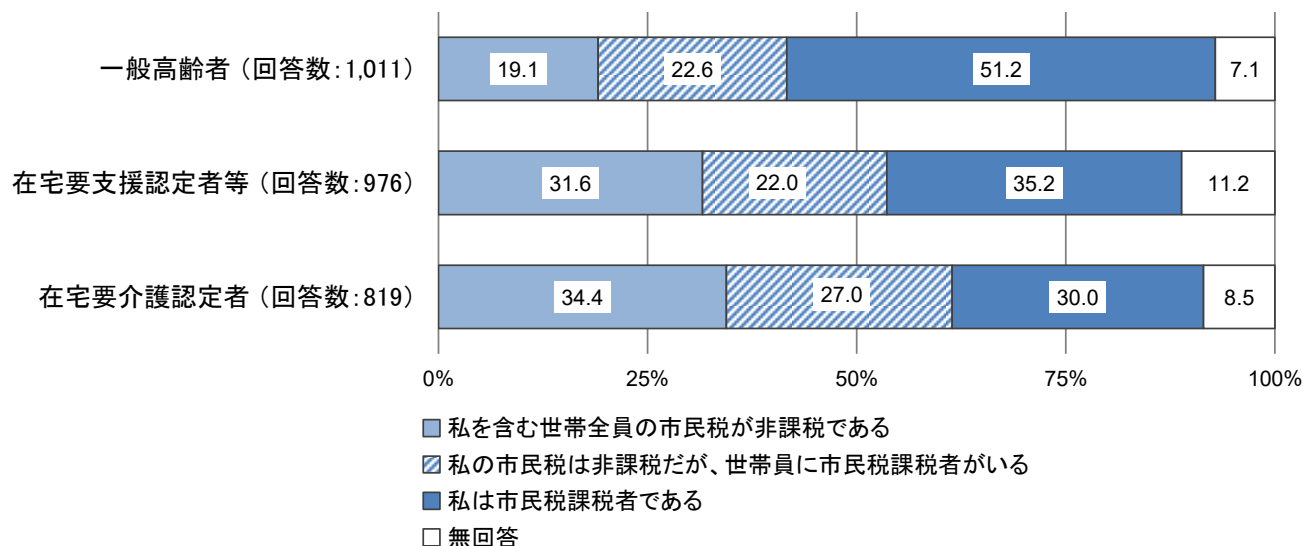
〔設問〕お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも、「持家(一戸建て)」が半数以上を占めて最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が多くなっている。

(11) 市民税の課税状況

〔設問〕あなたもしくは世帯の市民税の課税状況をお答えください。

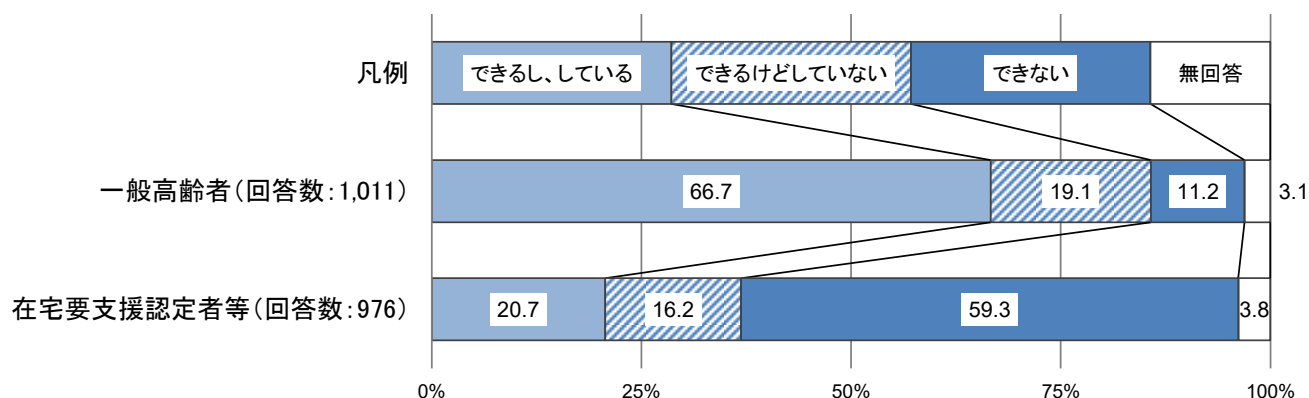


○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「私は市民税課税者である」がそれぞれ最も多く、特に一般高齢者では51.2%と、在宅要支援認定者等の35.2%、在宅要介護認定者の30.0%より多くなっている。一方、在宅要介護認定者では「私を含む世帯全員の市民税が非課税である」が34.4%で最も多くなっている。

2 からだを動かすことについて(問B)

(1) 階段を手すり等にたよらずに昇ること

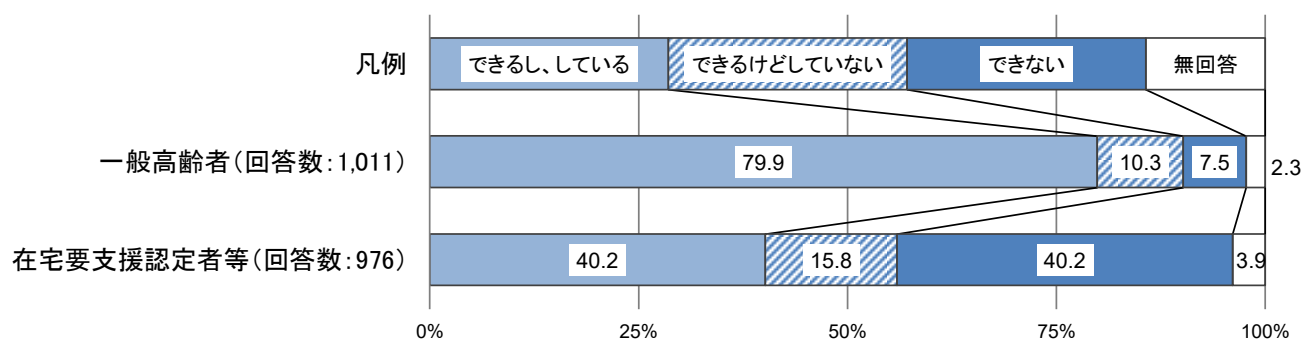
〔設問〕階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。



○「できるし、している」は、一般高齢者では66.7%であるが、在宅要支援認定者等では20.7%にとどまり、46ポイントの差がある。一方、「できない」は、在宅要支援認定者では59.3%となっている。

(2) 椅子からの立ち上がり

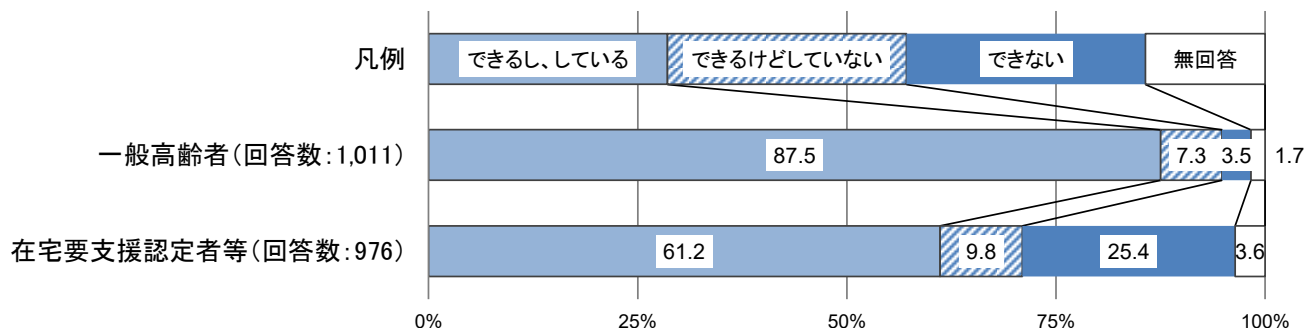
〔設問〕椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。



○「できるし、している」は、一般高齢者では79.9%と約8割の回答に対し、在宅要支援認定者では40.2%にとどまり、「できない」と同率になっている。

(3) 15 分くらいの連続歩行

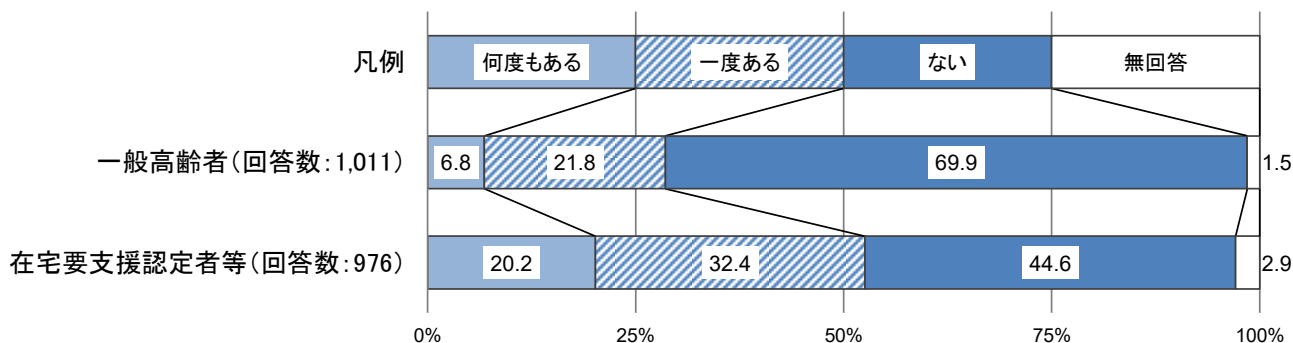
〔設問〕15 分くらい続けて歩いていますか。(買い物、散歩など、目的は問いません)



○「できるし、している」は、一般高齢者の 87.5%に対し、在宅要支援認定者等では 61.2%となっており、26.3 ポイントの差がある。一方、「できない」は、一般高齢者の 3.5%に対し、在宅要支援認定者等では 25.4%となっており、21.9 ポイントの差がある。

(4) 最近 1 年間の転倒経験

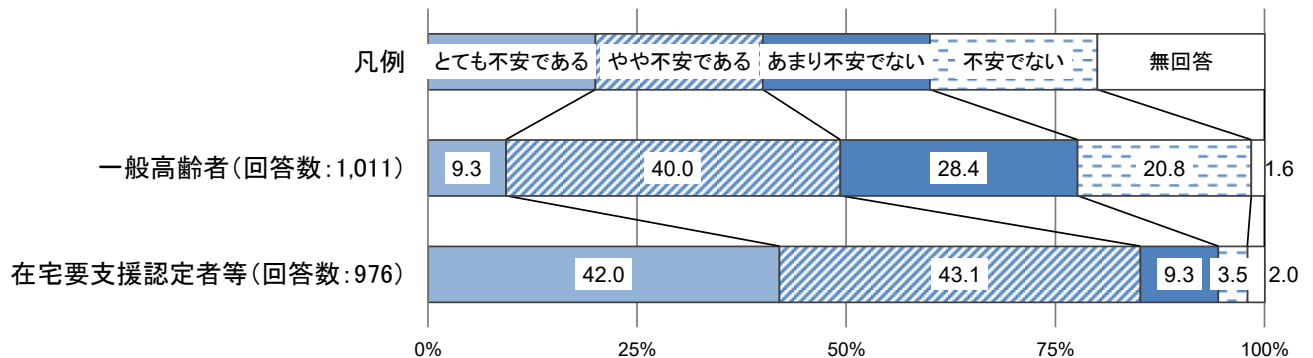
〔設問〕過去 1 年間に転んだ経験がありますか。



○「何度もある」は、一般高齢者の 6.8%に対し、在宅要支援認定者等では 20.2%となっており、13.4 ポイントの差がある。また、「何度もある」と「一度ある」を合わせると、一般高齢者が 28.6%であるのに対し、在宅要支援認定者等は 52.6%と、半数以上を占めている。

(5) 転倒への不安

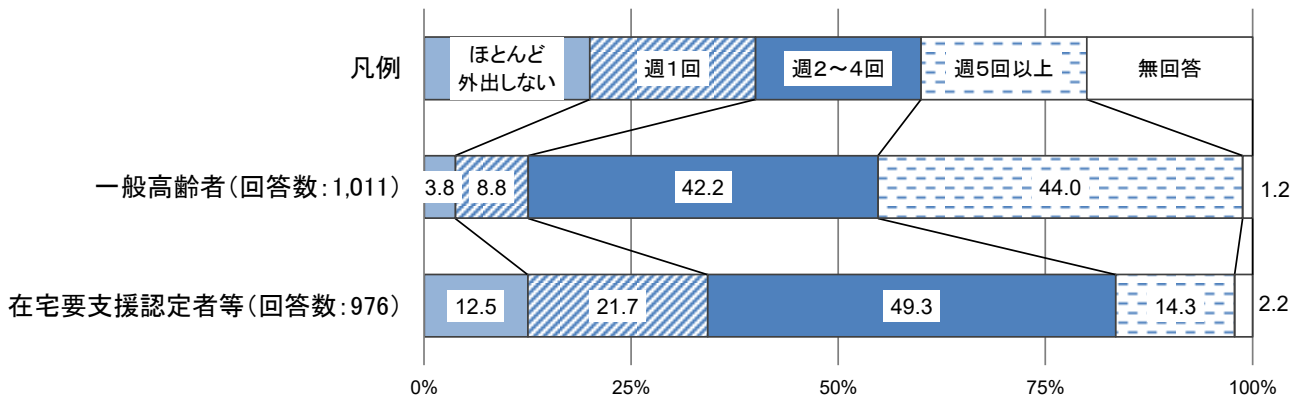
〔設問〕転倒に対する不安は大きいですか。



○「とても不安である」は、一般高齢者の9.3%に対し、在宅要支援認定者等では42.0%となっており、32.7ポイントの差がある。また、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせると、一般高齢者が49.3%、在宅要支援認定者等が85.1%となっており、在宅要支援認定者等では不安であると回答した割合が8割以上を占めている。

(6) 週1回以上の外出

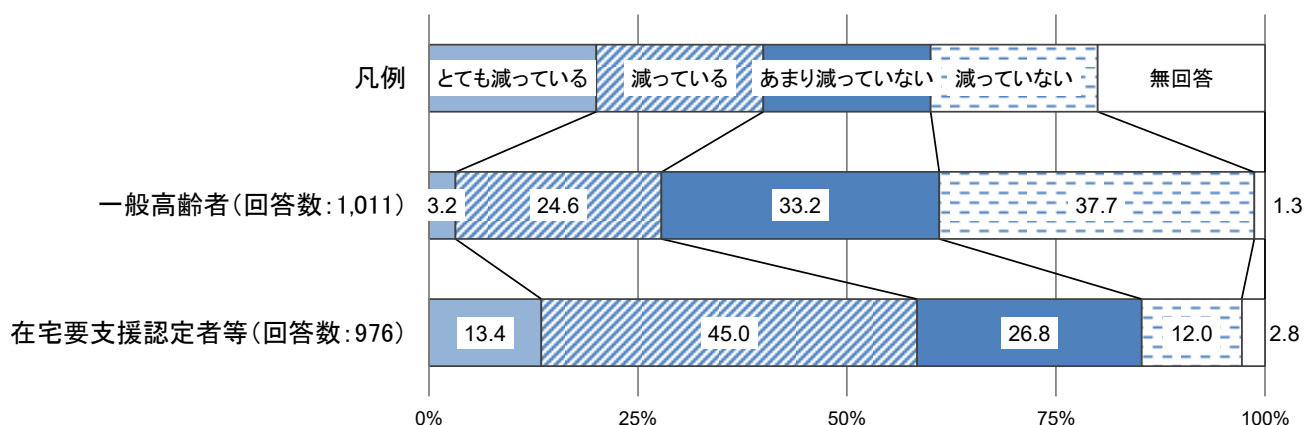
〔設問〕週に1回以上は外出していますか。(手段・目的は問いません)



○週1回以上の外出割合は、一般高齢者の95.0%に対し、在宅要支援認定者等は85.3%と9.7ポイント減少している。また、在宅要支援認定者等を一般高齢者と比較すると、「ほとんど外出しない」、「週1回」が増加している一方、「週5回以上」が29.7ポイントと大きく減少している。

(7) 外出回数の前年比較

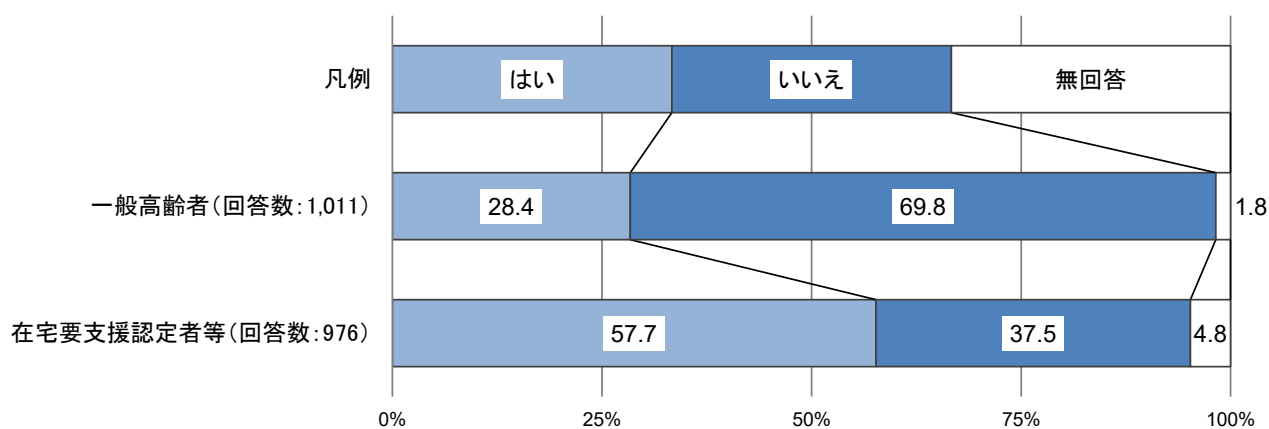
〔設問〕昨年と比べて外出の回数が減っていますか。



○「とても減っている」と「減っている」を合わせると、一般高齢者では27.8%であるのに対し、在宅要支援認定者等では58.4%と半数以上を占めている。

(8) 外出を控えること

〔設問〕外出を控えていますか。

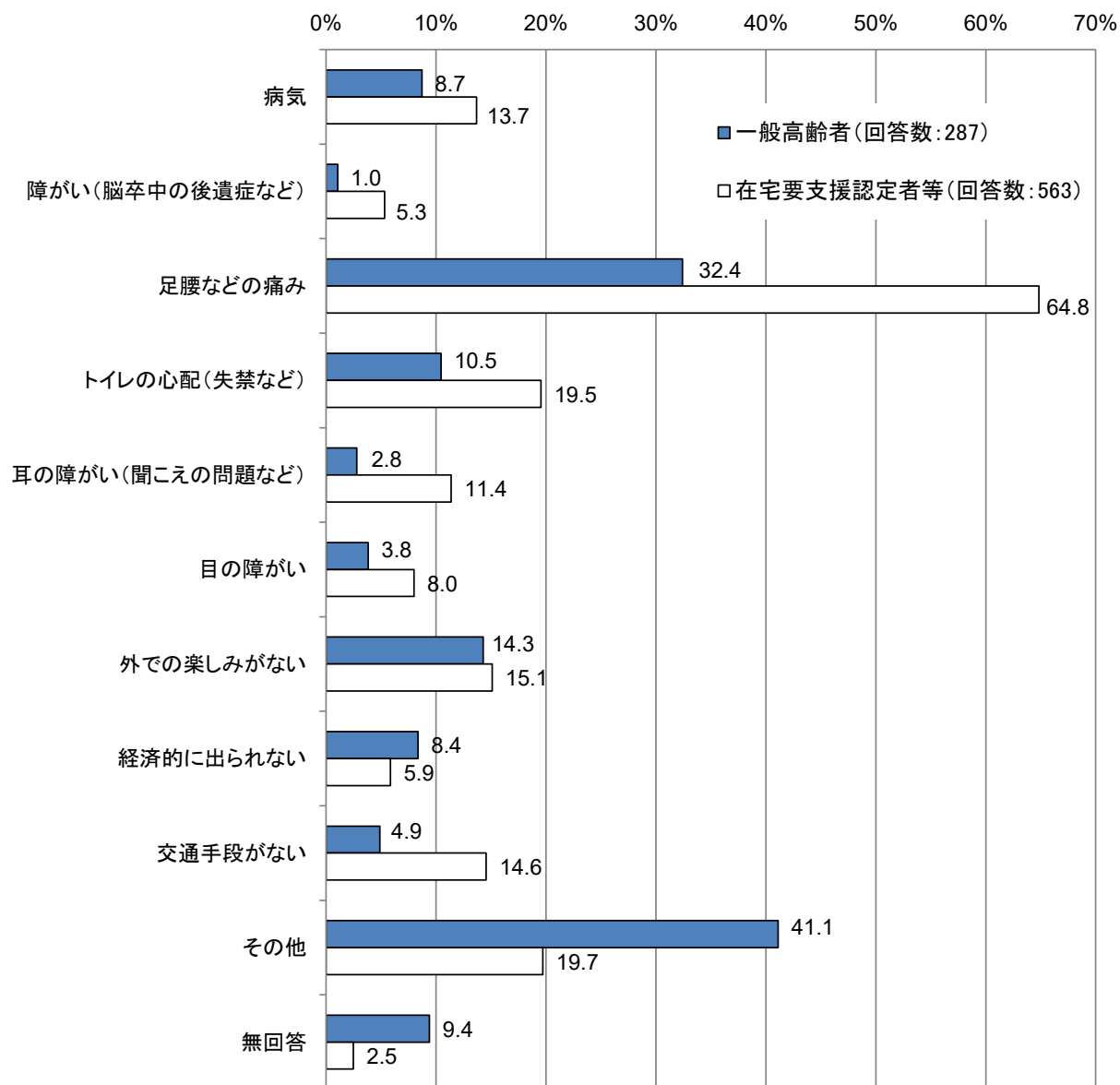


○「はい」は、一般高齢者の28.4%に対し、在宅要支援認定者等では57.7%と、29.3ポイントの差がある。

(9) 外出を控えている理由

〔設問〕（外出を控えている方のみ）

外出を控えている理由は、次のどれですか。（○はいくつでも）

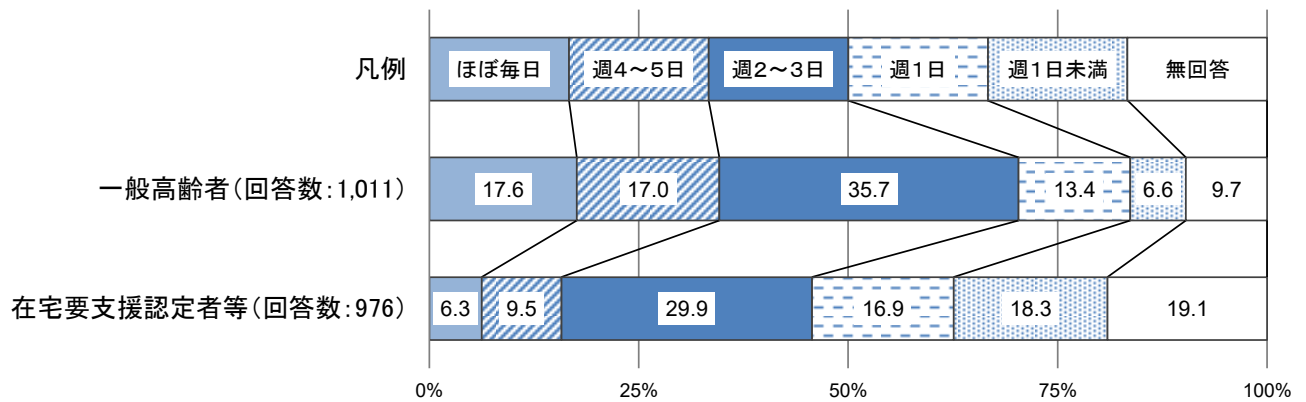


○一般高齢者では、「その他」が41.1%で最も多く、次いで「足腰などの痛み」が32.4%、「外での楽しみがない」が14.3%、「トイレの心配(失禁など)」が10.5%などの順となっている。在宅要支援認定者等では、「足腰などの痛み」が64.8%で最も多く、「その他」が19.7%、「トイレの心配(失禁など)」が19.5%、「外での楽しみがない」が15.1%などの順となっている。

(10) 買い物、散歩での外出頻度

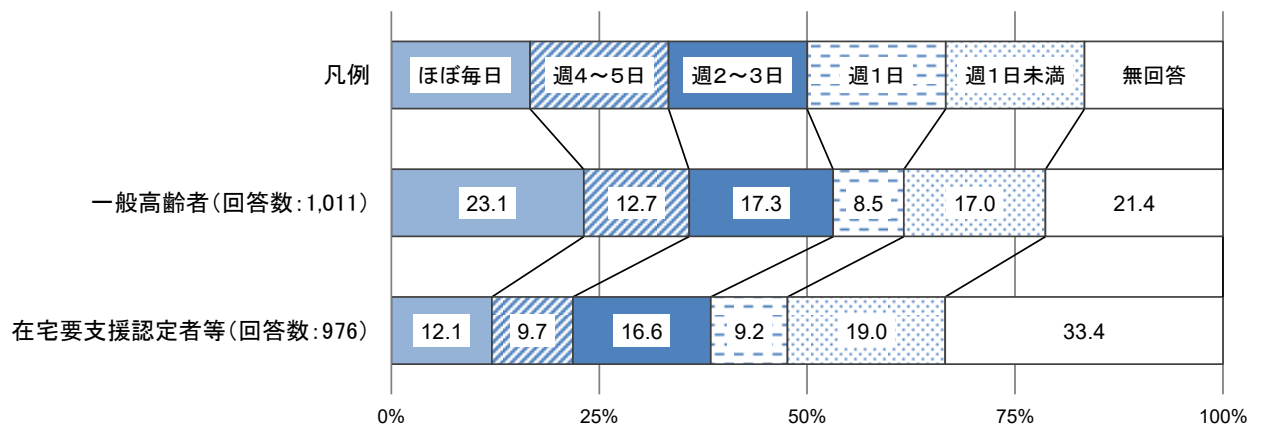
〔設問〕 買い物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。

【買い物】



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「週2～3日」が最も多く、それぞれ 35.7%、29.9%となっている。次いで多いのが、一般高齢者では「ほぼ毎日」が 17.6%に対し、在宅要支援認定者等では、「無回答」を除き「週1日未満」が 18.3%となっている。

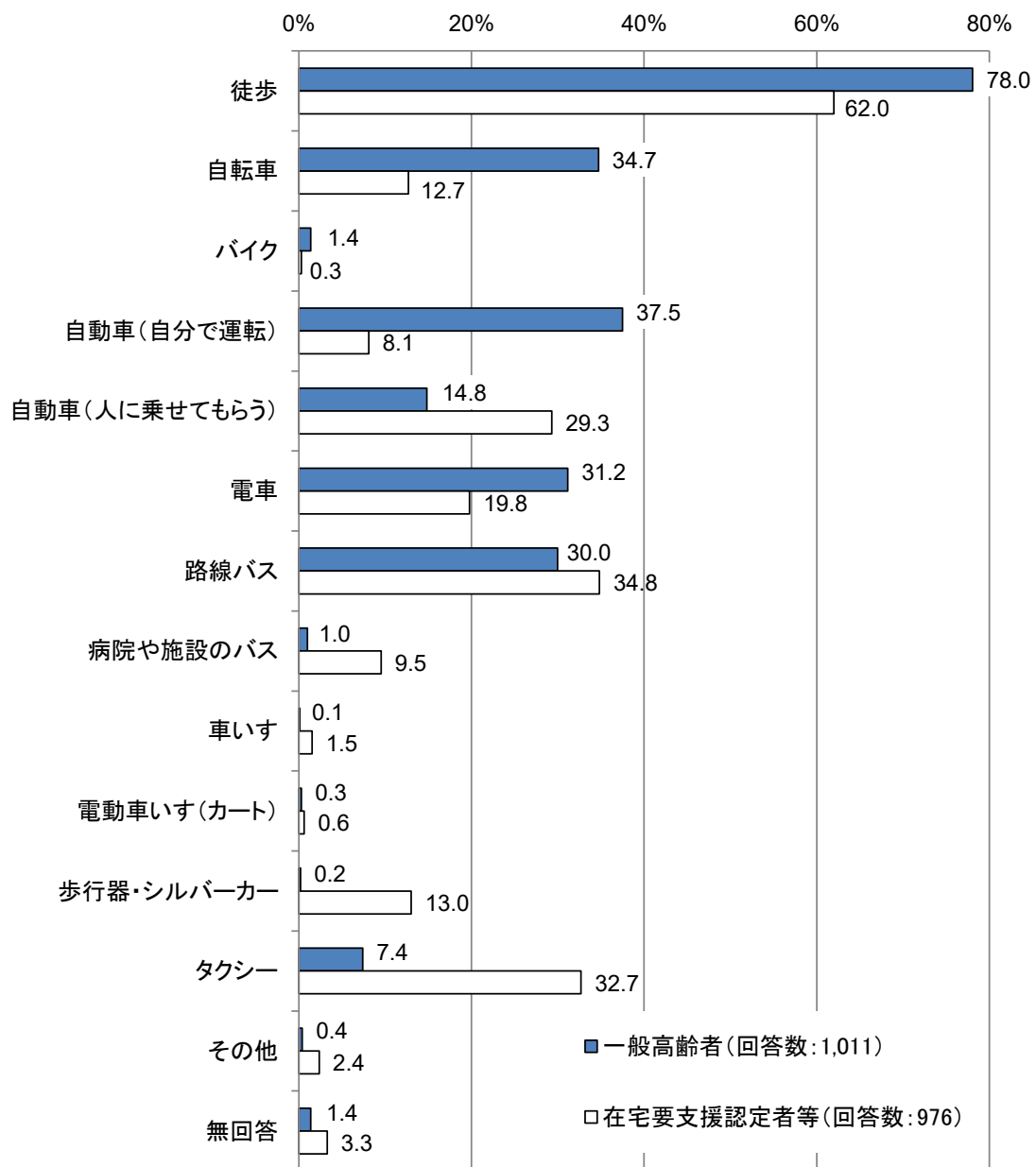
【散歩】



○一般高齢者では「ほぼ毎日」が 23.1%、在宅要支援認定者等では、無回答を除き「週1日未満」が 19.0%でそれぞれ最も多くなっている。

(11) 外出時の移動手段

〔設問〕外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「徒歩」が最も多く、それぞれ78.0%、62.0%となっている。次いで、一般高齢者では「自動車(自分で運転)」が37.5%、「自転車」が34.7%などとなっており、在宅要支援認定者等では「路線バス」が34.8%、「タクシー」が32.7%などとなっている。特に、「自転車」、「自動車(自分で運転)」、「タクシー」などで差が大きくなっている。

3 食べることについて(問C)

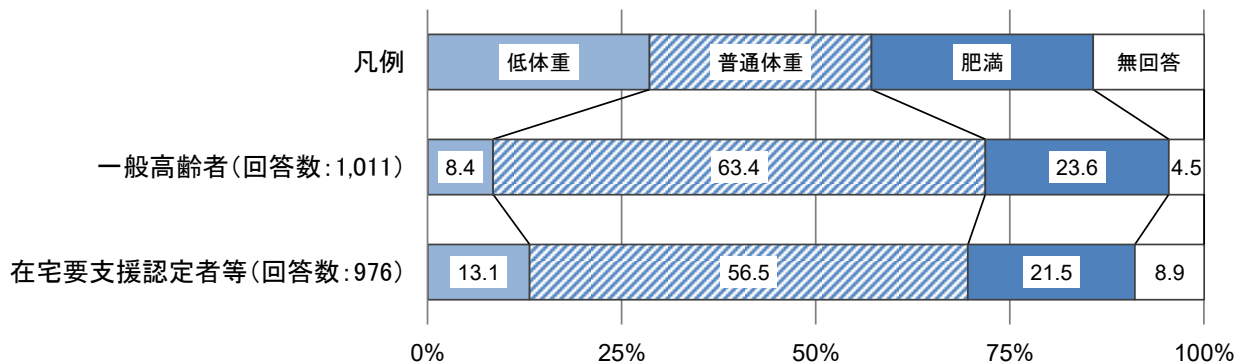
(1) 身長・体重

〔設問〕身長()cm 体重()kg

BMI…体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数です。

BMI=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))

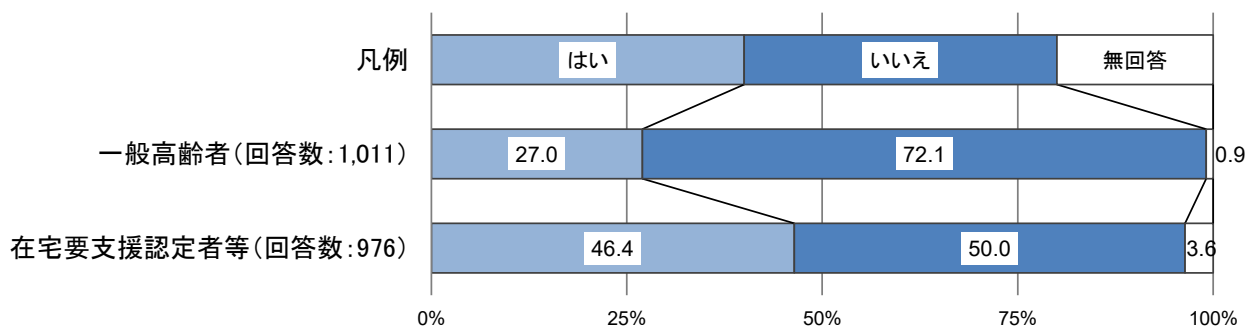
低体重:18.5未満 普通体重:18.5以上25.0未満 肥満:25.0以上



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「普通体重」が最も多く、それぞれ63.4%、56.5%となっている。「低体重」は在宅要支援認定者等が13.1%で、一般高齢者の8.4%を4.7ポイント上回っている。

(2) 固いものが食べにくくなったか

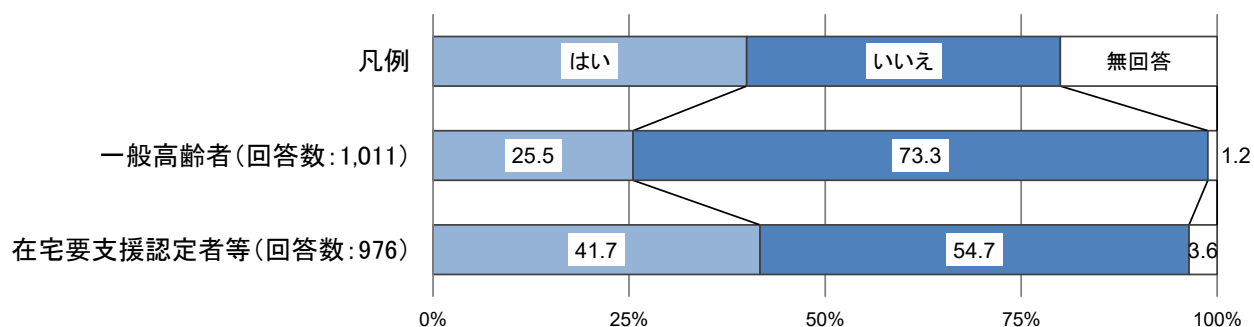
〔設問〕半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。



○「はい」が一般高齢者の27.0%に対し、在宅要支援認定者等では46.4%となっており、在宅要支援認定者等が一般高齢者を19.4ポイント上回っている。

(3) お茶や汁物等でむせること

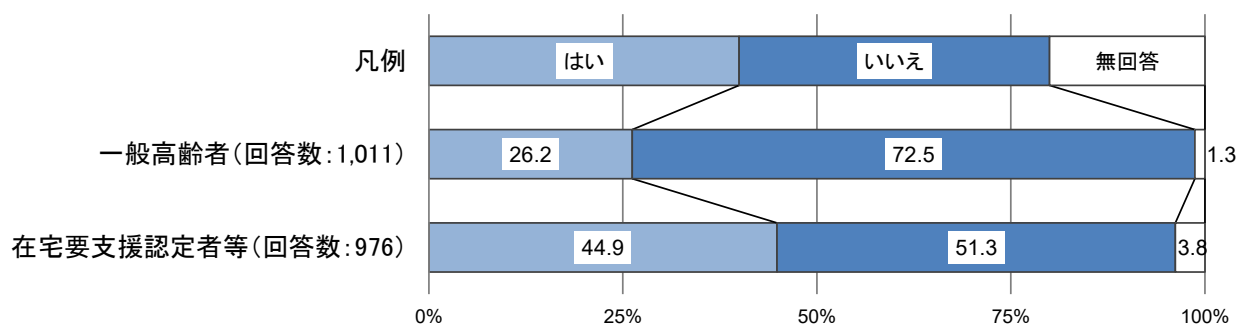
〔設問〕お茶や汁物等でむせることがありますか。



○「はい」が一般高齢者の 25.5%に対し、在宅要支援認定者等では 41.7%となっており、在宅要支援認定者が一般高齢者を 16.2 ポイント上回っている。

(4) 口の渇きについて

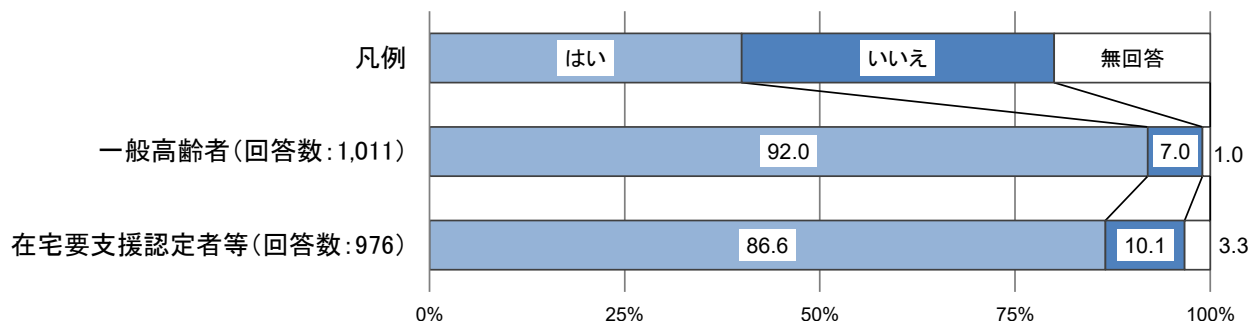
〔設問〕口の渇きが気になりますか。



○「はい」が一般高齢者の 26.2%に対し、在宅要支援認定者等では 44.9%となっており、在宅要支援認定者等が一般高齢者を 18.7 ポイント上回っている。

(5) 毎日の歯磨きについて

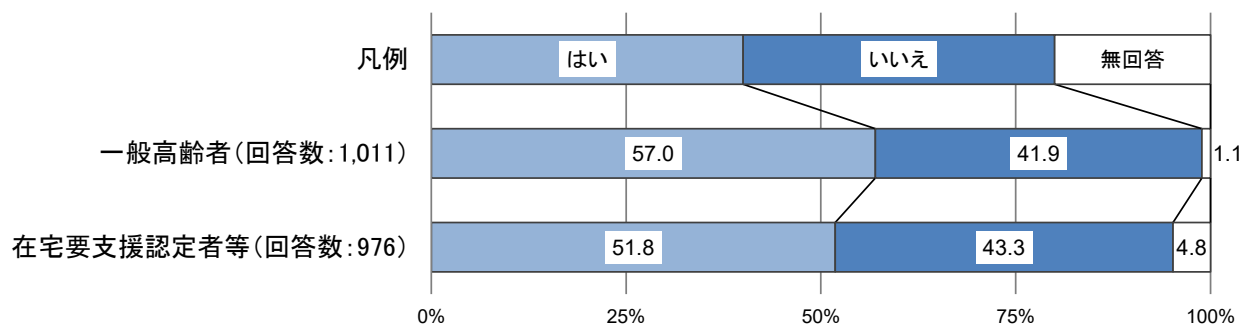
〔設問〕歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに、「はい」が9割前後を占めているが、在宅要支援認定者等は一般高齢者を5.4ポイント下回っている。

(6) 定期的な歯科受診の有無

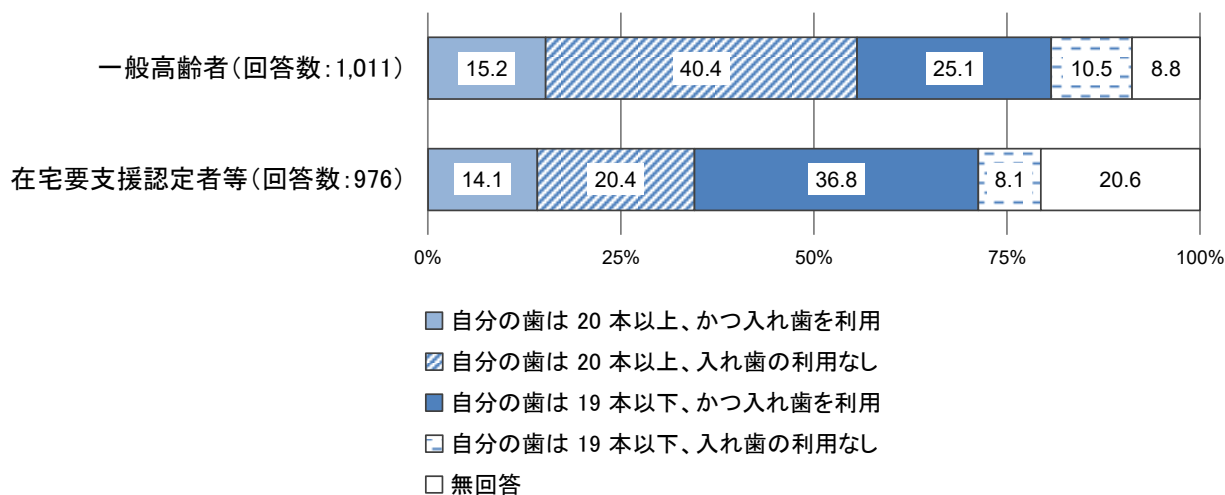
〔設問〕定期的に歯科受診(*健診を含む)をしていますか。



○「はい」が、一般高齢者では57.0%、在宅要支援認定者等では51.8%となっており、在宅要支援認定者等は一般高齢者を5.2ポイント下回っている。

(7) 歯の数と入れ歯の利用状況

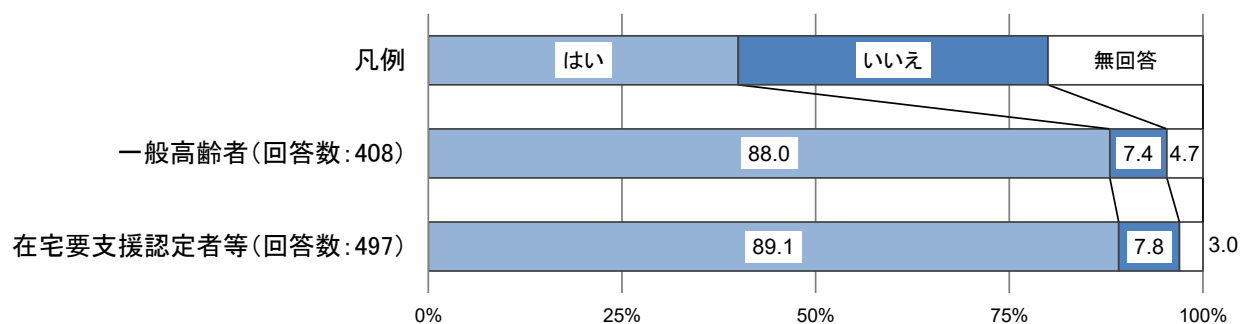
〔設問〕 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
 (*成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。)



○一般高齢者では「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 40.4%、在宅要支援認定者等では「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 36.8%とそれぞれ最も多くなっている。

(8) 入れ歯の毎日の手入れ状況

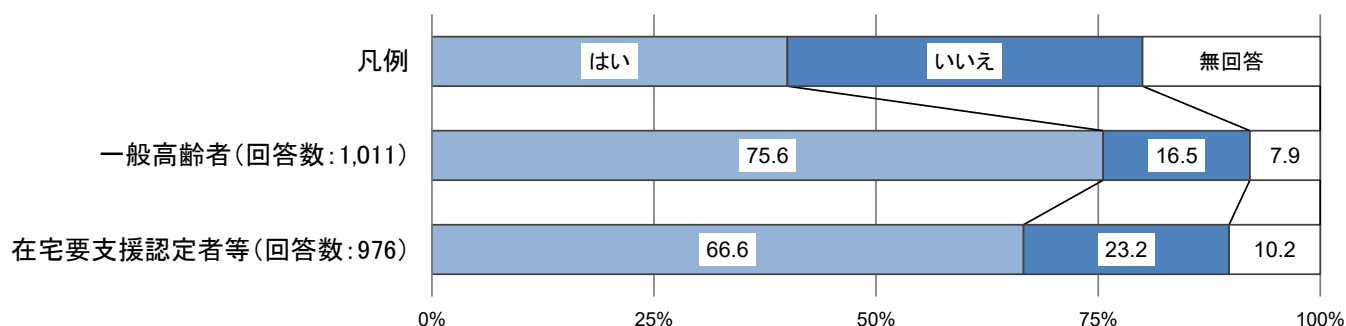
〔設問〕 (入れ歯の利用がある方のみ)
 毎日入れ歯の手入れをしていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに、「はい」が約 9 割となっている。

(9) 噛み合わせは良いか

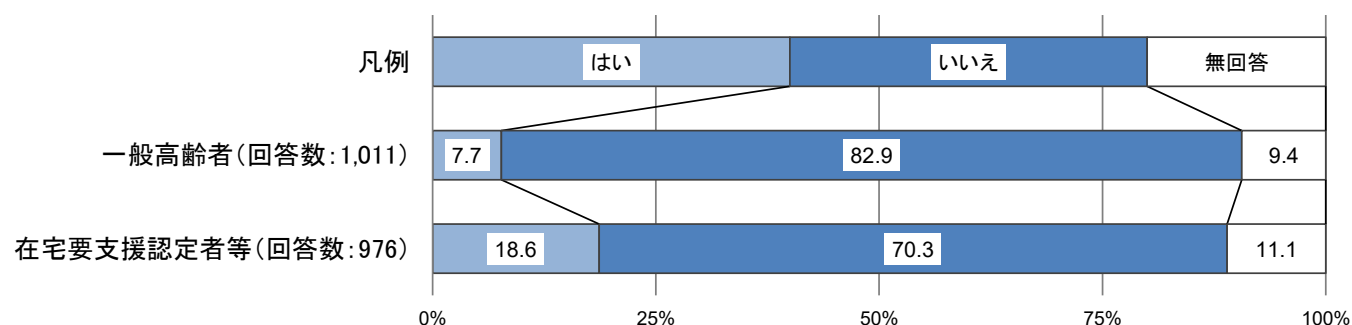
〔設問〕噛み合わせは良いですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「はい」が最も多く、それぞれ 75.6%、66.6%となっている。一方、「いいえ」はそれぞれ 16.5%、23.2%で、在宅要支援認定者等は一般高齢者を 6.7 ポイント上回っている。

(10) 急激な体重減少の有無

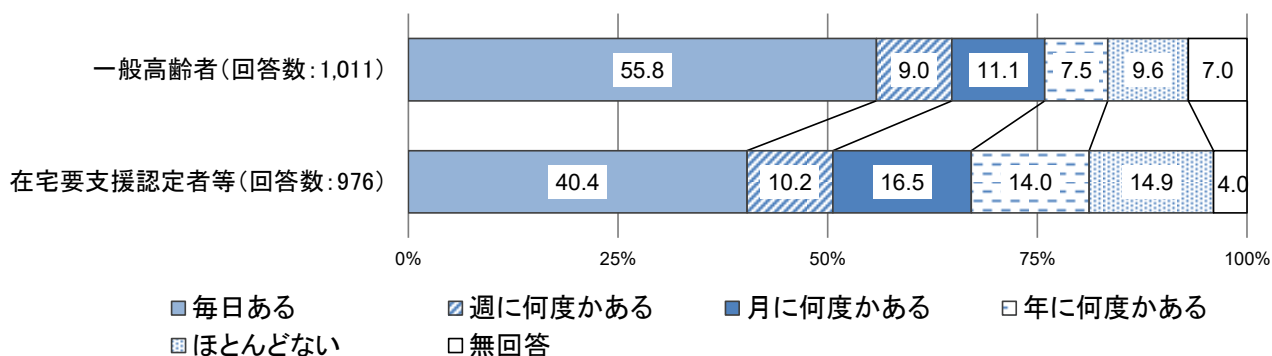
〔設問〕6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。



○「はい」が一般高齢者で 7.7%であるのに対し、在宅要支援認定者等は 18.6%で、一般高齢者より 10.9 ポイント多くなっている。

(11) 誰かと食事をとにもにする(共食)機会の有無

〔設問〕どなたかと食事をとにもにする機会がありますか。

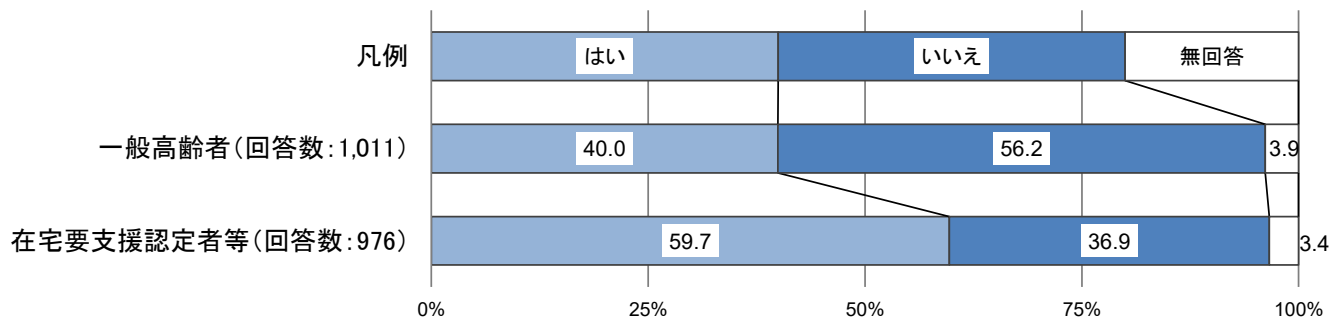


○いずれも「毎日ある」が最も多くなっているが、一般高齢者が 55.8%であるのに対し、在宅要支援認定者等は 40.4%で、一般高齢者を 15.4 ポイント下回っている。

4 毎日の生活について(問D)

(1) 物忘れが多いか

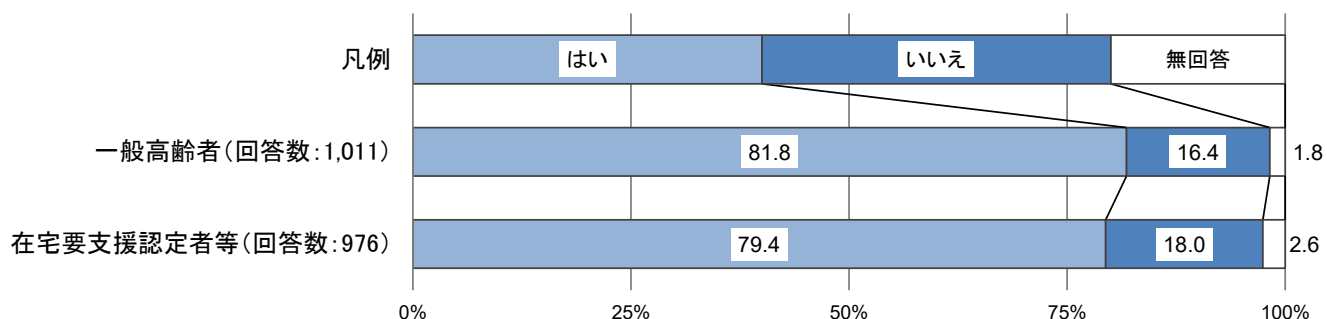
〔設問〕物忘れが多いと感じますか。



○一般高齢者では「はい」が40.0%であるのに対し、在宅要支援認定者等では「はい」が59.7%と、19.7ポイント多くなっている。

(2) 自分で番号を調べて電話をかけること

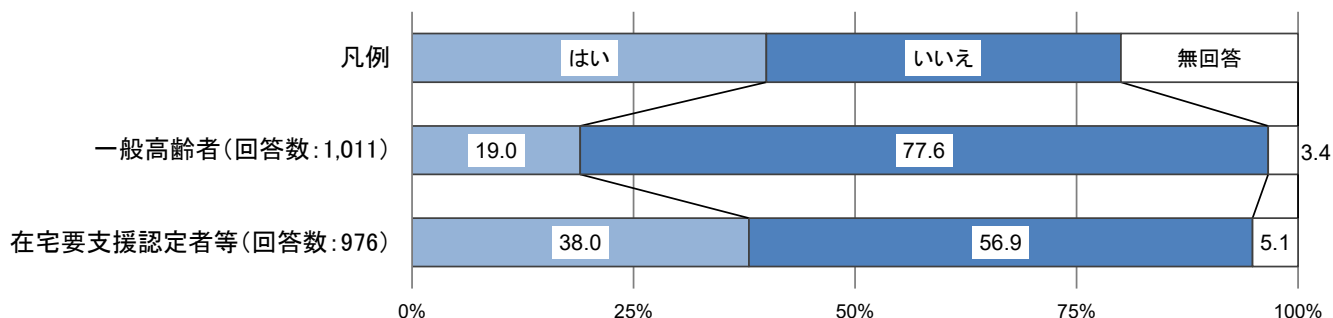
〔設問〕自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに、「はい」が8割前後で、差はほとんど見られない。

(3) 日付がわからないことの有無

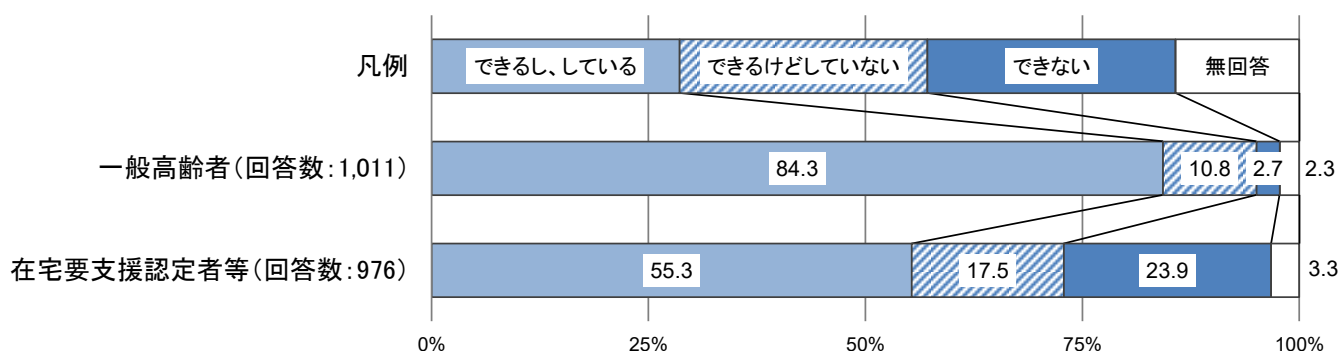
〔設問〕今日が何月何日かわからない時がありますか。



○一般高齢者で「はい」が19.0%であるのに対し、在宅要支援認定者等は38.0%で、一般高齢者を19ポイント上回っている。

(4) 一人での外出

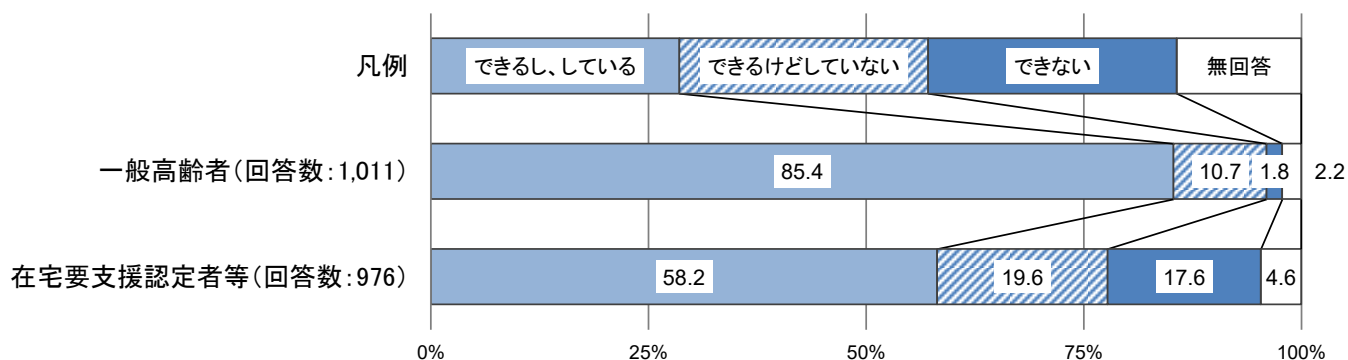
〔設問〕バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)



○「できるし、している」が一般高齢者で84.3%であるのに対し、在宅要支援認定者等では55.3%で一般高齢者を29ポイント下回っている。一方で、「できない」は在宅要支援認定者等が23.9%と一般高齢者の2.7%を大きく上回っている。

(5) 食品・日用品の買い物

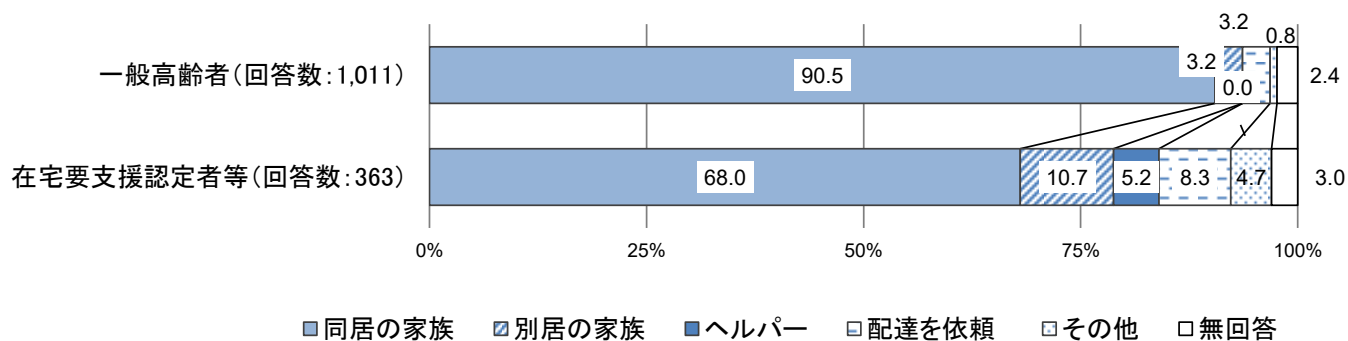
〔設問〕自分で食品・日用品の買い物をしていますか。



○「できるし、している」が一般高齢者で 85.4%であるのに対し、在宅要支援認定者等では 58.2%で、一般高齢者を 27.2 ポイント下回っている。一方で、「できない」は在宅要支援認定者等が 17.6%と一般高齢者の 1.8%を大きく上回っている。

(6) 食品・日用品の買い物をする人

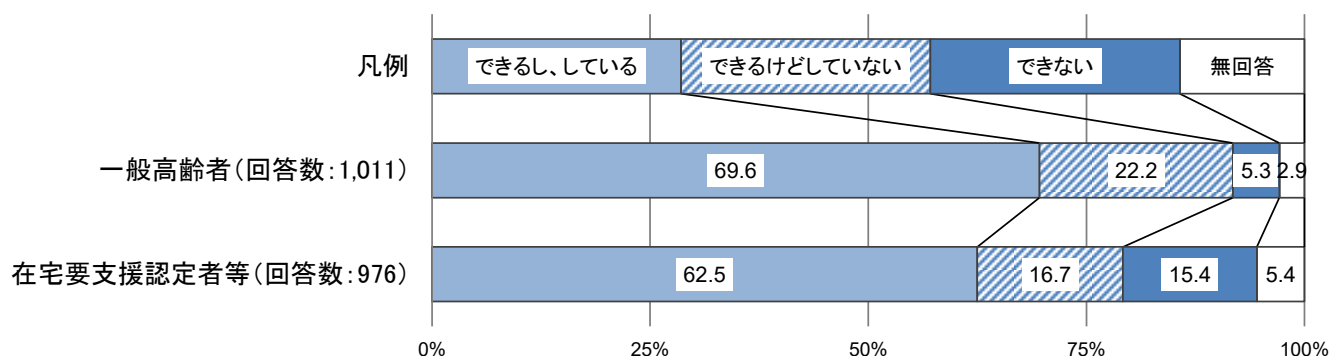
〔設問〕（食品・日用品の買い物を「できるけどしていない」、「できない」方のみ）
食品・日用品の買い物をする人は主にどなたですか。（○は1つ）



○いずれも「同居の家族」が最も多くなっているが、一般高齢者の 90.5%に対し、在宅要支援認定者等は 68.0%と、22.5 ポイントの差がある。一方、在宅要支援認定者等では、「別居の家族」、「ヘルパー」、「配達を依頼」などが増えている。

(7) 食事の用意

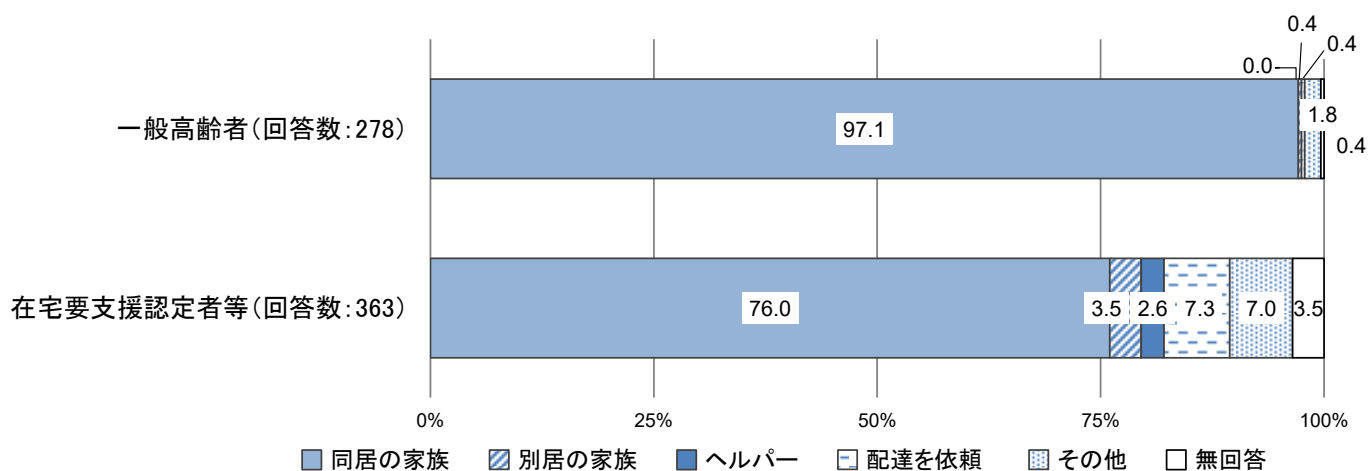
〔設問〕自分で食事の用意をしていますか。



○「できるし、している」がいずれも半数以上で多く、在宅要支援認定者等では「できない」が15.4%と一般高齢者の5.3%を10.1ポイント上回っている。

(8) 食事の用意をする人

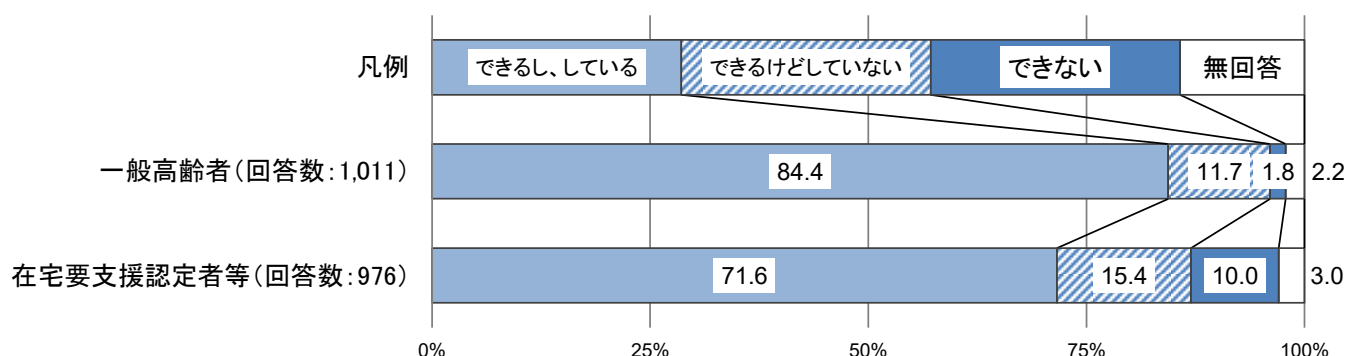
〔設問〕（食事の用意を「できるけどしていない」、「できない」方のみ）
食事の用意をする人は主にどなたですか。（○は1つ）



○いずれも「同居の家族」が最も多く、一般高齢者では97.1%、在宅要支援認定者等では76.0%となっている。また、在宅要支援認定者等では「配達を依頼」が7.3%と多くなっている。

(9) 請求書の支払いの状況

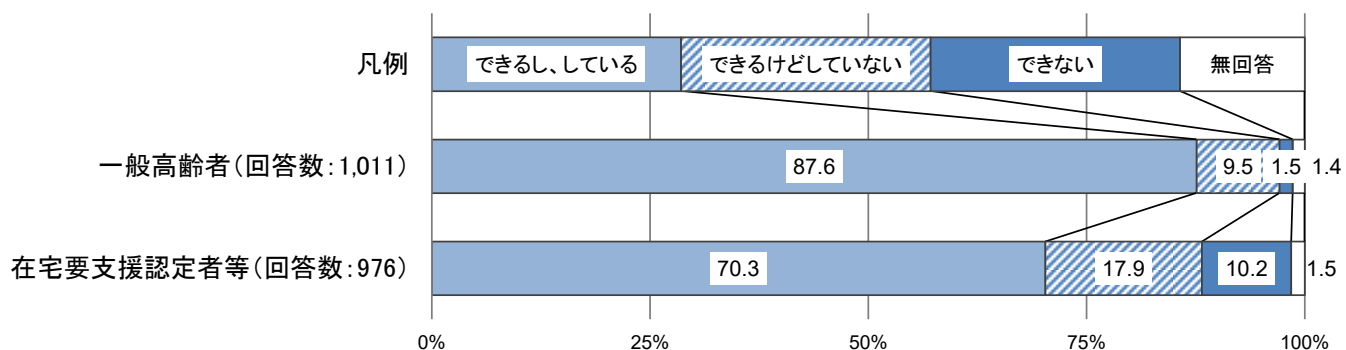
〔設問〕自分で請求書の支払いをしていますか。



○いずれも「できるし、している」が過半を占め、一般高齢者では 84.4%、在宅要支援認定者等で 71.6%となっている。一方、在宅要支援認定者等では「できない」が 10.0%と一般高齢者を大きく上回っている。

(10) 預貯金の出し入れの状況

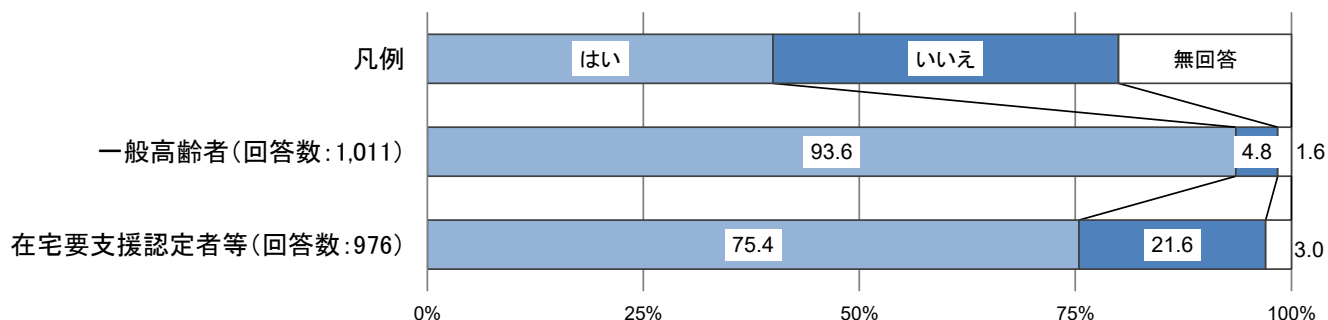
〔設問〕自分で預貯金の出し入れをしていますか。



○いずれも「できるし、している」が過半を占め、一般高齢者で 87.6%、在宅要支援認定者等で 70.3%となっている。一方、「できない」は在宅要支援認定者等で 10.2%と一般高齢者を大きく上回っている。

(11) 年金などの書類を書くことの可否

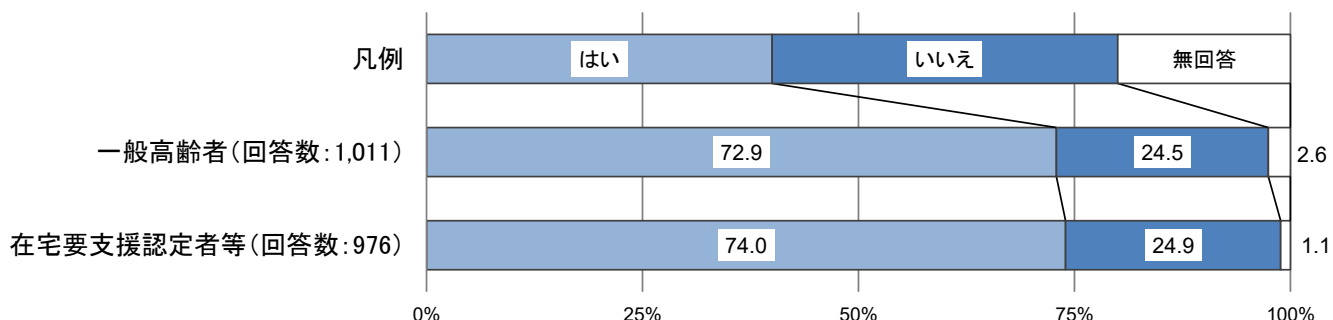
〔設問〕年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。



○「はい」が一般高齢者では93.6%、在宅要支援認定者等では75.4%と、いずれも大半を占めているが、「いいえ」は在宅要支援認定者等で21.6%と一般高齢者の4.8%を16.8ポイント上回っている。

(12) 新聞を読むこと

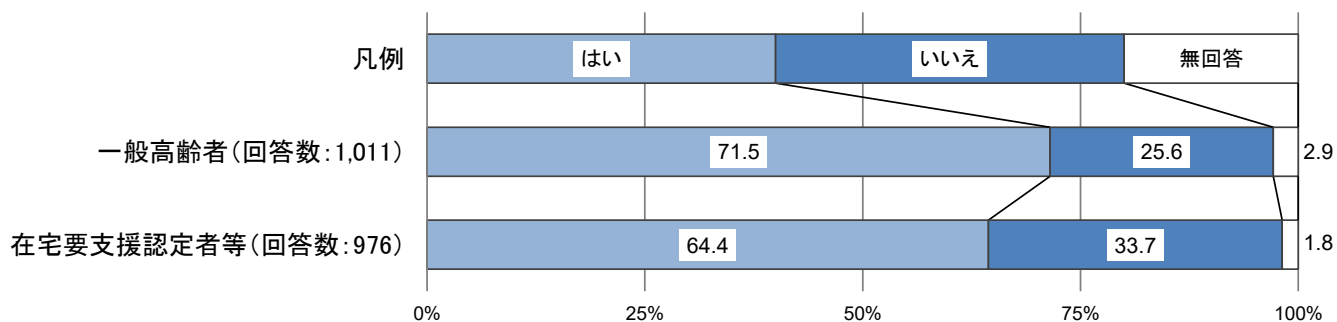
〔設問〕新聞を読んでいますか。



○「はい」が一般高齢者では72.9%、在宅要支援認定者等では74.0%と過半を占めており、回答にそれほど差異はない。「いいえ」の割合についても、それほど差異はみられない。

(13) 本や雑誌を読むこと

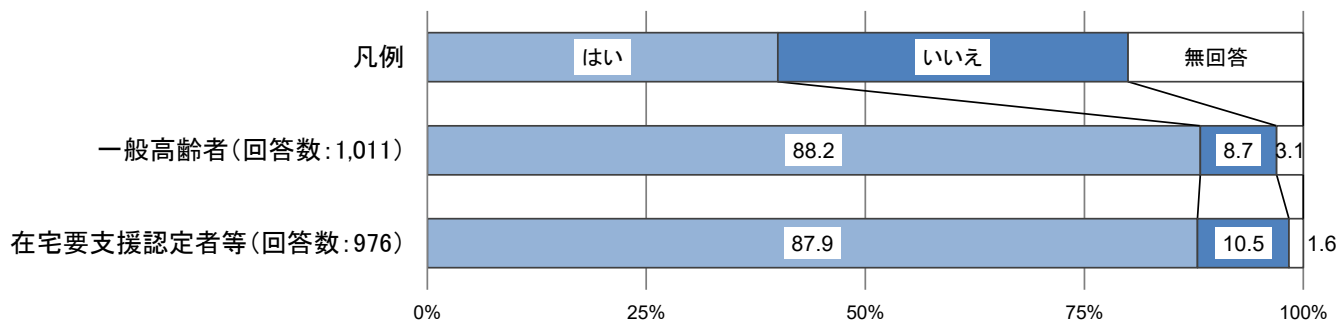
〔設問〕本や雑誌を読んでいますか。



○「はい」が一般高齢者では71.5%、在宅要支援認定者等では64.4%で、7.1ポイントの差がみられる。

(14) 健康についての記事や番組への関心の有無

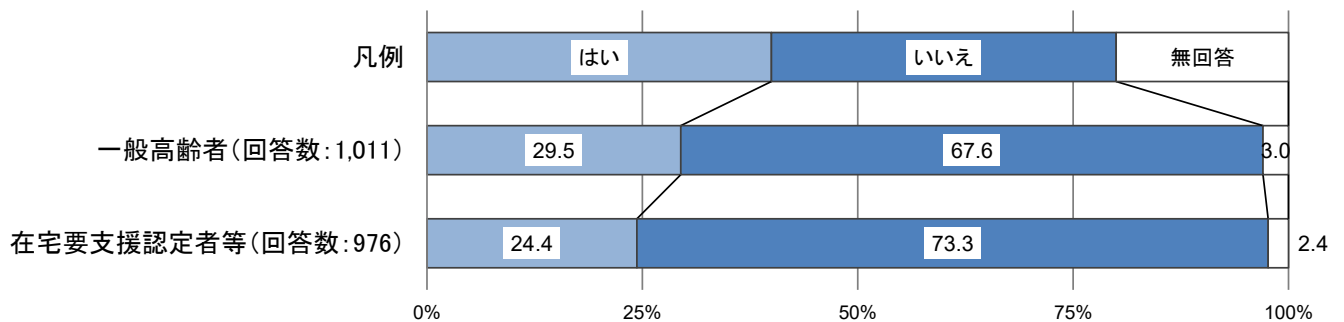
〔設問〕健康についての記事や番組に関心がありますか。



○「はい」が一般高齢者で88.2%、在宅要支援認定者等で87.9%と、いずれも大半を占め、差はみられない。

(15) 友人宅への訪問の有無

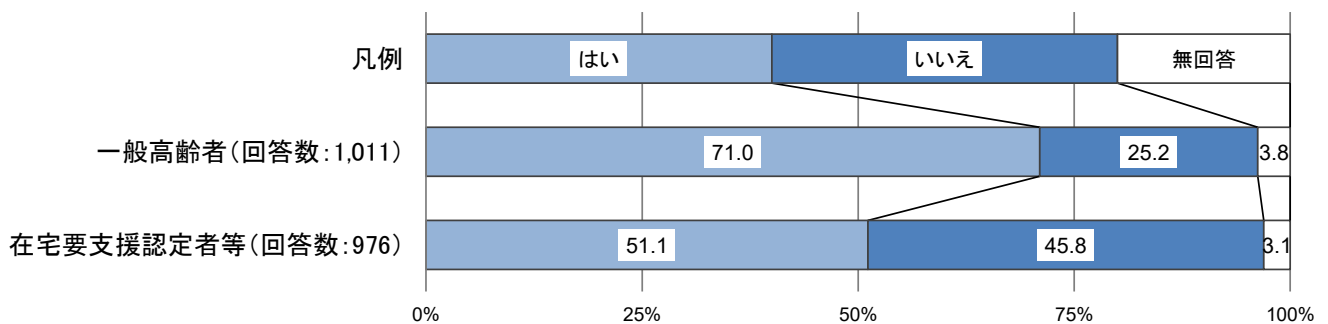
〔設問〕 友人の家を訪ねていますか。



○いずれも「いいえ」が半数以上を占め、一般高齢者の67.6%に対し、在宅要支援認定者等では73.3%と、5.7ポイントの差がみられる。

(16) 家族や友人の相談にのることの有無

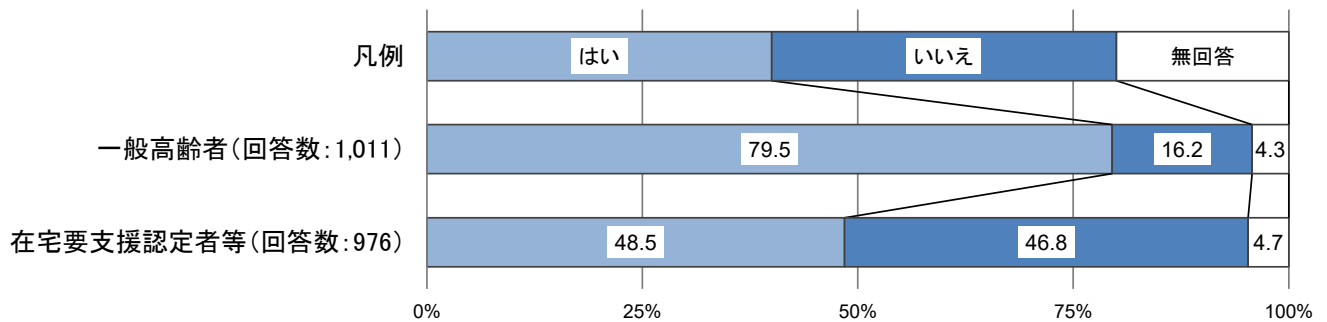
〔設問〕 家族や友人の相談にのっていますか。



○「はい」が一般高齢者の71.0%に対し、在宅要支援認定者等は51.1%と、19.9ポイントの差がみられる。

(17) 病人の見舞いの可否

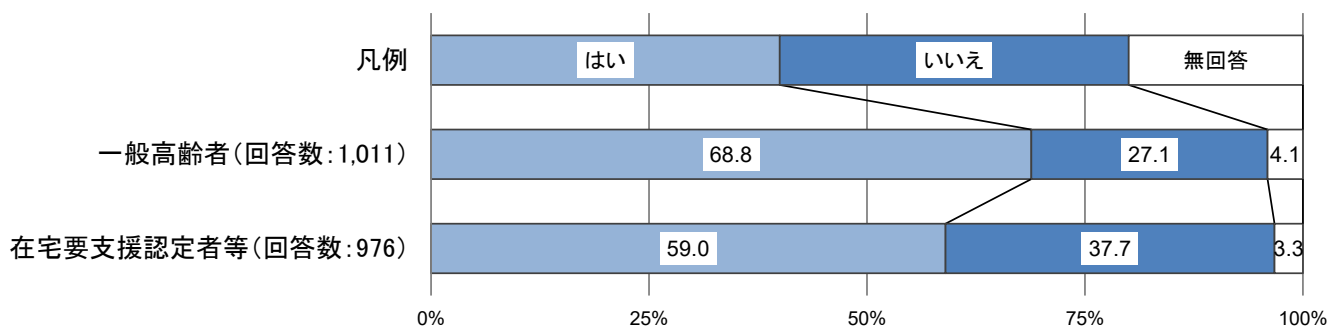
〔設問〕 病人を見舞うことができますか。



○「はい」が一般高齢者の 79.5%に対し、在宅要支援認定者等は 48.5%で、31 ポイントの差がみられる。

(18) 若い人に話しかけることの有無

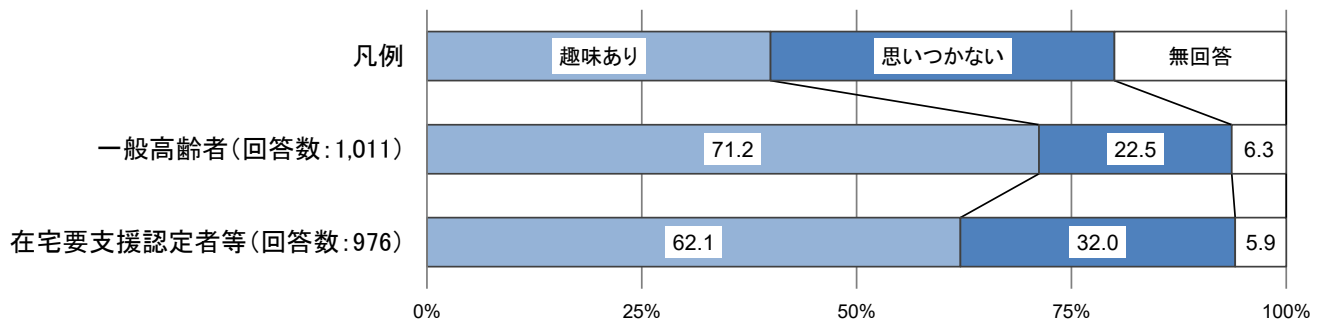
〔設問〕 若い人に自分から話しかけることがありますか。



○いずれも「はい」が半数以上を占め、一般高齢者では 68.8%、在宅要支援認定者等では 59.0%となっている。一方、「いいえ」は在宅要支援認定者等が 37.7%と、一般高齢者を上回っている。

(19) 趣味の有無

〔設問〕 趣味はありますか。



○「趣味あり」が一般高齢者では71.2%、在宅要支援認定者等では62.1%で、一般高齢者が在宅要支援認定者等を9.1ポイント上回っている。

【趣味の記述内容(主なもの)】

<一般高齢者>

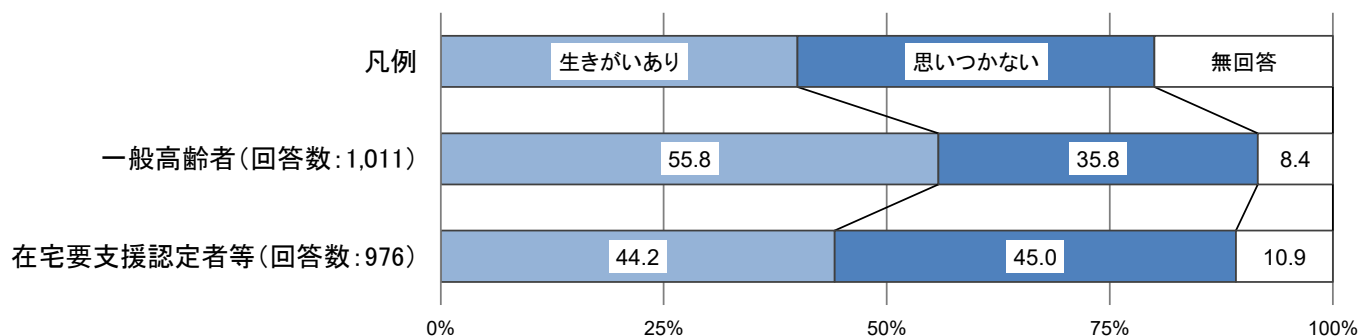
手芸／囲碁・将棋・麻雀／園芸／運動・スポーツ／歌(合唱・カラオケ含む)／音楽鑑賞／映画鑑賞／絵画／ダンス・踊り／釣り／読書／ドライブ／旅行／スマホ・パソコン／書道／楽器演奏等

<在宅要支援認定者等>

園芸／手芸／読書／テレビ／音楽鑑賞・映画鑑賞／運動・スポーツ／歌(合唱・カラオケ含む)／囲碁・将棋・麻雀／スマホ・パソコン／ゲーム・パズル／旅行／俳句・短歌等

(20) 生きがいの有無

〔設問〕生きがいはありますか。



○「生きがいあり」が一般高齢者では55.8%、在宅要支援認定者等では44.2%で、一般高齢者が在宅要支援認定者等を上回っている。また、在宅要支援認定者等では「思いつかない」が45.0%で、「生きがいあり」と同等程度となっている。

【生きがいの記述内容(主なもの)】

<一般高齢者>

子や孫の成長・世話 / 健康でいること / 旅行 / 食事・外食 / ペット / 家族 / 友人 / 仕事 / 趣味 / 会話・人との関わり / 運動・スポーツ / 学習・文化活動・ボランティア等

<在宅要支援認定者等>

子や孫の成長 / 健康でいること / 趣味 / 家族 / 旅行 / ペット / 友人 / 会話・人との関わり / 食事 / 日々の生活 / 仕事 / 運動・スポーツ等

5 地域での活動について(問E)

(1) 会・グループ等への参加頻度

〔設問〕 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(個人の活動も含みます)。
(1)～(10)について、あてはまる欄に○をつけてください。

【一般高齢者】(回答数:1,011)

上段:回答数 下段:割合(%)	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に数回	参加して いない	無回答
(1)ボランティア	10 1.0	18 1.8	18 1.8	36 3.6	39 3.9	662 65.5	228 22.6
(2)スポーツ関係	47 4.6	62 6.1	60 5.9	50 4.9	30 3.0	553 54.7	209 20.7
(3)趣味関係	36 3.6	52 5.1	45 4.5	99 9.8	67 6.6	520 51.4	192 19.0
(4)学習・教養サークル	3 0.3	10 1.0	15 1.5	32 3.2	32 3.2	673 66.6	246 24.3
(5)てんとうむし体操(転倒予防体操)	3 0.3	6 0.6	13 1.3	12 1.2	7 0.7	726 71.8	244 24.1
(6)地域サロン(地域テラス)	3 0.3	0 0.0	1 0.1	5 0.5	15 1.5	726 71.8	261 25.8
(7)高齢者のつどい	3 0.3	3 0.3	4 0.4	7 0.7	26 2.6	723 71.5	245 24.2
(8)老人クラブ	3 0.3	3 0.3	1 0.1	5 0.5	16 1.6	733 72.5	250 24.7
(9)町内会・自治会	6 0.6	5 0.5	5 0.5	30 3.0	131 13.0	600 59.3	234 23.1
(10)収入のある仕事	117 11.6	74 7.3	20 2.0	12 1.2	9 0.9	558 55.2	221 21.9

○いずれも「参加していない」割合が最も多い。回数を限定せずに全体として参加が多いのは、「(3)趣味関係」が合わせて29.6%、次いで「(2)スポーツ関係」が24.5%、「(10)収入のある仕事」が23.0%、「(9)町内会・自治会」が17.6%、「(1)ボランティア」が12.1%、「(4)学習・教養サークル」が9.2%などとなっている。「(3)趣味関係」についてみると、「月1～3回」が9.8%で最も多く、次いで「年に数回」が6.6%、「週2～3回」が5.1%などとなっている。

【在宅要支援認定者等】(回答数:976)

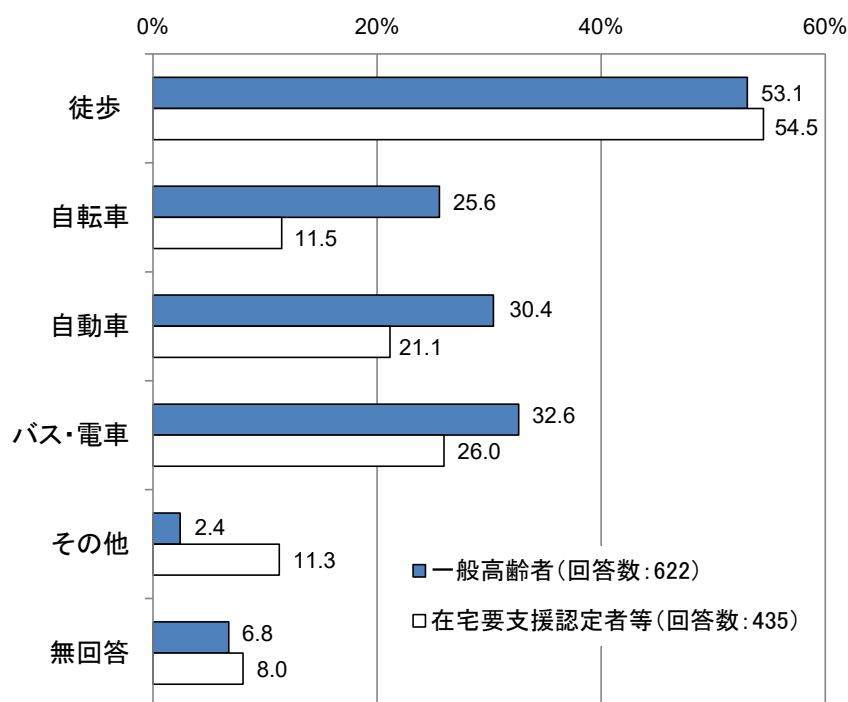
上段:回答数 下段:割合(%)	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に数回	参加して いない	無回答
(1)ボランティア	3 0.3	2 0.2	10 1.0	9 0.9	29 3.0	613 62.8	310 31.8
(2)スポーツ関係	14 1.4	39 4.0	34 3.5	17 1.7	7 0.7	584 59.8	281 28.8
(3)趣味関係	15 1.5	50 5.1	27 2.8	59 6.0	26 2.7	541 55.4	258 26.4
(4)学習・教養サークル	3 0.3	4 0.4	20 2.0	36 3.7	15 1.5	596 61.1	302 30.9
(5)てんとうむし体操(転倒予防体操)	13 1.3	22 2.3	29 3.0	22 2.3	5 0.5	605 62.0	280 28.7
(6)地域サロン(地域テラス)	2 0.2	5 0.5	5 0.5	9 0.9	21 2.2	620 63.5	314 32.2
(7)高齢者のつどい	9 0.9	21 2.2	20 2.0	25 2.6	27 2.8	593 60.8	281 28.8
(8)老人クラブ	7 0.7	6 0.6	2 0.2	10 1.0	22 2.3	623 63.8	306 31.4
(9)町内会・自治会	3 0.3	2 0.2	2 0.2	15 1.5	57 5.8	601 61.6	296 30.3
(10)収入のある仕事	11 1.1	6 0.6	0 0.0	5 0.5	7 0.7	634 65.0	313 32.1

○いずれも「参加していない」が最も多い。回数を限定せずに全体として参加が多いのは、「(3)趣味関係」が合わせて18.1%、次いで「(2)スポーツ関係」が11.3%、「(7)高齢者のつどい」が10.5%、「(5)てんとうむし体操(転倒予防体操)」が9.4%、「(9)町内会・自治会」が8.0%などとなっている。「(3)趣味関係」についてみると、「月1～3回」が6.0%で最も多く、次いで「週2～3回」が5.1%、「週1回」が2.8%、「年に数回」が2.7%などとなっている。

(2) 活動場所までの交通手段

〔設問〕（地域での活動に参加している方のみ）

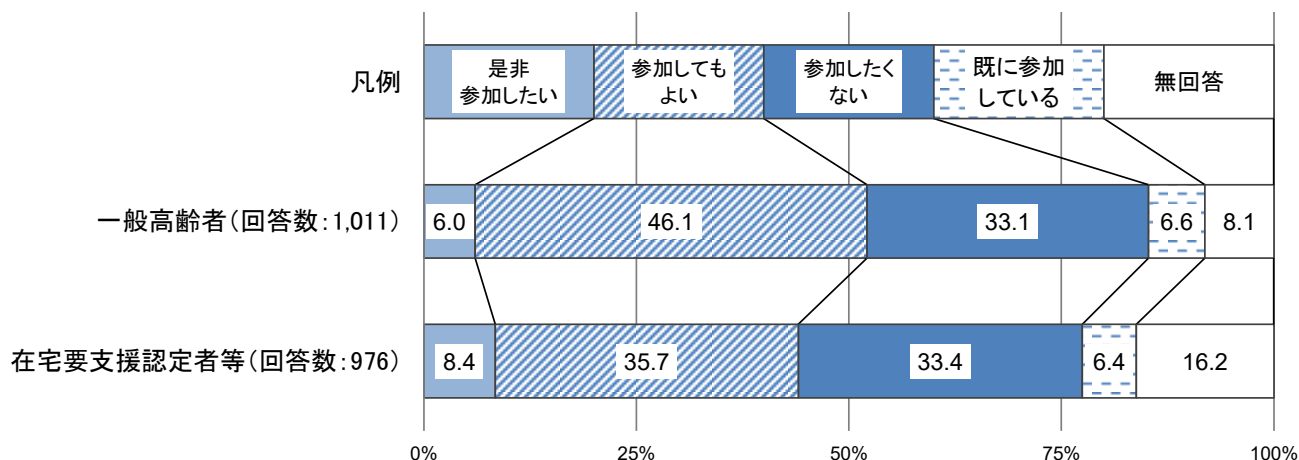
活動場所までの交通手段をお教えてください。（○はいくつでも）



○いずれも「徒歩」がほぼ半数を占め、次いで「バス・電車」が多くなっている。「自転車」が一般高齢者で 25.6% であるのに対し、在宅要支援認定者等では 11.5% と一般高齢者を大きく下回っている。

(3) 健康づくり活動、グループ活動に参加者として参加する意思

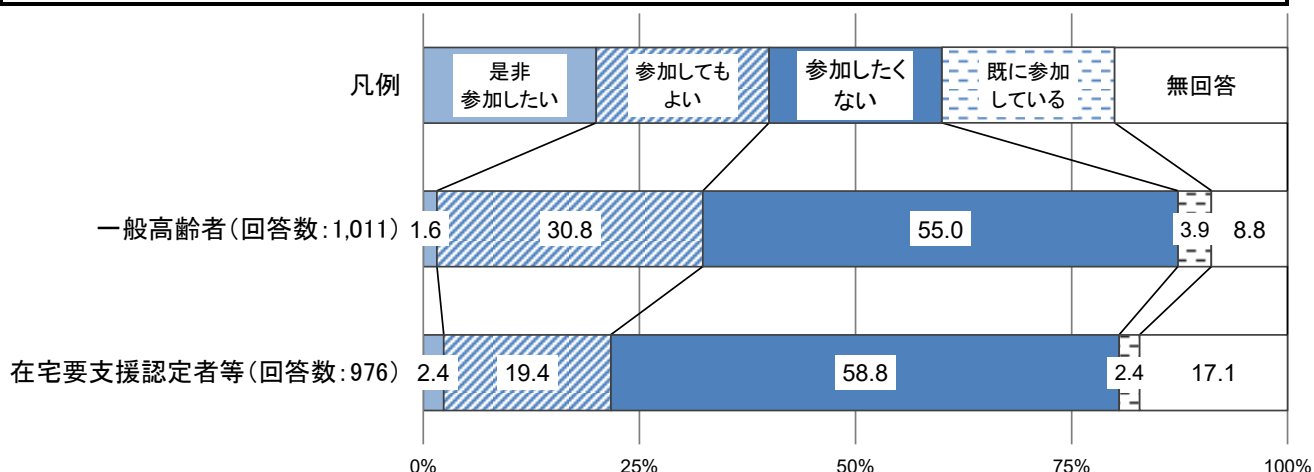
〔設問〕地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



○「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると、一般高齢者では 52.1%、在宅要支援認定者等では 44.1% が参加の意向を示している。これに対し、「参加したくない」は、一般高齢者の 33.1% に対し、在宅要支援認定者等では 33.4% となっている。

(4) 健康づくり活動、グループ活動に企画・運営者として参加する意思

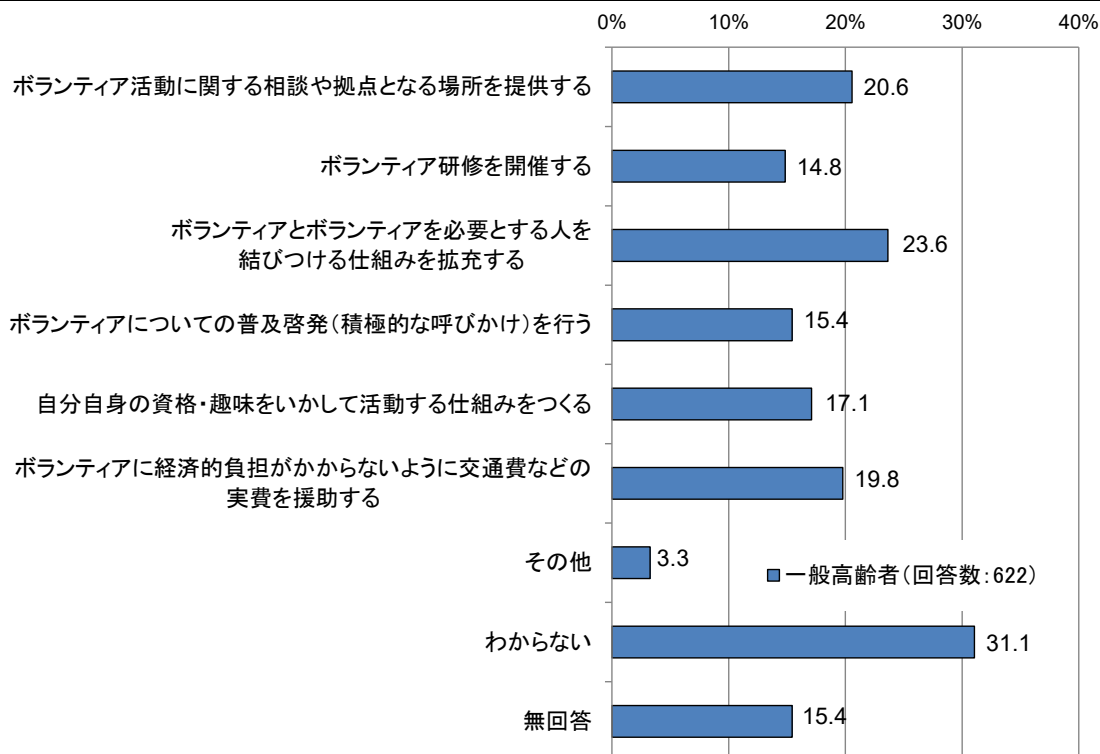
〔設問〕地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも「参加したくない」が最も多く、それぞれ55.0%、58.8%、次いで「参加してもよい」がそれぞれ30.8%、19.4%、「既に参加している」がそれぞれ3.9%、2.4%などとなっている。

(5) ボランティア活動の輪を広げていくために必要なこと

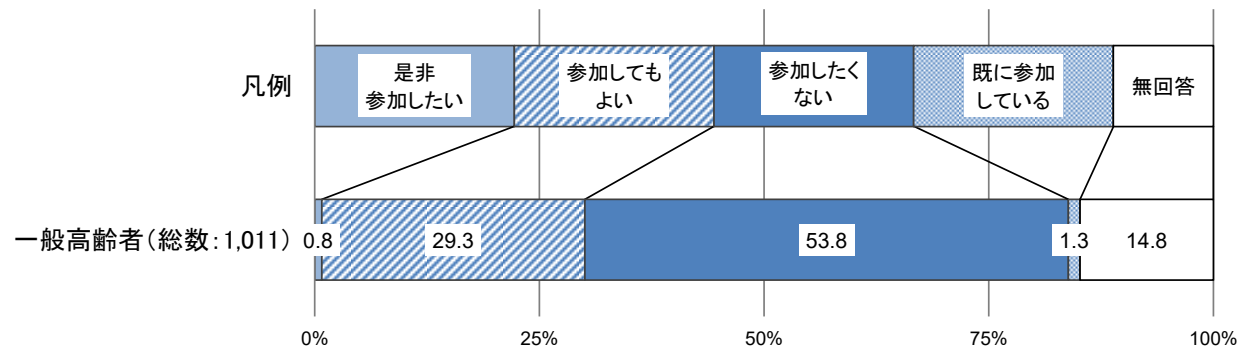
〔設問〕今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）



○「わからない」が31.1%で最も多く、次いで「ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する」が23.6%、「ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する」が20.6%などとなっている。

(6) 地域のボランティア活動に支援者として参加する意思

〔設問〕 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、あなたはその活動に支援者として参加してみたいと思いますか。

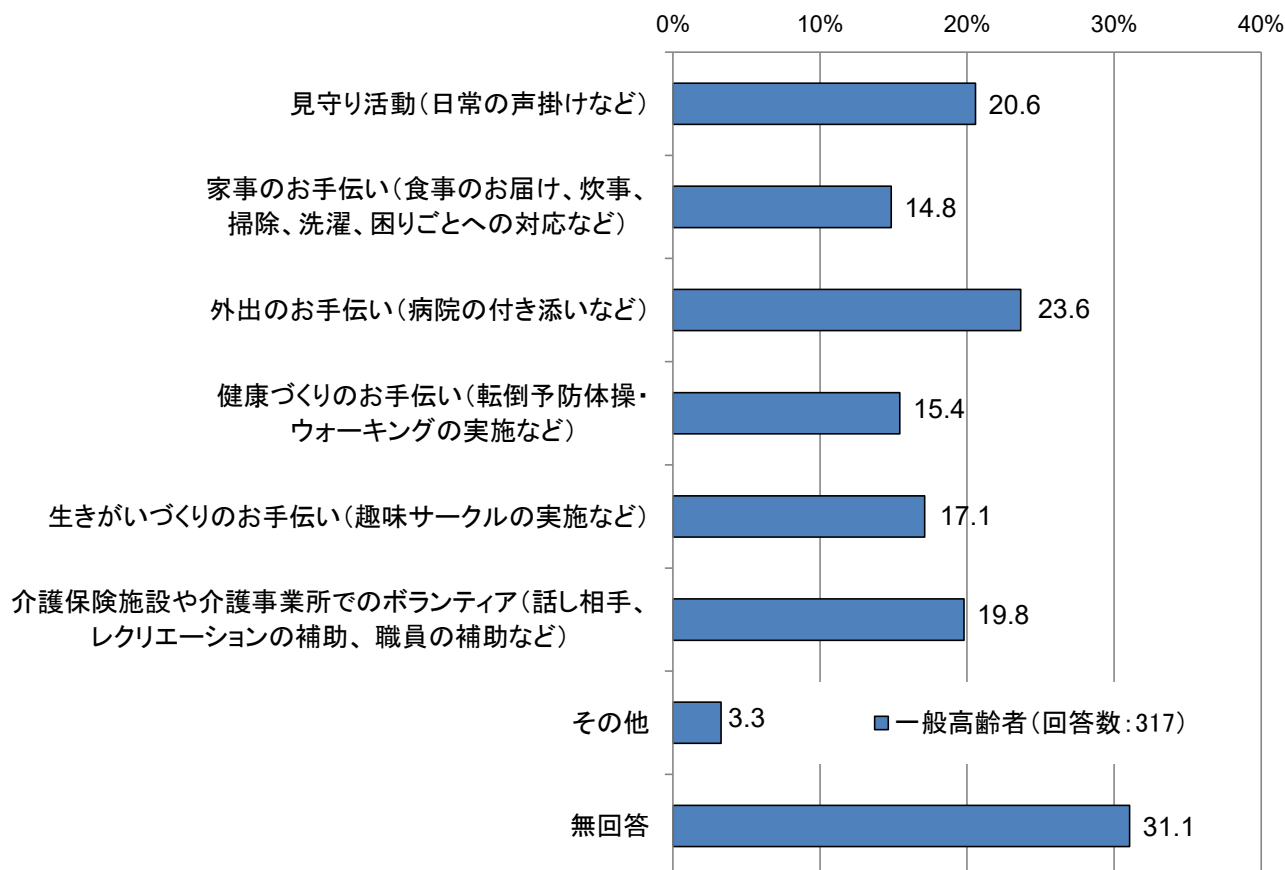


○「参加したくない」が53.8%で最も多く、次いで「参加してもよい」が29.3%、「既に参加している」が1.3%などとなっている。

(7) 支援者として参加したい地域のボランティア活動

[設問] (ボランティア活動に「是非参加したい」、「参加してもよい」、「既に参加している」方のみ)

支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動では、支援者としてどの活動に参加したいですか。また、どの活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



○無回答を除き、「外出のお手伝い(病院の付き添いなど)」が 23.6%で最も多く、次いで「見守り活動(日常の声掛けなど)」が 20.6%、「介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーションの補助、職員の補助など)」が 19.8%、「生きがいづくりのお手伝い(趣味サークルの実施など)」が 17.1%などとなっている。

6 「たすけあい」について(問F)

(1) 「たすけあい」の状況

【設問】あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。以下に挙げる人についてあてはまる欄に○印をつけてください。(それぞれ○はいくつでも)「その他」の場合は欄に具体的にご記入ください。

【一般高齢者】

上段:回答数 下段:割合(%)	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	戚・親・孫 兄弟姉妹・親	近隣(同じ地域の人)	友人	その他	はいない そのような人	無回答
(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	1,011 100.0	522 51.6	155 15.3	306 30.3	218 21.6	92 9.1	356 35.2	22 2.2	60 5.9	60 5.9
(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	1,011 100.0	452 44.7	114 11.3	244 24.1	206 20.4	94 9.3	352 34.8	18 1.8	93 9.2	102 10.1
(3)病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1,011 100.0	582 57.6	196 19.4	243 24.0	71 7.0	21 2.1	34 3.4	13 1.3	101 10.0	70 6.9
(4)反対に、看病や世話をしてあげる人	1,011 100.0	551 54.5	147 14.5	188 18.6	122 12.1	41 4.1	61 6.0	16 1.6	170 16.8	105 10.4

○いずれの項も「配偶者」が最も多くなっている。次いで「(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」「(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人」では、「友人」が、「(3)病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」「(4)反対に、看病や世話をしてあげる人」では「別居の子ども」が多くなっている。

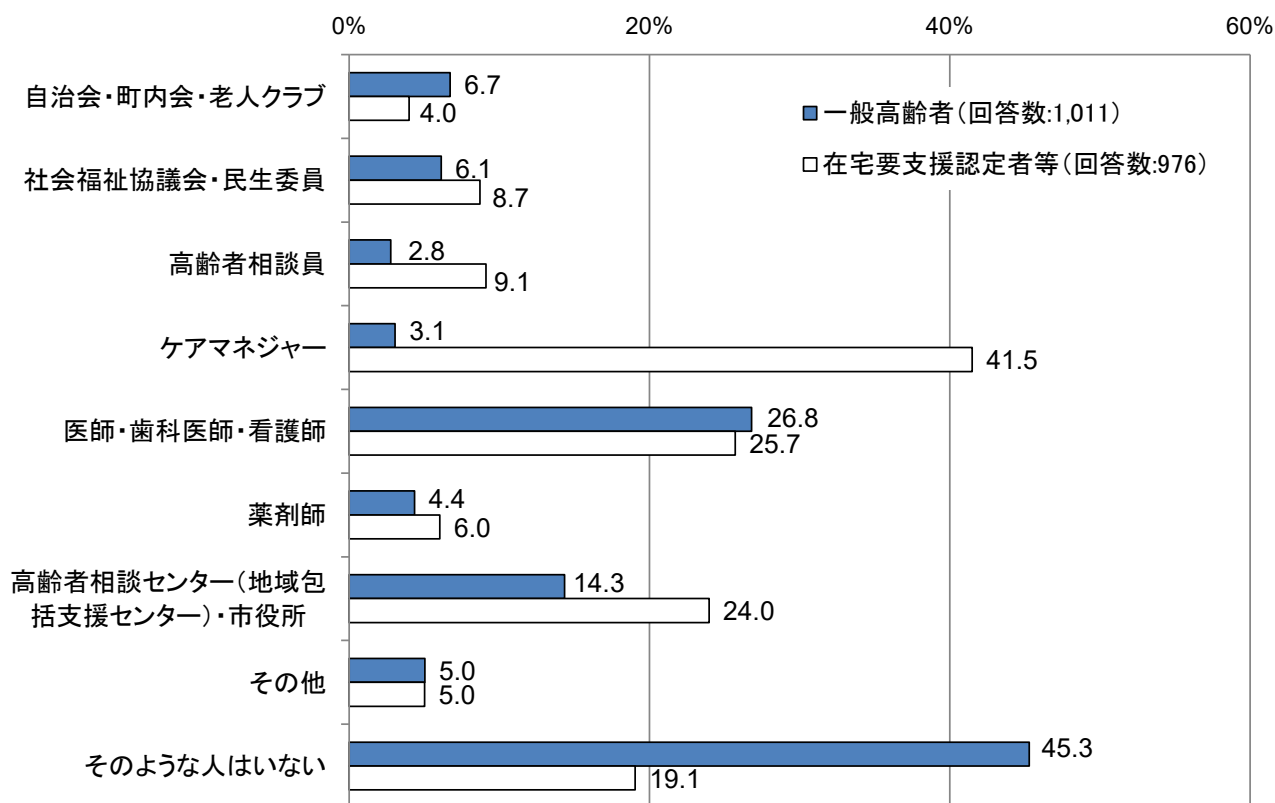
【在宅要支援認定者等】

上段:回答数 下段:割合(%)	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	戚・親・孫 兄弟姉妹・親	近隣(同じ地域の人)	友人	その他	はいない そのような人	無回答
(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	976 100.0	277 28.4	167 17.1	325 33.3	165 16.9	99 10.1	280 28.7	26 2.7	64 6.6	92 9.4
(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	976 100.0	209 21.4	107 11.0	190 19.5	141 14.4	111 11.4	270 27.7	16 1.6	139 14.2	170 17.4
(3)病気で数日間寝込んだとき看病や病気の世話をしてくれる人	976 100.0	291 29.8	201 20.6	305 31.3	50 5.1	19 1.9	36 3.7	31 3.2	119 12.2	113 11.6
(4)反対に看病や世話をしてあげる人	976 100.0	268 27.5	97 9.9	75 7.7	44 4.5	25 2.6	29 3.0	41 4.2	312 32.0	208 21.3

○「(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」「(3)病気で数日間寝込んだとき看病や病気の世話をしてくれる人」では「別居の子ども」、「(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人」では「友人」、「(4)反対に看病や世話をしてあげる人」では「そのような人はいない」が最も多くなっている。次いで「(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人」「(3)病気で数日間寝込んだとき看病や病気の世話をしてくれる人」「(4)反対に看病や世話をしてあげる人」では「配偶者」、「(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」では「友人」が多くなっている。

(2) 相談相手について

[設問] 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(○はいくつでも)

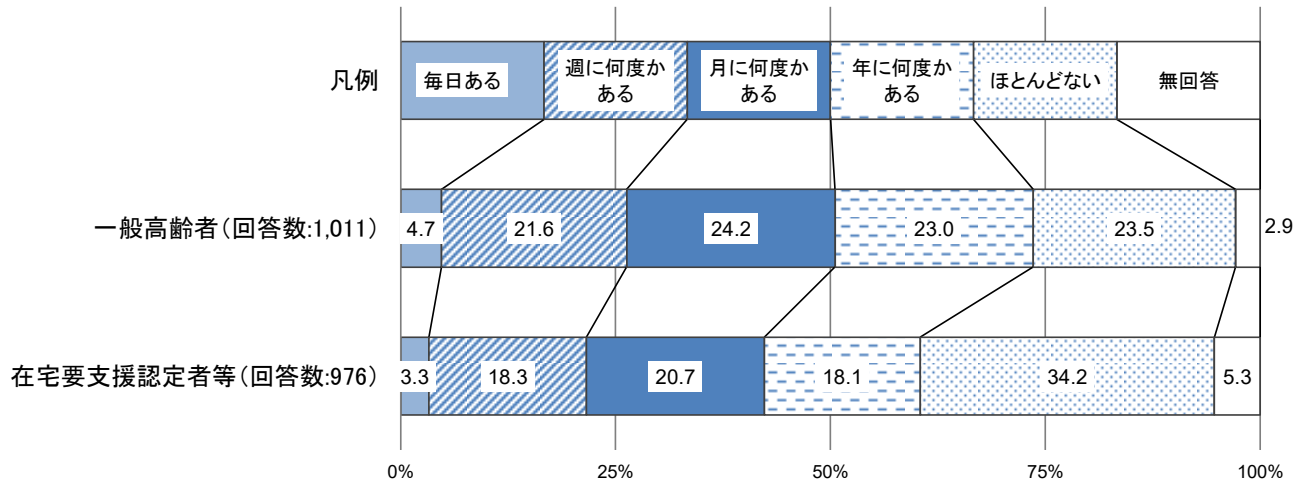


○一般高齢者では「そのような人はいない」が 45.3%、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が 26.8%、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)・市役所」が 14.3%などとなっている。在宅要支援認定者等では「ケアマネジャー」が 41.5%で最も多く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が 25.7%、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)・市役所」が 24.0%などとなっている。

(3) 友人関係について

【1 会う頻度】

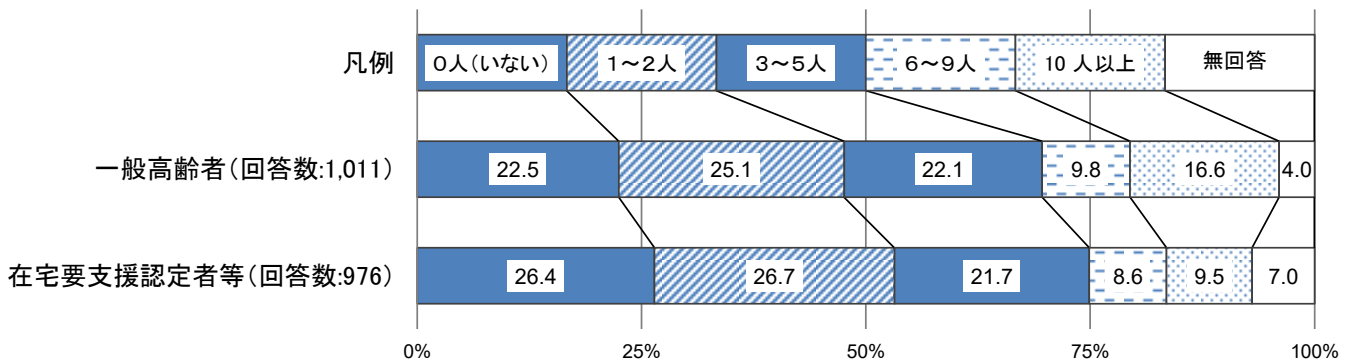
〔設問〕友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。



○一般高齢者では「月に何度かある」が24.2%で最も多く、次いで「ほとんどない」が23.5%、「年に何度かある」が23.0%などとなっている。在宅要支援認定者等では「ほとんどない」が34.2%で最も多く、次いで「月に何度かある」が20.7%、「週に何度かある」が18.3%、「年に何度かある」が18.1%などとなっている。

【2 この1か月間に会った人数】

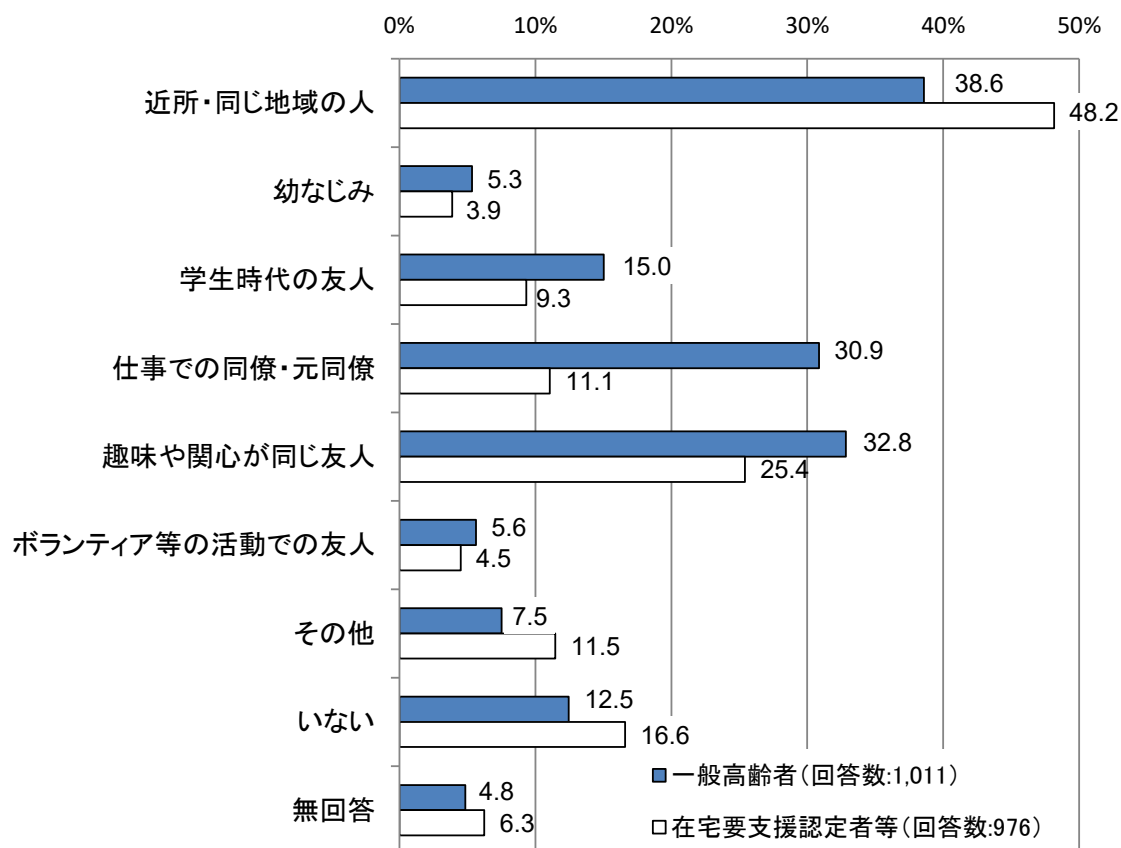
〔設問〕この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「1~2人」がそれぞれ25.1%、26.7%で最も多く、次いで「0人(いない)」が22.5%、26.4%、「3~5人」が22.1%、21.7%などとなっている。一般高齢者では「10人以上」が16.6%と在宅要支援認定者等の9.5%を7.1ポイント上回っている。

【3 よく会う友人・知人】

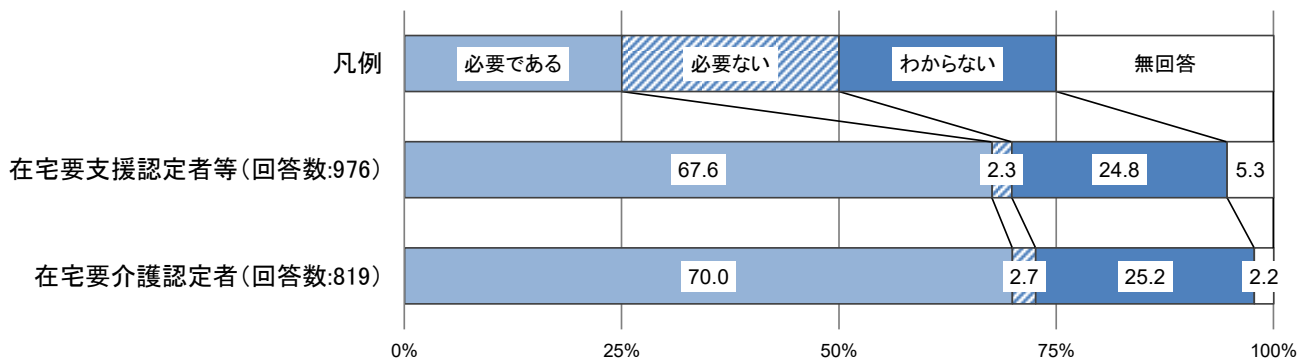
〔設問〕よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「近所・同じ地域の人」がそれぞれ 38.6%、48.2%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 32.8%、25.4%などとなっている。一般高齢者では「仕事での同僚・元同僚」が 30.9%と在宅要支援認定者等の 11.1%を 19.8 ポイント上回っている。

(4) 隣近所や地域で高齢者を支えることの必要性〔地域交流・ボランティアについて（在宅要支援認定者等では問 H、在宅要介護認定者調査では問 B）〕

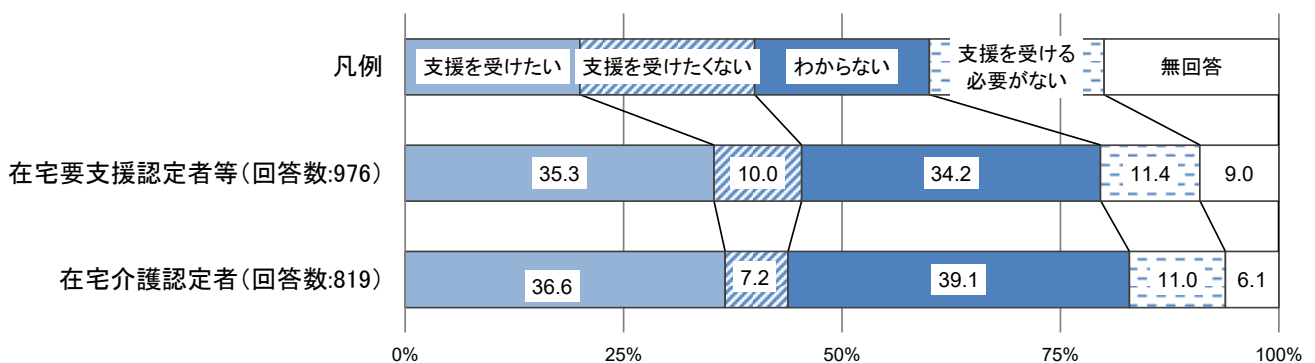
〔設問〕独居世帯や高齢者世帯が近年増えていますが、隣近所や地域で高齢者を支えることが必要だと思いますか。



○「必要である」が在宅要支援認定者等で 67.6%、在宅要介護認定者で 70.0%となっている。

(5) 地域のボランティア活動による支援を受ける意思〔地域交流・ボランティアについて（在宅要支援認定者等では問 H、在宅要介護認定者調査では問 B）〕

〔設問〕高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、支援を受けてみたいと思いますか。

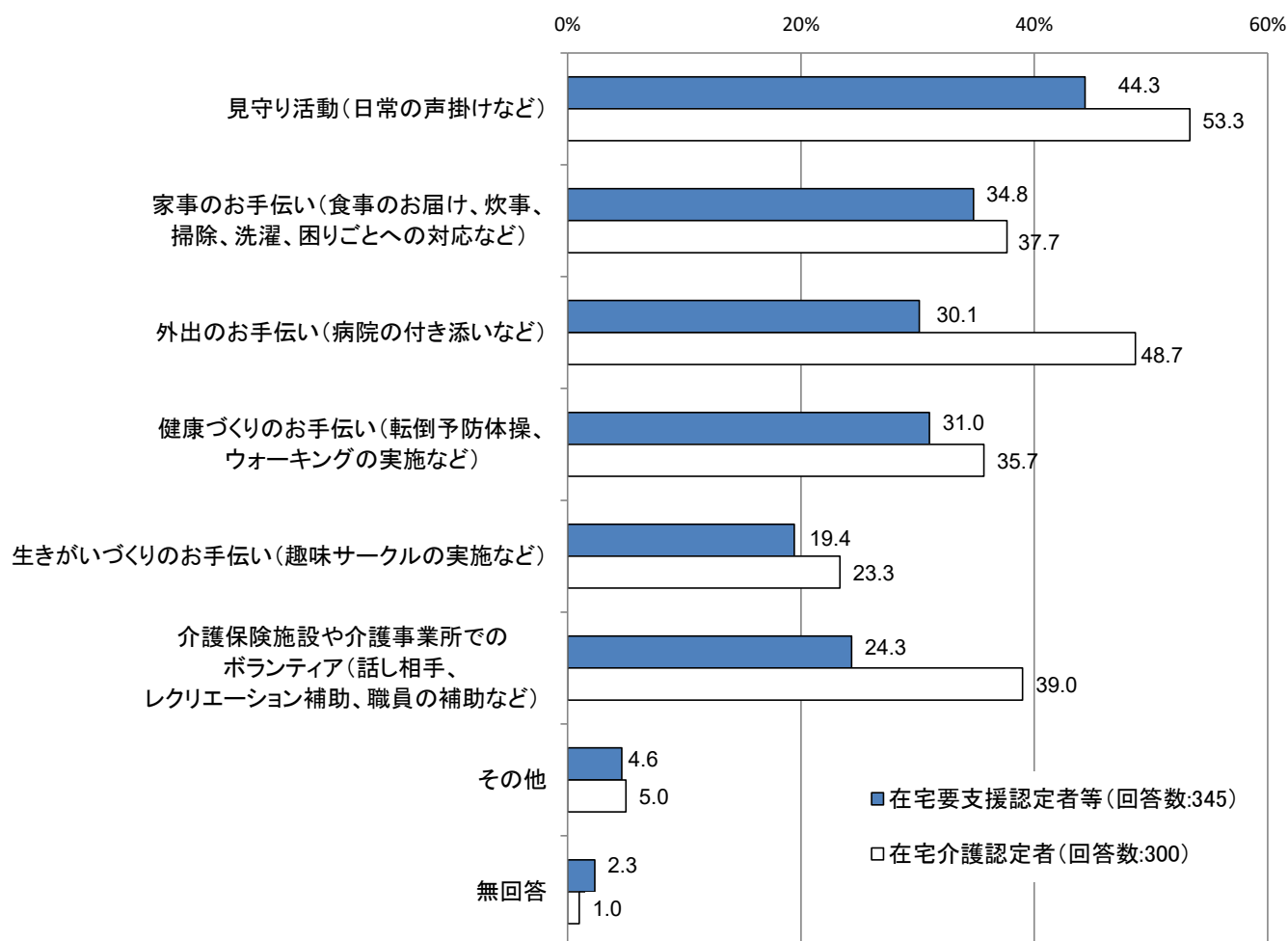


○在宅要支援認定者等では「支援を受けたい」が 35.3%、在宅要介護認定者では「わからない」が 39.1%でそれぞれ最も多くなっている。次いで在宅要支援認定者等では「わからない」が 34.2%、在宅要介護認定者では「支援を受けたい」が 36.6%となっている。

(6) 利用したい支援〔地域交流・ボランティアについて〕

(在宅要支援認定者等調査では問H、在宅要介護認定者調査では問B)

〔設問〕 高齢者を支える地域のボランティア活動で、どの支援を利用したいですか。(〇はいくつでも)

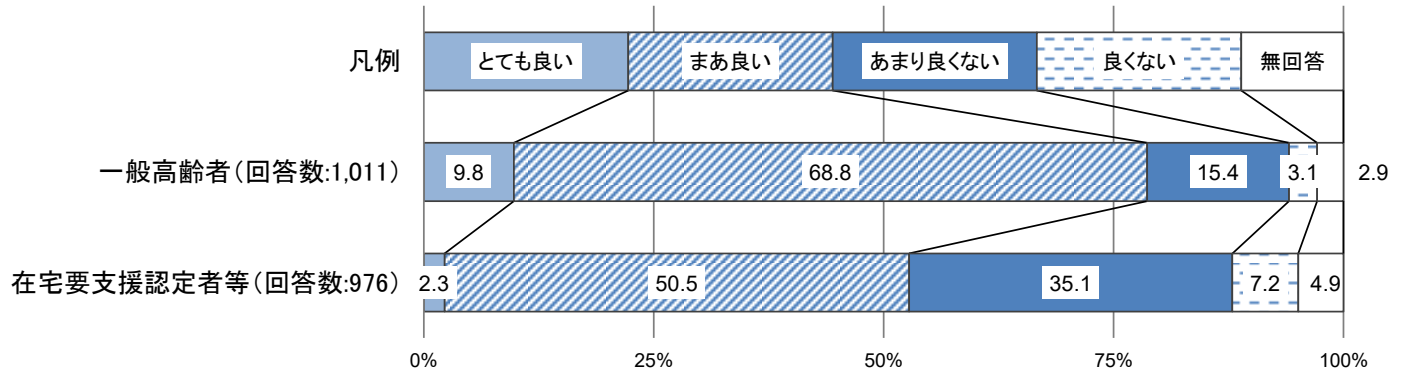


○在宅要支援認定者等では「見守り活動(日常の声掛けなど)」が44.3%で最も多く、次いで「家事のお手伝い(食事のお届け、炊事、掃除、洗濯、困りごとへの対応など)」が34.8%、「健康づくりのお手伝い(転倒予防体操、ウォーキングの実施など)」が31.0%などとなっている。在宅要介護認定者では「見守り活動(日常の声掛けなど)」が53.3%で最も多く、次いで「外出のお手伝い(病院の付き添いなど)」が48.7%、「介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーション補助、職員の補助など)」が39.0%などとなっている。

7 健康について(問G)

(1) 健康状態

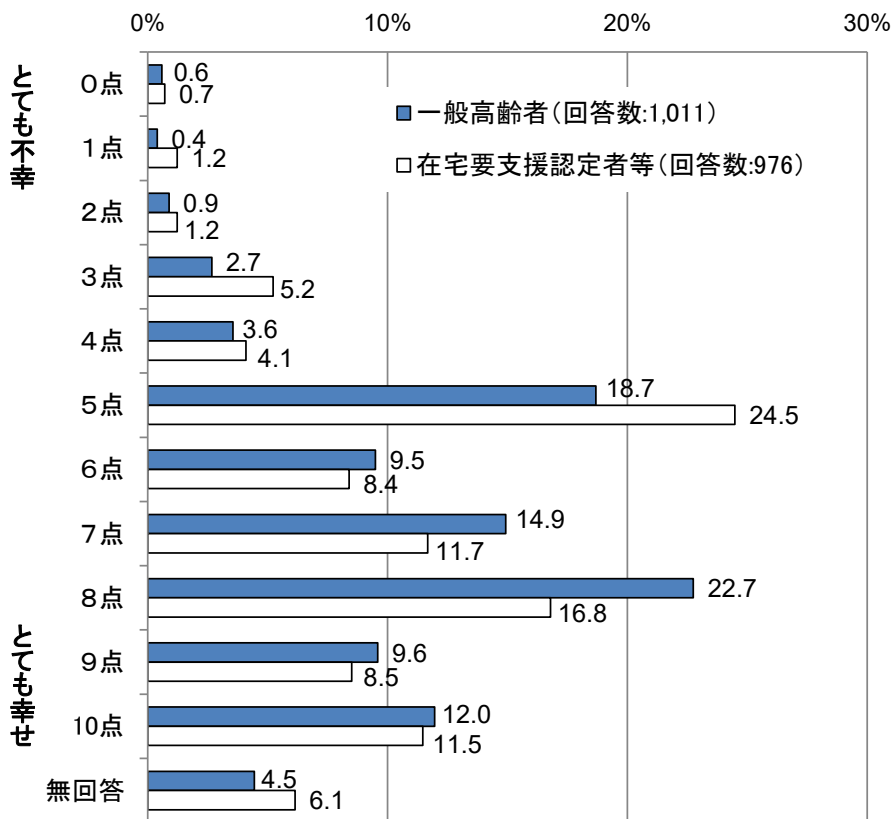
〔設問〕現在のあなたの健康状態はいかがですか。



○「とても良い」「まあ良い」を合わせると、一般高齢者では78.6%、在宅要支援認定者等では52.8%と25.8ポイントの差がある。

(2) 現在の幸福度

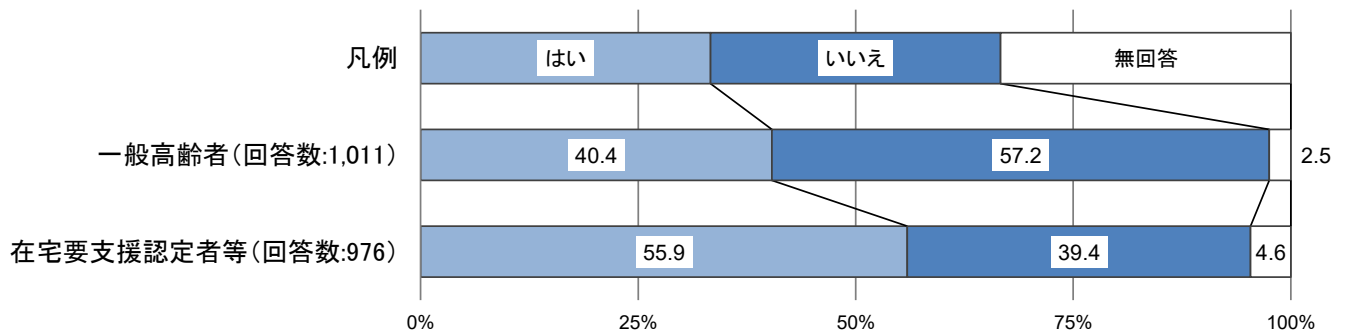
〔設問〕あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数を「○」で囲んでください。



○一般高齢者では「8点」が22.7%、在宅要支援認定者等では「5点」が24.5%でそれぞれ最も多くなっている。加重平均値は、一般高齢者が6.99点、在宅要支援認定者等は6.56点となっている。
※加重平均: 値を単純に平均するのではなく、値の重みを加味して平均すること。

(3) 最近のうつ傾向の有無

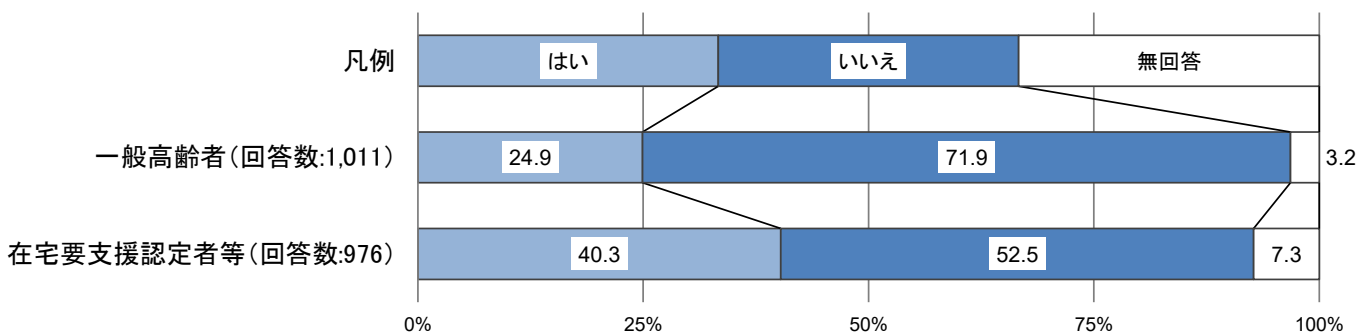
〔設問〕この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



○「はい」が、一般高齢者では40.4%であるのに対して、在宅要支援認定者等では55.9%と、15.5ポイントの差がみられる。

(4) 最近の心の疲れの有無

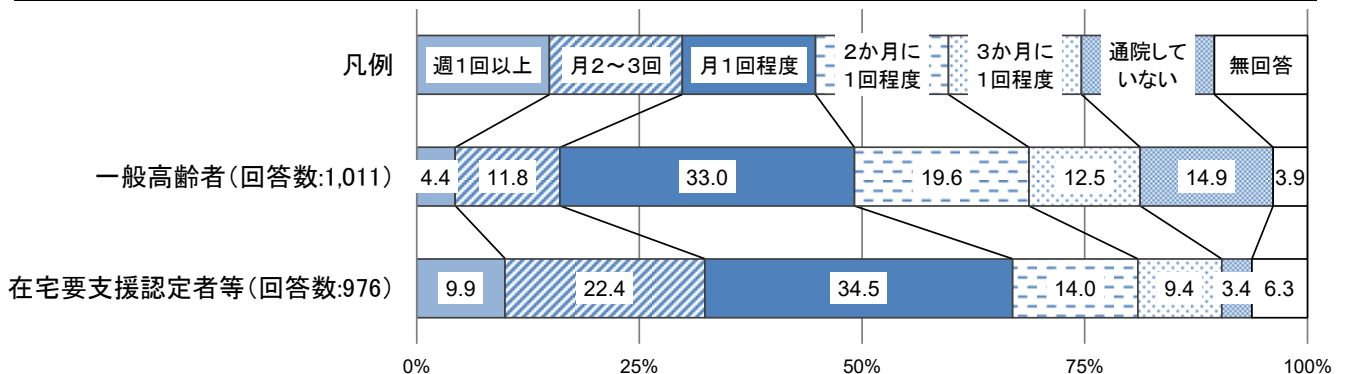
〔設問〕この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



○「はい」が、一般高齢者では24.9%であるのに対して、在宅要支援認定者等では40.3%と、15.4ポイントの差がみられる。

(5) 通院の状況・頻度

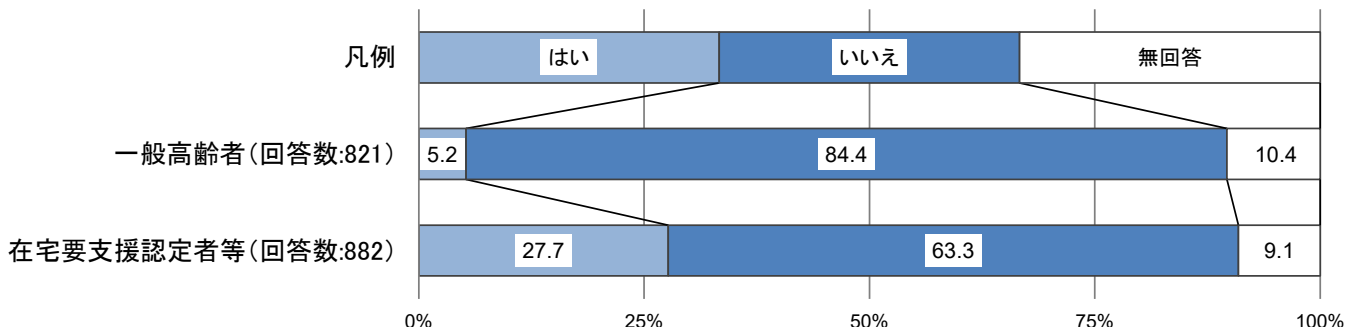
〔設問〕現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。また、その頻度はどれくらいですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも「月に1回程度」が最も多く、それぞれ 33.0%、34.5%、次いで一般高齢者では「2か月に1回程度」が 19.6%、「通院していない」が 14.9%、在宅要支援認定者等では「月2～3回」が 22.4%、「2か月に1回程度」が 14.0%などとなっている。

(6) 通院時の介助の必要性

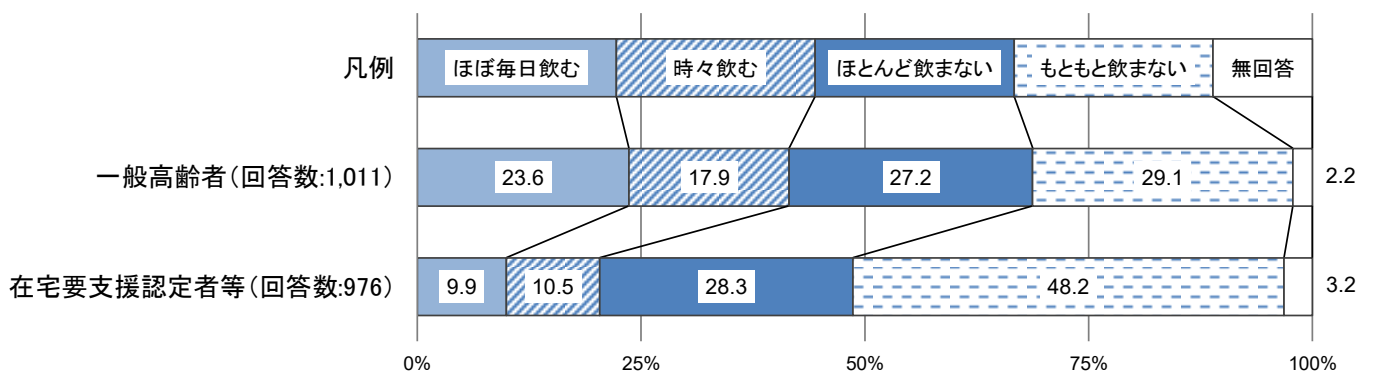
〔設問〕（現在、通院している方のみ）通院に介助が必要ですか。



○「はい」が一般高齢者では5.2%であるのに対して、在宅要支援認定者等では27.7%と、22.5ポイントの差がみられる。

(7) 飲酒

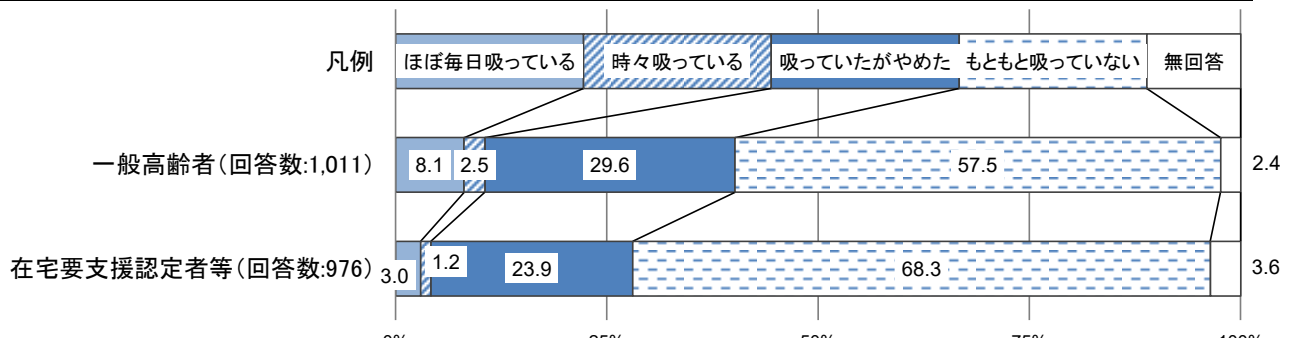
〔設問〕お酒は飲みますか。



○一般高齢者では「もともと飲まない」が29.1%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が27.2%、「ほぼ毎日飲む」が23.6%、在宅要支援認定者等では「もともと飲まない」が48.2%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が28.3%、「時々飲む」が10.5%などとなっている。

(8) 喫煙

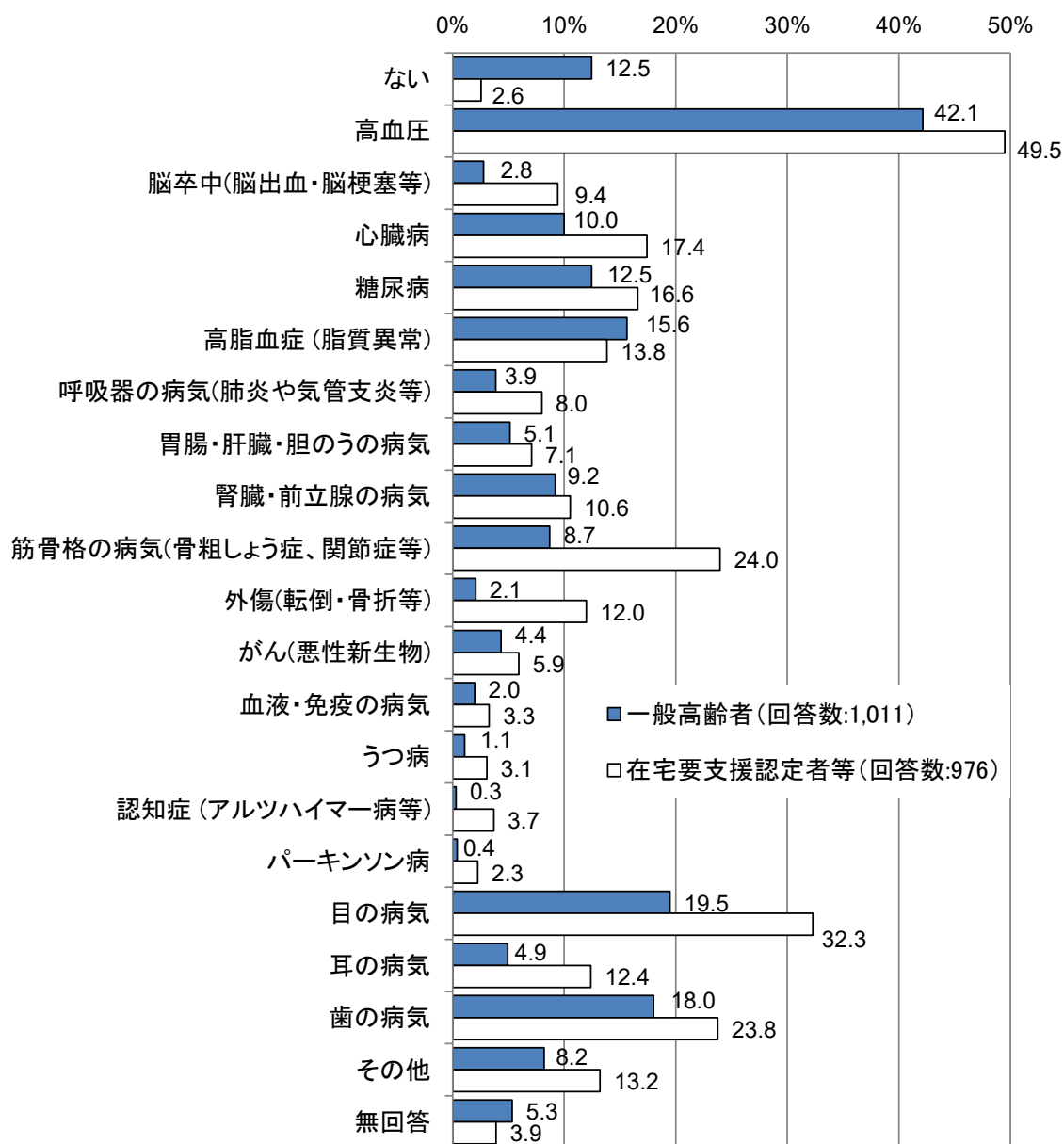
〔設問〕タバコは吸っていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「もともと吸っていない」が最も多く、それぞれ57.5%、68.3%、次いで「吸っていたがやめた」がそれぞれ29.6%、23.9%などとなっている。

(9) 治療中や後遺症のある病気

[設問] 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

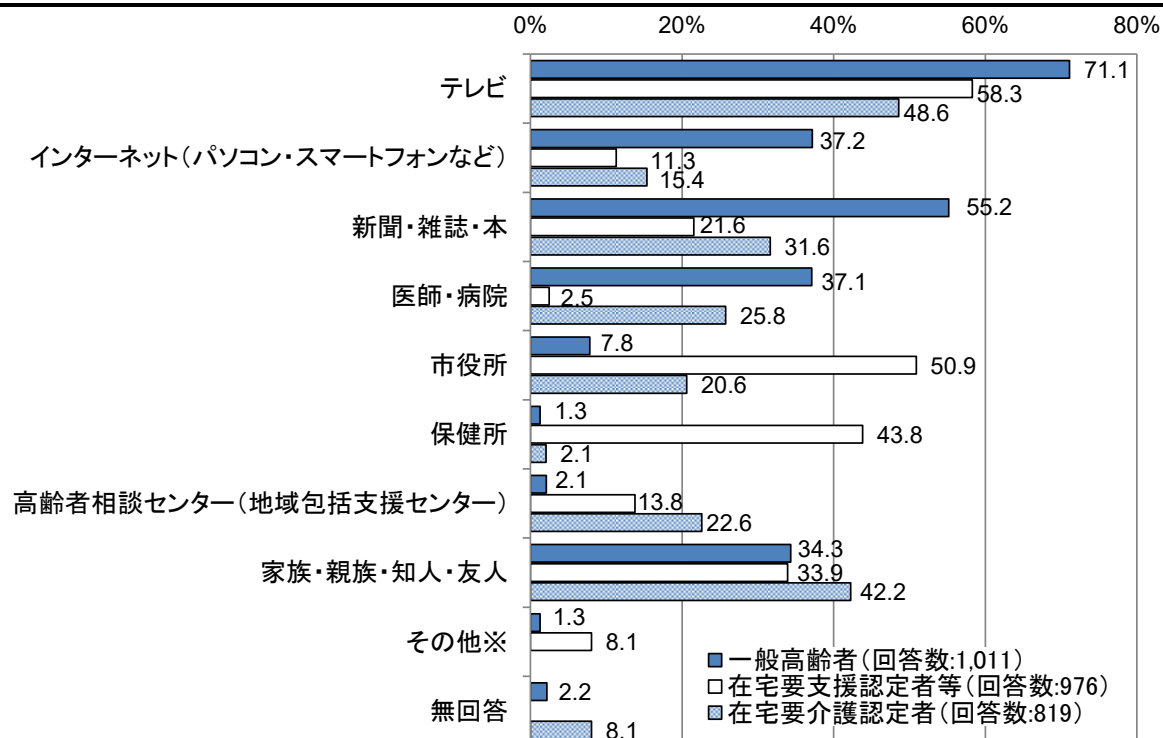


○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「高血圧」が最も多く、それぞれ 42.1%、49.5%、次いでともに「目の病気」がそれぞれ 19.5%、32.3%、第3位は、一般高齢者では「歯の病気」が 18.0%、在宅要支援認定者等では「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が 24.0%などとなっている。とくに「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「外傷(転倒・骨折等)」、「耳の病気」では、一般高齢者と在宅要支援認定者等の差が大きくなっている。

(10) 在宅医療・介護についての知識・情報の入手元

(在宅要支援認定者等調査では問Ⅰ、在宅要介護認定者調査では問Ⅱ)

[設問] 日頃、在宅での医療や介護についての知識や情報を、何から得ていますか。(〇はいくつでも)



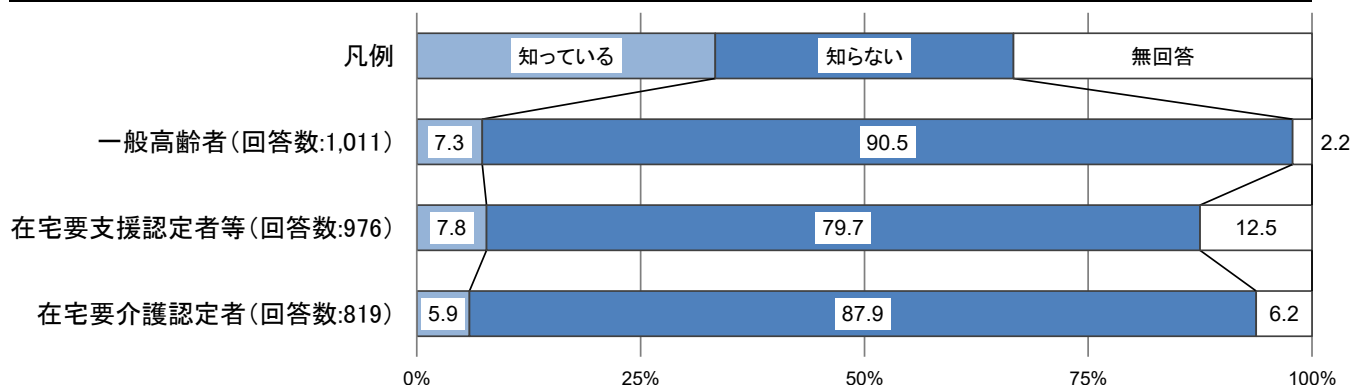
※在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者については、選択肢に「その他」はなし

○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者で共通して「テレビ」が最も多く、それぞれ 71.1%、58.3%、48.6%となっている。次いで多いのは、一般高齢者では「新聞・雑誌・本」が 55.2%、在宅要支援認定者等では「市役所」が 50.9%、在宅要介護認定者では「家族・親族・知人・友人」が 42.2%となっている。

(11) 人生会議または ACP という言葉の認知度

(在宅要支援認定者等調査では問Ⅰ、在宅要介護認定者調査では問Ⅱ)

[設問] 人生会議またはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)※という言葉を知っていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「知らない」が多く、それぞれ 90.5%、79.7%、87.9%となっている。

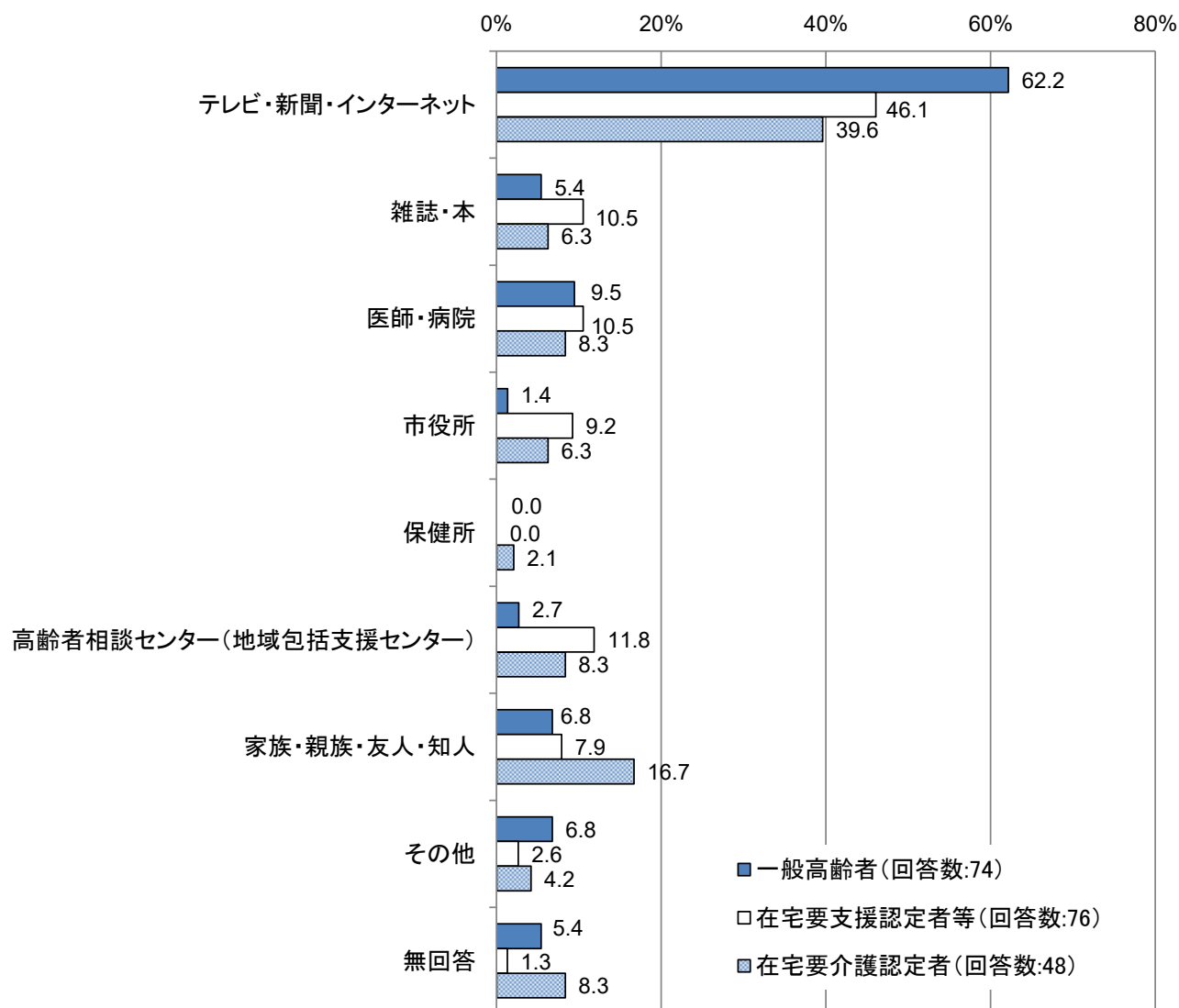
※もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと

(12) 人生会議または ACP という言葉をどこで知ったか

(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)

[設問] (ACPを「知っている」方のみ)

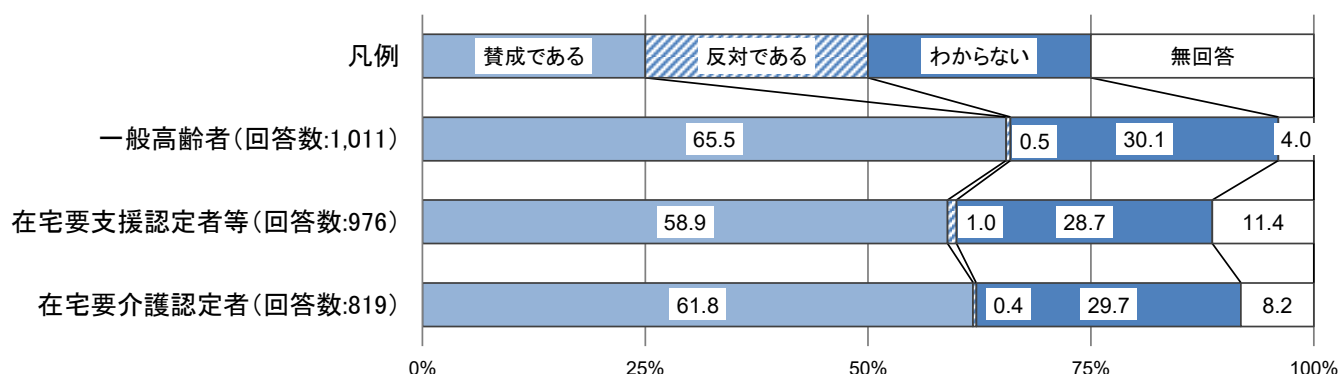
ACPという言葉はどこで知りましたか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「テレビ・新聞・インターネット」が最も多く、それぞれ 62.2%、46.1%、39.6%、次いで一般高齢者では「医師・病院」が 9.5%、在宅要支援認定者等では「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」が 11.8%、在宅要介護認定者では「家族・親族・友人・知人」が 16.7% となっている。

(13) 人生の最終段階の医療・療養について家族や医療・ケアチームと話し合うこと(在宅要支援認定者等調査では問し、在宅要介護認定者調査では問 F)

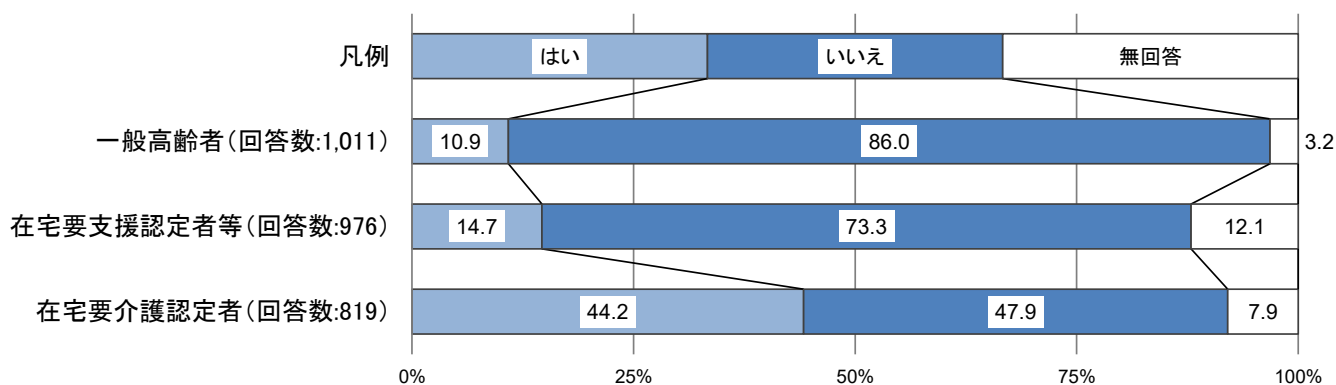
[設問] 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「賛成である」がそれぞれ 65.5%、58.9%、61.8%で最も多くなっている。

(14) 自身、又は家族の認知症の症状の有無(在宅要支援認定者等では問し、在宅要介護認定者では問 F)

[設問] 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。

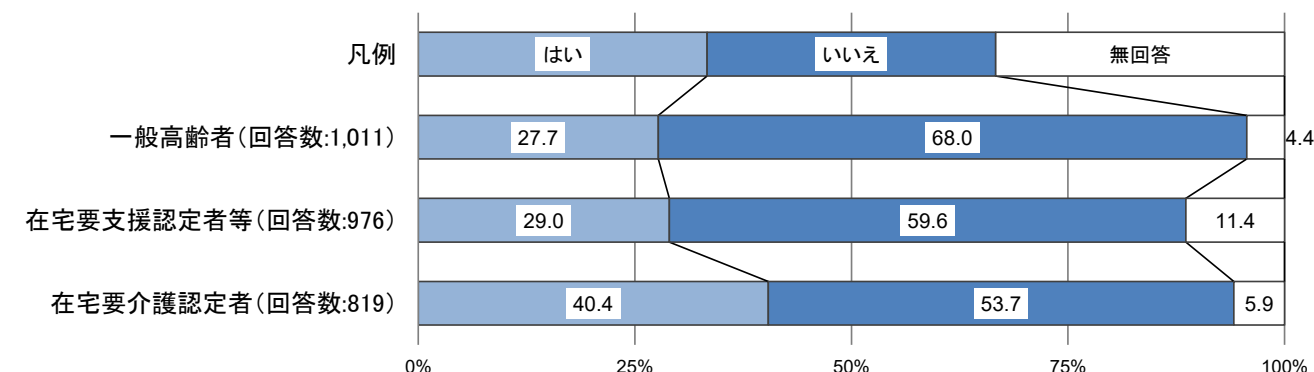


○「はい」が一般高齢者では 10.9%、在宅要支援認定者等では 14.7%であるのに対し、在宅要介護認定者では 44.2%と、大きな差がみられる。

(15) 認知症に関する相談窓口の認知度

(在宅要支援認定者等では問し、在宅要介護認定者では問 F)

[設問] 認知症に関する相談窓口を知っていますか。



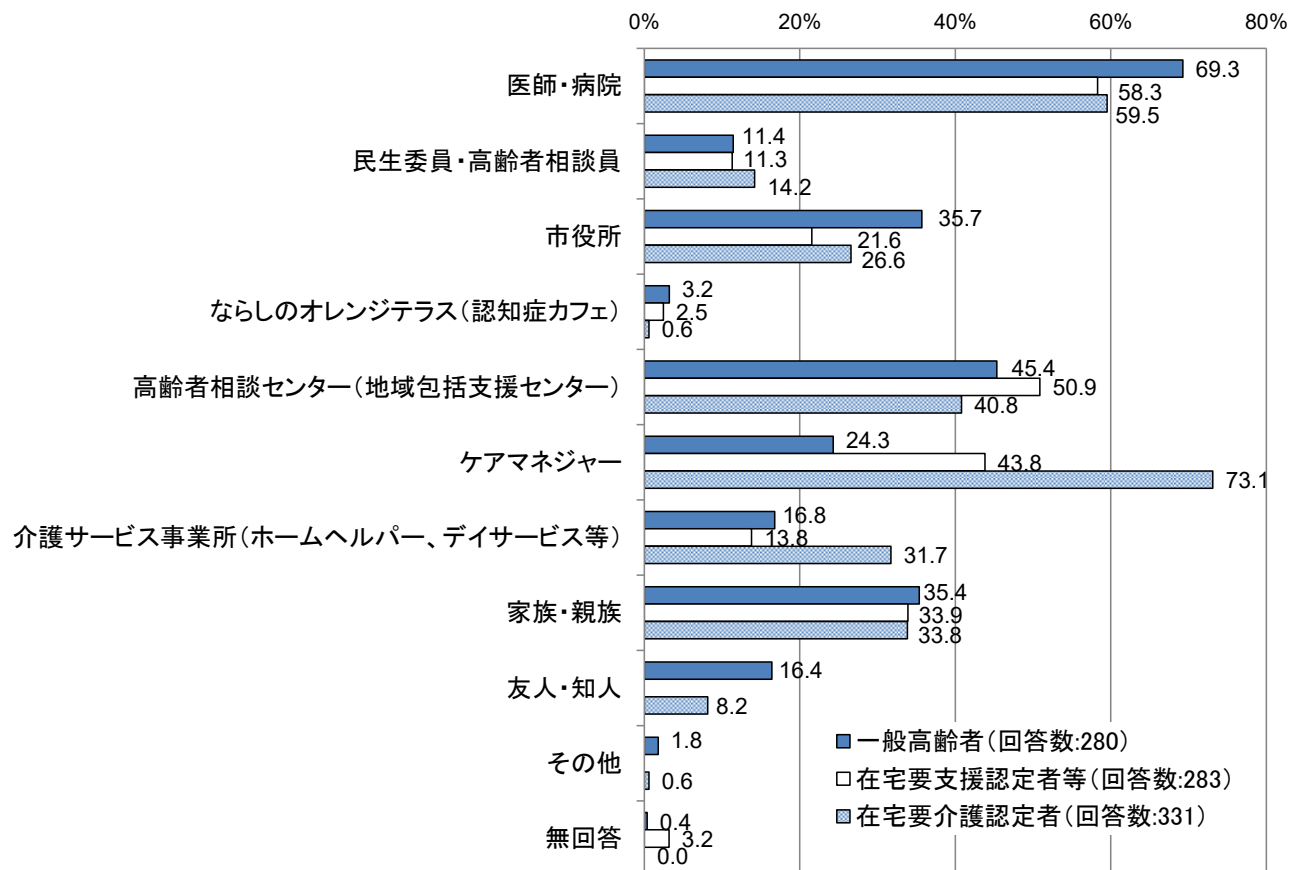
○「はい」が一般高齢者では 27.7%、在宅要支援認定者等では 29.0%に対し、在宅要介護認定者では 40.4%と差がみられる。

(16) 認知症に関する相談窓口

(在宅要支援認定者等では問し、在宅要介護認定者では問 F)

[設問] (相談窓口を知っているかについて「はい」の方のみ)

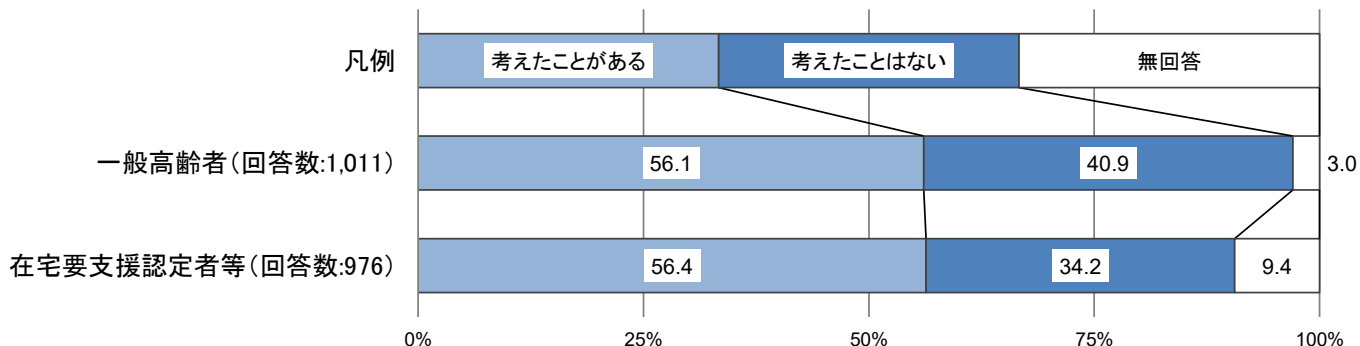
どこに相談すると思いますか、または相談しましたか。(○はいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「医師・病院」がそれぞれ 69.3%、58.3%、在宅要介護認定者では「ケアマネジャー」が 73.1%と最も多く、次いで一般高齢者、在宅要支援認定者等では「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」がそれぞれ 45.4%、50.9%、在宅要介護認定者では「医師・病院」が 59.5%となっている。

(17) 自身、又は家族が認知症になった場合のことを考えたことの有無 (在宅要支援認定者等では問L)

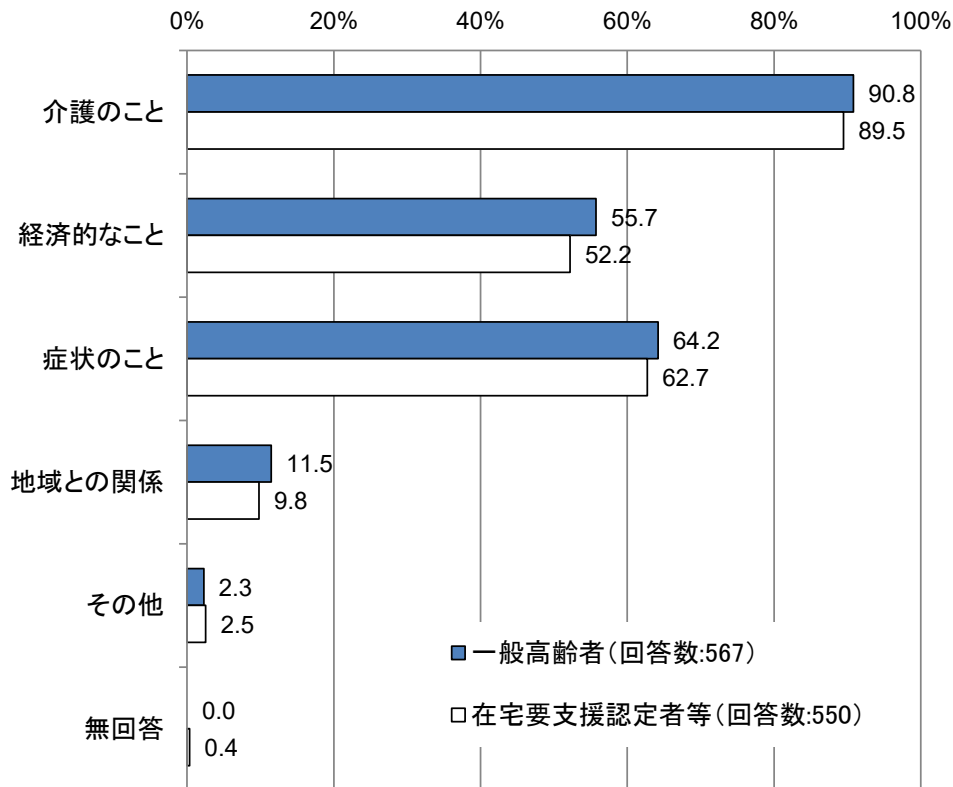
[設問] 今までに、自分自身や家族が認知症になったときどうしたらいいのか、考えたことがありますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも「考えたことがある」が多く、それぞれ 56.1%、56.4%、「考えたことはない」がそれぞれ 40.9%、34.2%となっている。「考えたことがある」割合は、一般高齢者と在宅要支援認定者等でほとんど差異はみられない。

(18) 認知症について考えた内容(在宅要支援認定者等では問L)

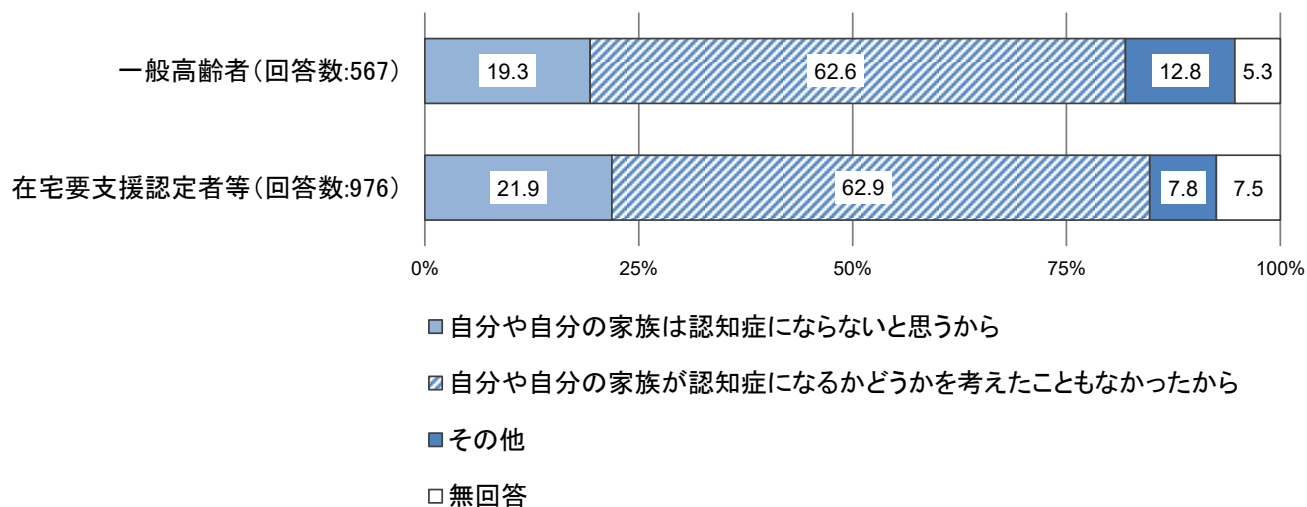
[設問] (自分自身や家族が認知症になった場合のことを「考えたことがある」方のみ)
どのようなことを考えましたか。(○はいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「介護のこと」が順に 90.8%、89.5%と最も多く、次いで「症状のこと」が 64.2%、62.7%、「経済的なこと」が 55.7%、52.2%で、両者にほとんど差異はみられない。

(19) 認知症について考えたことがなかった理由(在宅要支援認定者等では問L)

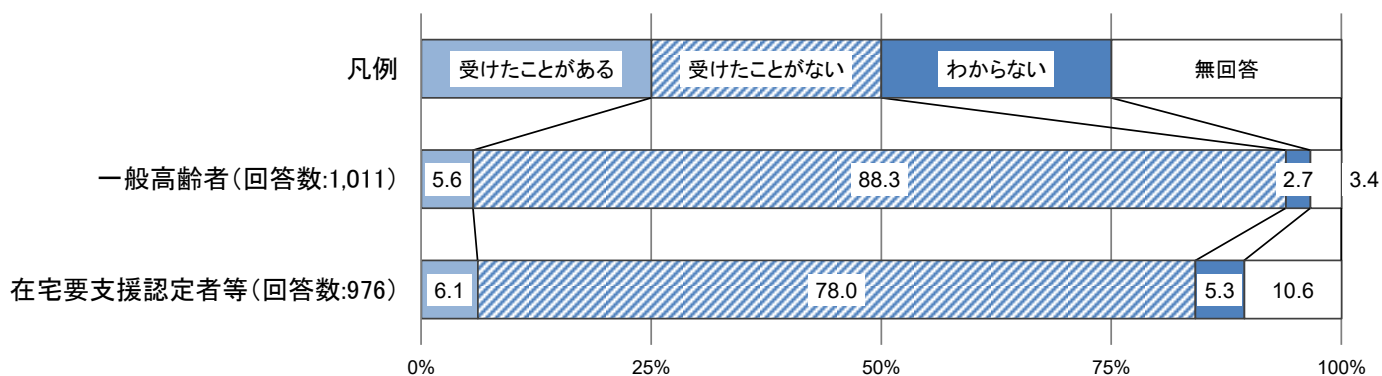
[設問] (自分自身や家族が認知症になった場合のことを「考えたことがない」方のみ)
考えたことがなかった理由は何だと思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともほとんど差異がなく、「自分や自分の家族は認知症にならないと思うから」がそれぞれ 19.3%、21.9%、「自分や自分の家族が認知症になるかどうかを考えたこともなかったから」は 62.6%、62.9%となっている。

(20) 認知症サポーター養成講座受講の有無(在宅要支援認定者等では問L)

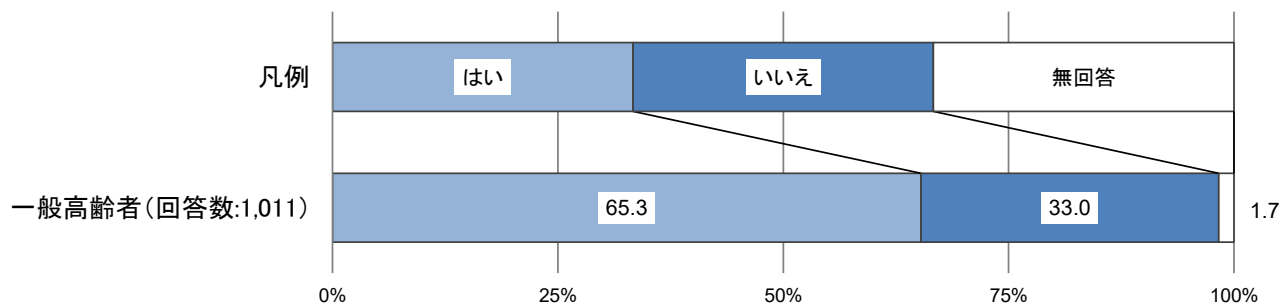
[設問] 認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか。



○いずれも「受けたことがない」が大半を占め、一般高齢者の 88.3%、在宅要支援認定者等の 78.0%が「受けたことがない」と回答している。

(21) 1年以内の健康診査受診の有無

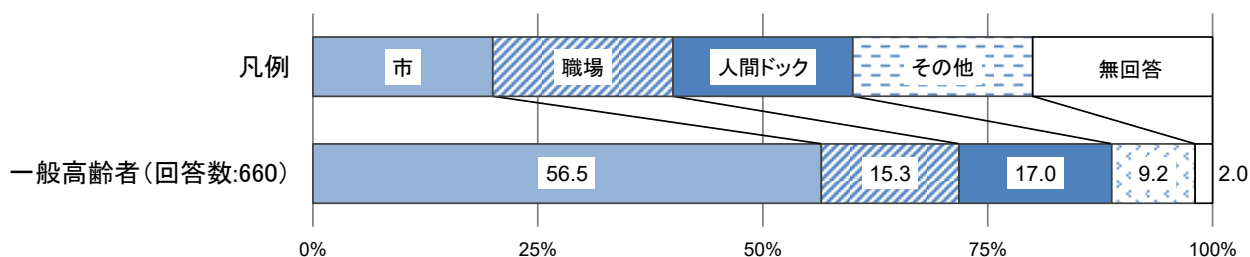
[設問] あなたは、1年以内に健康診査（特定健康診査・後期高齢者健康診査・人間ドック・職場の健診等）を受けましたか。



○65.3%が「はい」、33.0%が「いいえ」と回答している。

(22) 健康診査を受けた場所・機関

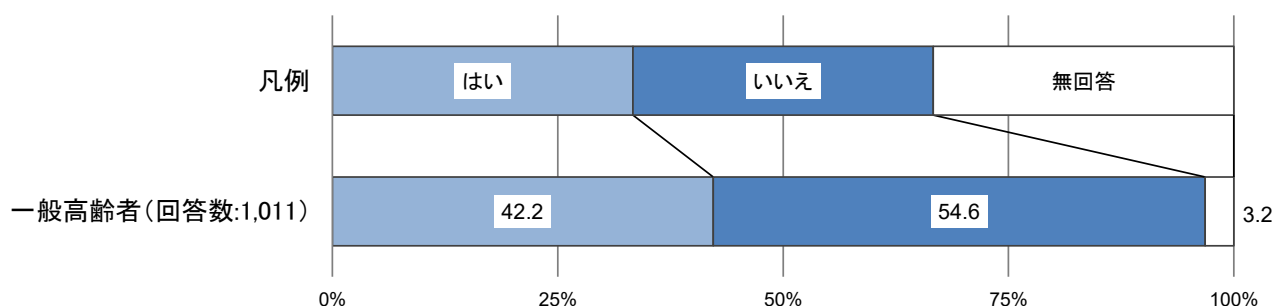
[設問] どちらで健康診査を受けましたか。



○「市」が56.5%で最も多く、次いで「人間ドック」が17.0%、「職場」が15.3%などとなっている。

(23) 1年以内のがん検診受診の有無

[設問] あなたは、1年以内になん検診を受けましたか。

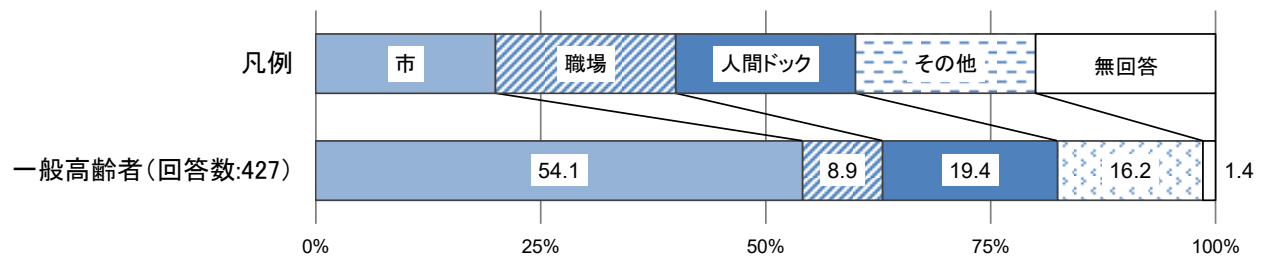


○42.2%が「はい」、54.6%が「いいえ」と回答している。

(24) がん検診を受けた場所・機関

[設問] (がん検診を受けた方のみ)

どちらでがん検診を受けましたか。

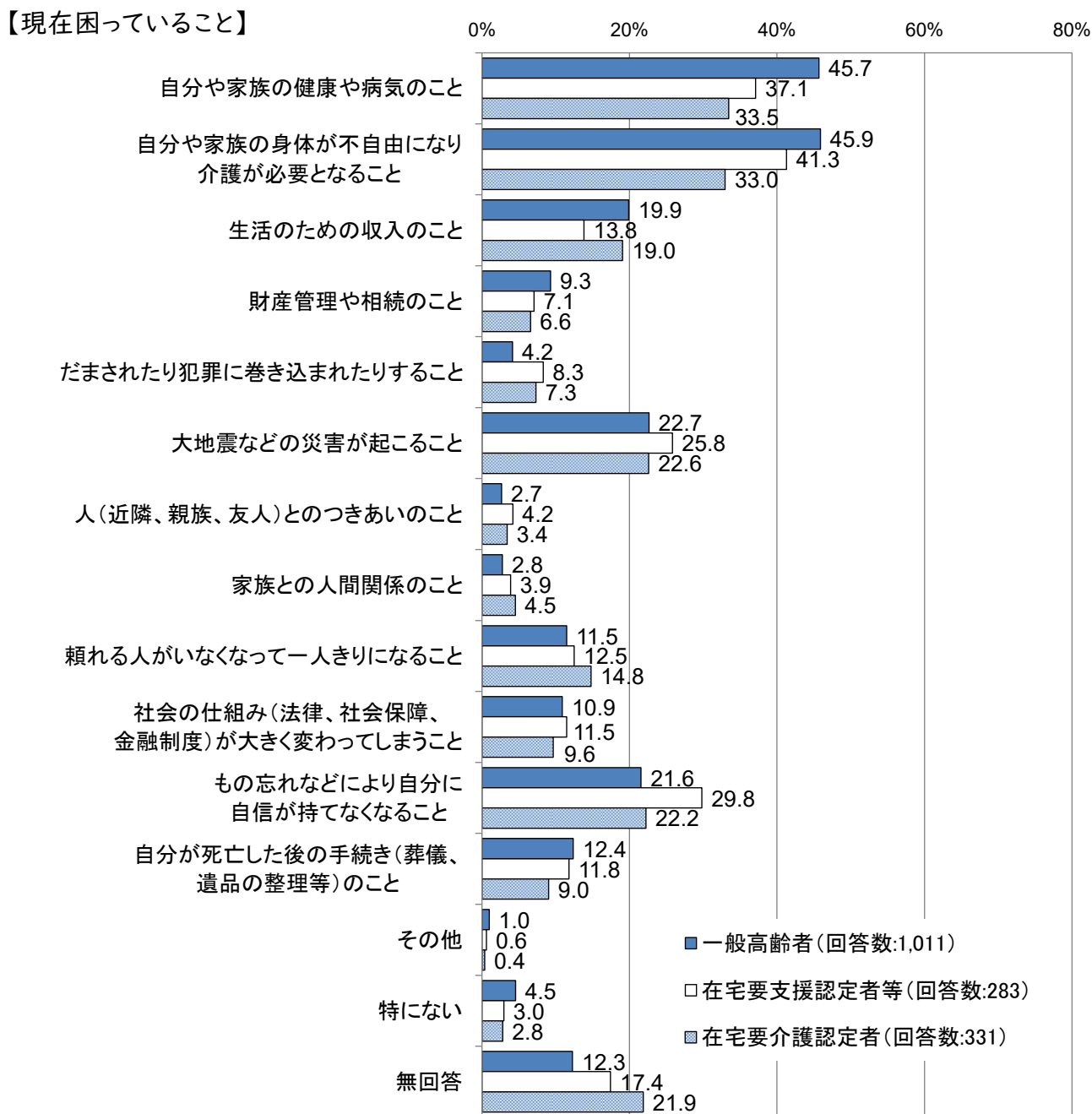


○「市」が54.1%で最も多く、次いで「人間ドック」が19.4%、「その他」が16.2%などとなっている。

8 日常生活で困っていることや将来の不安について(問 H)(在宅要支援認定者等では問 I、在宅要介護認定者では問 C)

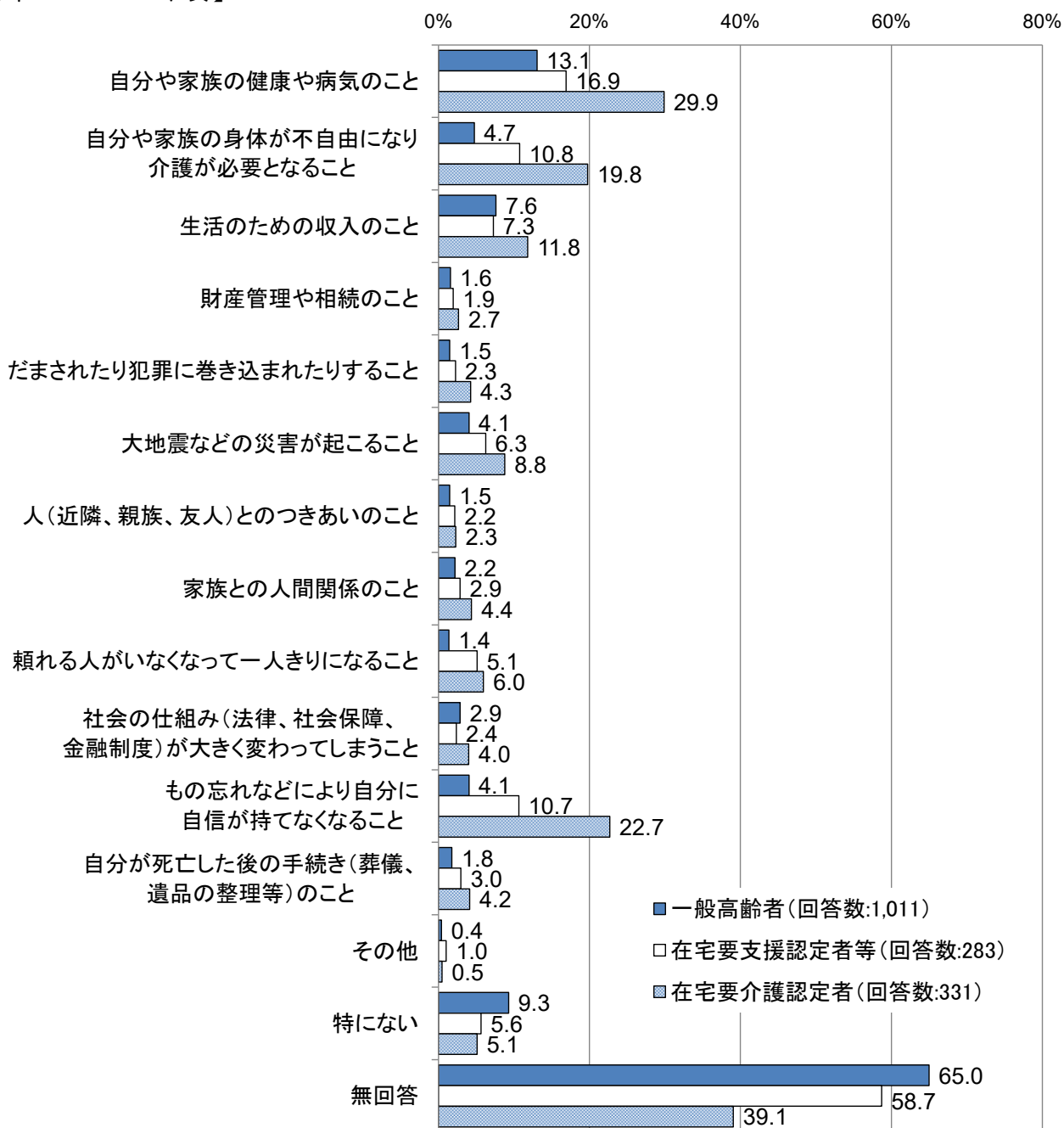
(1) 困っていることや将来の不安

[設問] 現在困っていることと、将来についての不安はありますか。あてはまる欄に○を付けてください。(それぞれ○は3つまで)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等では「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が最も多く、それぞれ 45.9%、41.3%、一方、在宅要介護認定者では「自分や家族の健康や病気のこと」が 33.5%で最も多くなっている。次いで、一般高齢者、在宅要支援認定者等では「自分や家族の健康や病気のこと」が 45.7%、37.1%、在宅要介護認定者では「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が 33.0%などとなっている。

【将来についての不安】



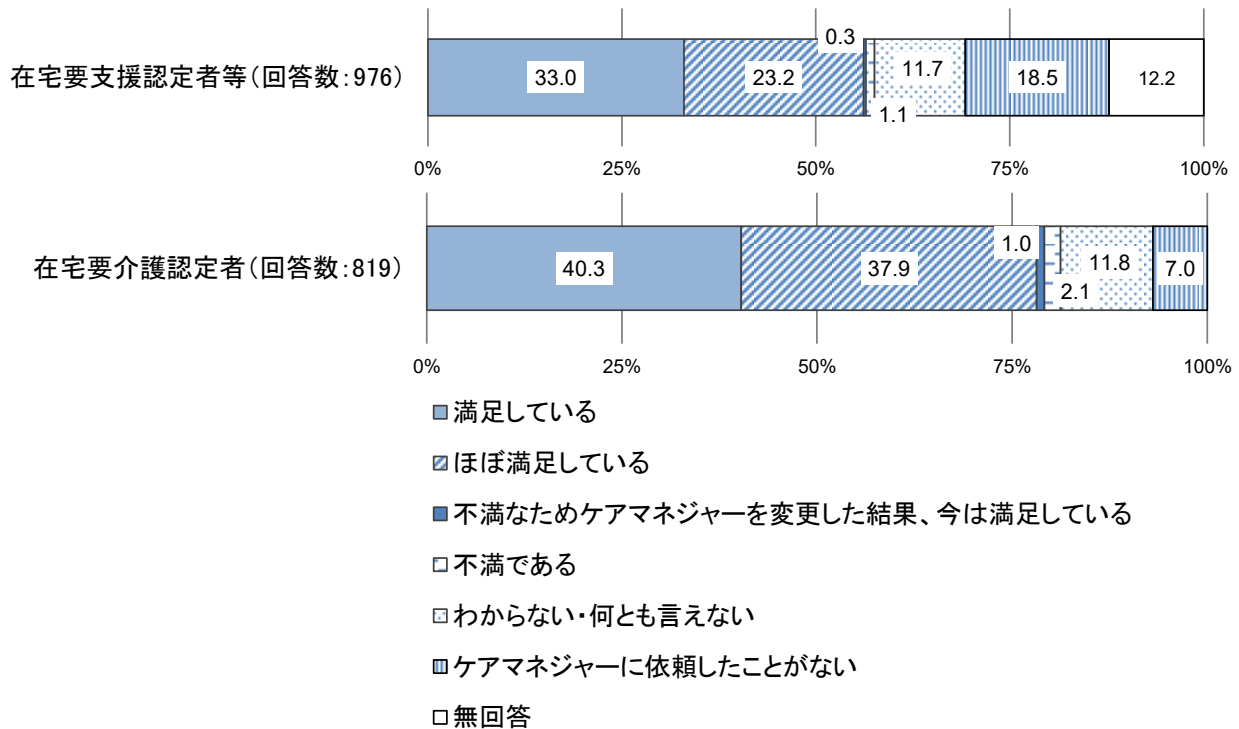
○「無回答」を除き、一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が最も多く、それぞれ 13.1%、16.9%、29.9%、次いで、一般高齢者では「特にない」が 9.3%、在宅要支援認定者等では「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が 10.8%、在宅要介護認定者では「もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること」が 22.7%などとなっている。

9 介護保険制度の利用について

(在宅要支援認定者等調査では問J、在宅要介護認定者調査では問D)

(1) ケアマネジャーの対応の満足度

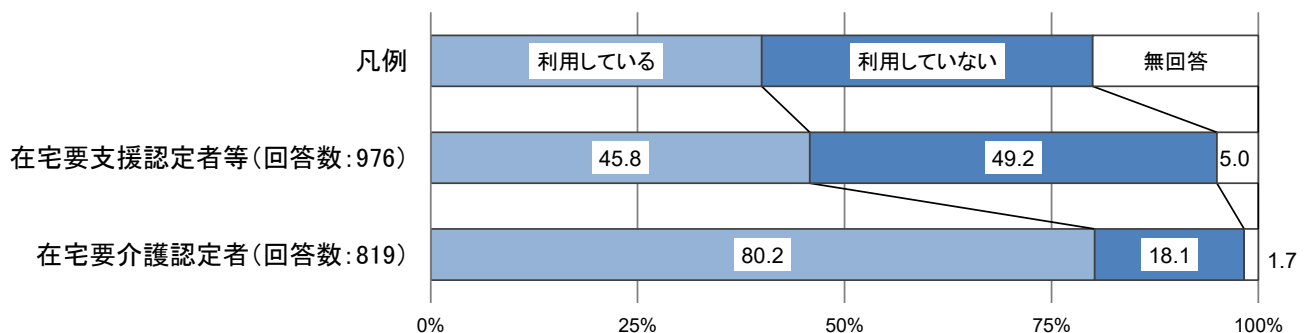
[設問] ケアマネジャーの対応に満足していますか。



○いずれも「満足している」が最も多く、在宅要支援認定者等では33.0%、在宅要介護認定者では40.3%が「満足している」と回答している。「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると、在宅要支援認定者等で56.2%、在宅要介護認定者で78.2%が満足していると回答している。一方、在宅要支援認定者等では「ケアマネジャーに依頼したことがない」が18.5%みられる。

(2) 介護保険サービスの利用状況

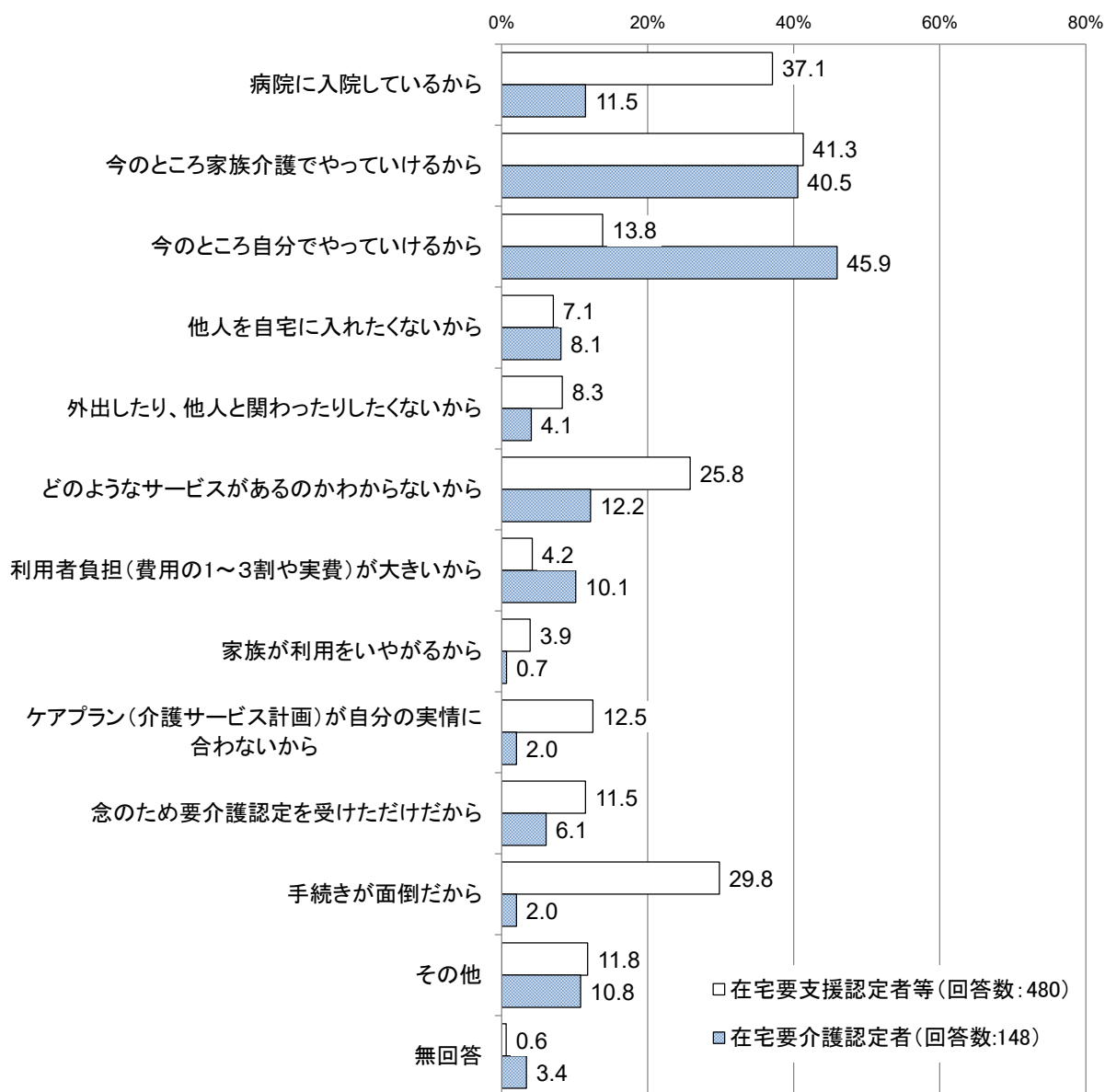
[設問] あなたは、この1か月に介護保険のサービスを利用しましたか。



○在宅要支援認定者等では「利用している」が45.8%に対し、在宅要介護認定者では「利用している」が80.2%と大きな差がみられる。

(3) 利用していない理由

[設問] (介護保険サービスを利用していない方のみ)
利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

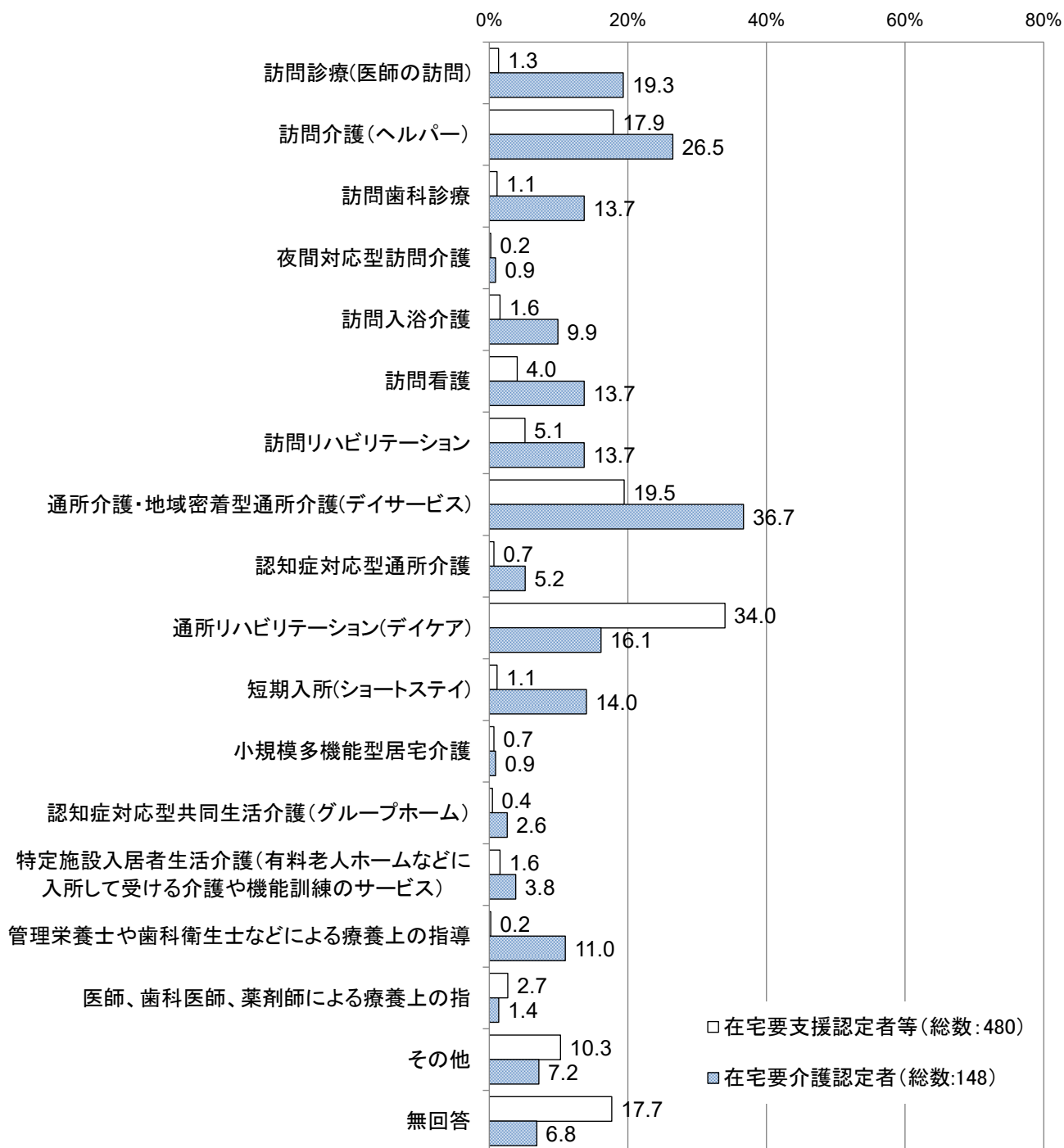


○在宅要支援認定者等では「今のところ家族介護でやっていけるから」が41.3%と最も多く、次いで「病院に入院しているから」が37.1%などとなっている。在宅要介護認定者では「今のところ自分でやっていけるから」が45.9%と最も多く、次いで「今のところ家族介護でやっていけるから」が40.5%、「どのようなサービスがあるのかわからないから」が12.2%などとなっている。

(4) 利用しているサービス

[設問] (介護保険サービスを利用している方のみ)

以下のサービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

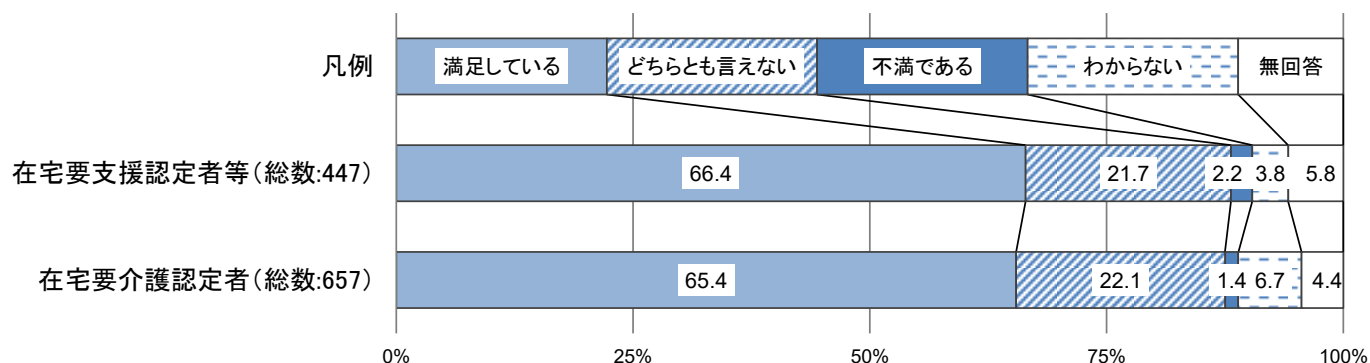


○在宅要支援認定者等では「通所リハビリテーション(デイケア)」が 34.0%で最も多く、次いで「通所介護・地域密着型通所介護(デイサービス)」が 19.5%、「訪問介護(ヘルパー)」が 17.9%などとなっている。在宅要介護認定者では「通所介護・地域密着型通所介護(デイサービス)」が 36.7%で最も多く、次いで「訪問介護(ヘルパー)」が 26.5%、「訪問診療(医師の訪問)」が 19.3%などとなっている。

(5) 利用しているサービスの満足度

〔設問〕（介護保険サービスを利用している方のみ）

現在利用しているサービスに満足していますか。

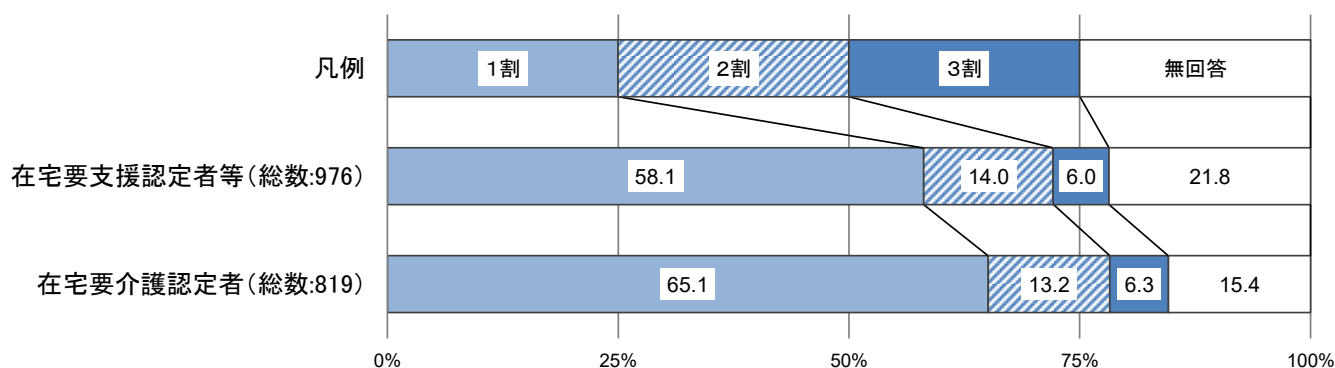


○在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも「満足している」が半数以上を占め、それぞれ 66.4%、65.4%となっている。

(6) サービス利用時の自己負担割合

〔設問〕介護サービスを受けるためには、所得に応じてサービス利用費用（＊食費・居住費を除く）を自己負担していただく必要があります。1割と2割に加えて、平成30年8月から、特に所得の高い方は費用の3割を負担していただくこととなっています。

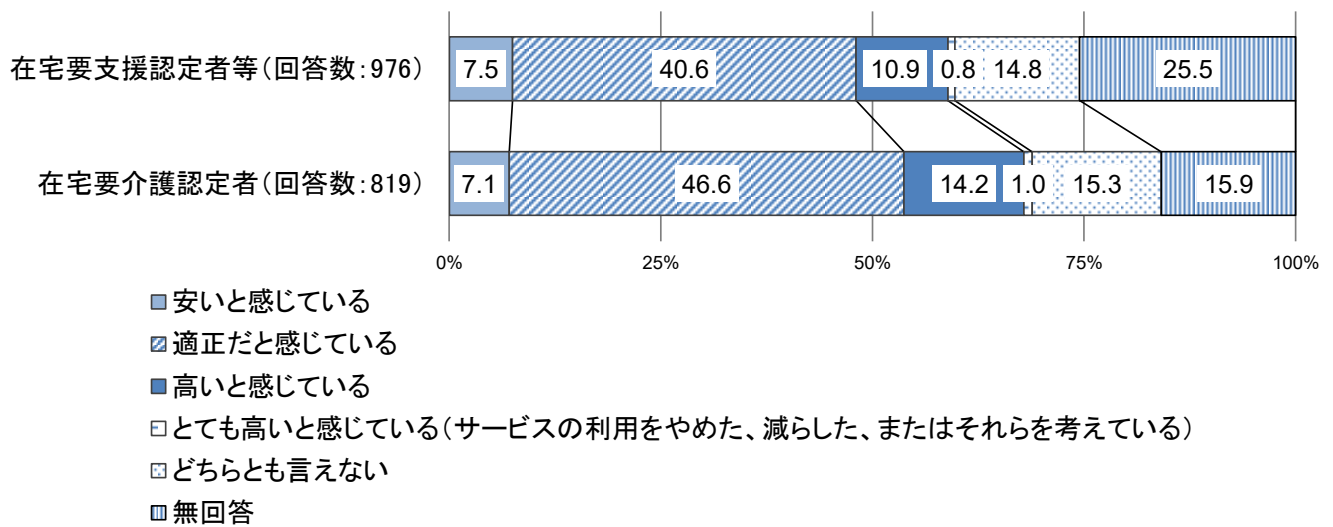
(1) あなたの自己負担割合をお答えください。



○在宅要支援認定者等では「1割」が 58.1%、「2割」が 14.0%、「3割」が 6.0%、在宅要介護認定者では「1割」が 65.1%、「2割」が 13.2%、「3割」が 6.3%となっている。

(7) 自己負担分についての感覚

[設問] (2) (1) でお答えいただいた費用(自己負担分)について、どのように感じていますか。



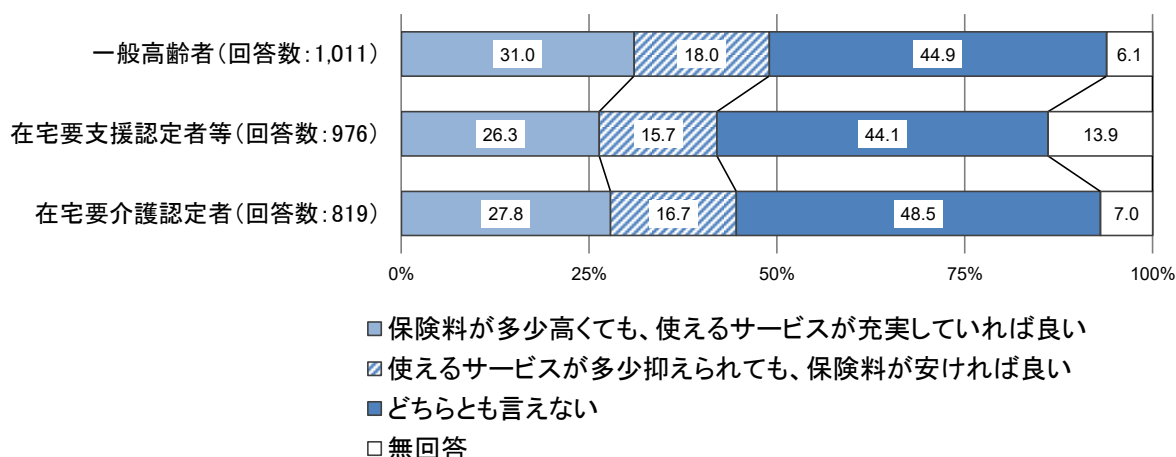
○在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「適正だと感じている」が最も多く、それぞれ 40.6%、46.6%となっている。次いで、「どちらとも言えない」が 14.8%、15.2%、「高いと感じている」が 10.9%、14.2%などとなっている。

10 介護保険制度・高齢者施策について(問I)

(在宅要支援認定者等調査では問K、在宅要介護認定者調査では問E)

(1) 介護保険料と介護サービスのあり方について

【設問】介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「どちらとも言えない」が最も多く、それぞれ44.9%、44.1%、48.5%、次いで「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」がそれぞれ31.0%、26.3%、27.8%などとなっている。

【経年比較】

〈一般高齢者〉

単位：%

	保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い	使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い	どちらとも言えない	無回答
令和4年度（回答数1,011）	31.0	18.0	44.9	6.1
令和元年度（回答数917）	34.2	16.6	43.9	5.2
平成28年度（回答数889）	25.5	16.4	52.5	5.5

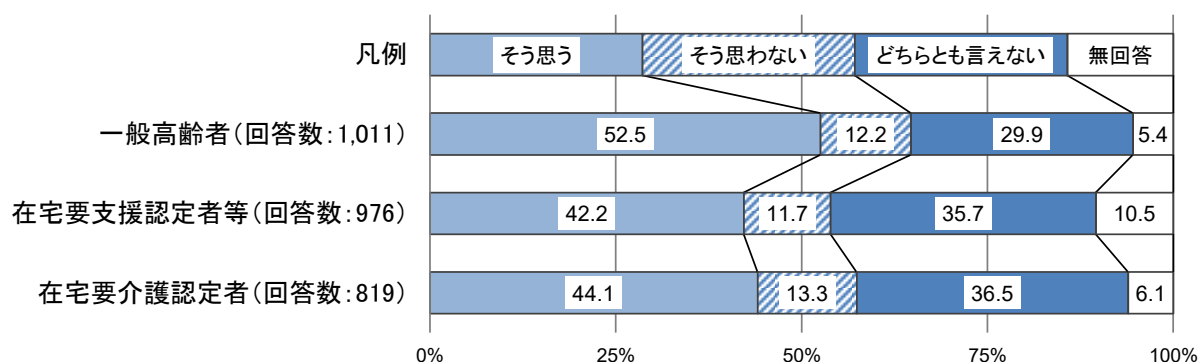
〈在宅認定者等〉

令和4年度 在宅要支援認定者等（回答数 976）	26.3	15.7	44.1	13.9
令和4年度 在宅要介護認定者（回答数 819）	27.8	16.7	48.5	7.0
令和元年度（回答数762）	26.6	14.4	47.8	5.2
平成28年度（回答数766）	28.9	13.2	49.1	8.9

○一般高齢者では、「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が平成28年度に比べ5.5ポイント増加し、「どちらとも言えない」が7.6ポイント減少している。在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では、「使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い」が微減しているものの、大きな変化はみられない。

(2) 介護保険料の低所得者への配慮について

【設問】65 歳以上の方の保険料に関して「低所得者に配慮するために、高所得者の負担を多少増やすのもやむを得ない」ということについて、あなたはどのようにお考えですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「そう思う」が最も多く、それぞれ 52.5%、42.2%、44.1%、次いで「どちらとも言えない」がそれぞれ 29.9%、35.7%、36.5%などとなっている。

【経年比較】

〈一般高齢者〉

単位：%

	そう思う	そう思わない	どちらとも言えない	無回答
令和4年度（回答数1,011）	52.5	12.2	29.9	5.4
令和元年度（回答数917）	52.7	12.2	31.4	3.7
平成28年度（回答数889）	51.9	9.9	33.9	4.4

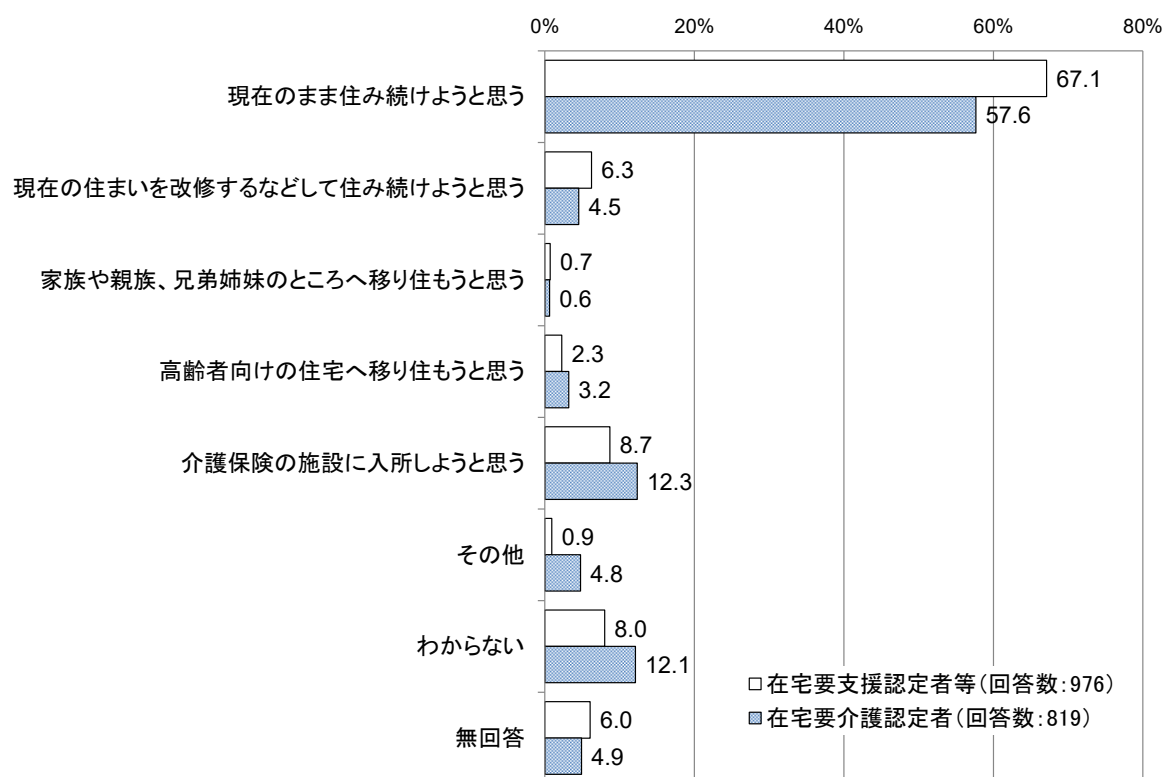
〈在宅認定者等〉

令和4年度 在宅要支援認定者等（回答数 976）	42.2	11.7	35.7	10.5
令和4年度 在宅要介護認定者（回答数 819）	44.1	13.3	36.5	6.1
令和元年度（回答数762）	47.0	10.1	32.5	10.4
平成28年度（回答数766）	46.7	12.8	32.9	7.6

○「そう思う」は一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも微減、全体として大きな変化はみられない。

(3) 今後希望する生活場所（在宅要支援認定者等調査では問K、在宅要介護認定者調査では問E）

〔設問〕 今後希望する生活場所についてうかがいます。

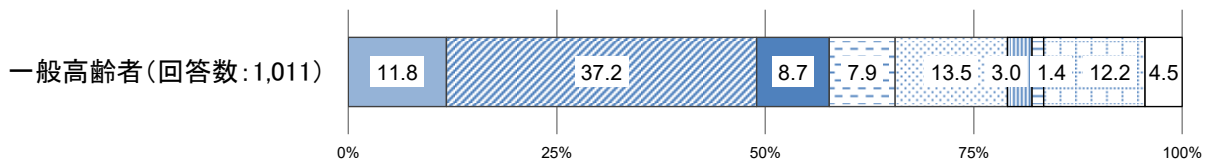


介護保険の施設…介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設等

○在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも「現在のまま住み続けようと思う」が飛び抜けて多く、それぞれ67.1%、57.6%となっている。

(4) 今後、もし自身が介護が必要になったら

[設問] 今後、もしあなたが自身が介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は1つ)

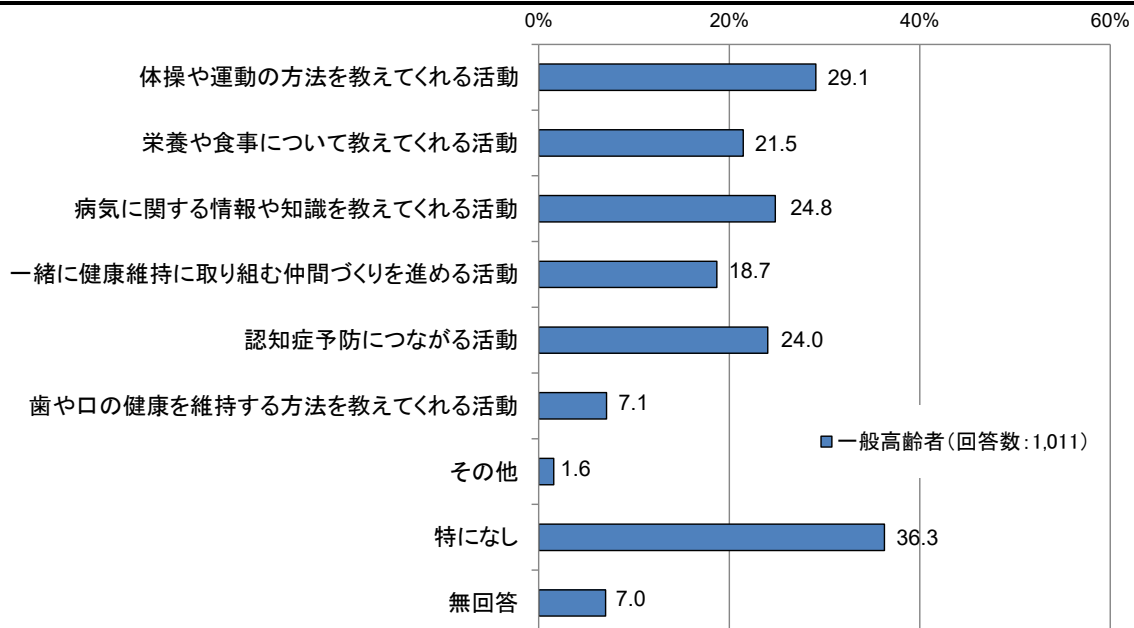


- ☒ 家族などを中心にできる限り自宅で介護を受けたい
- ☒ 介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい
- ☒ 高齢者向けの住宅に移り、介護を受けたい
- ☐ 軽費老人ホーム(ケアハウス)のような低所得者に配慮した住宅に移り、介護を受けたい
- ☐ 介護保険制度のサービス対象となる特別養護老人ホーム、老人保健施設などに入所したい
- ☐ 介護は受けたいが、利用料等の負担を考え、介護保険制度のサービスの利用は控える
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

○「介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい」が 37.2%で最も多く、次いで「介護保険制度のサービス対象となる特別養護老人ホーム、老人保健施設などに入所したい」が 13.5%、「わからない」が 12.2%などとなっている。

(5) 介護予防のために参加したい活動

[設問] 介護予防のために参加したい活動はありますか。(○はいくつでも)

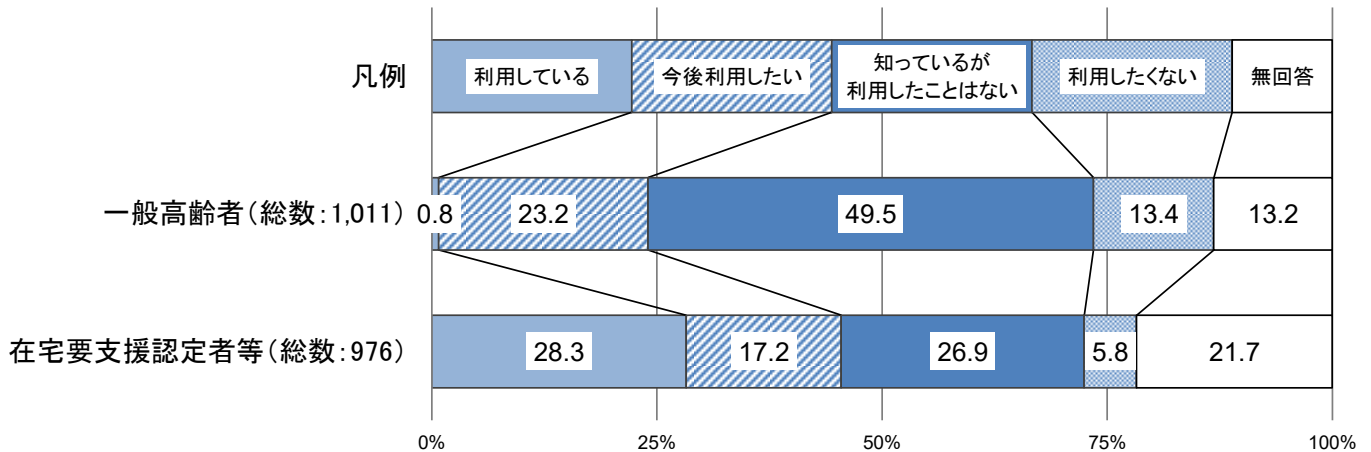


○「特になし」が 36.3%、「体操や運動の方法を教えてくれる活動」が 29.1%、「病気に関する情報や知識を教えてくれる活動」が 24.8%、「認知症予防につながる活動」が 24.0%などが上位となっている。

(6) 介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況など

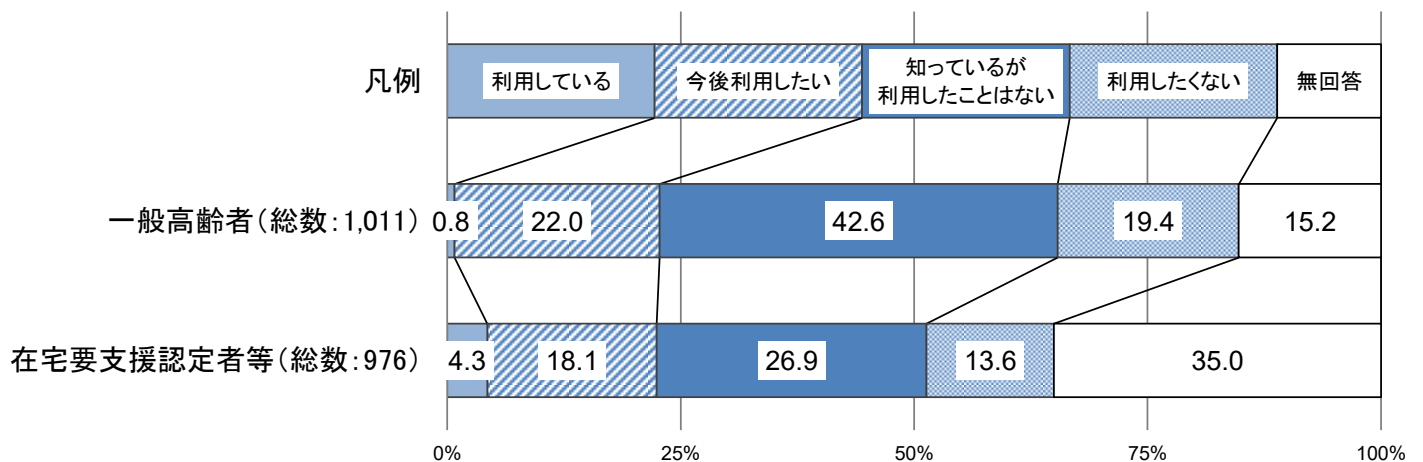
【設問】介護予防・日常生活支援総合事業は、65歳以上のすべての方の日常生活の支援を目的とした事業です。本事業の利用状況や新たなサービスの実施に向けた意向について、おたずねします。（それぞれ〇は1つ）

【生活支援や見守り・介護予防のための訪問や通所の支援（要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり）】



○一般高齢者では「知っているが利用したことはない」が49.5%で最も多く、次いで「今後利用したい」が23.2%、「利用したくない」が13.4%、在宅要支援認定者等では「利用している」が28.3%で最も多く、次いで「知っているが利用したことはない」が26.9%、「今後利用したい」が17.2%などとなっている。

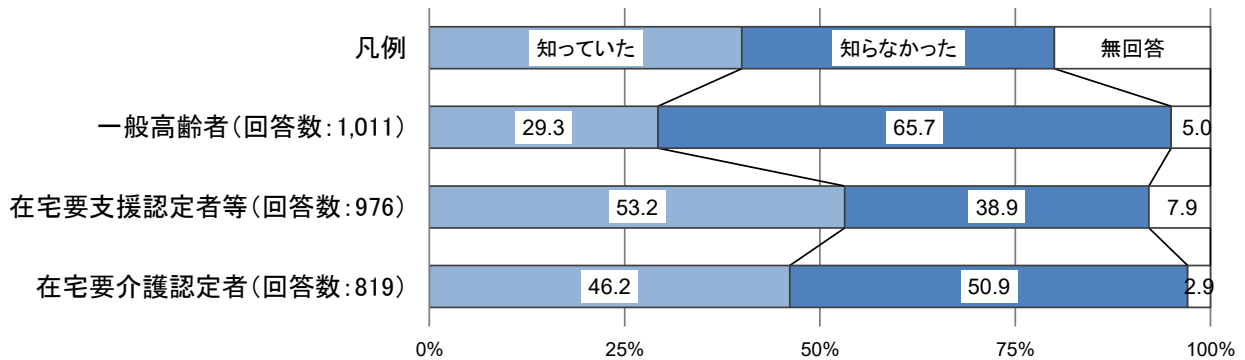
【住民組織や NPO が主体となった集いの場やサービスの提供（要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり）】



○「無回答」を除き、一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに、「知っているが利用したことはない」が最も多く、それぞれ42.6%、28.9%となっている。次いで「今後利用したい」がそれぞれ22.0%、18.1%などとなっている。

(7) 高齢者外出支援事業の認知度

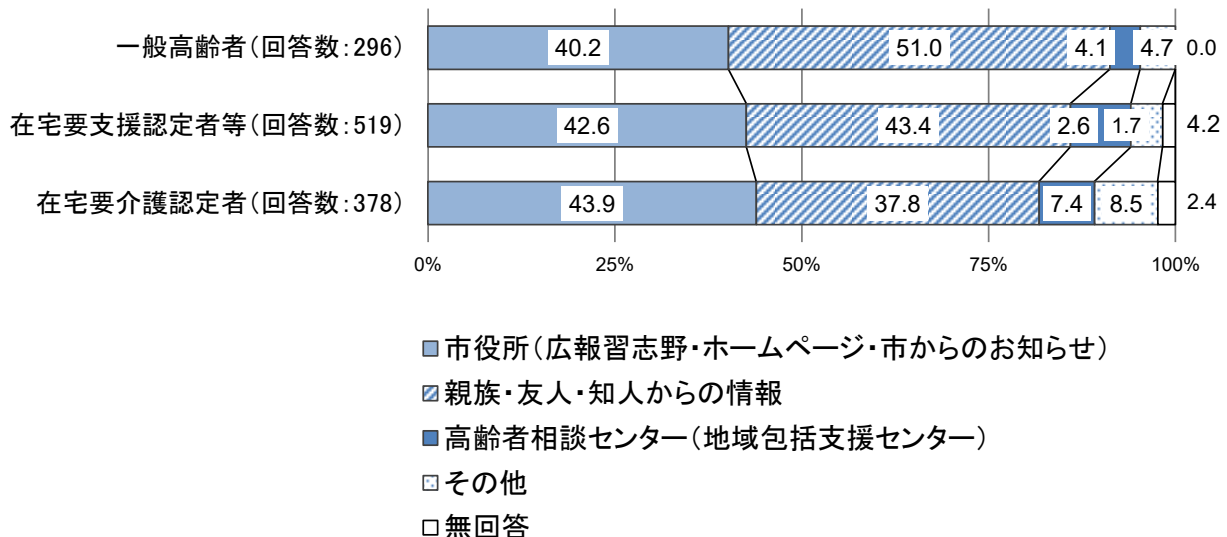
[設問] 高齢者外出支援事業についてうかがいます。市では、高齢者が自宅に引きこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する 75 歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1 枚 500 円のタクシー券を月 3 枚（年間最大 36 枚）、交付していますがご存じでしたか。



○「知っていた」が一般高齢者の 29.3%に対し、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では 53.2%、46.2%と、それぞれ 23.9 ポイント、16.9 ポイント上回っている。

(8) 高齢者外出支援事業についての情報の入手先

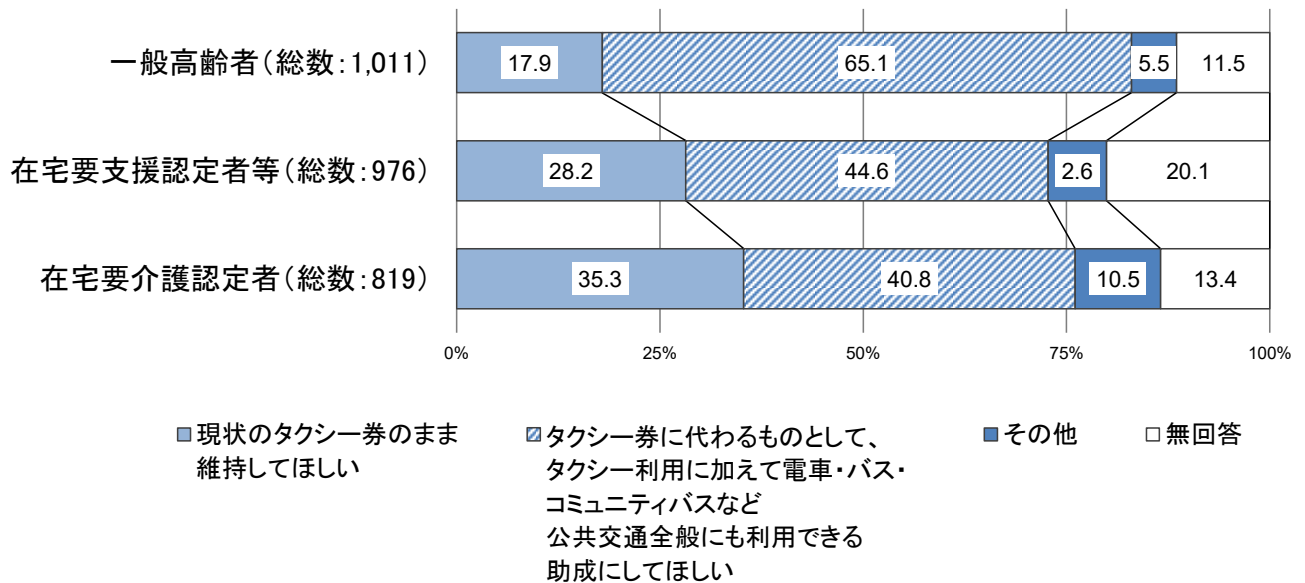
[設問] (高齢者外出支援事業を「知っていた」方のみ)
本事業を何で知りましたか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等では「親族・友人・知人からの情報」がそれぞれ 51.0%、43.4%、在宅要介護認定者では「市役所 (広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)」が 43.9%で最も多くなっている。

(9) 今後の高齢者外出支援事業の見直しについて

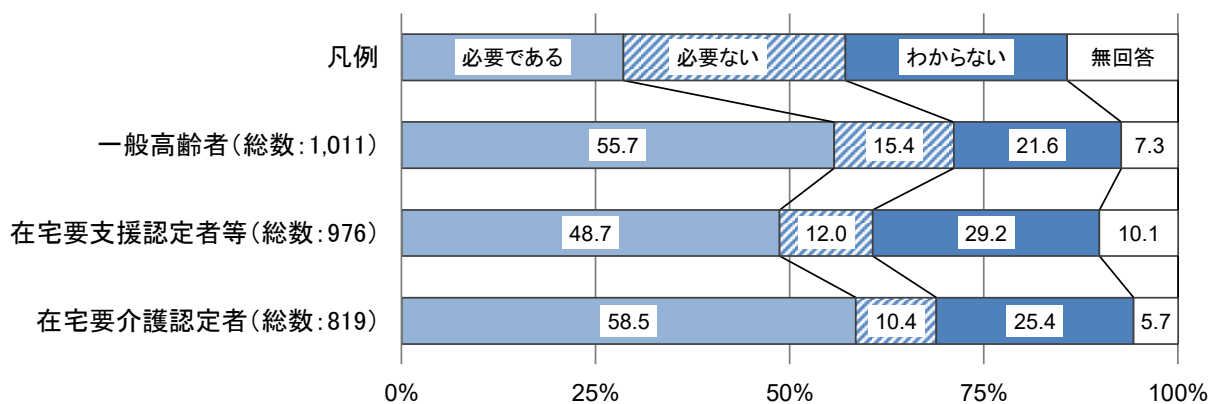
〔設問〕本事業では、1枚500円のタクシー券を月3枚（年間最大36枚）支給しておりますが、今後、高齢化の進展により予算が増大することが見込まれており、このままの状況を維持することは非常に困難です。今後の事業の見直しについてどう思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、自宅介護認定者いずれも「タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にしてほしい」がそれぞれ 65.1%、44.6%、40.8%で最も多く、次いで「現状のタクシー券のまま維持してほしい」がそれぞれ 17.9%、28.2%、35.3%などとなっている。

(10) 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納について

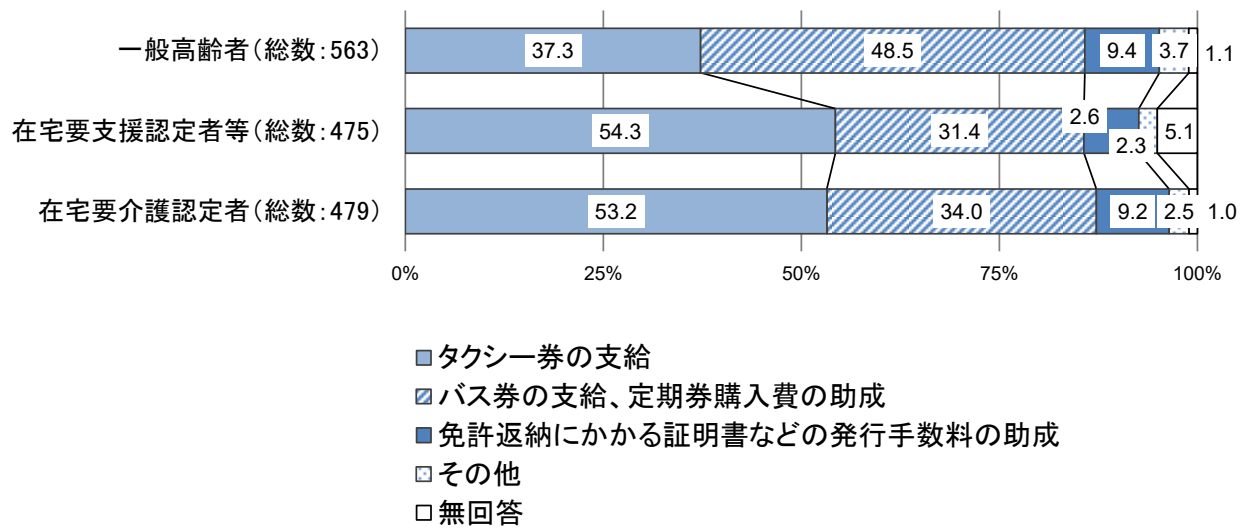
〔設問〕近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていないが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも、「必要である」が最も多く、それぞれ 55.7%、48.7%、58.5%、次いで「わからない」が 21.6%、29.2%、25.4%などとなっている。

(11) 運転免許証を自主返納した方に必要な支援

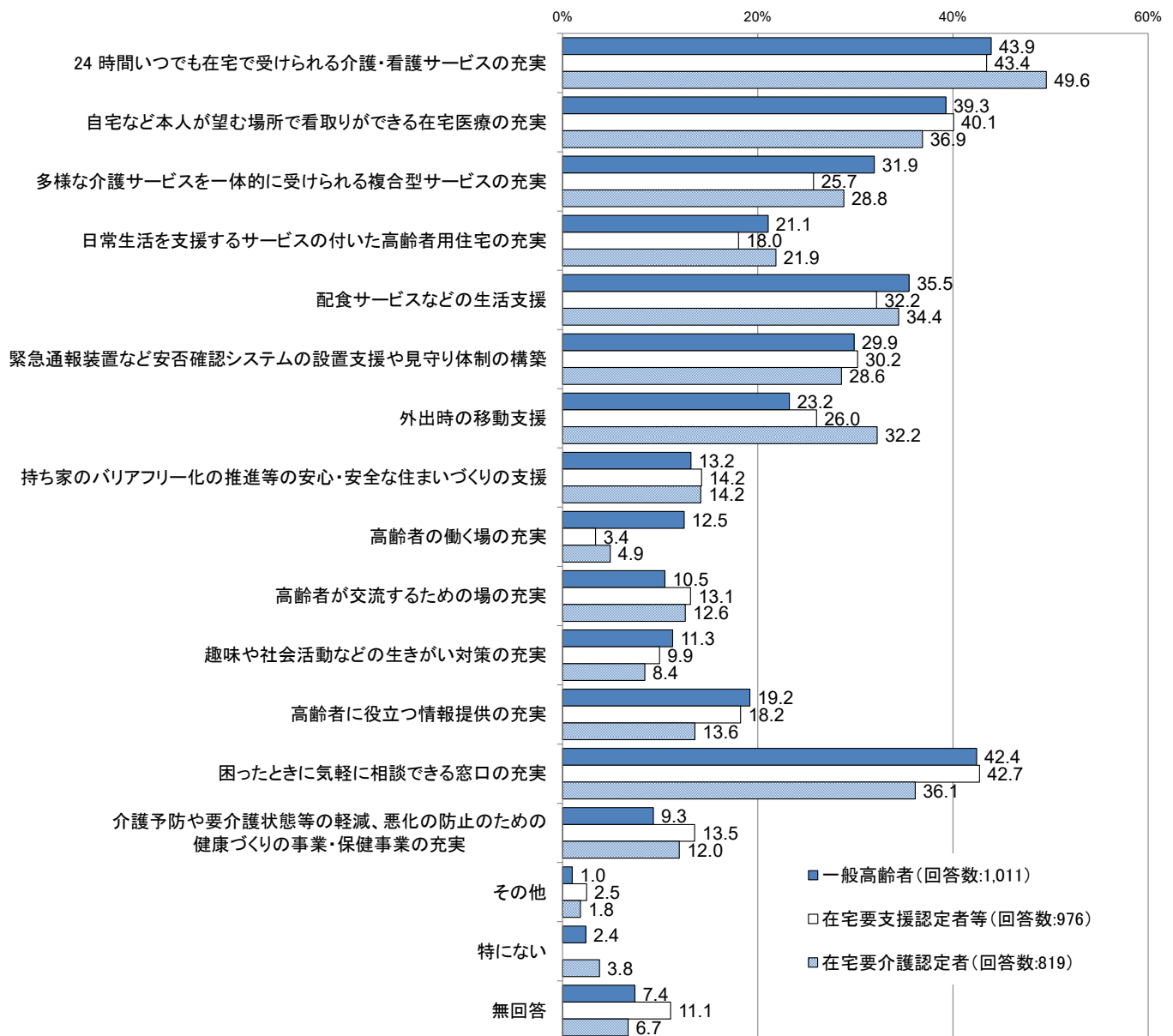
[設問] (運転免許証を自主返納した方に対し支援が「必要である」と思う方のみ)
どのような支援が必要であると思いますか。



○一般高齢者では「バス券の支給、定期券購入費の助成」が 48.5%で最も多く、次いで「タクシー券の支給」が 37.3%、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では「タクシー券の支給」がそれぞれ 54.3%、53.2%で最も多く、次いで「バス券の支給、定期券購入費の助成」が 31.4%、34.0%などとなっている。

(12) 高齢者が地域で在宅生活を持続するために必要な施策

[設問] あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を持続していくために、主としてどのような市の施策が必要であると考えますか。(〇は5つまで)



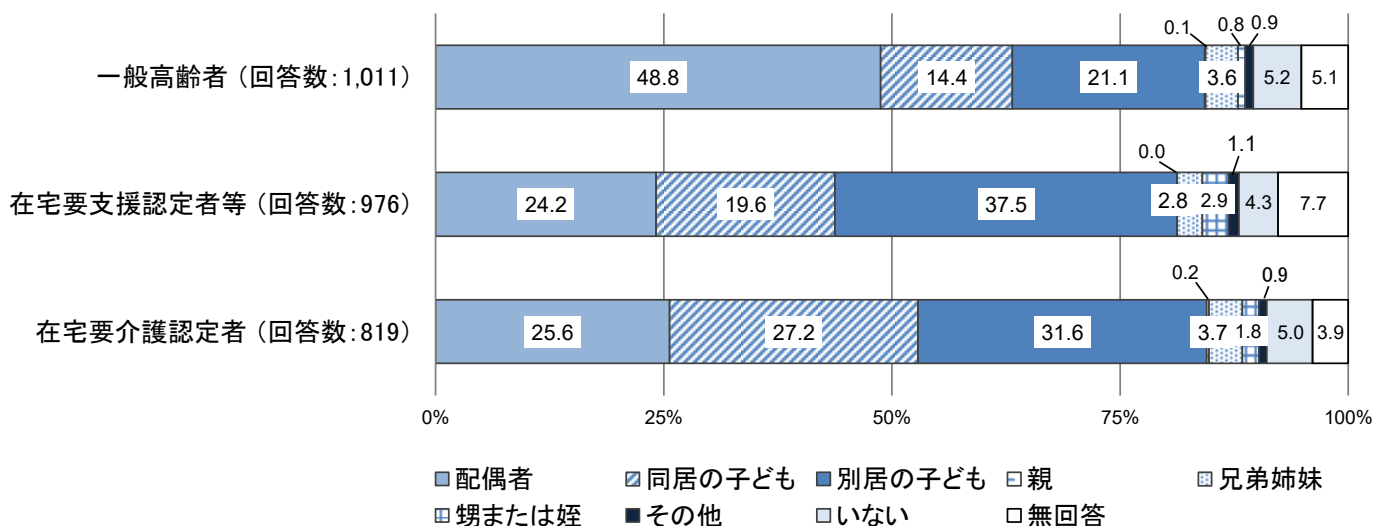
○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「24 時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実」がそれぞれ 43.9%、43.4%、49.6%で最も多く、次いで一般高齢者、在宅要支援認定者等では「困ったときに気軽に相談できる窓口の充実」が 42.4%、42.7%、在宅要介護認定者では「自宅など本人が望む場所で看取りができる在宅医療の充実」が 36.9%などとなっている。

11 将来への備えについて(問J)

(在宅要支援認定者等調査では問I、在宅要介護認定者調査では問F)

(1) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内の有無

[設問] あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症など)に、必要な手続きや金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。(〇は1つ)

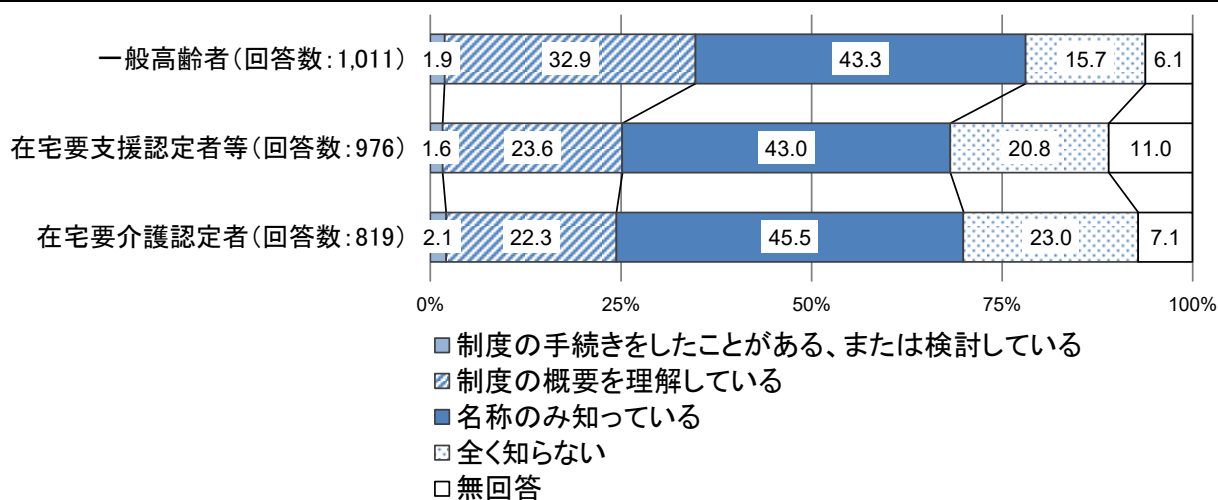


○一般高齢者では「配偶者」が48.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が21.1%、「同居の子ども」が14.4%などとなっている。在宅要支援認定者等と在宅要介護認定者では「別居の子ども」が最も多く、それぞれ37.5%、31.6%、次いで在宅要支援認定者等では「配偶者」が24.2%、在宅要介護認定者では「同居の子ども」が27.2%などとなっている。

(2) 成年後見制度の認知度

[設問] あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。(〇は1つ)

(「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。)



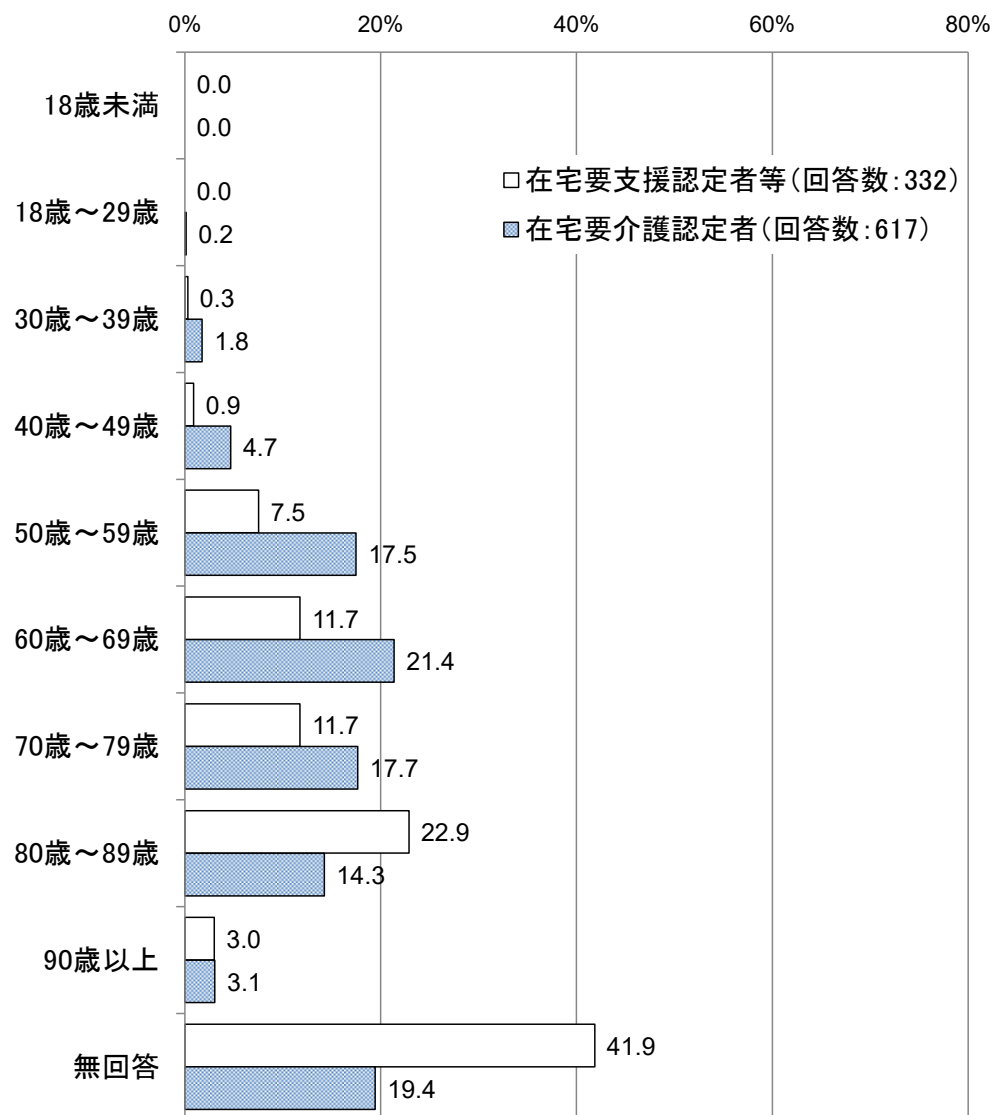
○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも、「名称のみ知っている」が最も多く、それぞれ43.3%、43.0%、45.5%、次いで一般高齢者、在宅要支援認定者等では「制度の概要を理解している」が32.9%、23.6%、在宅要介護認定者では「全く知らない」が23.0%などとなっている。

12 主な介護者の方への質問

(在宅要支援認定者等調査では問M、在宅要介護認定者調査では問G)

(1) 介護者の年齢

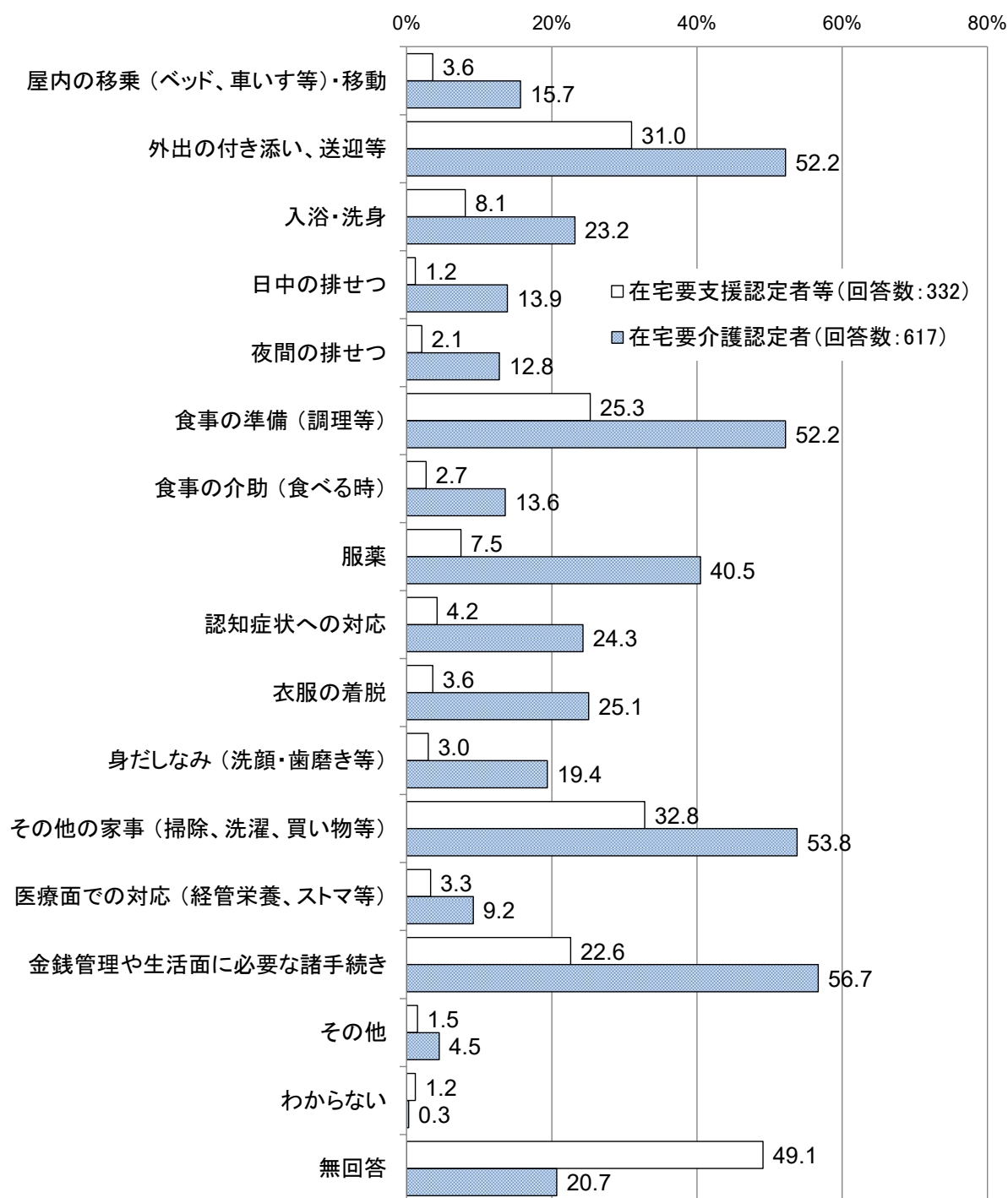
[設問] ①あなたの年齢をお答えください。



○無回答を除き、在宅要支援認定者等では「80～89歳」が22.9%で最も多く、次いで「60～69歳」と「70～79歳」がともに11.7%などとなっている。在宅要介護認定者では「60～69歳」が21.4%で最も多く、次いで「70～79歳」が17.7%などとなっている。

(2) 主な介護者が行っている介護等

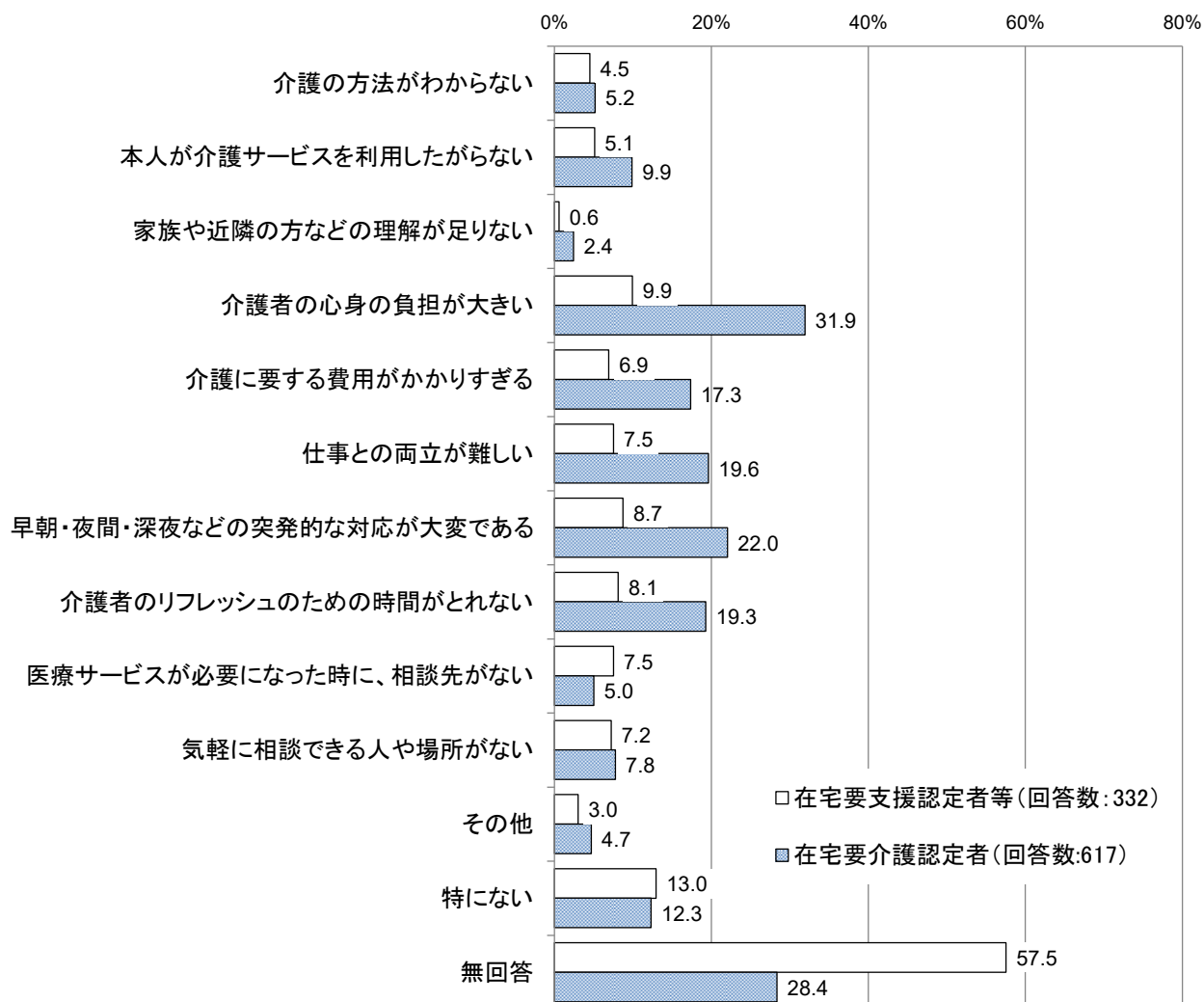
[設問] 現在、主な介護者の方が行っている介護等は、次のどれですか。(○はいくつでも)



○無回答を除き、在宅要支援認定者等では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 32.8%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 31.0%、「食事の準備(調理等)」が 25.3%などとなっている。在宅要介護認定者では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 56.7%で最も多く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 53.8%、「外出の付き添い、送迎等」と「食事の準備(調理等)」が 52.2%などとなっている。また、在宅要介護認定者では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「服薬」がそれぞれ56.7%、40.5%で在宅要支援認定者等の22.6%、7.5%と大きな差がある。

(3) 介護を行う上で困っていること

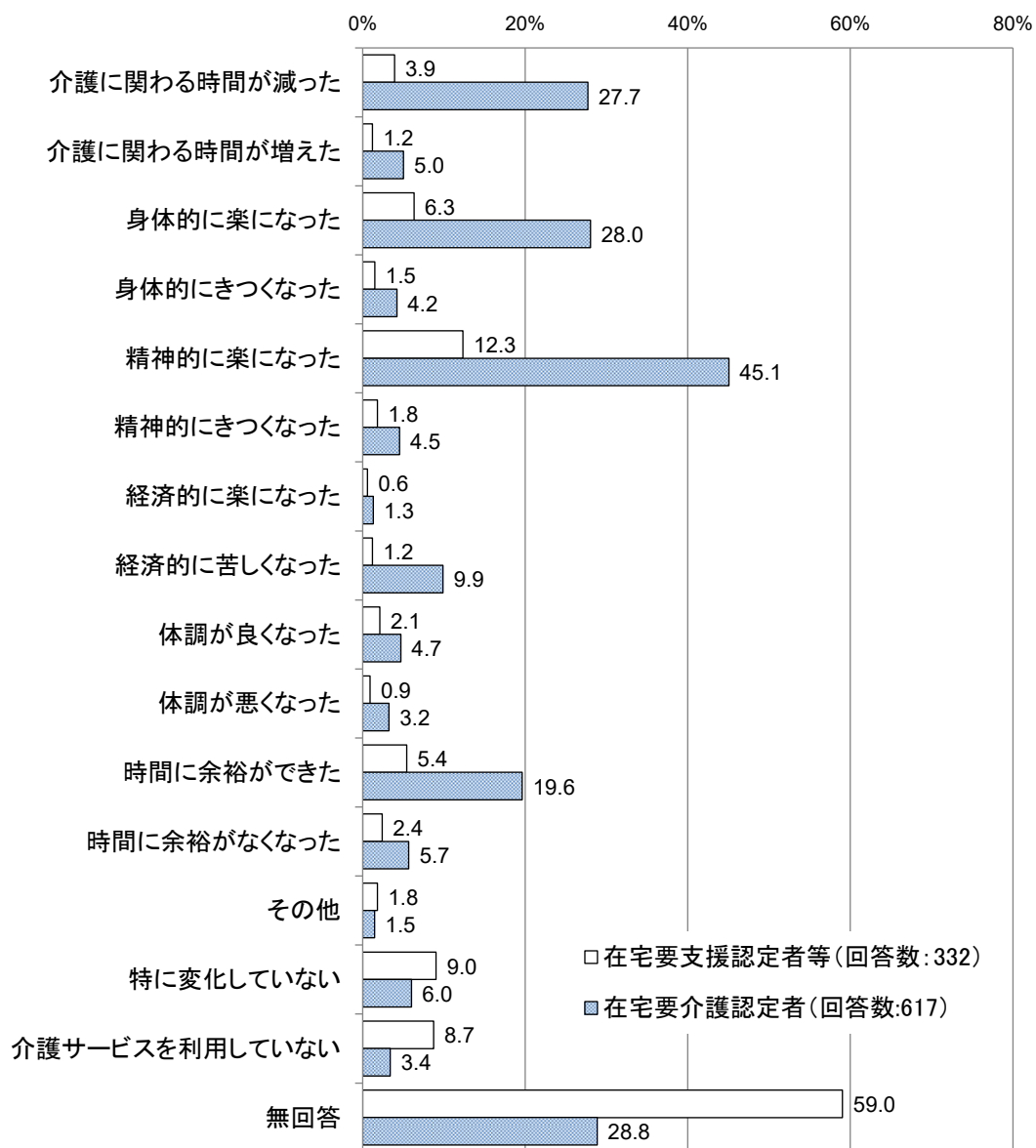
[設問] 介護を行う上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)



○「無回答」を除き、在宅要支援認定者等では「特にない」が13.0%で最も多く、次いで「介護者の心身の負担が大きい」が9.9%、「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が8.7%などとなっている。在宅要介護認定者では「介護者の心身の負担が大きい」が31.9%で最も多く、次いで「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が22.0%、「仕事との両立が難しい」が19.6%などとなっている。

(4) 介護サービス利用による介護者の変化

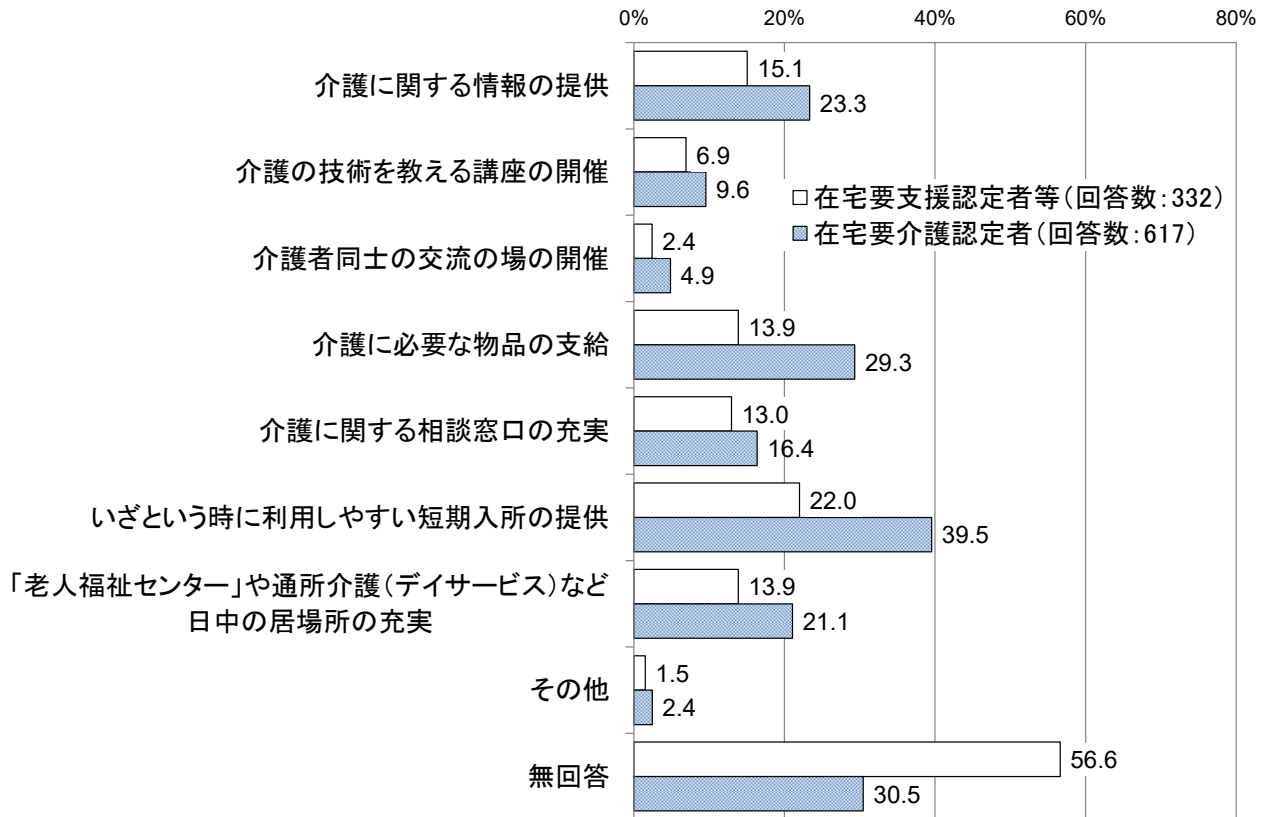
[設問] 介護サービスを利用することによって、介護している方はどのように変化しましたか。(〇はいくつでも)



○無回答を除き、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「精神的に楽になった」がそれぞれ 12.3%、45.1%で最も多く、次いで在宅要支援認定者等では「特に変化していない」が 9.0%、在宅要介護認定者では「身体的に楽になった」が 28.0%などとなっている。

(5) 介護者としてあったらいいと思う支援

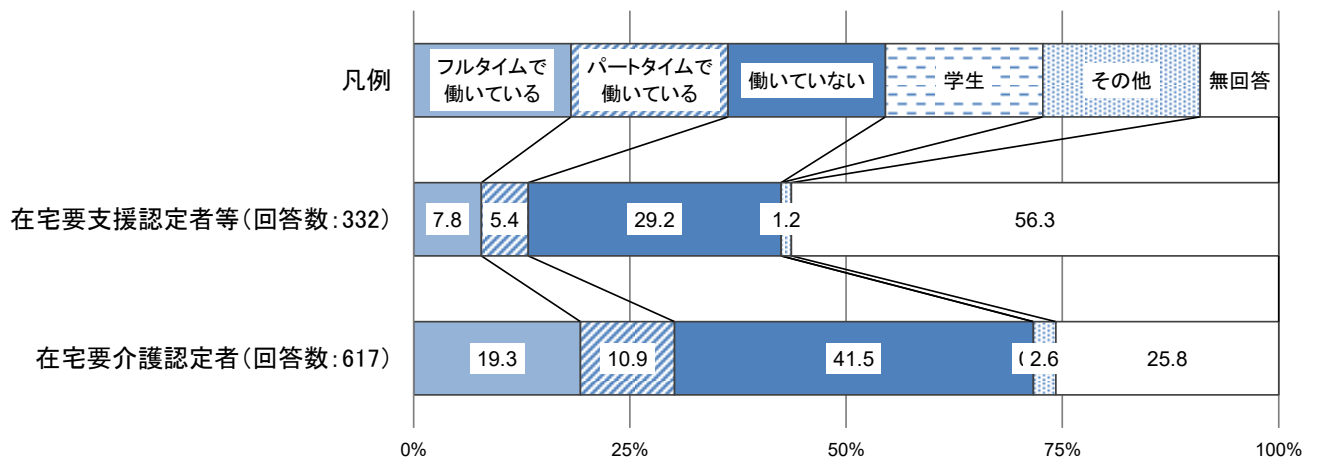
〔設問〕介護者として、介護に関してどのような支援があったらいいと思いますか。



○「無回答」を除き、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「いざという時に利用しやすい短期入所の提供」がそれぞれ 22.0%、39.5%で最も多く、次いで在宅要支援認定者等では「介護に関する情報」が 15.1%、在宅要介護認定者では「介護に必要な物品の支給」が 29.3%などとなっている。

(6) 介護者の現在の勤務形態等

〔設問〕あなたの現在の勤務形態等についてお答えください。

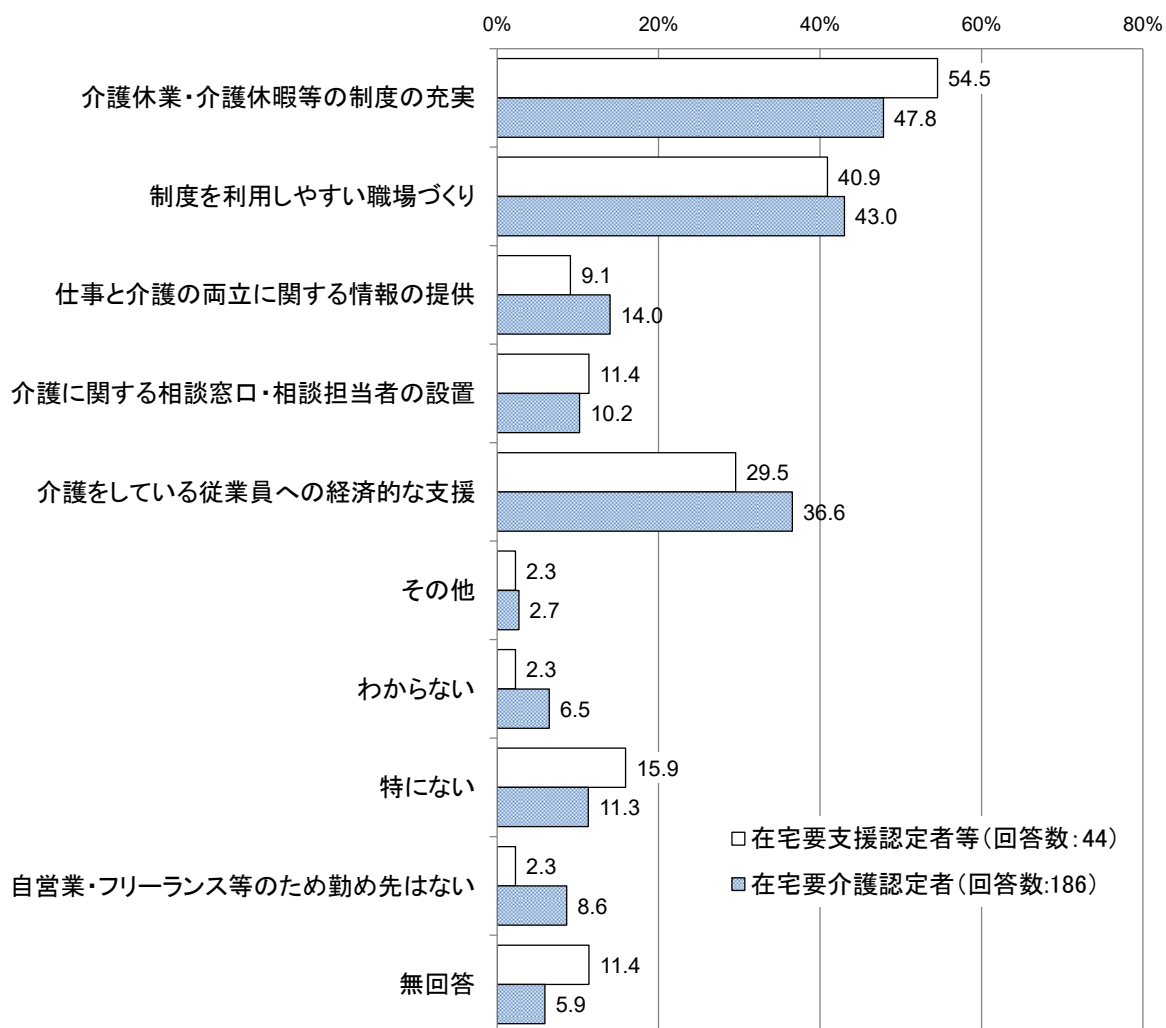


○「無回答」を除き、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも、「働いていない」が最も多く、それぞれ 29.2%、41.5%となっている。次いで「フルタイムで働いている」が 7.8%、19.3%、「パートタイムで働いている」が 5.4%、10.9%となっている。

(7) 勤め先からの支援について

〔設問〕(フルタイム/パートタイムで働いている方のみ)

あなたは、勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)



○在宅要支援認定者等と在宅要介護認定者ともに「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多く、それぞれ54.5%、47.8%、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が40.9%、43.0%、第3位は「介護をしている従業員への経済的な支援」が29.5%、36.6%などとなっている。

(8) 自由意見等

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

【記述内容(主なもの)】(属性:回答者/年齢/居住地域/性別)

<一般高齢者>

- 寝たきり状態になり、介護人もなく(身内に)経済的にも余裕が無くなった場合どうすれば良いか、今不安である。独居老人になった場合の生活の仕方はどうすれば良いか。 あて名のご本人/75歳~79歳/花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保/男性
- 公民館などのサークル活動も多々ありますが、メンバーが長くいる人たちで固まっているように思えて新規に参入しにくい感じです。気候が良い時に公園などで気軽にできる運動の場があると良いです。広報などを見ていると谷津での活動、催しが他の地域に比べて少ない様に思います。 あて名のご本人/70歳~74歳/谷津、谷津町、奏の杜/女性
- 年金(遺族年金含む)が月5万ほどで、その中から国民健康保険、介護保険、家賃、光熱費を支払うとほとんど残りません。頑張っているのですが、年々転倒する回数が増え、この先の生活が危なくなってきました。その場合どこに相談すればよいのか?いつまで働けるのか?不安はつきません。 70歳~74歳/実籾、実籾本郷、新栄、東習志野
- 高齢者が安心して住める市や町であってほしい(例えばバリアフリー等)。 あて名のご本人/75歳~79歳/津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎/女性
- イベント、施設のシルバー割引があると今までより外出の回数が増えると思います。 あて名のご本人/70歳~74歳/谷津、谷津町、奏の杜/女性
- 現在、社会福祉協議会のボランティアをして、地域の福祉活動をしています。以前には民生委員として活動したことがありました。今でも思うのですが、市からの地域の方々の情報が少なく、見守り等をしたくても、どこに誰が住んでいらっしゃるのか全く分からないのが現状です。民生委員の時はその地区の事を良く知っている方々に聞かまわり、1軒1軒訪ねて回りました。その頃は喜寿や米寿等の祝い金を配っていましたので、その時に訪問出来てお会いできたのですが、現在はその制度もなくなりました。市の方ではせめて75才後期高齢者になった年に、75歳の方全員に、民生委員の方に訪問してもらうというのはできないのでしょうか。(一部抜粋) あて名のご本人/70歳~74歳/秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦/女性
- 私は藤崎に住んでいますが、習志野市の公民館へは交通の便が悪くて利用していません。もっぱら船橋市の公民館へ参加させてもらっています。藤崎図書館があった頃は時々通っていましたが、今はそれも遠くなりほとんど行きません。どの地区の人も利用しやすい交通手段があれば助かるのですが…。ご検討下されば幸いです。 あて名のご本人/75歳~79歳/津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎/女性
- 免許、自主返納した場合、タクシー券、バス券等選択制にしてほしい。 あて名のご本人/85歳~89歳/谷津、谷津町、奏の杜/男性
- 高齢者外出支援事業のタクシー券をいただいているのですが、重い荷物のある時、具合が悪くて病院へ行く時など大変助かっています。故夫が闘病していた時、地域包括センターの存在はとてありがたかったです。すぐに対応してもらえたことは市への信頼につながりました。 あて名のご本人/75歳~79歳/花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保/女性
- このアンケートを記入していったら、マンション住まいで、近隣付き合いやボランティア参加もないため、年をとったら…の不安が過ぎりました。健康福祉部、高齢者支援課、頼りです。年令的に健康面では不安もないのですが、75才以後はどんな不便が及ぶのか、今後の福祉など考えて行かなくては…と考えさせられました。予備知識や施設にお世話になることなど自分事として計画していこうと思いました。(一部抜粋) あて名のご本人/70歳~74歳/津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎/女性

<在宅要支援認定者等>

- 交流するための場の充実があるいいと特に思いました。よろしくお願いします。 あて名のご本人／85 歳～89 歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- 介護サービスの内容をもう少し具体的に充実したものにしてほしいです。 あて名のご本人／85 歳～89 歳／谷津、谷津町、奏の杜／男性
- 毎年タクシー券をいただいておりますが、なるべく使用しないように心掛けています。いざ使いたい時にタクシー券が無くて使えない事があり病院に行く際に困ったことがありました。 あて名のご本人／85 歳～89 歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 長く続いているコロナ禍、こうして細かく考えてくださる市役所の皆様に心より感謝申し上げます。お陰様で現在夫婦二人で何とか歩いて近くまでは交互に買い物にも行けております。それはというもの、一緒に住んでくれている 58 歳の娘が一生懸命勤めに出ています。私共も親として少しでも応援してやりたいと思って頑張っております。これからも多くの若者達が元気に働ける世の中であってもらいたく頑張っております。ありがとうございます。ご苦勞様です。 あて名のご本人／85 歳～89 歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- タクシー券について、毎年タクシー券をありがとうございます。病院、ショッピング等に使用させて頂いております。すぐになくなってしまいますので、もう少し多くしていただけたら幸せに存じます。どうぞよろしくお願いします。健康について、要支援者のみの健康体操、または学習会の実施をお願いします。 あて名のご本人／80 歳～84 歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 施策の検討の前に、年金だけでは生活していけない現状。家族がお金を支援してやりくりしているが、父は介護施設で母はひとり暮らし、生活保護のハドルは高いし 2 人分の生活を支えるのは限界に近い。月の収入をなんとかしないとサービス以前の問題なので話にならない。 あて名の方の親族／80 歳～84 歳／実籾、実籾本郷、新栄、東習志野／女性
- 現在歩行器を使用して外出していますが、バスに乗る時段差に苦勞しています。段差のない道路や町にしてほしいです。 あて名のご本人／75 歳～79 歳／秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦／女性
- ヘルパーさんに部屋やお風呂場の掃除をしていただいておりますのでわかりません。現在は満足しています。 あて名のご本人／80 歳～84 歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 可能な限り自立した生活をするを基準といたしますが、行政の援助も必要に応じて受けたいと思います。介護過多による弊害も指摘されておりますので自立生活を最期まで出来ればと夢見ております。この調査票の内容がお蔵入りすることなく現実の市政に活かされることを希望します。 あて名のご本人／70 歳～74 歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／男性
- 楽しく穏やかに日々過ごしておりますので特に要望はございませんが、今後とも高齢者の心に寄り添った内容を充実させていただきたく願っております。年に 1 度でも高齢者の生の声を聞ける会を開催されるのもいいと思います。 あて名のご本人／85 歳～89 歳／実籾、実籾本郷、新栄、東習志野／女性
- 私は友人・知人に生活上で困ったことが生じたら市役所に相談すること、必要な窓口には必ず繋いでくれると話しています。私に必要な時に自分で出来ない時は周囲のどなたかにやっていただくよう伝えたいと思っています。よろしくお願いします。市役所が頼りです。 あて名のご本人／75 歳～79 歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- アンケートの回数が多い。アンケートの回答が負担になります。 あて名の方の子ども／80 歳～84 歳／津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎／男性
- 少ない年金生活でサービスを利用させて頂いておりますのでもう少し利用負担額がおさえられると幸いです。 85 歳～89 歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- これから高齢者はしばらく増えることとなると思います。高齢者が自立して生活出来ることが大切なことではないでしょうか。その為に少しでも早くからケアすることは良い対策と共に必要かと思います。年令に応じて進めて行くことも大事なプロセスかと感じています。あて名の方の配偶者(夫・妻)／80 歳～84 歳／津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎／男性

<在宅要介護認定者>

- 色々な施策を実施していることを、母が認知症となり介護をする事になってはじめて知りました。ありがたいなと思える施策がいくつも用意されていましたが、もっと積極的に訴求すべきと思います。当事者となってから色々調べて知るより、健常の間から意識付けをする事が重要だと思います。そのためには今は福祉施策が必要でない層へ向けても広く認知してもらう方法を考え実施して下さい。 あて名の方の子ども／85歳～89歳／実籾、実籾本郷、新栄、東習志野／女性
- 今の所デイサービス訪問介護、訪問診療を受けておりますが、すべて満足しております。しばらく今のままで続けられたらと思っております。職員の皆様のお気遣いに感謝致しております。 あて名の方の子ども／100歳以上／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- 10月度に要介護を適用されましたが、この2ヶ月で体力筋力がおとろえて困っています。今年88才で日々体調が変化しています。特養施設の申込みが今の段階では出来ないと言われました。入居出来る出来ないにかかわらず介護者としては早めに入居対応していただけると安心します。 あて名の方の子ども／85歳～89歳／実籾、実籾本郷、新栄、東習志野／女性
- コロナ、長寿社会、人手不足、仕方ないことと思いますが、老人施設など時々事故が起きないように調査して頂けると良いです。特養、有料老人ホームも介護士さんが少ないです。大変な仕事です。長続きされず退職者も多いようです。好きなことを書かせて頂きましたが市役所で働いていらっしゃる方達もお忙しい事でしょう。廉に薬を使用せず健康に気をつけるべき食事と運動を心がけているつもりです。ありがとうございます。これからよろしくお願いいたします。 あて名の方の子ども／65歳～69歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 実質的に入れる老人ホームの管理と作成。 あて名のご本人／90歳～94歳／秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦／男性
- 先がみえない介護は精神的にも肉体的にもとても疲れます。介護者にももっと気楽に相談できる窓口があれば、気分も多少楽になるのかとも思います。施設入居前にはケアマネジャーによくしていただいたのでわかりやすく援助受けさせていただけにいました。あて名の方の子ども／90歳～94歳／谷津、谷津町、奏の杜／男性
- 今は施設入所しているがそれまではいろいろあった。その都度ケアマネやデイサービスの方達が良くして下さりありがたかったです。介護の現場ではいろいろな問題があるようですが、介護する全ての人が追いこまれないようなシステムを構築していただけるとありがたいです。 あて名の方の子ども／85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性

第2章 施設入所者調査

【調査回答者】

〔設問〕このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

(単位%)

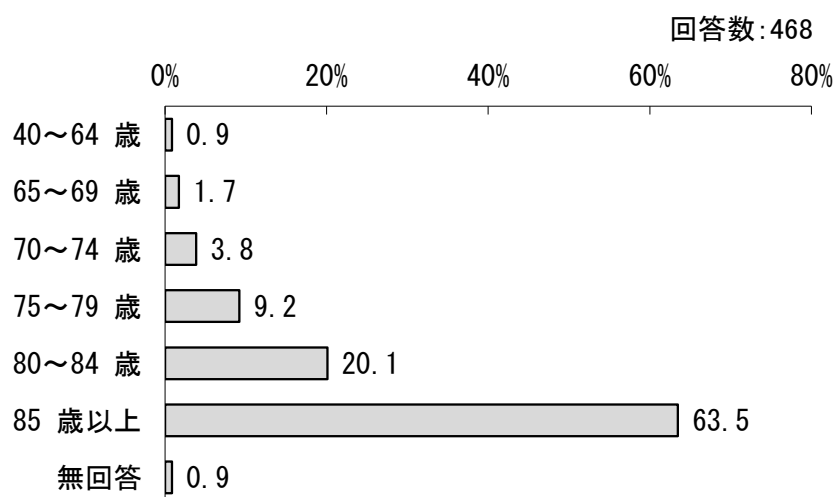
	あて名 のご本人	あて名 の方の 配偶者 (夫・妻)	あて名 の方の 子ども	あて名 の方の 親族	友人・ 知人	ケアマ ネジャー	施設の 職員	ホーム ヘルパー	その他	無回答
施設入所者 (回答数 468)	35.7	4.3	29.9	3.6	0.0	3.2	19.7	0.6	3.0	35.7

○「あて名のご本人」が 35.7%で最も多く、次いで「あて名の方の子ども」が 29.9%で多くなっている。

Ⅰ 本人の年齢や性別などについて

(Ⅰ) 年齢

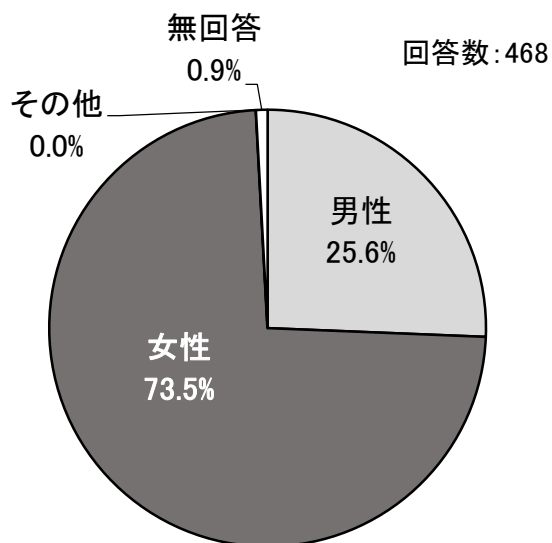
問Ⅰ あなたの年齢をお答えください。



○「85歳以上」が 63.5%で最も多く、次いで「80～84歳」が 20.1%、「75～79歳」が 9.2%などとなっている。

(2) 性別

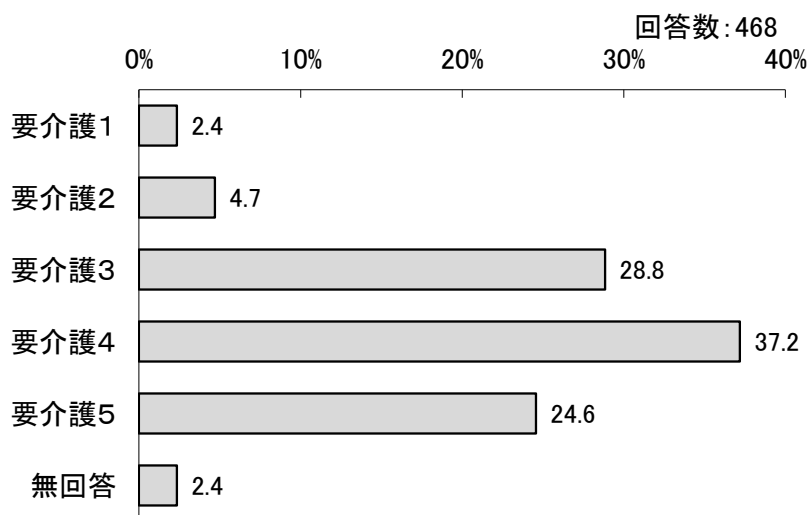
問2 あなたの性別をお答えください。



○「男性」が 25.6%、「女性」が 73.5%で、女性が多くなっている。

(3) 要介護度

問3 あなたの要介護度は次のどれにあたりますか。

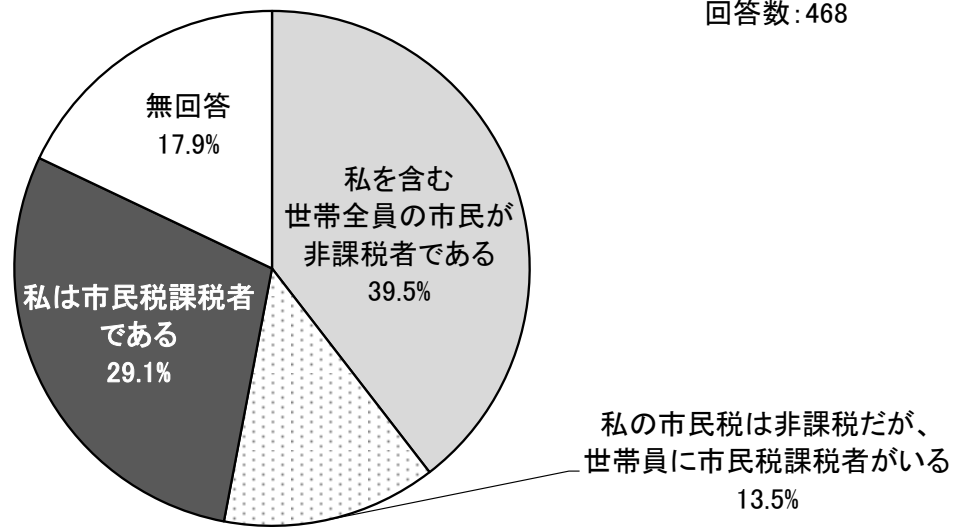


○「要介護4」が 37.2%で最も多く、「要介護3」が 28.8%、「要介護5」が 24.6%と続いている。

(4) 市民税課税状況

問4 市民税の課税状況をお答えください。

回答数: 468

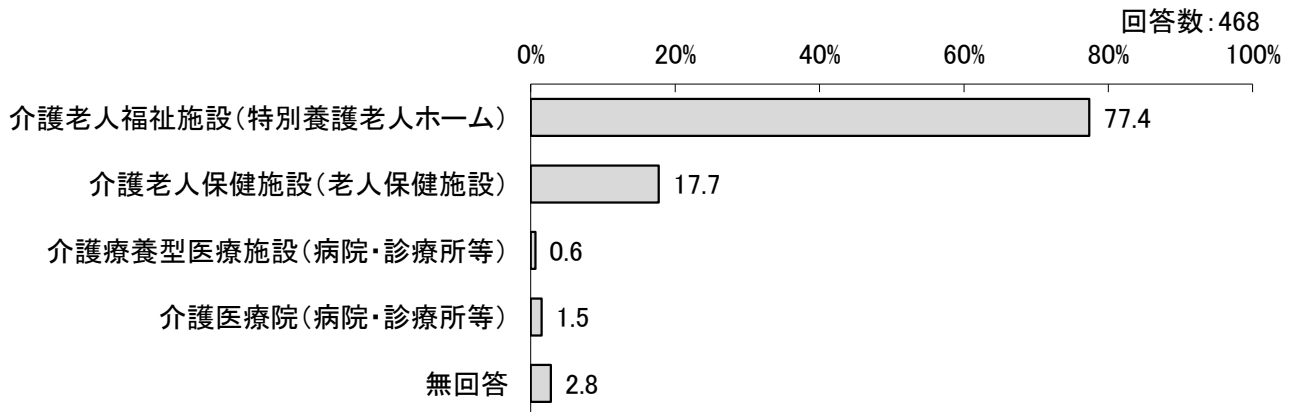


○「私を含む世帯全員の市民税が非課税である」が 39.5%で最も多くなっている。

2 入所している施設について

(1) 入所施設の種類の種類

問5 あなたは現在、どの施設に入所していますか。



○「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が 77.4%で最も多く、次いで「介護老人保健施設(老人保健施設)」が 17.7%で多くなっている。

【要介護度別】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設(老人保健施設)	介護療養型医療施設(病院・診療所等)	介護医療院(病院・診療所等)	無回答
全体	468	362	83	3	7	13
	100.0	77.4	17.7	0.6	1.5	2.8
要介護1	11	5	5	0	1	0
	100.0	45.5	45.5	0.0	9.1	0.0
要介護2	22	8	13	0	0	1
	100.0	36.4	59.1	0.0	0.0	4.5
要介護3	135	112	21	0	1	1
	100.0	83.0	15.6	0.0	0.7	0.7
要介護4	174	143	24	1	1	5
	100.0	82.2	13.8	0.6	0.6	2.9
要介護5	115	91	17	2	4	1
	100.0	79.1	14.8	1.7	3.5	0.9
無回答	11	3	3	0	0	5
	100.0	27.3	27.3	0.0	0.0	45.5

○「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」は要介護3以上の施設入所者のうち8割前後と多くなっており、「介護老人保健施設(老人保健施設)」は要介護2の施設入所者の割合が多くなっている。

【経年比較】

(単位%)

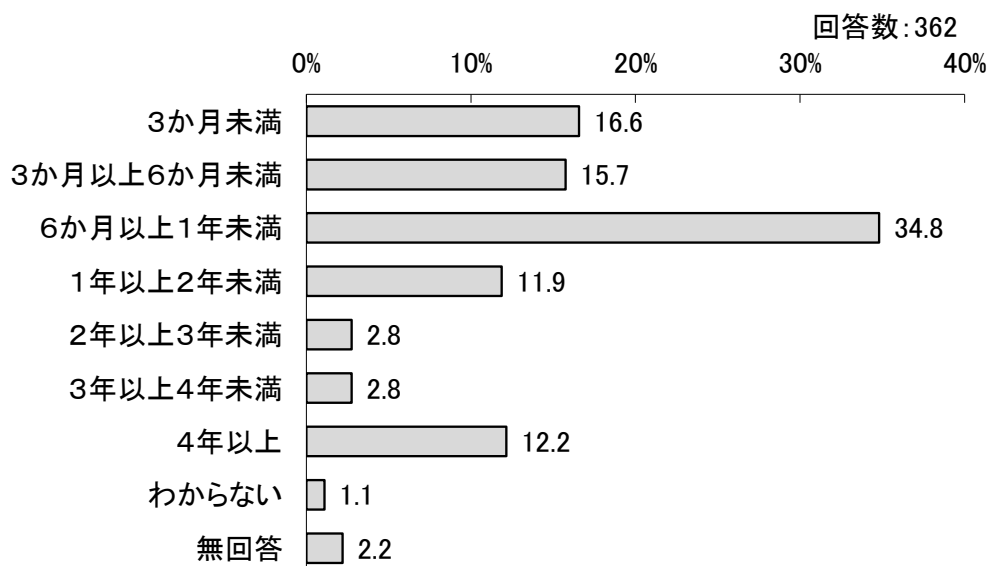
	合計	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設(老人保健施設)	介護療養型医療施設(病院・診療所等)	介護医療院(病院・診療所等)	無回答
令和4年度調査 (総数 468)	100.0	68.1	25.9	1.1	1.1	3.7
令和元年度調査 (総数 348)	100.0	68.1	25.9	1.1	1.1	3.7

○令和元年度の調査結果と比較すると、今回調査では「介護老人福祉施設」が 9.3 ポイント増加し、「介護老人保健施設」が 8.2 ポイント減少している。

(2) [介護老人福祉施設] 申込から入所するまでの期間

問5-1 (介護老人福祉施設に入所されている方のみ)

入所申込をされてから、入所するまでの期間はどの程度でしたか。

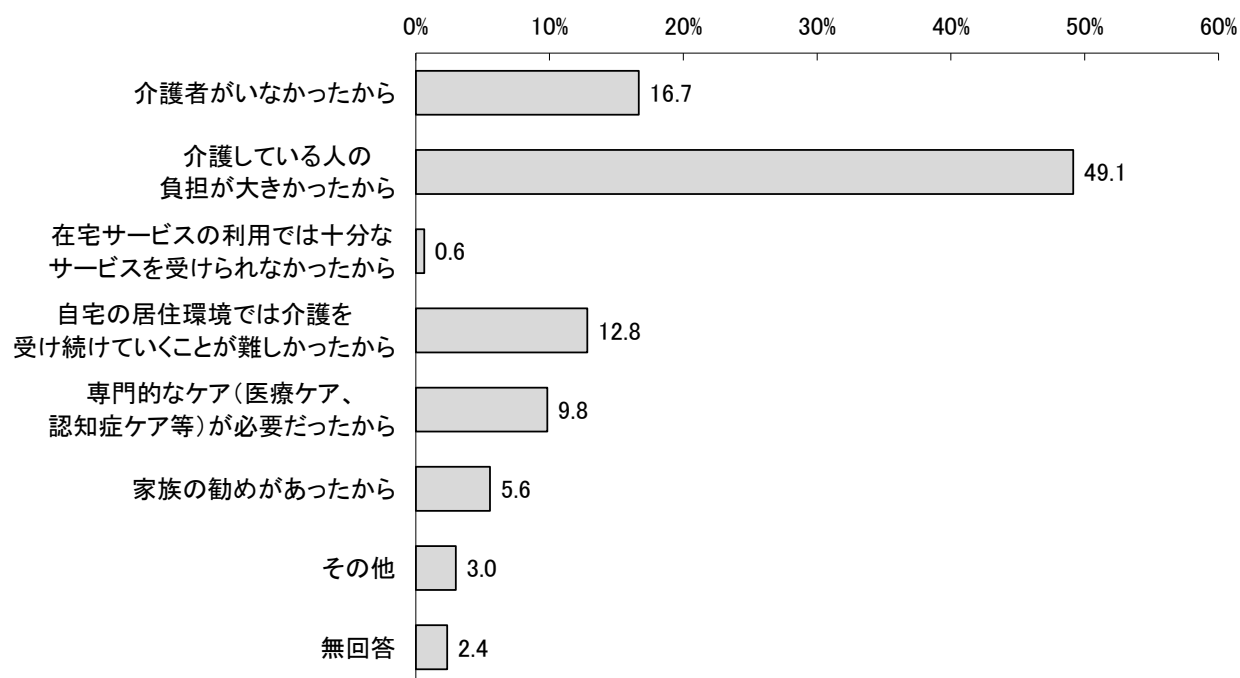


○「6か月以上1年未満」が 34.8%で最も多く、「3か月未満」が 16.6%、「3か月以上6か月未満」が 15.7%で続いている。

(3) 施設入所を選んだ理由

問6 施設の入所を選んだ主な理由は何ですか。

回答数：468



○「介護している人の負担が大きかったから」が49.1%と最も多く、「介護者がいなかったから」が16.7%、「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」が12.8%と続いている。

【要介護度別】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	介護者がいなかったから	介護している人の負担が大きかったから	在宅サービスの利用では十分なサービスを受けられなかったから	自宅の居住環境では介護を受け続けていくことが難しかったから	専門的なケア(医療ケア、認知症ケア等)が必要だったから	家族の勧めがあったから	その他	無回答
全体	468 100.0	78 16.7	230 49.1	3 0.6	60 12.8	46 9.8	26 5.6	14 3.0	11 2.4
要介護1	11 100.0	1 9.1	2 18.2	0 0.0	4 36.4	2 18.2	0 0.0	2 18.2	0 0.0
要介護2	22 100.0	8 36.4	4 18.2	0 0.0	5 22.7	3 13.6	2 9.1	0 0.0	0 0.0
要介護3	135 100.0	20 14.8	68 50.4	2 1.5	16 11.9	9 6.7	13 9.6	4 3.0	3 2.2
要介護4	174 100.0	33 19.0	86 49.4	0 0.0	28 16.1	14 8.0	8 4.6	2 1.1	3 1.7
要介護5	115 100.0	15 13.0	68 59.1	1 0.9	7 6.1	16 13.9	3 2.6	4 3.5	1 0.9
無回答	11 100.0	1 9.1	2 18.2	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	2 18.2	4 36.4

○要介護1では「自宅の居住環境では介護を受け続けていくことが難しかったから」が36.4%、要介護2では「介護者がいなかったから」が36.4%、要介護3から要介護5では「介護している人の負担が大きかったから」がそれぞれ50.4%、49.4%、59.1%で最も多くなっている。

【経年比較】

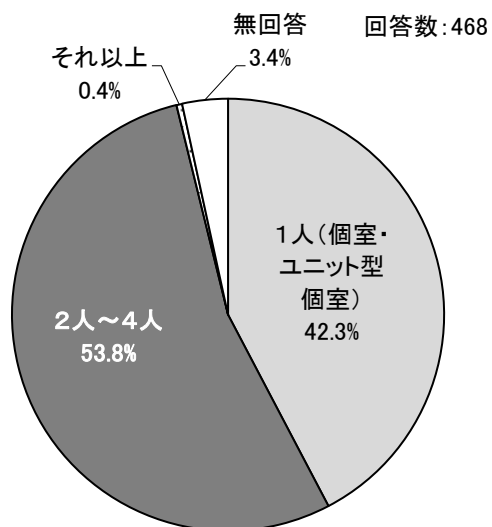
単位: %

	合計	介護者がいなかったから	介護している人の負担が大きかったから	在宅サービスの利用では十分なサービスを受けられなかったから	自宅の居住環境では介護を受け続けていくことが難しかったから	専門的なケア(医療ケア、認知症ケア等)が必要だったから	家族の勧めがあったから	その他	無回答
令和4年度調査 (回答数: 468)	100.0	16.7	49.1	0.6	12.8	9.8	5.6	3.0	2.4
令和元年度調査 (回答数: 348)	100.0	24.4	38.2	1.1	18.1	11.2	1.1	2.3	3.4

○令和元年度の調査と比較すると、今回調査の結果では、「介護している人の負担が大きかったから」が10.9ポイントと大きく増加し、「介護者がいなかったから」が7.7ポイント減少している。

(4) 部屋の定員

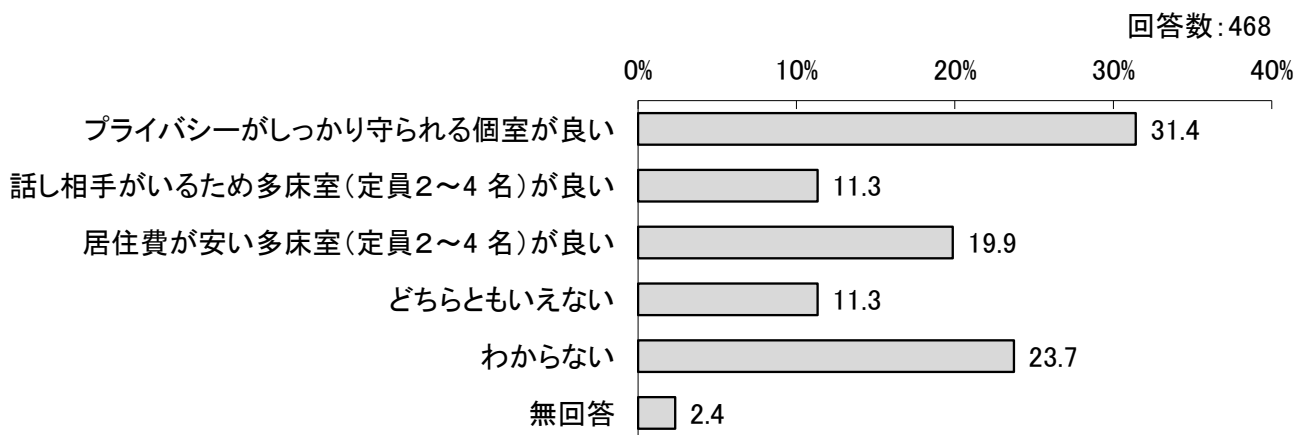
問7 あなたの部屋の定員は何人ですか。



○「2人～4人」が53.8%で最も多く、次いで「1人(個室・ユニット型個室)」が42.3%、「それ以上」が0.4%となっている。

(5) 希望する部屋の種類

問8 部屋は個室と多床室のどちらを望めますか。

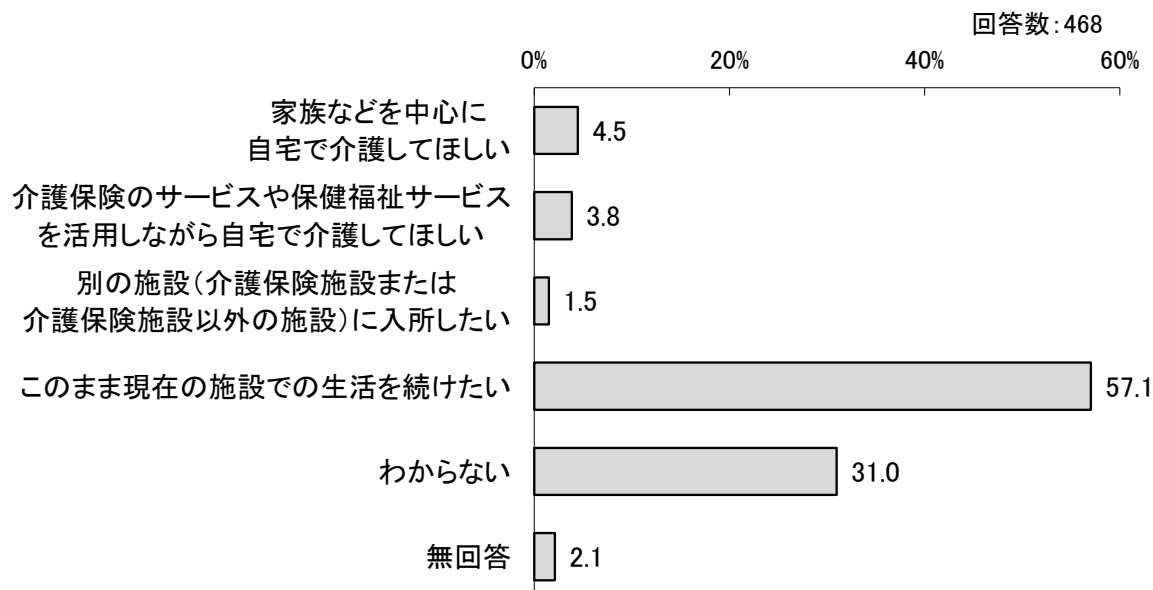


○「プライバシーがしっかり守られる個室が良い」が31.4%で最も多く、次いで「わからない」が23.7%、「居住費が安い多床室(定員2～4名)が良い」が19.9%と多くなっている。

また、多床室を希望する割合は、「話し相手がいるため」の11.3%と「居住費が安い」の19.9%を合わせて31.2%となっている。

(6) 今後希望する介護

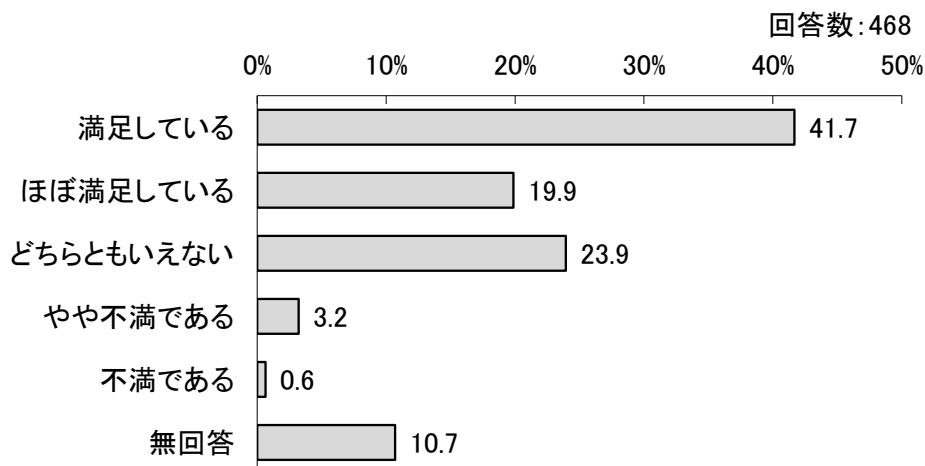
問9 今後、あなたはどのような介護を希望しますか。



○「このまま現在の施設での生活を続けたい」という回答が 57.1%を占めて最も多く、次いで「わからない」31.0%が多くなっている。

(7) サービスの満足度

問10 現在入所している施設のサービスに満足していますか。



○「満足している」が 41.7%で最も多く、「ほぼ満足している」の 19.9%を合わせると、61.6%となっている。また、「どちらともいえない」が 23.9%となっている。

【施設種類別】

上段:回答数 下段:割合(%)	合計	満足して いる	ほぼ満足 している	どちらとも いえない	やや不満 である	不満であ る	無回答
全体	468	195	93	112	15	3	50
	100.0	41.7	19.9	23.9	3.2	0.6	10.7
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	362	151	55	102	13	3	38
	100.0	41.7	15.2	28.2	3.6	0.8	10.5
介護老人保健施設 (老人保健施設)	83	37	34	7	1	0	4
	100.0	44.6	41.0	8.4	1.2	0.0	4.8
介護療養型医療施設 (病院・診療所等)	3	2	0	1	0	0	0
	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
介護医療院 (病院・診療所等)	7	3	1	1	1	0	1
	100.0	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3
無回答	13	2	3	1	0	0	7
	100.0	15.4	23.1	7.7	0.0	0.0	53.8

○「満足している」の回答割合は、各施設で4割を超えており、介護療養型医療施設で特に多く、66.7%となっている。

【経年比較】

単位: %

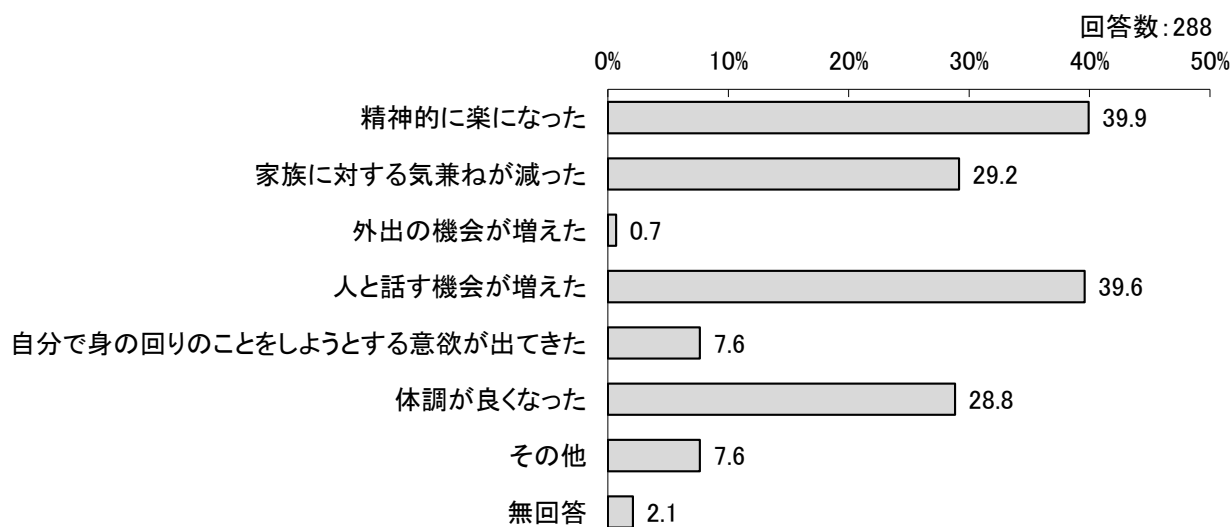
	合計	満足して いる	ほぼ満足 している	どちらとも いえない	やや不満 である	不満であ る	無回答
令和4年度調査 (回答数 468)	100.0	41.7	19.9	23.9	3.2	0.6	10.7
令和元年度調査 (回答数 348)	100.0	35.9	43.7	11.8	5.7	0.6	2.3

○令和元年度の調査と比較すると、今回調査の結果では、「満足している」が 5.8 ポイント増加しているものの、「ほぼ満足している」が 23.8 ポイントと大きく減少している。

(8) 施設サービスを受けて良かったこと

問 11 (施設サービスに「満足している」、「ほぼ満足している」方のみ)

あなたにとって、現在の施設サービスを受けて良かったと思うことは何ですか。(○はいくつでも)



○「精神的に楽になった」39.9%、「人と話す機会が増えた」39.6%が多く、「家族に対する気兼ねが減った」が 29.2%、「体調が良くなった」が 28.8%と続いている。

【施設種類別】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	精神的に楽になった	家族に対する気兼ねが減った	外出の機会が増えた	人と話す機会が増えた	自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた	体調が良くなった	その他	無回答
全体	288	115	84	2	114	22	83	22	6
	100.0	39.9	29.2	0.7	39.6	7.6	28.8	7.6	2.1
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	206	82	61	1	90	14	51	15	5
	100.0	39.8	29.6	0.5	43.7	6.8	24.8	7.3	2.4
介護老人保健施設 (老人保健施設)	71	26	20	1	22	7	28	6	1
	100.0	36.6	28.2	1.4	31.0	9.9	39.4	8.5	1.4
介護療養型医療施設 (病院・診療所等)	2	1	0	0	0	0	1	0	0
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
介護医療院(病院・診療所等)	4	3	1	0	0	1	2	0	0
	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
無回答	5	3	2	0	2	0	1	1	0
	100.0	60.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0

○介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)では、「人と話す機会が増えた」が43.7%で最も多く、次いで「精神的に楽になった」が39.8%などとなっている。介護老人保健施設(老人保健施設)では、「体調が良くなった」が39.4%と最も多く、次いで「精神的に楽になった」が36.6%などとなっている。

(9) 施設サービスを受けて不満な理由

問 12 (施設サービスに「やや不満である」、「不満である」方のみ)

あなたが、現在の施設サービスを受けて不満に思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

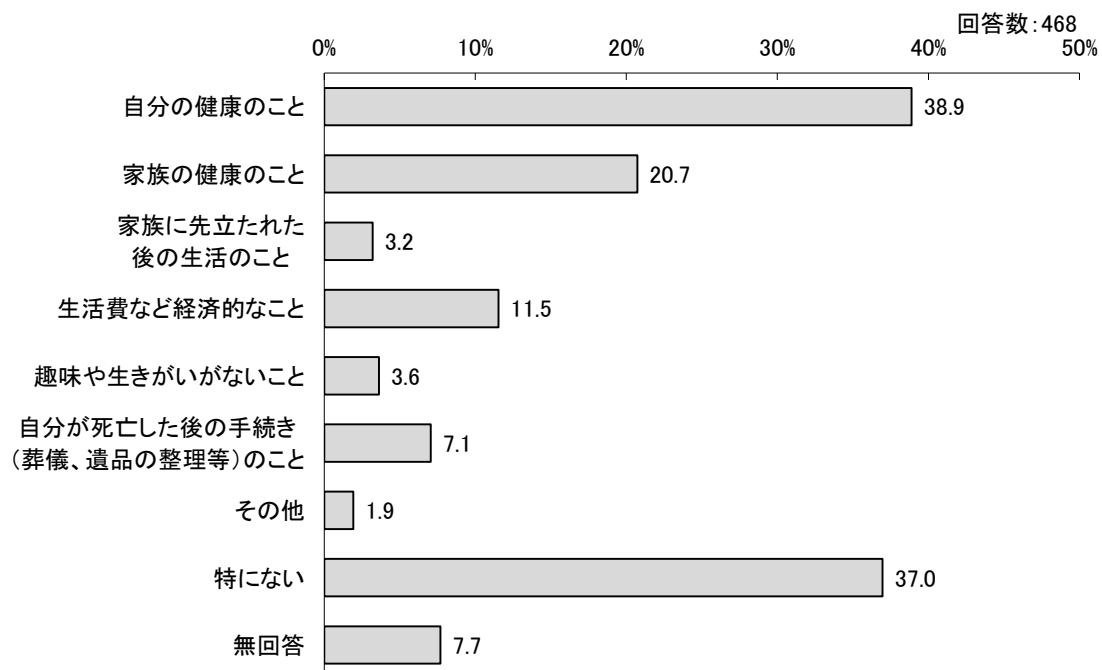
	回答数	%
おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある	4	22.2
介護の仕方がおぼつかなくて、危なっかしい	1	5.6
介護の内容や方法などについて、希望を聞き入れてくれない	1	5.6
施設の職員の態度や言葉づかいなどが悪い	3	16.7
入所者の人権やプライバシーに対する配慮が足りない	0	0.0
食事の内容に不満がある(メニューや食事のあたたかさなど)	9	50.0
その他	4	22.2
無回答	1	5.6
全体(回答者数:18)	23	100.0

〇「食事の内容に不満がある(メニューや食事のあたたかさなど)」が 50.0%で最も多く、次いで「おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある」「その他」がともに 22.2%と多くなっている。

3 現在の心配ごとや悩みごとについて

(1) 現在の心配ごとや悩みごと

問 13 あなたには、現在、心配ごとや悩みごとはありますか。(〇はいくつでも)

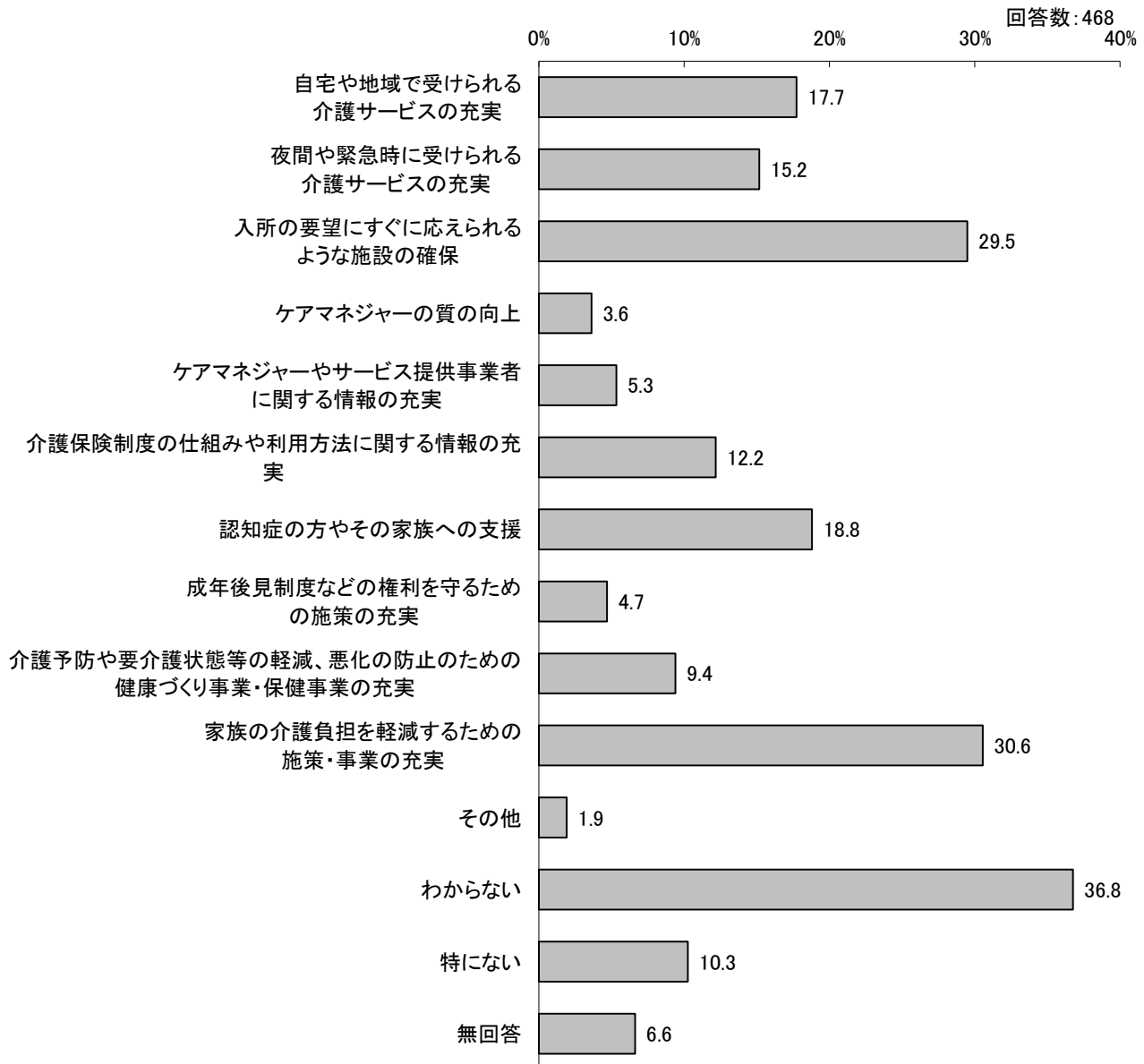


〇「自分の健康のこと」が 38.9%最も多く、次いで「特になし」が 37.0%、「家族の健康のこと」が 20.7%、「生活費など経済的なこと」が 11.5%で続いている。

4 介護保険制度、高齢者施策について

(1) 力を入れるべき介護関連施策

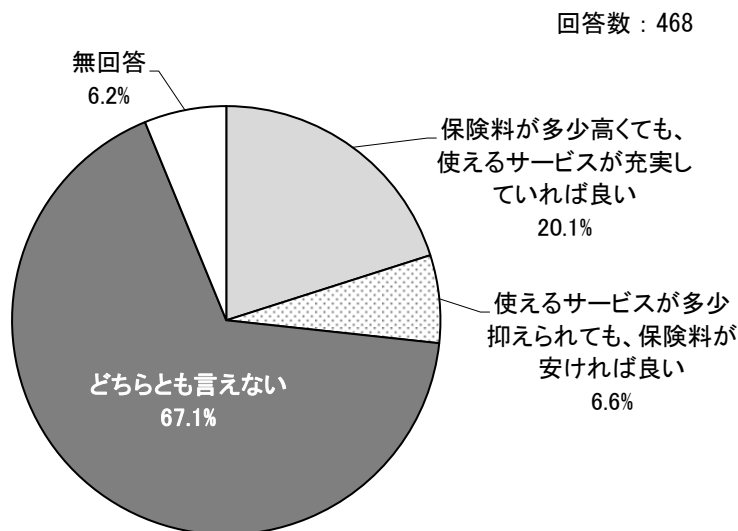
問 14 介護保険制度をはじめ、介護に関わるこれからの施策のあり方について、特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は5つまで)



○「わからない」が36.8%で最も多く、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が30.6%、「入所の要望にすぐに応えられるような施設の確保」が29.5%で続いている。

(2) 介護保険料とサービスのあり方についての意見

問 15 介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。



○「どちらとも言えない」が 67.1%で最も多く、次いで「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が 20.1%と多くなっている。

【経年比較】

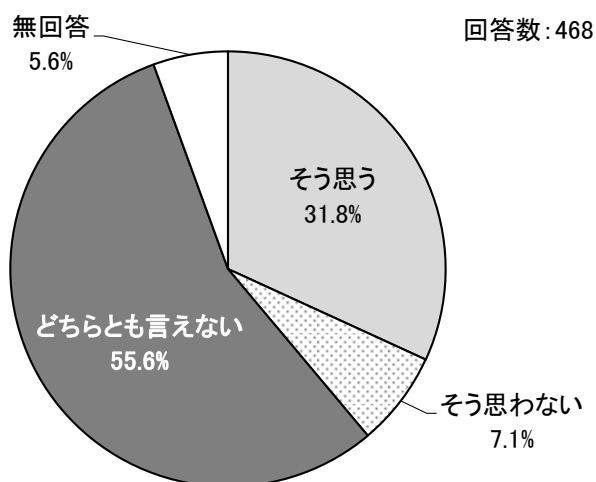
単位 : %

	保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い	使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い	どちらとも言えない	無回答
令和4年度調査 (総数 468)	20.1	6.6	67.1	6.2
令和元年度調査 (総数 348)	31.6	11.2	54.3	2.9

○令和元年度の調査と比較すると、今回調査の結果では、「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が 11.5 ポイント、「使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い」が 4.6 ポイント減少する一方、「どちらとも言えない」が 12.8 ポイント増加している。

(3) 65 歳以上の方の保険料について

問 16 65 歳以上の方の保険料に関して「低所得者に配慮するために、高所得者の負担を多少増やすのもやむを得ない」ということについて、あなたはどのようにお考えですか。



○「どちらとも言えない」が 55.6%で最も多く、次いで「そう思う」が 31.8%と多くなっている。

【経年比較】

単位: %

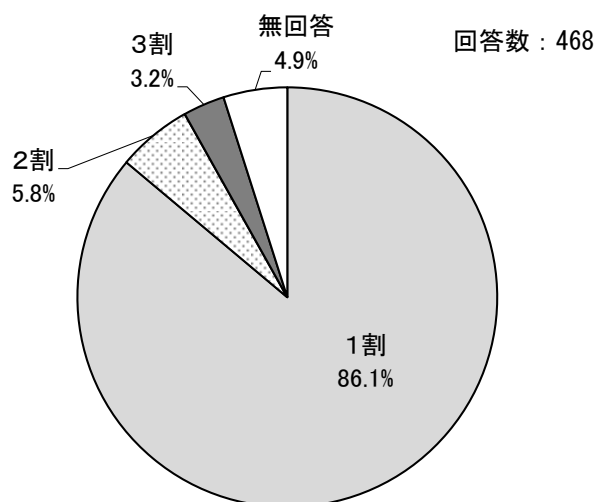
	そう思う	そう思わない	どちらとも言えない	無回答
令和4年度調査 (総数 468)	31.8	7.1	55.6	5.6
令和元年度調査 (総数 348)	31.6	11.2	54.3	2.9

○令和元年度の調査と比較すると、今回調査の結果では、「そう思わない」が4.1ポイント減少している。

(4) 自己負担割合別のサービス利用料の負担感

問 17 介護サービスを受けるためには、所得に応じてサービス利用費用（＊食費・居住費を除く）を自己負担していただいております。

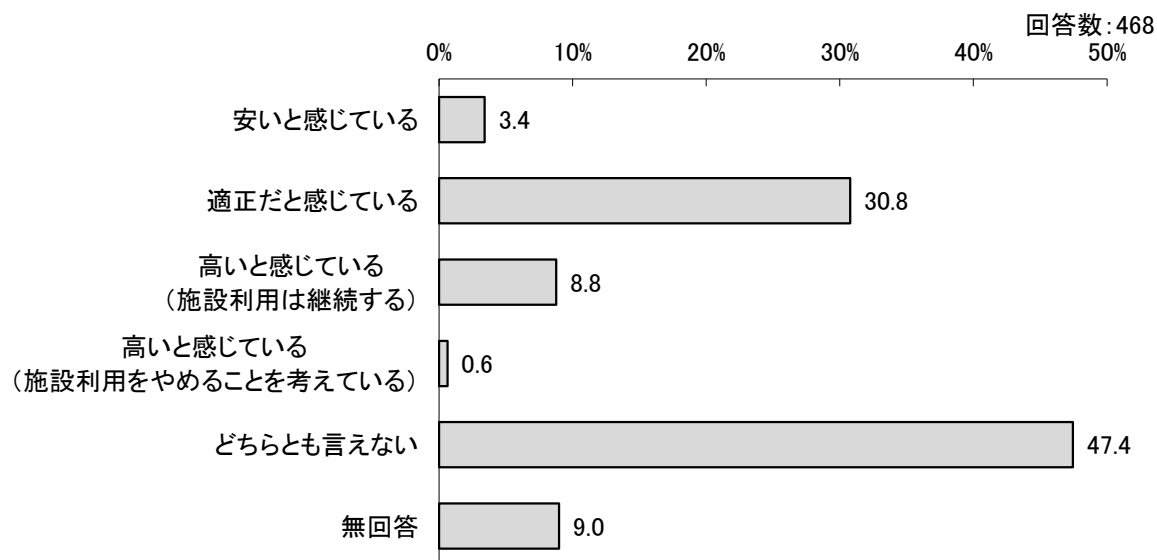
(1) あなたの自己負担割合をお答えください。



○「1割」負担が86.1%で最も多く、「2割」は5.8%、「3割」は3.2%となっている。

(5) 利用料の負担感

(2) (1)でお答えいただいた費用（自己負担分）について、どのように感じていますか。



○サービスの利用料について「どちらとも言えない」が47.4%で最も多く、次いで「適正だと感じている」が30.8%と多くなっている。

【自己負担割合別のサービス利用料の負担感】

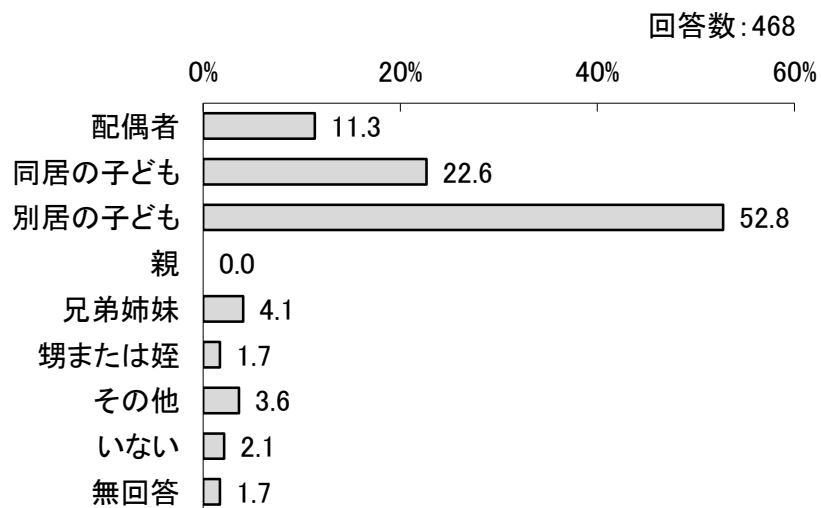
上段:回答数 下段:割合(%)	合計	安いと感じ ている	適正だと 感じている	高いと感じ ている(施 設利用は 継続する)	高いと感じ ている(施 設利用を やめるこ とを考 えている)	どちらとも 言えない	無回答
全体	468	16	144	41	3	222	42
	100.0	3.4	30.8	8.8	0.6	47.4	9.0
1割	403	15	132	23	2	207	24
	100.0	3.7	32.8	5.7	0.5	51.4	6.0
2割	27	0	9	10	0	7	1
	100.0	0.0	33.3	37.0	0.0	25.9	3.7
3割	15	0	1	7	0	6	1
	100.0	0.0	6.7	46.7	0.0	40.0	6.7
無回答	23	1	2	1	1	2	16
	100.0	4.3	8.7	4.3	4.3	8.7	69.6

○1割自己負担の人では「どちらとも言えない」が最も多いが、2割負担・3割負担の人では「高いと感じている(施設利用は継続する)」が最も多くなっている。

5 将来への備えについて

(1) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内

問 18 あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症など)に、治療の方針の決定や介護サービスの利用に必要な手続き、金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。

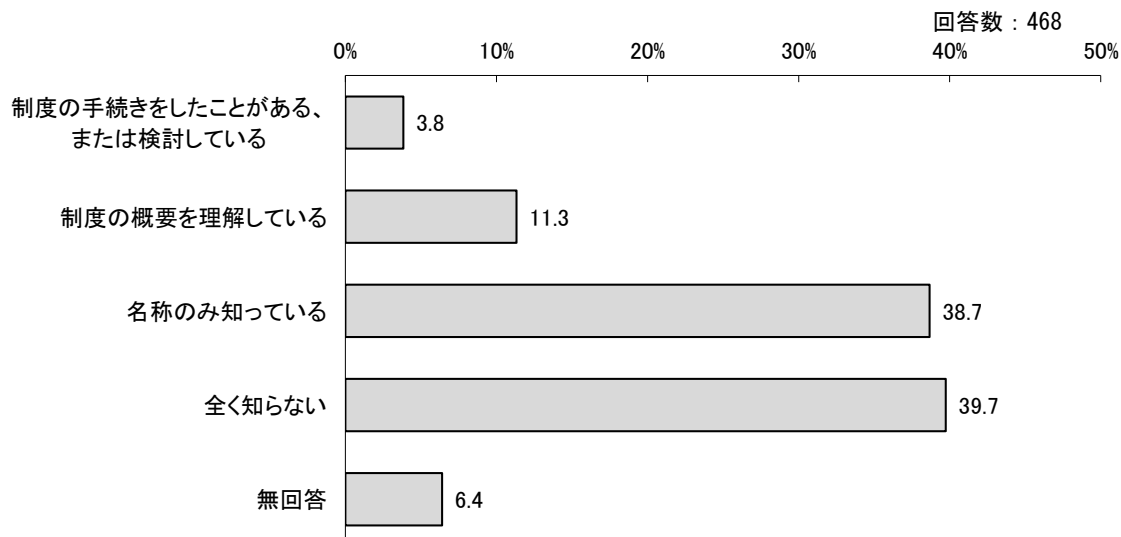


○「別居の子ども」が 52.8%で最も多く、次いで「同居の子ども」が 22.6%で多く、「配偶者」が 11.3%が続いている。「いない」は 2.1%となっている。

(2)「成年後見制度」の認知状況

問 19 あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。

〔「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被(こうむ)らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。〕



○「全く知らない」が39.7%と最も多く、「名称のみ知っている」の38.7%と合わせると約8割となっている。

6 自由意見等

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら自由にご記入ください。

【記述内容(主なもの)】(属性:年齢/性別/要介護度)

- リハビリ病院から今の施設へ移動しましたが、リハビリがほとんどできませんので、話し言葉ができなくなり、体力がおちた。(70~74 歳/男性/要介護5)
- 施設で働かされている職員の方たちには、ただ感謝あるのみです。(85 歳以上/女性/要介護5)
- コロナ前はいつでも面会ができたのに、コロナで面会もままなりません。それだけがとても残念です。(80~84 歳/女性/要介護5)
- 調査結果を公開(市役所のホームページで)してほしい。(80~84 歳/男性/要介護4)
- 現在他市の施設に入居しているが、現在より若干でも費用を抑えられ、入居が即できる施設が習志野市にはない。(相談には親切に対応していただけているが、そもそもでは、安価で安心、安定的に入居できる施設を増やす方向で施策をつくってほしい。希望が叶うならば、すぐにも移りたい(遠方よりも同市内の方が安心)。(80~84 歳/男性/要介護3)
- 施設の個室は必須です。病院の入院と違って、死亡するまで続く生活です。何もわからないように見える認知症の進んだ方も、周囲の様子には敏感です。本人の生活だけでなく、家族の見舞いにも影響が出ます。幸い私どもはユニット形式に入所でき、本当にありがたいと思っております。(85 歳以上/女性/要介護1)
- 習志野市は高齢者サービスについて詳しく情報を教えてください、とてもわかりやすく親切だと思います。ありがとうございます。(85 歳以上/女性/要介護5)

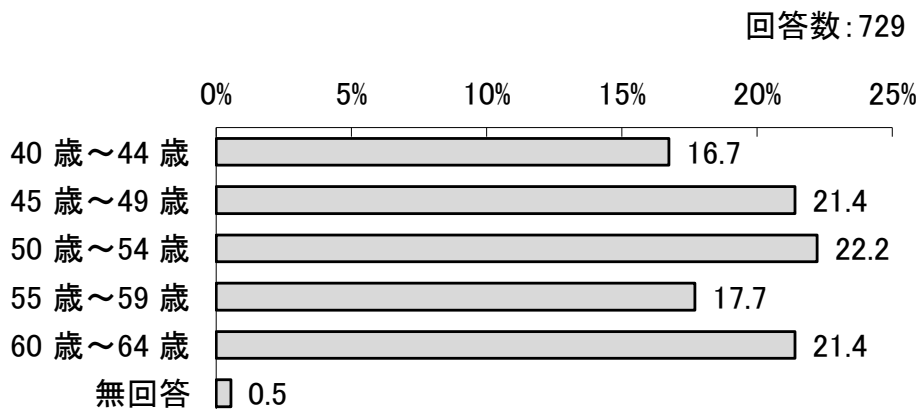
- 入所している施設のみなさんがやさしく対応してくれています。いろいろな施設が市内にありますが、施設の公平な評価を公表・周知してもらうことで良い業者が育っていくと思います。今入所している施設はとても良いと評価しています。世の中で事件を起こす職員が今後出ないように、適切な指導・管理が行政には必要だと考えます。(85歳以上／女性／要介護5)
- 習志野市は特養が少ないと感じています。又、老健も同じで実際に自分の要介護度が上がっていくと入所できる所は八千代市や千葉市になっている。(80～84歳／女性／要介護4)
- 本人も施設の皆様がよくして下さることに感謝してることを伝えてくれます。家族の者もいろいろな行事を通して楽しみを与えて下さってる様子に本人の思いがけない持ち味にただよるこぶ限りです。心身共に日々健康に過ごせていただきありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。どうぞよろしくお願いいたします。来年はコロナがおさまり我家にゆっくりもどって過ごせればと期待してます。よい年でありますよう祈りつつ。(85歳以上／男性／要介護5)
- 特養の数を増やしてほしい。できないなら、有料に入るための補助を多くしてほしい。(80～84歳／男性／要介護5)
- 現場スタッフの人手不足を感じる。要介護度が高く、帰宅が困難だとしても、スタッフの送迎がもっと気楽にできるようにして欲しい。一時的な帰宅で、たまには家族だけで食事等を楽しみたい。大病してから一度も帰宅できておらずで、このまま亡くなるまでずっと特養では、あまりにかわいそうなので、現場スタッフを増やして対応してもらいやすい環境にして欲しい。(65～69歳／女性／要介護4)
- 習志野市は船橋市に比べ、特別養護老人ホームの数がとても少なく、待機人数が多いです。今回はたまたま、早く入居できましたが、自分たちの老後を考えるととても不安です。かといって特養でないところは値段が高く、自分の年金では足がでて、子供たちに負担がいかってしまうことが、とても気がかりです。自分も介護職(デイサービス)をしていますが、デイはやはりかなりしっかりしている方が多く、もしも頭の方が進んだ場合、自宅+デイはなかなか難しいのではないかと感じています。もう少し特養の数が増えると、安心して年齢を重ねられると思います。(75～79歳／男性／要介護4)
- 専門的なケアが必要だったのに、施設がみつからず、遠くの有料施設に入って入所待ちをして1年近く、やっと遠方の市に入所できたのですが、自宅の近くに(習志野市)必要な時に入所できるようにしてほしいです。(80～84歳／女性／要介護4)
- ケアハウス、病院とそれぞれ、ケアマネージャー、相談員さんにはお世話になりました。皆さんとても親切に対応していただいたと感謝してます。厳しかったのはケアハウスから介護施設、病院から介護施設等に移る際、結局「家族が探さなくてはいいけない(探して下さい)」とのことで、ずい分あちこち申込み、連絡を待ちました。(お金があれば、問題ないのでしょうか)窓口は想定どおり、「ケアマネさんと相談して下さい」。市民優遇のネットワークとか、出来たら良いと思います。(85歳以上／女性／要介護4)

第3章 一般若年者調査

I 年齢や性別などについて

(1) 年齢

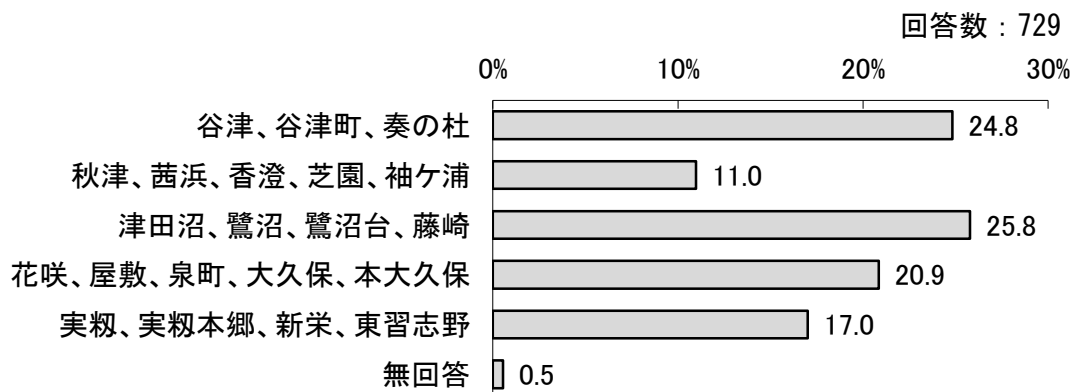
問1 あなたの年齢をお答えください。



○「50 歳～54 歳」が 22.2%で最も多く、次いで「45 歳～49 歳」と「60 歳～64 歳」が 21.4%で多くなっている。

(2) 居住地区

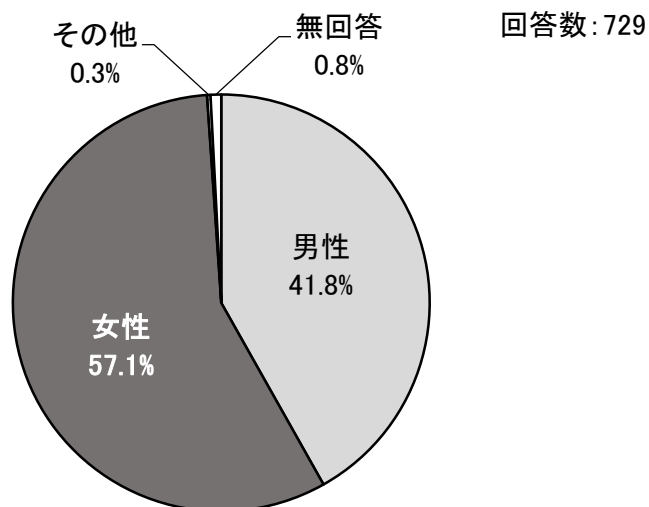
問2 お住まいの地区名をお答えください。



○「津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎」が 25.8%で最も多く、次いで「谷津、谷津町、奏の杜」が 24.8%で多くなっている。

(3) 性別

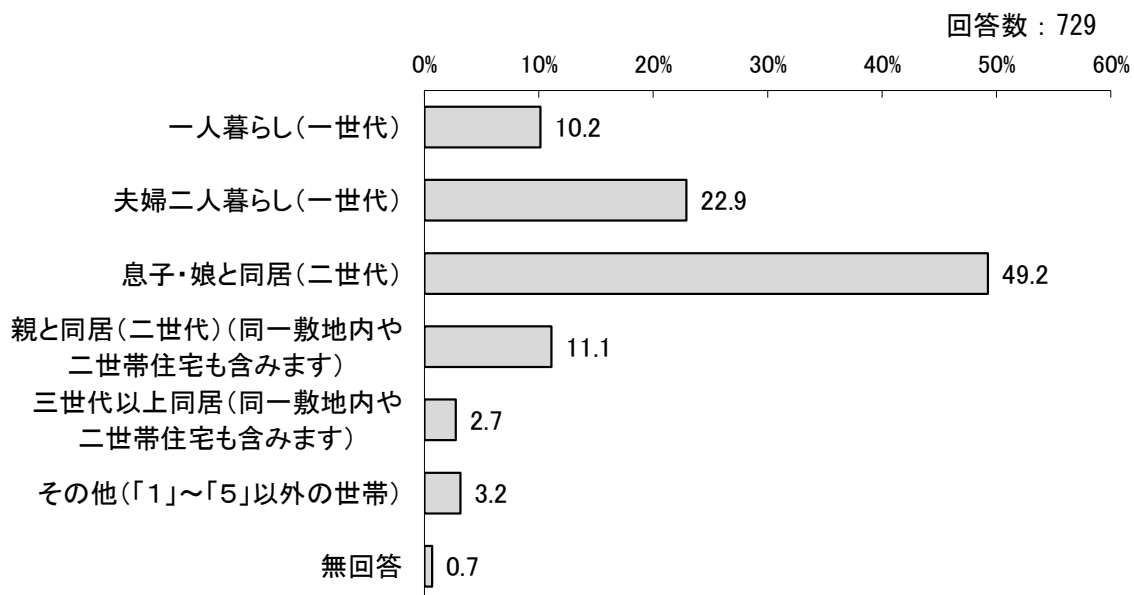
問3 あなたの性別をお答えください。



○「男性」が41.8%、「女性」が57.1%で、女性が多くなっている。

(4) 家族構成

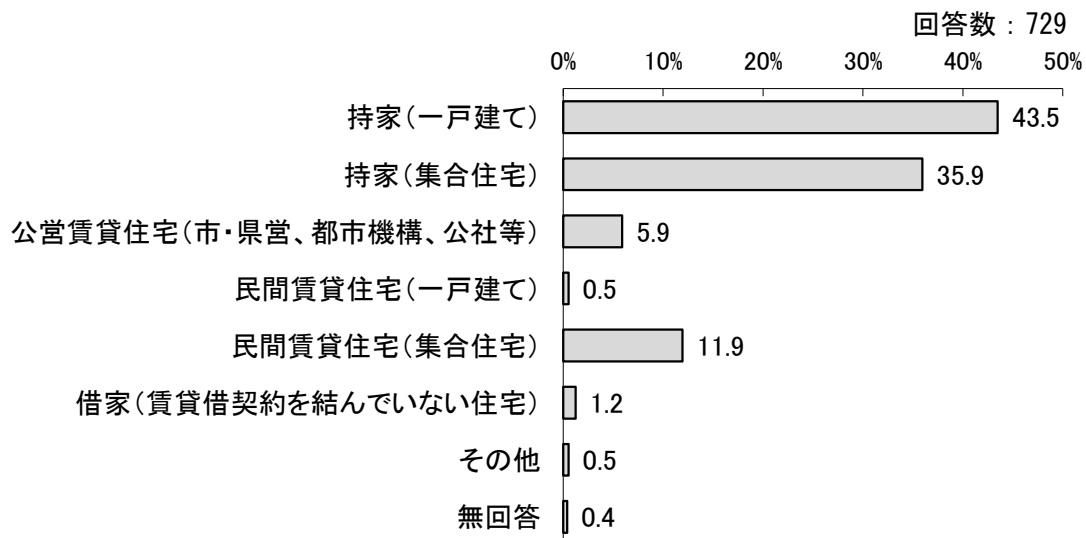
問4 家族構成をお教えてください。



○「息子・娘と同居(二世代)」が49.2%と半数近くを占めて最も多く、次いで「夫婦二人暮らし(一世代)」が22.9%で多くなっている。

(5) 住居の形態

問5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



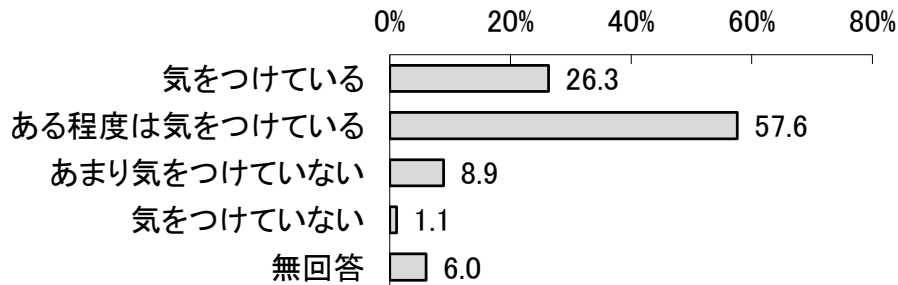
○「持ち家(一戸建て)」が43.5%で最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が35.9%で多くなっている。

2 健康について

(1) 健康への配慮の状況

問6 あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。

回答数：729



○「ある程度は気をつけている」が 57.6%で最も多く、次いで「気をつけている」が 26.3%で多くなっている。両選択肢の回答割合の合計は 83.9%となっている。

【性別】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	気をつけている	ある程度は気をつけている	あまり気をつけていない	気をつけていない	無回答
全体	729	192	420	65	8	44
	100.0	26.3	57.6	8.9	1.1	6.0
男性	305	80	167	30	6	22
	100.0	26.2	54.8	9.8	2.0	7.2
女性	416	110	250	35	2	19
	100.0	26.4	60.1	8.4	0.5	4.6
その他	2	2	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6	0	3	0	0	3
	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

○性別では、「気をつけている」と「ある程度は気をつけている」を合わせた割合は男性が 81.0%、女性が 86.5%と女性が 5.5 ポイント多くなっている。

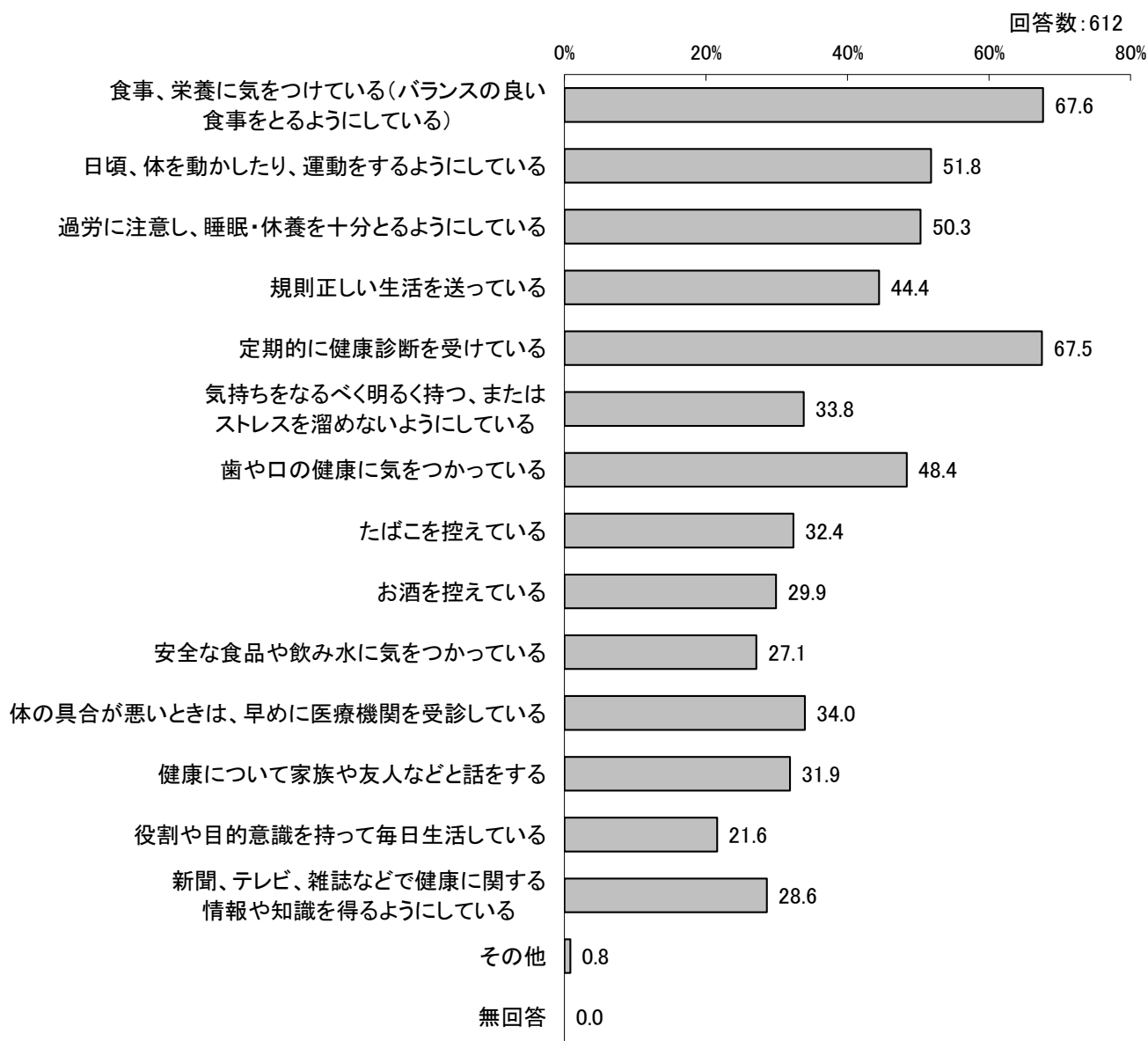
【年齢別】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	気をつけている	ある程度は気をつけている	あまり気をつけていない	気をつけていない	無回答
全体	729	192	420	65	8	44
	100.0	26.3	57.6	8.9	1.1	6.0
40 歳～44 歳	122	29	70	16	1	6
	100.0	23.8	57.4	13.1	0.8	4.9
45 歳～49 歳	156	32	95	20	3	6
	100.0	20.5	60.9	12.8	1.9	3.8
50 歳～54 歳	162	47	83	10	3	19
	100.0	29.0	51.2	6.2	1.9	11.7
55 歳～59 歳	129	31	85	7	1	5
	100.0	24.0	65.9	5.4	0.8	3.9
60 歳～64 歳	156	51	86	12	0	7
	100.0	32.7	55.1	7.7	0.0	4.5
無回答	4	2	1	0	0	1
	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0

○年齢別では、40～59 歳と比較して、60～64 歳で「気をつけている」が 32.7%と比較的多くっており、3割台を占めている。

(2) 健康のため実行していること

問6-1 (健康に気をつけている、またはある程度は気をつけている方のみ)
何か実行していることがありますか。(〇はいくつでも)



○「食事、栄養に気をつけている(バランスの良い食事をとるようにしている)」が 67.6%、「定期的に健康診断を受けている」が 67.5%で多くなっている。

【性別 健康のため実施していること】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	食事、栄養に気をつけている（バランスの良い食事をとるようにしている）	日頃、体を動かしたり、運動をするようにしている	過労に注意し、睡眠・休養を十分とるようにしている	規則正しい生活を送っている	定期的に健康診断を受けている	気持ちになるべく明るく持つ、またはストレスを溜めないようにしている	歯や口の健康に気をつけている	たばこを控えている
全体	612 100.0	414 67.6	317 51.8	308 50.3	272 44.4	413 67.5	207 33.8	296 48.4	198 32.4
男性	247 100.0	153 61.9	139 56.3	110 44.5	90 36.4	173 70.0	72 29.1	100 40.5	70 28.3
女性	360 100.0	259 71.9	175 48.6	197 54.7	180 50.0	238 66.1	133 36.9	194 53.9	126 35.0
その他	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	お酒を控えている	安全な食品や飲み水に気がつかっている	体の具合が悪いときは、早めに医療機関を受診している	健康について家族や友人などと話をする	役割や目的意識を持って毎日生活している	新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている	その他	無回答
全体	612 100.0	183 29.9	166 27.1	208 34.0	195 31.9	132 21.6	175 28.6	5 0.8	0 0.0
男性	247 100.0	66 26.7	46 18.6	75 30.4	49 19.8	37 15.0	46 18.6	0 0.0	0 0.0
女性	360 100.0	115 31.9	119 33.1	132 36.7	145 40.3	93 25.8	129 35.8	5 1.4	0 0.0
その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○性別では、ほとんどの回答で女性が男性を上回っているが、特に「健康について家族や友人などと話をする」、「新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている」、「安全な食品や飲み水に気がつかっている」でその差が大きくなっている。

【年齢別 健康のため実施していること】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	食事、栄養に気をつけている（バランスの良い食事をするようにしている）	日頃、体を動かしたり、運動をするようにしている	過労に注意し、睡眠・休養を十分とるようにしている	規則正しい生活を送っている	定期的に健康診断を受けている	気持ちになるべく明るく持つ、またはストレスを溜めないようにしている	歯や口の健康に気をつけている	たばこを控えている
全体	612 100.0	414 67.6	317 51.8	308 50.3	272 44.4	413 67.5	207 33.8	296 48.4	198 32.4
40 歳～44 歳	99 100.0	63 63.6	46 46.5	56 56.6	39 39.4	57 57.6	35 35.4	42 42.4	31 31.3
45 歳～49 歳	127 100.0	79 62.2	66 52.0	55 43.3	49 38.6	76 59.8	39 30.7	58 45.7	42 33.1
50 歳～54 歳	130 100.0	92 70.8	69 53.1	70 53.8	58 44.6	93 71.5	48 36.9	68 52.3	42 32.3
55 歳～59 歳	116 100.0	85 73.3	60 51.7	60 51.7	56 48.3	85 73.3	33 28.4	62 53.4	38 32.8
60 歳～64 歳	137 100.0	95 69.3	74 54.0	65 47.4	68 49.6	100 73.0	51 37.2	64 46.7	45 32.8
無回答	3 100.0	0 0.0	2 66.7	2 66.7	2 66.7	2 66.7	1 33.3	2 66.7	0 0.0

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	お酒を控えている	安全な食品や飲み水に気をつけている	体の具合が悪いときは、早めに医療機関を受診している	健康について家族や友人などと話をする	役割や目的意識を持って毎日生活している	新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている	その他	無回答
全体	612 100.0	183 29.9	166 27.1	208 34.0	195 31.9	132 21.6	175 28.6	5 0.8	0 0.0
40 歳～44 歳	99 100.0	37 37.4	25 25.3	21 21.2	25 25.3	17 17.2	18 18.2	1 1.0	0 0.0
45 歳～49 歳	127 100.0	32 25.2	29 22.8	44 34.6	36 28.3	26 20.5	33 26.0	1 0.8	0 0.0
50 歳～54 歳	130 100.0	39 30.0	41 31.5	48 36.9	40 30.8	27 20.8	34 26.2	2 1.5	0 0.0
55 歳～59 歳	116 100.0	29 25.0	35 30.2	42 36.2	46 39.7	26 22.4	39 33.6	1 0.9	0 0.0
60 歳～64 歳	137 100.0	46 33.6	35 25.5	50 36.5	45 32.8	35 25.5	50 36.5	0 0.0	0 0.0
無回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0

○年齢別では、いずれの年代でも「食事、栄養に気をつけている（バランスの良い食事をするようにしている）」や「定期的に健康診断を受けている」が多くなっている。

【経年比較】①

(単位%)

	食事、栄養に気をつけている(バランスの良い食事をとるようにしている)	日頃、体を動かしたり、運動をするようにしている	過労に注意し、睡眠・休養を十分とるようにしている	規則正しい生活を送っている	定期的に健康診断を受けている	気持ちになるべく明るく持つ、またはストレスを溜めないようにしている	歯や口の健康に気をつけている	たばこを控えている
令和4年度調査 (回答数:612)	67.6	51.8	50.3	44.4	67.5	33.8	48.4	32.4
令和元年度調査 (回答数:513)	69.6	47.2	44.6	40.7	66.7	31.6	40.0	28.7

【経年比較】②

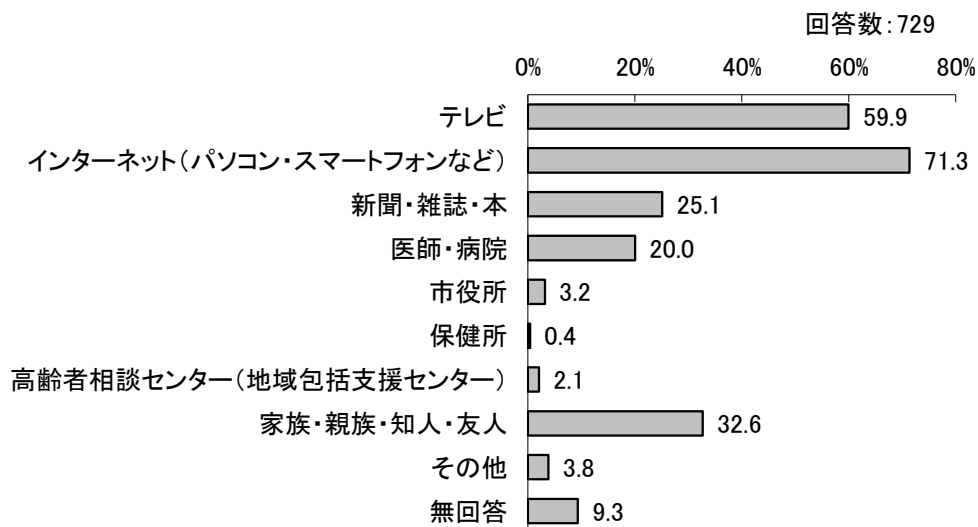
(単位%)

	お酒を控えている	安全な食品や飲み水に気をつけている	体の具合が悪いときは、早めに医療機関を受診している	健康について家族や友人などと話をする	役割や目的意識を持って毎日生活している	新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている	その他	無回答
令和4年度調査 (回答数:612)	29.9	27.1	34.0	31.9	21.6	28.6	0.8	0.0
令和元年度調査 (回答数:513)	20.7	25.0	34.7	33.1	21.1	34.9	1.8	0.8

○前回調査時と比較すると、「お酒を控えている」、「歯や口の健康に気をつけている」との回答が順に 9.2 ポイント、8.4 ポイント増加している。

(3) 情報の入手

問7 医療や介護についての知識や情報を、何から得ていますか。(○はいくつでも)

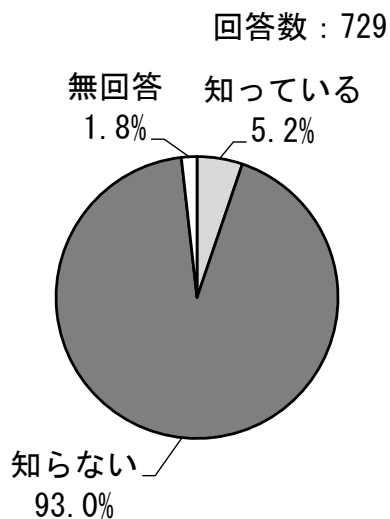


○「インターネット(パソコン・スマートフォンなど)」が 71.3%で最も多く、次いで「テレビ」が 59.9%で多くなっている。

(4) 用語「ACP」の認知状況

問8 人生会議またはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)※という言葉を知っていますか。

※もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと



○「知らない」が 93.0%で多く、「知っている」は 5.2%となっている。

(5) 用語「ACP」を知った場所

問8-1 (ACPを「知っている」方のみ)

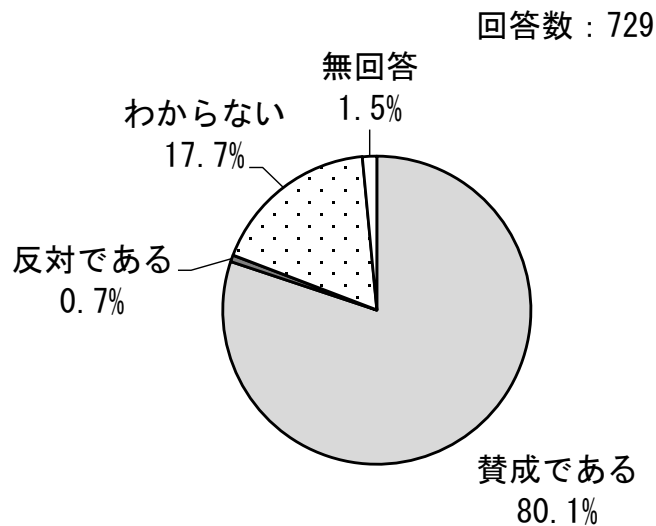
ACPという言葉はどこで知りましたか。

	回答数	%
テレビ・新聞・インターネット	20	52.6
雑誌・本	4	10.5
医師・病院	4	10.5
市役所	0	0.0
保健所	0	0.0
高齢者相談センター(地域包括支援センター)	1	2.6
家族・親族・友人・知人	5	13.2
その他	4	10.5
無回答	0	0.0
全体	38	100.0

○「テレビ・新聞・インターネット」が38人中20人・52.6%と最も多く、次いで「家族・親族・友人・知人」が38人中5人・13.2%などとなっている。

(6) 話し合いの推進についての意見

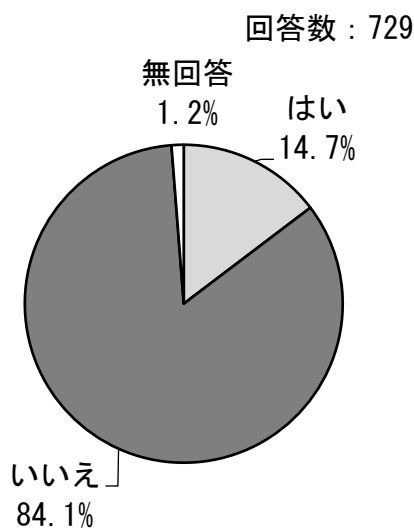
問9 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。



○「賛成である」が80.1%で多く、「反対である」は0.7%となっている。

(7) 認知症状のある人の有無（本人・家族）

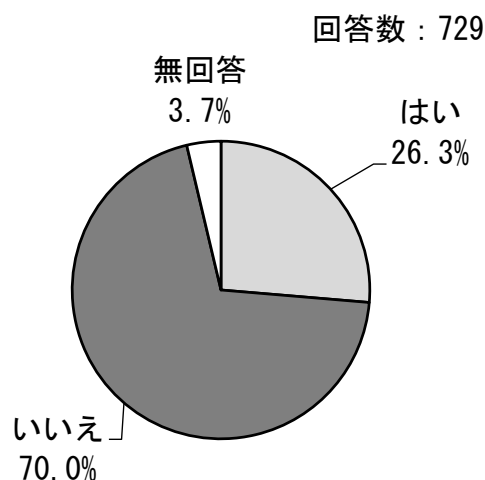
問10 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。



○「はい」は26.3%、「いいえ」が70.0%などとなっている。

(8) 認知症相談窓口の認知状況

問 11 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

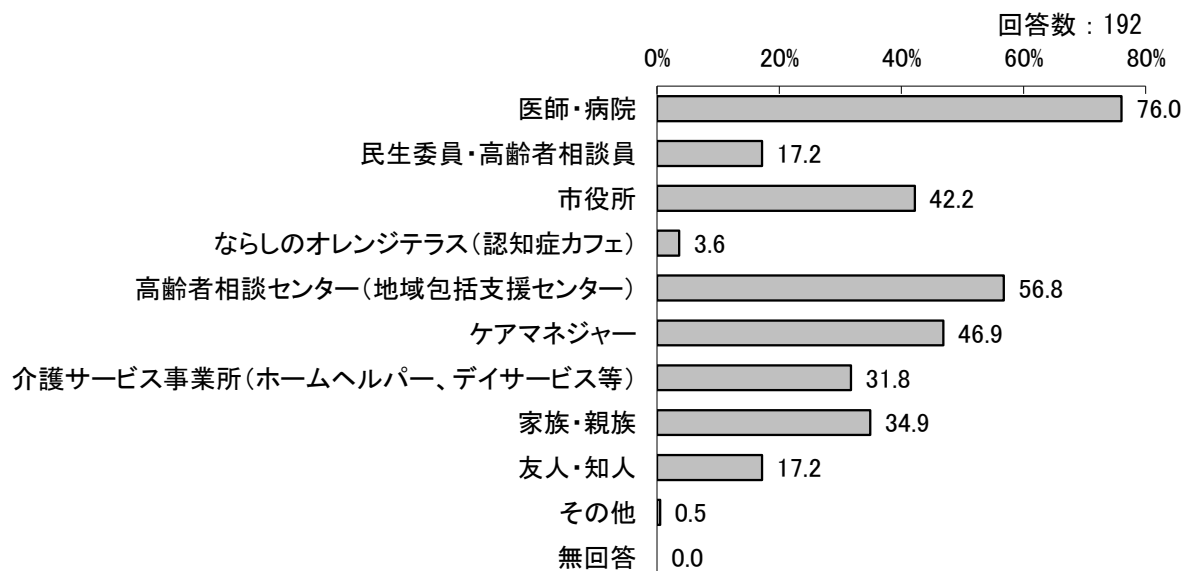


○「いいえ」が70.0%で多く、「はい」は26.3%となっている。

(9) 認知症に関する相談先

問 11-1 (認知症に関する相談窓口を知っている方のみ)

どこに相談すると思いますか、または相談しましたか。(○はいくつでも)



○「医師・病院」が76.0%で最も多く、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」56.8%、「ケアマネジャー」46.9%、「市役所」42.2%が続いている。

【年齢別 認知症に関する相談先】

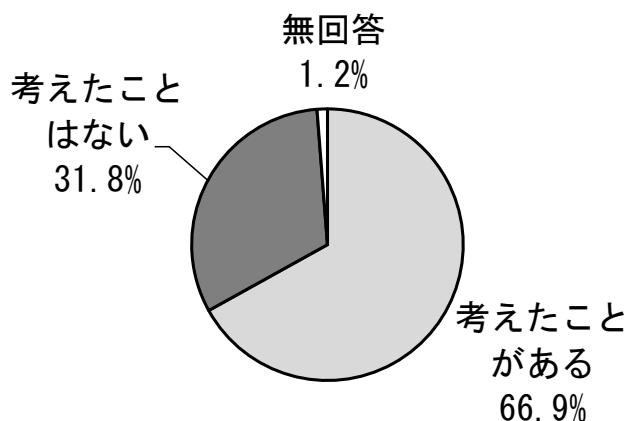
上段：回答数 下段：割合（％）	合計	医師・病院	民生委員・高齢者相談員	市役所	ならしのオレンジテラス（認知症カフェ）	高齢者相談センター（地域包括支援センター）	ケアマネジャー	介護サービス事業所（ホームヘルパー、デイサービス等）	家族・親族	友人・知人	その他	無回答
全体	192 100.0	146 76.0	33 17.2	81 42.2	7 3.6	109 56.8	90 46.9	61 31.8	67 34.9	33 17.2	1 0.5	0 0.0
40歳～44歳	27 100.0	20 71.4	7 25.0	11 39.3	1 3.6	16 57.1	19 67.9	10 35.7	15 53.6	8 28.6	0 0.0	0 0.0
45歳～49歳	28 100.0	32 84.2	6 15.8	14 36.8	1 2.6	23 60.5	22 57.9	17 44.7	11 28.9	5 13.2	0 0.0	0 0.0
50歳～54歳	38 100.0	35 79.5	6 13.6	21 47.7	1 2.3	22 50.0	19 43.2	14 31.8	13 29.5	10 22.7	1 2.3	0 0.0
55歳～59歳	44 100.0	41 74.5	7 12.7	23 41.8	2 3.6	34 61.8	23 41.8	15 27.3	20 36.4	6 10.9	0 0.0	0 0.0
60歳～64歳	55 100.0	18 66.7	7 25.9	12 44.4	2 7.4	14 51.9	7 25.9	5 18.5	8 29.6	4 14.8	0 0.0	0 0.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○年齢別では、いずれの年齢も「医師・病院」が最も多くなっている。「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」はいずれの年齢も5割以上を占めており、「45歳～49歳」以上では次いで多くなっている。「40歳～44歳」では次いで多くなっているのが「ケアマネジャー」で67.9%となっている。

（10）認知症になったときについて

問 12 今までに、自分自身や家族が認知症になったときどうしたらいいのか、考えたことがありますか。

回答数：729



○「考えたことがある」が66.9%で多く、「考えたことはない」は31.8%となっている。

【性別 認知症について考えたことがあるか】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	考えたことがある	考えたことはない	無回答
全体	729	488	232	9
	100.0	66.9	31.8	1.2
男性	305	178	125	2
	100.0	58.4	41.0	0.7
女性	416	305	106	5
	100.0	73.3	25.5	1.2
その他	2	2	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0
無回答	6	3	1	2
	100.0	50.0	16.7	33.3

○性別では、「考えたことがある」は「女性」が「男性」を14.9ポイント上回り、それぞれ73.3%、58.4%となっている。

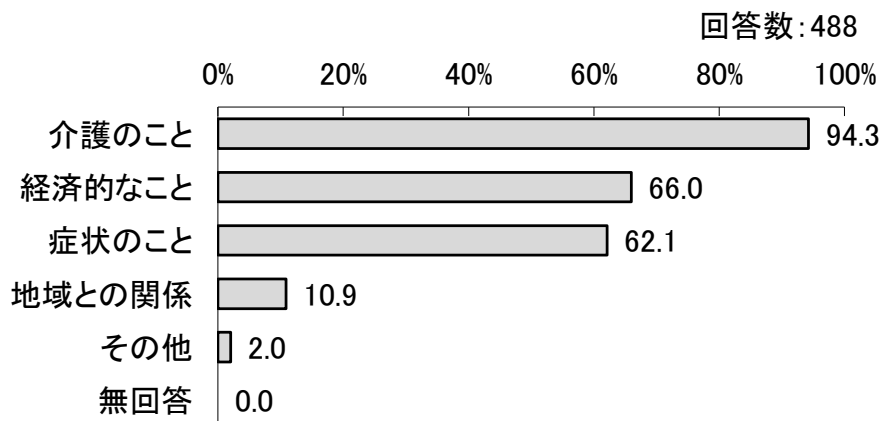
【年齢別 認知症について考えたことがあるか】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	考えたことがある	考えたことはない	無回答
全体	729	488	232	9
	100.0	66.9	31.8	1.2
40 歳～44 歳	122	79	41	2
	100.0	64.8	33.6	1.6
45 歳～49 歳	156	95	59	2
	100.0	60.9	37.8	1.3
50 歳～54 歳	162	104	58	0
	100.0	64.2	35.8	0.0
55 歳～59 歳	129	94	33	2
	100.0	72.9	25.6	1.6
60 歳～64 歳	156	113	40	3
	100.0	72.4	25.6	1.9
無回答	4	3	1	0
	100.0	75.0	25.0	0.0

○年齢別では、「考えたことがある」は54歳以下が6割、55歳以上が7割を占めている。

(11) 認知症になったときについて考えたこと

問12-1 (認知症について考えたことがある方のみ)
どのようなことを考えましたか。(○はいくつでも)

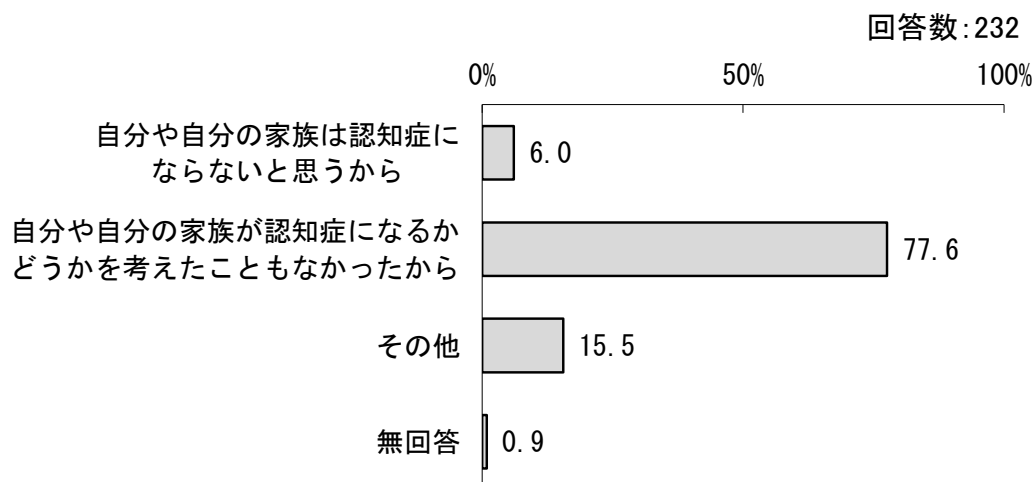


○「介護のこと」が94.3%で最も多く、「経済的なこと」66.0%、「症状のこと」62.1%が続いている。

(12) 認知症になったときについて

問 12-2 (認知症について考えたことがない方のみ)

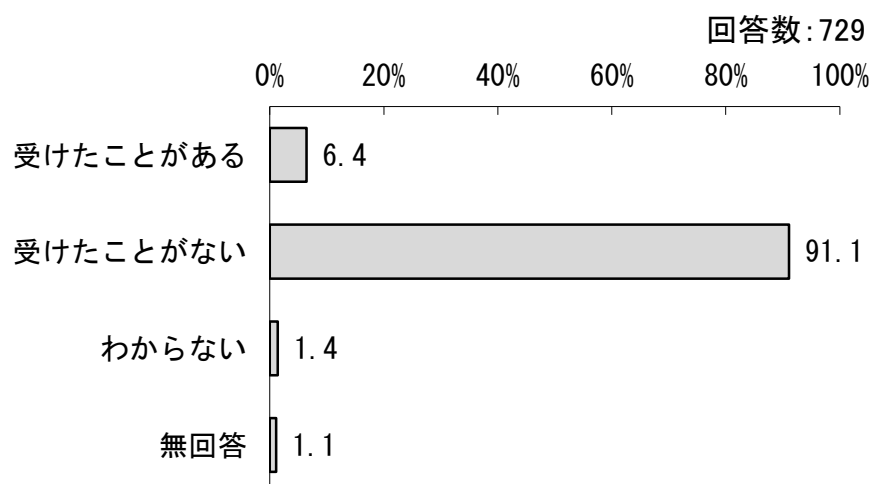
考えたことがなかった理由は何だと思いませんか。



○「自分や自分の家族が認知症になるかどうかを考えたこともなかったから」が77.6%で多くなっている。

(13) 「認知症サポーター養成講座」受講の有無

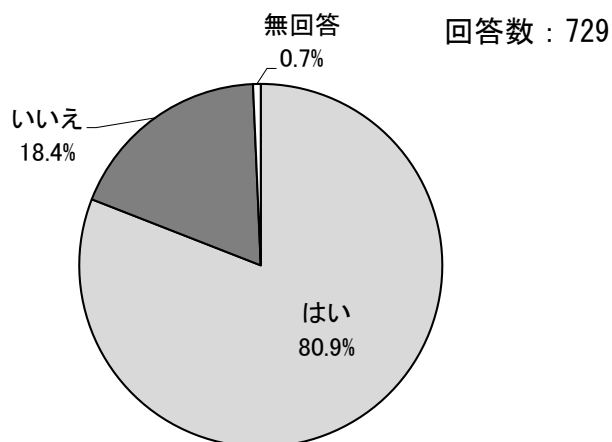
問 13 認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか。



○「受けたことがない」が91.1%で最も多く、「受けたことがある」は6.4%となっている。

(14) 1年以内の健康診査受診について

問 14 あなたは、1年以内に健康診査（特定健康診査、人間ドック、職場の健診等）を受けましたか。



○「はい」が80.9%、「いいえ」は18.4%となっている。

【性別 1年以内の健康診査受診の有無】

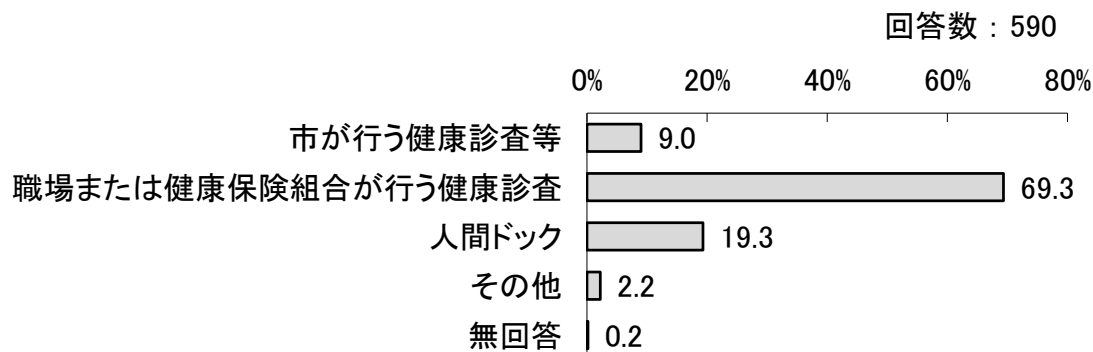
上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	はい	いいえ	無回答
全体	729	590	134	5
	100.0	80.9	18.4	0.7
男性	305	267	36	2
	100.0	87.5	11.8	0.7
女性	416	318	97	1
	100.0	76.4	23.3	0.2
その他	2	1	1	0
	100.0	50.0	50.0	0.0
無回答	6	4	0	2
	100.0	66.7	0.0	33.3

○性別では、「はい」は「男性」が87.5%、「女性」が76.4%で、「男性」が「女性」を11.1ポイント上回っている。

(15) 健康診査を受けた場所

問 14-1 (健康診査を受けた方のみ)

どちらで健康診査を受けましたか。

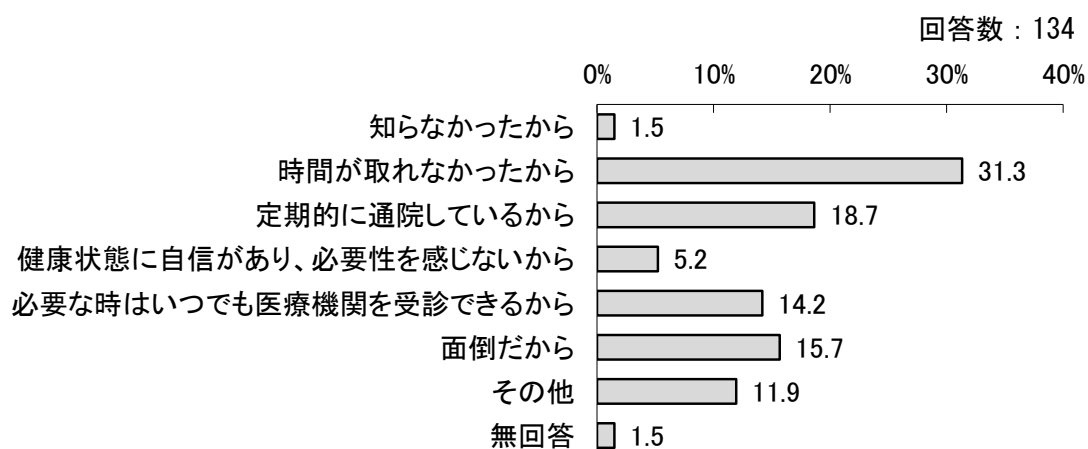


○「職場または健康保険組合が行う健康診査」が69.3%で最も多く、次いで「人間ドック」が19.3%で多くなっている。

(16) 健康診査を受けなかった理由

問 14-2 (健康診査を受けなかった方のみ)

健康診査を受けなかった理由は何ですか。



○「時間が取れなかったから」が31.3%で最も多く、次いで「定期的に通院しているから」が18.7%、「面倒だから」が15.7%となっている。

【性別 健康診査を受けなかった理由】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	知らな かった から	時間が 取れな かった から	定期的 に通院 してい るから	健康状 態に自 信があ り、必 要性を 感じな いから	必要な 時はい つでも 医療機 関を受 診でき るから	面倒だ から	その他	無回答
全体	134	2	42	25	7	19	21	16	2
	100.0	1.5	31.3	18.7	5.2	14.2	15.7	11.9	1.5
男性	36	1	10	10	3	2	6	3	1
	100.0	2.8	27.8	27.8	8.3	5.6	16.7	8.3	2.8
女性	97	1	31	15	4	17	15	13	1
	100.0	1.0	32.0	15.5	4.1	17.5	15.5	13.4	1.0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○性別では、「男性」「女性」は「時間が取れなかったから」が最も多く、それぞれ27.8%、32.0%となっている。
「男性」では「定期的に通院しているから」が同率で多くなっている。

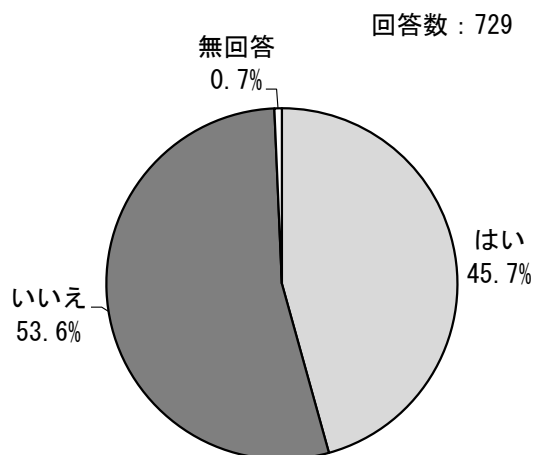
【年齢別 健康診査を受けなかった理由】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	知らな かった から	時間 が取れ なかつ たから	定期的 に通院 してい るから	健康状 態に自 信があ り、必 要性を 感じな いから	必要な 時はい つでも 医療機 関を受 診でき るから	面倒だ から	その他	無回答
全体	134	2	42	25	7	19	21	16	2
	100.0	1.5	31.3	18.7	5.2	14.2	15.7	11.9	1.5
40 歳～44 歳	26	0	13	1	4	3	3	2	0
	100.0	0.0	50.0	3.8	15.4	11.5	11.5	7.7	0.0
45 歳～49 歳	35	0	12	4	0	5	6	8	0
	100.0	0.0	34.3	11.4	0.0	14.3	17.1	22.9	0.0
50 歳～54 歳	32	1	11	3	0	7	6	3	1
	100.0	3.1	34.4	9.4	0.0	21.9	18.8	9.4	3.1
55 歳～59 歳	14	1	3	4	1	1	2	2	0
	100.0	7.1	21.4	28.6	7.1	7.1	14.3	14.3	0.0
60 歳～64 歳	27	0	3	13	2	3	4	1	1
	100.0	0.0	11.1	48.1	7.4	11.1	14.8	3.7	3.7
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○年齢別では、「40歳～44歳」「45歳～49歳」「50歳～54歳」では「時間が取れなかったから」が、「55歳～59歳」「60～64歳」では「定期的に通院しているから」が最も多くなっている。

(17) 1年以内のがん検診受診について

問 15 あなたは、1年以内になん検診を受けましたか。



○「いいえ」が53.6%で多く、「はい」は45.7%となっている。

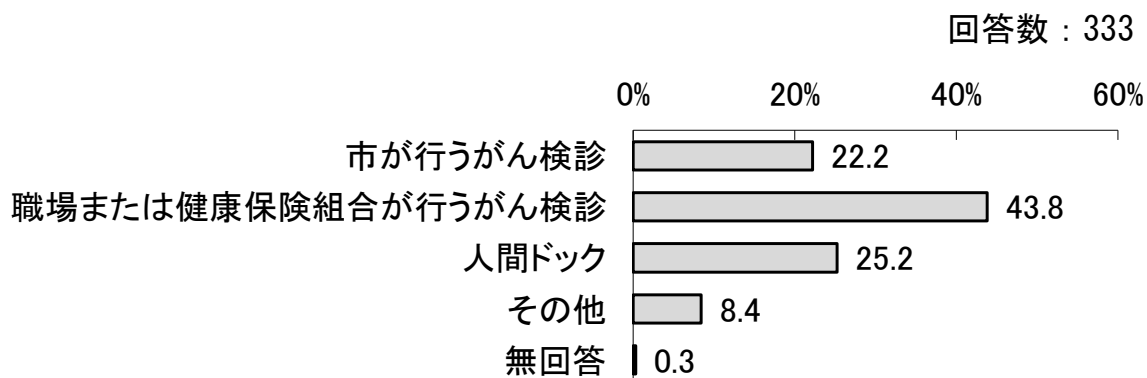
上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	はい	いいえ	無回答
全体	729	333	391	5
	100.0	45.7	53.6	0.7
男性	305	107	196	2
	100.0	35.1	64.3	0.7
女性	416	222	193	1
	100.0	53.4	46.4	0.2
その他	2	1	1	0
	100.0	50.0	50.0	0.0
無回答	6	3	1	2
	100.0	50.0	16.7	33.3

○性別では、「はい」は「男性」が35.1%、「女性」が53.4%で、「女性」が「男性」を18.3ポイント上回っている。

(18) がん検診を受けた場所

問 15-1 (がん検診を受けた方のみ)

どちらでがん検診を受けましたか。

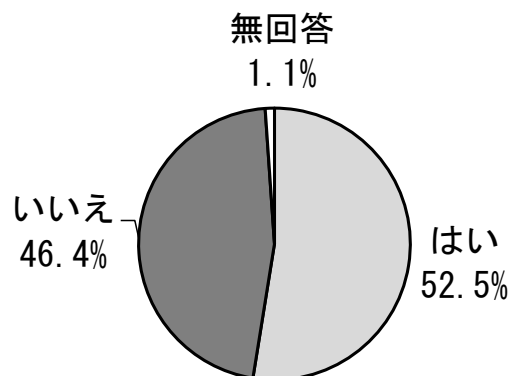


○「職場または健康保険組合が行うがん検診」が43.8%で最も多く、次いで「人間ドック」が25.2%で多くなっている。

(19) 1年以内の歯科健康診査受診について

問 16 あなたは、1年以内に歯科健康診査を受けましたか。

回答数 : 729



○「はい」が52.5%で多く、「いいえ」は46.4%となっている。

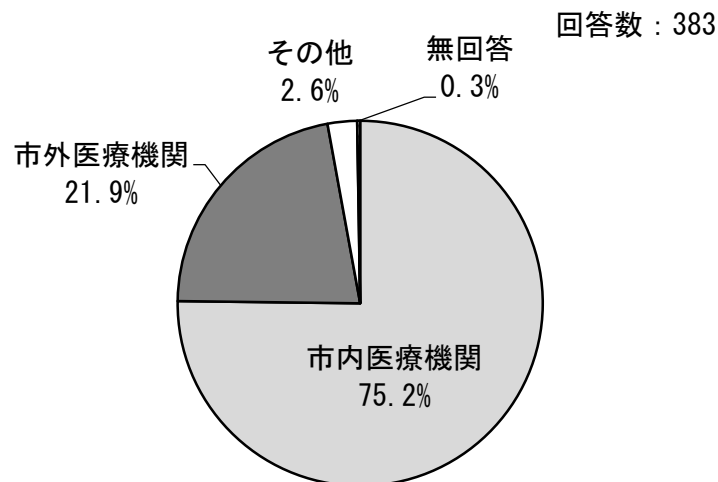
上段: 回答数 下段: 割合(%)	合計	はい	いいえ	無回答
全体	729	383	338	8
	100.0	52.5	46.4	1.1
男性	305	145	157	3
	100.0	47.5	51.5	1.0
女性	416	234	179	3
	100.0	56.3	43.0	0.7
その他	2	2	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0
無回答	6	2	2	2
	100.0	33.3	33.3	33.3

○性別では、「はい」は「男性」が52.5%、「女性」が46.4%で、「男性」が「女性」を6.1ポイント上回っている。

(20) 歯科健康診査を受けた場所・機関

問 16-1 歯科健康診査を受けた方のみ)

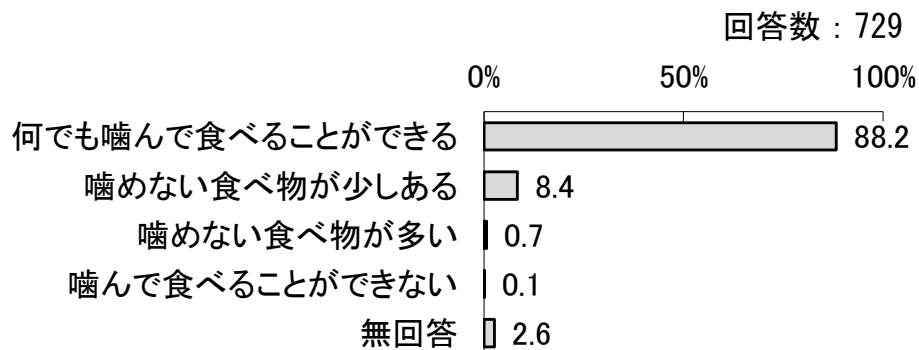
どちらで歯科健康診査を受けましたか。



○「市内医療機関」が75.2%で最も多く、次いで「市外医療機関」が21.9%で多くなっている。

(21) ものを噛んで食べる時の状態

問 17 あなたは、ものを噛んで食べる時、どのような状態ですか。(※入れ歯を使っても結構です。)



○「何でも噛んで食べることができる」が88.2%で最も多く、次いで「噛めない食べ物が少しある」が8.4%で多くなっている。

【経年比較】

(単位 : %)

	何でも噛んで食べることができる	噛めない食べ物が少しある	噛めない食べ物が多い	噛んで食べることができない	無回答
令和4年度調査 (総数 729)	88.2	8.4	0.7	0.1	2.6
令和元年度調査 (総数 592)	89.9	7.1	0.7	0.2	2.2

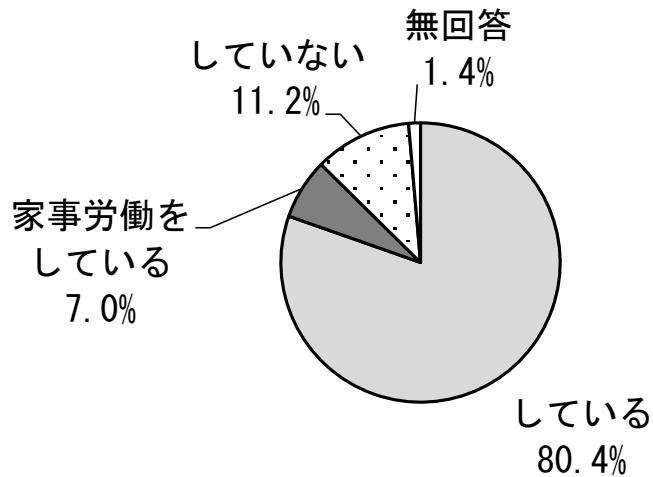
○前回調査と比較し、大きな変化は見られない。

3 就労や社会参画などについて

(1) 現在の就労状況

問 18 あなたは、現在、仕事をしていますか。

回答数 : 729

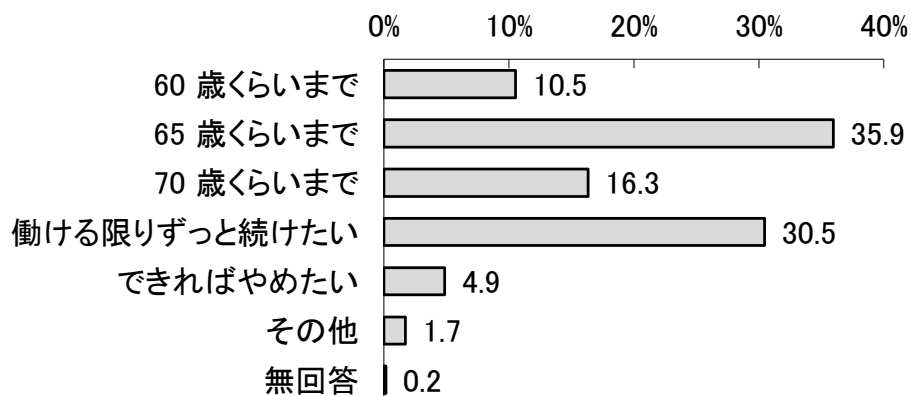


○「している」が80.4%で最も多く、「していない」が11.2%、「家事労働をしている」が7.0%となっている。

(2) 働きたい年齢

問 18-1 (就労をしている、または家事労働をしている方のみ)
あなたは何歳ぐらいまで働きたいと思いますか。

回答数 : 637

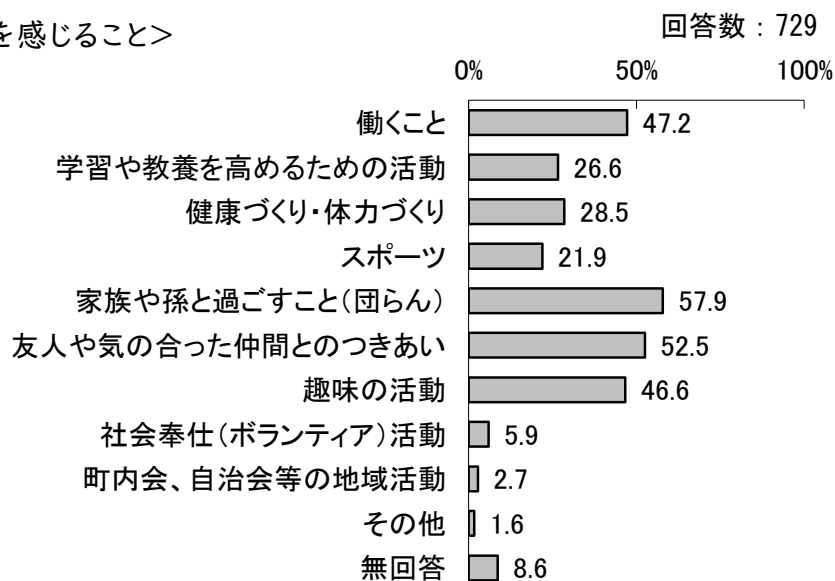


○「65 歳くらいまで」が 35.9%で最も多く、次いで「働ける限りずっと続けたい」が 30.5%で多くなっている。

(3) 生きがいを感じることや今後やってみたいこと

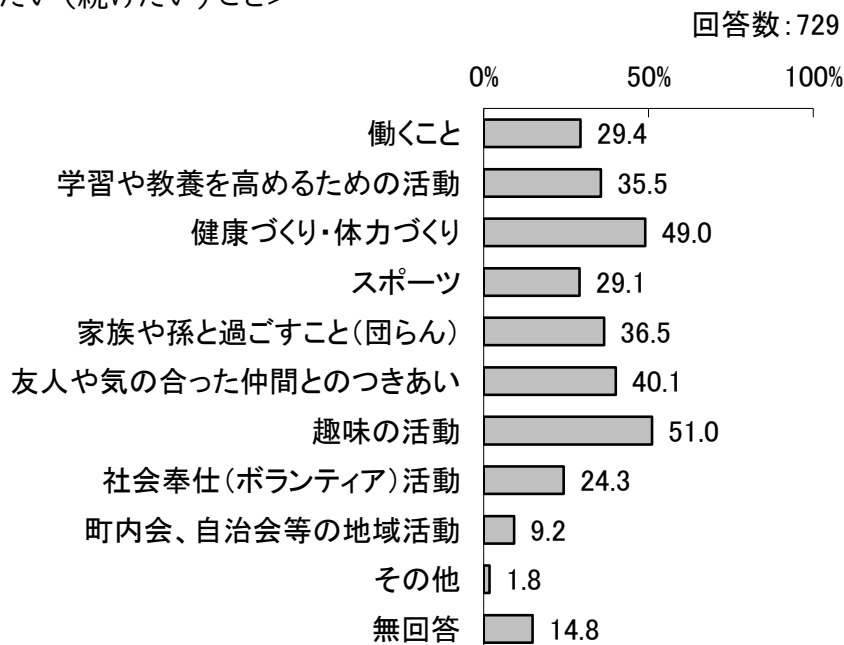
問 19 あなたが現在まで行っていることで、生きがいを感じるのはどんなことですか。また、今後やってみたい(続けたい)ことはどんなことですか。(〇はそれぞれいくつでも)

<現在生きがいを感じることで>



○「家族や孫と過ごすこと(団らん)」が 57.9%で最も多く、次いで「友人や気の合った仲間とのつきあい」が 52.5%で多く、「働くこと」47.2%等が続いている。

<今後やってみたい(続けたい)こと>



○「趣味の活動」51.0%、「健康づくり・体力づくり」49.0%が多く、「友人や気の合った仲間とのつきあい」が 40.1%で続いている。

【性別 現在生きがいを感じること】

上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくり・体力づくり	スポーツ	家族や孫と過ごすこと (団らん)	友人や気の合った仲間とのつきあい	趣味の活動	社会奉仕(ボランティア)活動	町内会、自治会等の地域活動	その他	無回答
全体	729 100.0	344 47.2	194 26.6	208 28.5	160 21.9	422 57.9	383 52.5	340 46.6	43 5.9	20 2.7	12 1.6	63 8.6
男性	305 100.0	148 48.5	81 26.6	99 32.5	94 30.8	155 50.8	131 43.0	159 52.1	17 5.6	9 3.0	4 1.3	31 10.2
女性	416 100.0	194 46.6	110 26.4	108 26.0	65 15.6	264 63.5	251 60.3	180 43.3	26 6.3	11 2.6	8 1.9	29 7.0
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	6 100.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0

○性別では、男性で「スポーツ」の回答割合が女性を大きく上回る一方、女性で「友人や気の合った仲間とのつきあい」が男性を大きく上回っている。

【年齢別 現在生きがいを感じること】

上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくり・体力づくり	スポーツ	家族や孫と過ごすこと (団らん)	友人や気の合った仲間とのつきあい	趣味の活動	社会奉仕(ボランティア)活動	町内会、自治会等の地域活動	その他	無回答
全体	729 100.0	344 47.2	194 26.6	208 28.5	160 21.9	422 57.9	383 52.5	340 46.6	43 5.9	20 2.7	12 1.6	63 8.6
40歳～44歳	122 100.0	63 51.6	43 35.2	36 29.5	29 23.8	79 64.8	64 52.5	62 50.8	6 4.9	4 3.3	2 1.6	8 6.6
45歳～49歳	156 100.0	68 43.6	37 23.7	40 25.6	35 22.4	98 62.8	83 53.2	66 42.3	6 3.8	2 1.3	4 2.6	17 10.9
50歳～54歳	162 100.0	72 44.4	36 22.2	42 25.9	36 22.2	96 59.3	88 54.3	82 50.6	11 6.8	3 1.9	2 1.2	13 8.0
55歳～59歳	129 100.0	69 53.5	31 24.0	43 33.3	29 22.5	74 57.4	66 51.2	62 48.1	7 5.4	7 5.4	1 0.8	9 7.0
60歳～64歳	156 100.0	70 44.9	46 29.5	45 28.8	29 18.6	72 46.2	79 50.6	67 42.9	13 8.3	4 2.6	3 1.9	16 10.3
無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○年齢別では、40歳～44歳で「家族や孫と過ごすこと(団らん)」が、50歳～54歳で「友人や気の合った仲間とのつきあい」が、55歳～59歳では「働くこと」、「健康づくり・体力づくり」が他の年代に比べて多くなっている。

【性別 今後やってみたい(続けたい)こと】

上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくり・体力づくり	スポーツ	家族や孫と過ごすこと(団らん)	友人や気の合った仲間とのつきあい	趣味の活動	社会奉仕(ボランティア)活動	町内会、自治会等の地域活動	その他	無回答
全体	729 100.0	214 29.4	259 35.5	357 49.0	212 29.1	266 36.5	292 40.1	372 51.0	177 24.3	67 9.2	13 1.8	108 14.8
男性	305 100.0	75 24.6	105 34.4	135 44.3	103 33.8	112 36.7	108 35.4	158 51.8	68 22.3	30 9.8	7 2.3	55 18.0
女性	416 100.0	139 33.4	153 36.8	219 52.6	107 25.7	152 36.5	183 44.0	212 51.0	109 26.2	37 8.9	6 1.4	49 11.8
その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
無回答	6 100.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0

○性別による差異はほとんどみられないが、「働くこと」、「健康づくり・体力づくり」、「友人や気の合った仲間とのつきあい」では「女性」が比較的多くなっている。

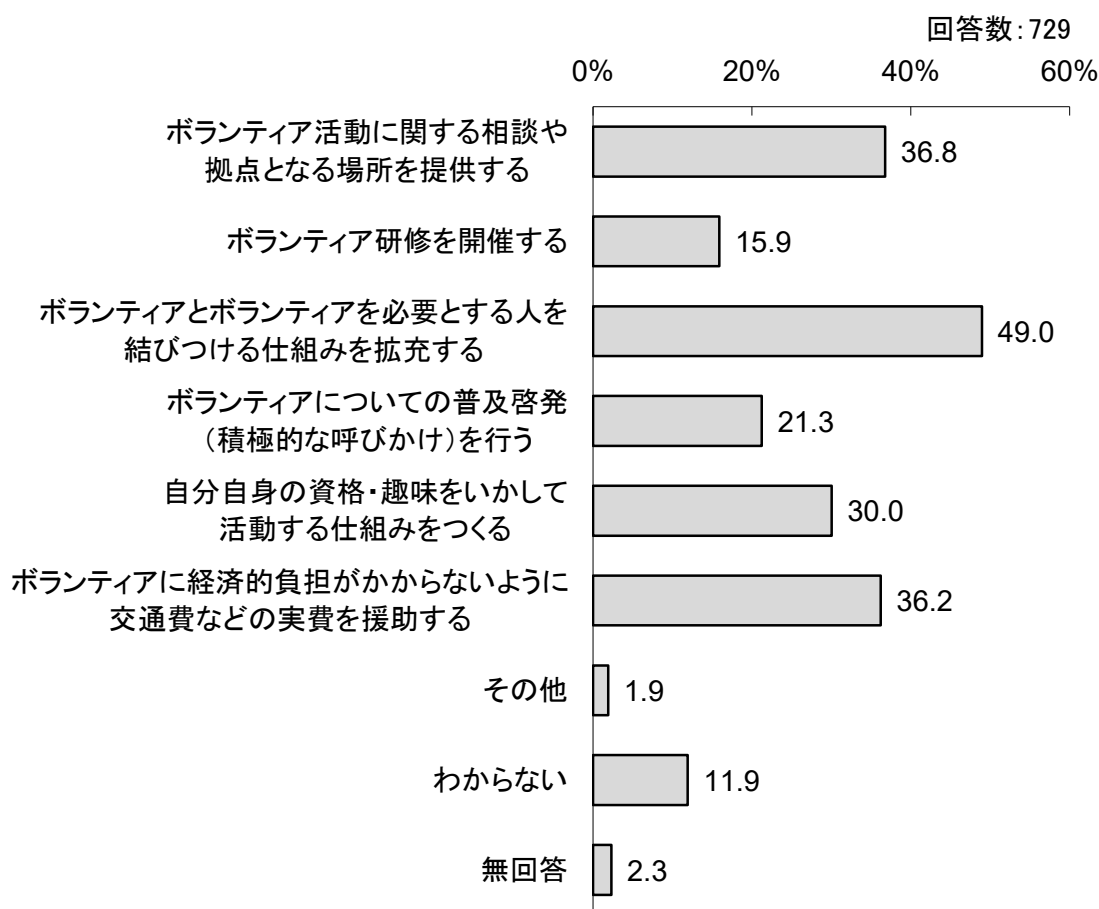
【年齢別 今後やってみたい(続けたい)こと】

上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくり・体力づくり	スポーツ	家族や孫と過ごすこと(団らん)	友人や気の合った仲間とのつきあい	趣味の活動	社会奉仕(ボランティア)活動	町内会、自治会等の地域活動	その他	無回答
全体	729 100.0	214 29.4	259 35.5	357 49.0	212 29.1	266 36.5	292 40.1	372 51.0	177 24.3	67 9.2	13 1.8	108 14.8
40歳～44歳	122 100.0	45 36.9	48 39.3	62 50.8	47 38.5	40 32.8	44 36.1	58 47.5	31 25.4	16 13.1	1 0.8	18 14.8
45歳～49歳	156 100.0	46 29.5	57 36.5	74 47.4	46 29.5	71 45.5	66 42.3	78 50.0	34 21.8	12 7.7	2 1.3	27 17.3
50歳～54歳	162 100.0	43 26.5	49 30.2	73 45.1	52 32.1	57 35.2	66 40.7	80 49.4	37 22.8	14 8.6	3 1.9	32 19.8
55歳～59歳	129 100.0	45 34.9	52 40.3	65 50.4	37 28.7	50 38.8	52 40.3	78 60.5	30 23.3	14 10.9	2 1.6	14 10.9
60歳～64歳	156 100.0	34 21.8	51 32.7	80 51.3	28 17.9	46 29.5	62 39.7	76 48.7	44 28.2	10 6.4	5 3.2	17 10.9
無回答	4 100.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

○年齢別では、40歳～44歳で「働くこと」が、45歳～49歳で「家族や孫と過ごすこと(団らん)」、「友人や気の合った仲間とのつきあい」が、55歳～59歳で「学習や教養を高めるための活動」「趣味の活動」が、60～64歳で「健康づくり・体力づくり」が他の年代に比べて多くなっている。

(4) ボランティア活動を広げていくため必要と思うこと

問20 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

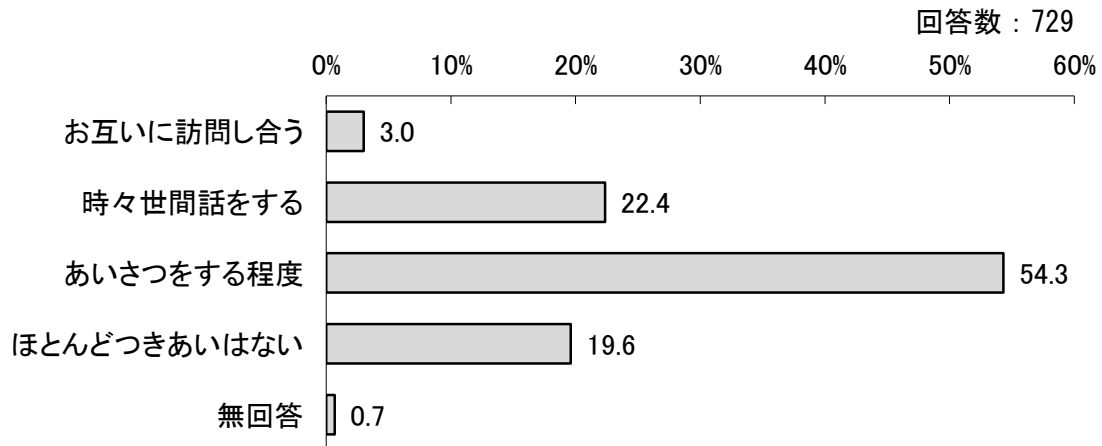


○「ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する」が 49.0%で最も多く、「ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する」36.8%、「ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を援助する」36.2%が続いている。

4 地域における交流について

(1) 隣近所とのつきあい

問 21 あなたは、隣近所との程度のつきあいをしていますか。



○「あいさつをする程度」が54.3%で最も多く、次いで「時々世間話をする」が22.4%、「ほとんどつきあいはない」が19.6%などとなっている。

【性別 隣近所とのつきあい】

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	お互いに訪問 し合う	時々世間話を する	あいさつをす る程度	ほとんどつき あいはない	無回答
全体	729	22	163	396	143	5
	100.0	3.0	22.4	54.3	19.6	0.7
男性	305	5	36	187	76	1
	100.0	1.6	11.8	61.3	24.9	0.3
女性	416	17	126	206	65	2
	100.0	4.1	30.3	49.5	15.6	0.5
その他	2	0	1	0	1	0
	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
無回答	6	0	0	3	1	2
	100.0	0.0	0.0	50.0	16.7	33.3

○「あいさつをする程度」は「男性」が「女性」より 11.8 ポイント、「時々世間話をする」は「女性」が「男性」より大きく 18.5 ポイント、「ほとんどつきあいはない」は「男性」が「女性」より 9.3 ポイント、それぞれ多くなっている。

【経年比較】

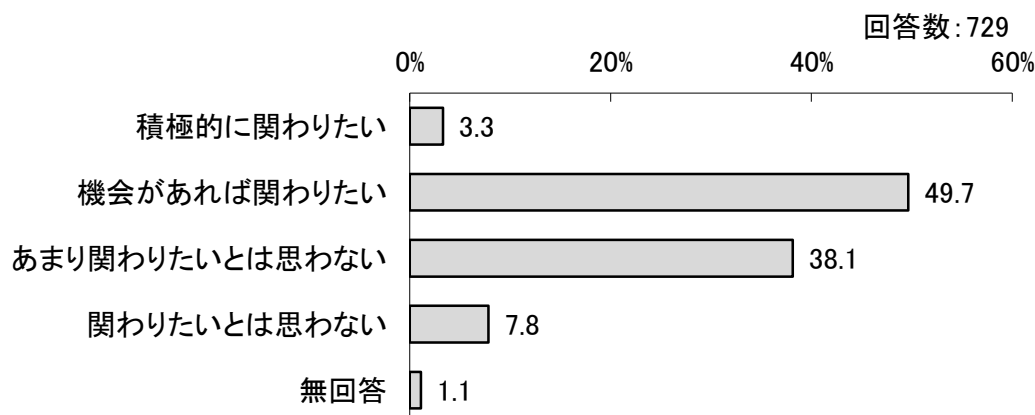
(単位：%)

	合計	お互いに訪問 し合う	時々世間話を する	あいさつをす る程度	ほとんどつき あいはない	無回答
令和4年度調査 (回答数：729)	100.0	3.0	22.4	54.3	19.6	0.7
令和元年度調査 (回答数：592)	100.0	2.5	23.5	59.8	13.5	0.7

○前回調査と比べて、「あいさつをする程度」が5.5ポイント減少し、「ほとんどつきあいはない」が6.1ポイント増加している。

(2) 隣近所との交流の希望

問 22 あなたは、隣近所の方々との交流をどの程度望まれていますか。



○「機会があれば関わりたい」が49.7%で最も多く、次いで「あまり関わりたいとは思わない」が38.1%、「関わりたいとは思わない」が7.8%などとなっている。

【性別 隣近所との交流の希望】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	積極的に関わりたい	機会があれば関わりたい	あまり関わりたいとは思わない	関わりたいとは思わない	無回答
全体	729	24	362	278	57	8
	100.0	3.3	49.7	38.1	7.8	1.1
男性	305	3	125	140	34	3
	100.0	1.0	41.0	45.9	11.1	1.0
女性	416	21	233	136	23	3
	100.0	5.0	56.0	32.7	5.5	0.7
その他	2	0	2	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6	0	2	2	0	2
	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3

○「機会があれば関わりたい」は「女性」が「男性」を15ポイント上回り、「あまり関わりたいとは思わない」は「男性」が「女性」を13.2ポイント上回っている。

【経年比較】

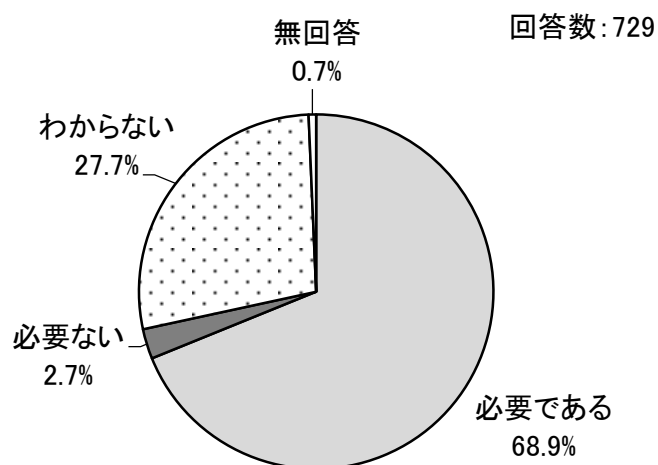
(単位: %)

	合計	積極的に関わりたい	機会があれば関わりたい	あまり関わりたいとは思わない	関わりたいとは思わない	無回答
令和4年度調査 (回答数: 729)	100.0	3.3	49.7	38.1	7.8	1.1
令和元年度調査 (回答数: 592)	100.0	3.7	57.1	32.9	5.2	0.7

○前回調査と比べて、「機会があれば関わりたい」が7.4ポイント減少し、「あまり関わりたいとは思わない」が5.2ポイント増加している。

(3) 隣近所や地域で高齢者を支えることの必要性

問 23 独居世帯や高齢者世帯が近年増えていますが、隣近所や地域で高齢者を支えることが必要だと思いますか。



○「必要である」が68.9%で最も多く、次いで「わからない」が27.7%、「必要ない」が2.7%などとなっている。

【経年比較】

(単位：%)

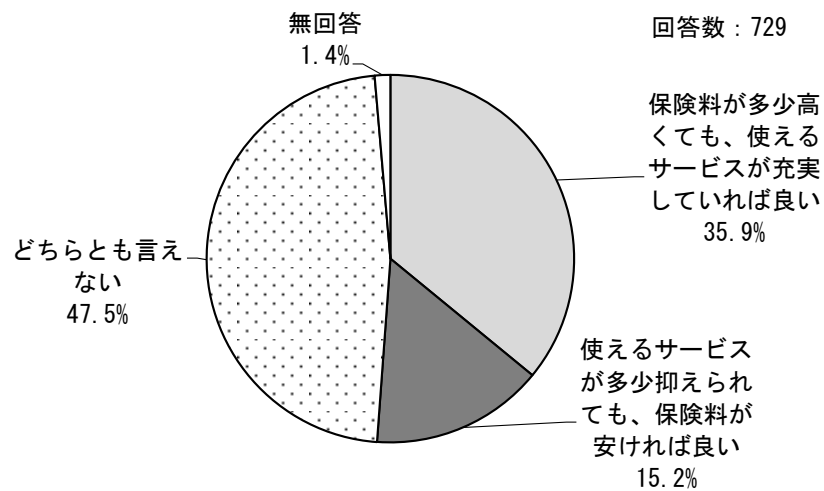
	必要である	必要ない	わからない	無回答
令和4年度調査 (回答数：729)	68.9	2.7	27.7	0.7
令和元年度調査 (回答数：592)	73.8	2.5	23.0	0.7

○前回調査と比べて、「必要である」が4.9ポイント減少し、「わからない」が4.7ポイント増加している。

5 介護保険制度・高齢者施策について

(1) 介護保険料と介護サービスのあり方について

問 24 介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。



○「どちらとも言えない」が 47.5%で最も多く、次いで「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が 35.9%、「使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い」が 15.2%などとなっている。

【経年比較】

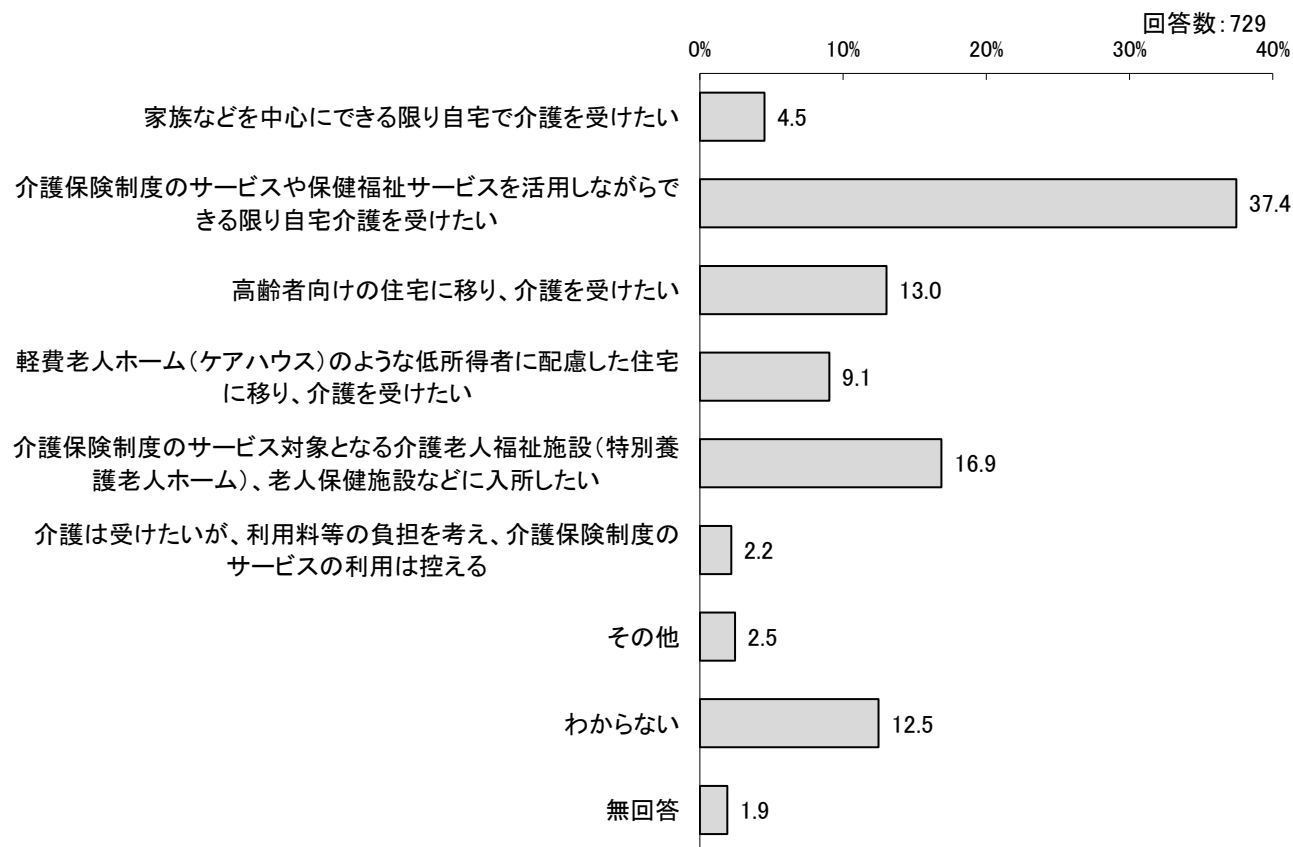
(単位：%)

	保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い	使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い	どちらとも言えない	無回答
令和4年度調査 (回答数：729)	35.9	15.2	47.5	1.4
令和元年度調査 (回答数：592)	37.8	13.0	47.0	2.2

○前回調査と比べて、大きな差異はみられない。

(2) 今後、もし自身が介護が必要になったら

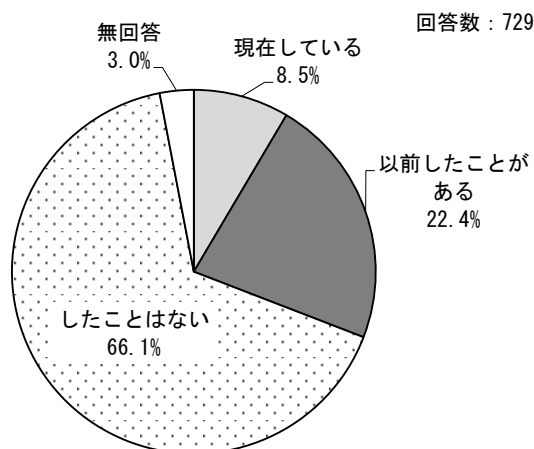
問 25 今後、もしあなたが自身が介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。
(○は1つ)



○「介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい」が 37.4%で最も多く、次いで「介護保険制度のサービス対象となる介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、老人保健施設などに入所したい」が 16.9%、「高齢者向けの住宅に移り、介護を受けたい」が 13.0%などとなっている。

(3) 家族などの介護の経験の有無

問 26 あなたは、ご家族などの介護をしたことがありますか。



○「したことはない」が66.1%で最も多く、次いで「以前したことがある」が22.4%、「現在している」が8.5%などとなっている。

【性別 家族などの介護の経験】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	現在している	以前したことがある	したことはない	無回答
全体	729	62	163	482	22
	100.0	8.5	22.4	66.1	3.0
男性	305	22	49	225	9
	100.0	7.2	16.1	73.8	3.0
女性	416	40	112	253	11
	100.0	9.6	26.9	60.8	2.6
その他	2	0	0	2	0
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	6	0	2	2	2
	100.0	0.0	33.3	33.3	33.3

○性別では、「現在している」は「女性」が「男性」をやや上回り、「したことはない」は「男性」が「女性」より13ポイント、「以前したことがある」は「女性」が「男性」より10.8ポイント、それぞれ上回っている。

【年齢別 家族などの介護の経験】

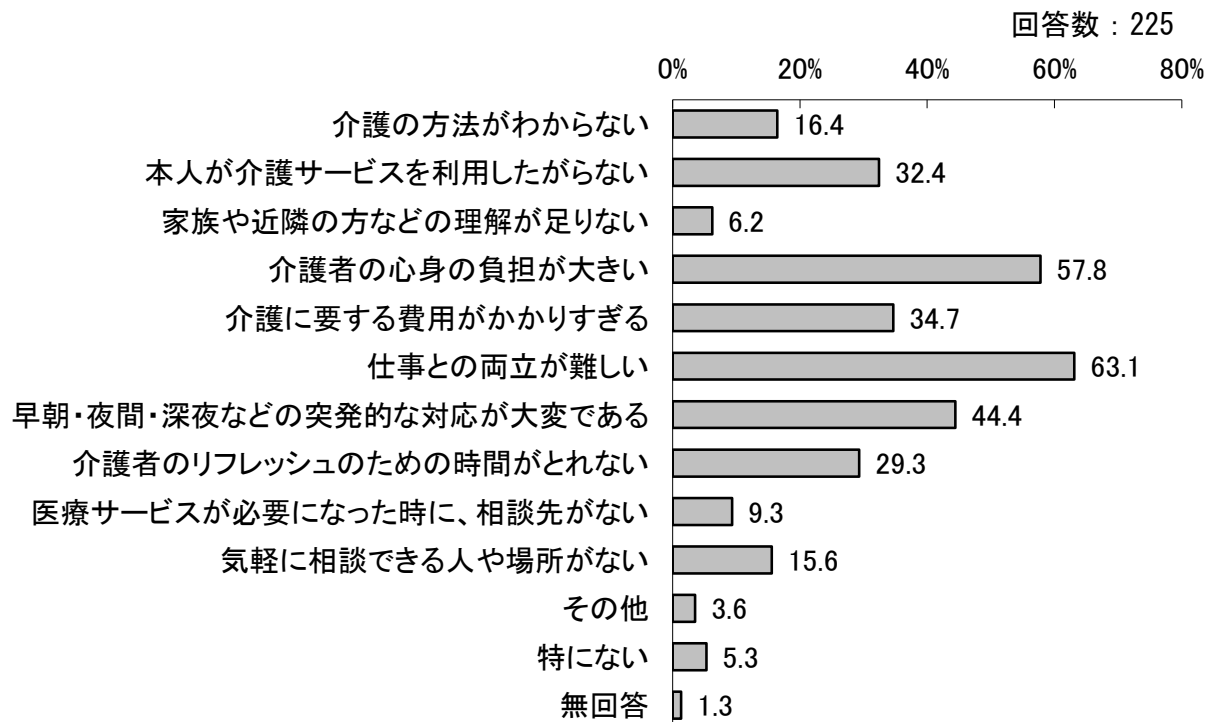
上段: 回答数 下段: 割合 (%)	合計	現在している	以前したことがある	したことはない	無回答
全体	729	62	163	482	22
	100.0	8.5	22.4	66.1	3.0
40 歳～44 歳	122	3	16	99	4
	100.0	2.5	13.1	81.1	3.3
45 歳～49 歳	156	8	22	121	5
	100.0	5.1	14.1	77.6	3.2
50 歳～54 歳	162	19	26	111	6
	100.0	11.7	16.0	68.5	3.7
55 歳～59 歳	129	15	39	73	2
	100.0	11.6	30.2	56.6	1.6
60 歳～64 歳	156	17	59	75	5
	100.0	10.9	37.8	48.1	3.2
無回答	4	0	1	3	0
	100.0	0.0	25.0	75.0	0.0

○年齢別では、「以前したことがある」は年齢の上昇とともに多くなる傾向がみられ、「したことはない」は年齢の上昇とともに減少している。

(4) 介護を行う上で困っていること

問 26-1 (介護について「現在している」、「以前したことがある」方のみ)

介護を行う上で困っていること(困ったこと)について教えてください。(○はいくつでも)



○「仕事との両立が難しい」が 63.1%で最も多く、次いで「介護者の心身の負担が大きい」が 57.8%、「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が 44.4%などとなっている。

【性別 介護を行う上で困っていること】

上段： 回答数 下段： 割合(%)	合計	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを利用した がない	家族や近隣の方などの理解が足 りない	介護者の心身の負担が大きい	介護に要する費用がかかりすぎる	仕事との両立が難しい	早朝・夜間・深夜などの突発的な対 応が大変である	介護者のリフレッシュのための時間が とれない	医療サービスが必要になった時に、 相談先がない	気軽に相談できる人や場所がない	その他	特 に ない	無 回 答
全体	225 100.0	37 16.4	73 32.4	14 6.2	130 57.8	78 34.7	142 63.1	100 44.4	66 29.3	21 9.3	35 15.6	8 3.6	12 5.3	3 1.3
男性	71 100.0	17 23.9	19 26.8	2 2.8	39 54.9	21 29.6	45 63.4	32 45.1	18 25.4	4 5.6	11 15.5	1 1.4	3 4.2	2 2.8
女性	152 100.0	20 13.2	53 34.9	12 7.9	90 59.2	57 37.5	96 63.2	67 44.1	47 30.9	16 10.5	24 15.8	7 4.6	9 5.9	1 0.7
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○性別では、「介護の方法がわからない」では「男性」が「女性」を10.7ポイント、「本人が介護サービスを利用した
がない」では「女性」が「男性」を8.1ポイント上回っている。

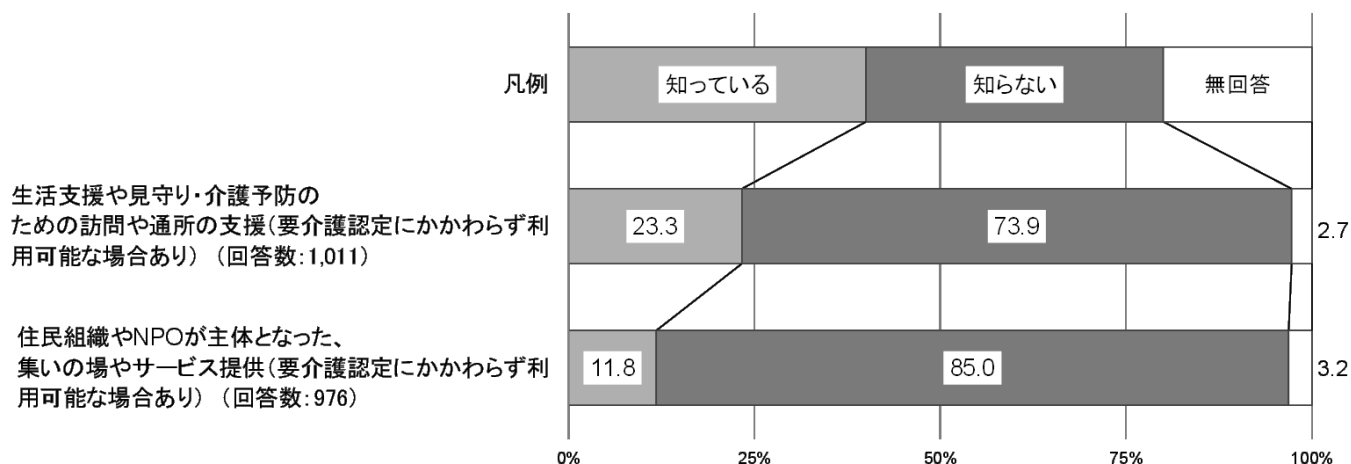
【年齢別 介護を行う上で困っていること】

上段： 回答数 下段： 割合(%)	合計	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを利用した がない	家族や近隣の方などの理解が足 りない	介護者の心身の負担が大きい	介護に要する費用がかかりすぎる	仕事との両立が難しい	早朝・夜間・深夜などの突発的な対 応が大変である	介護者のリフレッシュのための時間が とれない	医療サービスが必要になった時に、 相談先がない	気軽に相談できる人や場所がない	その他	特 に ない	無 回 答
全体	225 100.0	37 16.4	73 32.4	14 6.2	130 57.8	78 34.7	142 63.1	100 44.4	66 29.3	21 9.3	35 15.6	8 3.6	12 5.3	3 1.3
40 歳 ～44 歳	19 100.0	5 26.3	4 21.1	2 10.5	13 68.4	8 42.1	14 73.7	6 31.6	7 36.8	2 10.5	9 47.4	0 0.0	1 5.3	0 0.0
45 歳 ～49 歳	30 100.0	5 16.7	8 26.7	3 10.0	19 63.3	12 40.0	24 80.0	15 50.0	11 36.7	2 6.7	4 13.3	1 3.3	2 6.7	1 3.3
50 歳 ～54 歳	45 100.0	9 20.0	17 37.8	4 8.9	24 53.3	13 28.9	30 66.7	22 48.9	12 26.7	5 11.1	9 20.0	3 6.7	0 0.0	0 0.0
55 歳 ～59 歳	54 100.0	7 13.0	12 22.2	2 3.7	34 63.0	19 35.2	35 64.8	24 44.4	13 24.1	5 9.3	4 7.4	2 3.7	4 7.4	1 1.9
60 歳 ～64 歳	76 100.0	11 14.5	32 42.1	3 3.9	40 52.6	26 34.2	39 51.3	33 43.4	22 28.9	6 7.9	9 11.8	2 2.6	5 6.6	1 1.3
その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○年齢別では、「仕事との両立が難しい」「介護に要する費用がかかりすぎる」は若い年代において比較的多く、「本
人が介護サービスを利用したがない」は「60 歳～64 歳」で特に多くなっている。

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業の認知状況

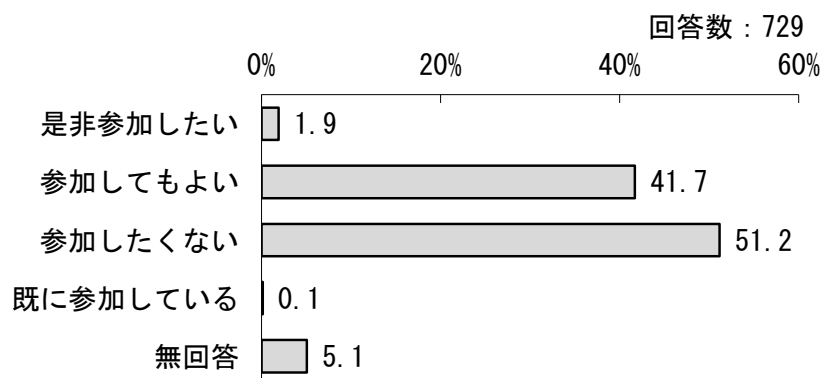
問 27 介護予防・日常生活支援総合事業についてうかがいます。介護予防・日常生活支援総合事業は、65 歳以上のすべての方の日常生活の支援を目的とした事業です。本市では、下記の取組を行っておりますが、ご存じですか。(それぞれ○は1つ)



○いずれも「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。「知っている」は「生活支援や見守り・介護予防のための訪問や通所の支援(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)」が23.3%、「住民組織やNPOが主体となった、集いの場やサービス提供(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)」が11.8%となっている。

(6) 地域のボランティア活動に支援者として参加する意思

問 28 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、あなたはその活動に支援者として参加してみたいと思いますか。

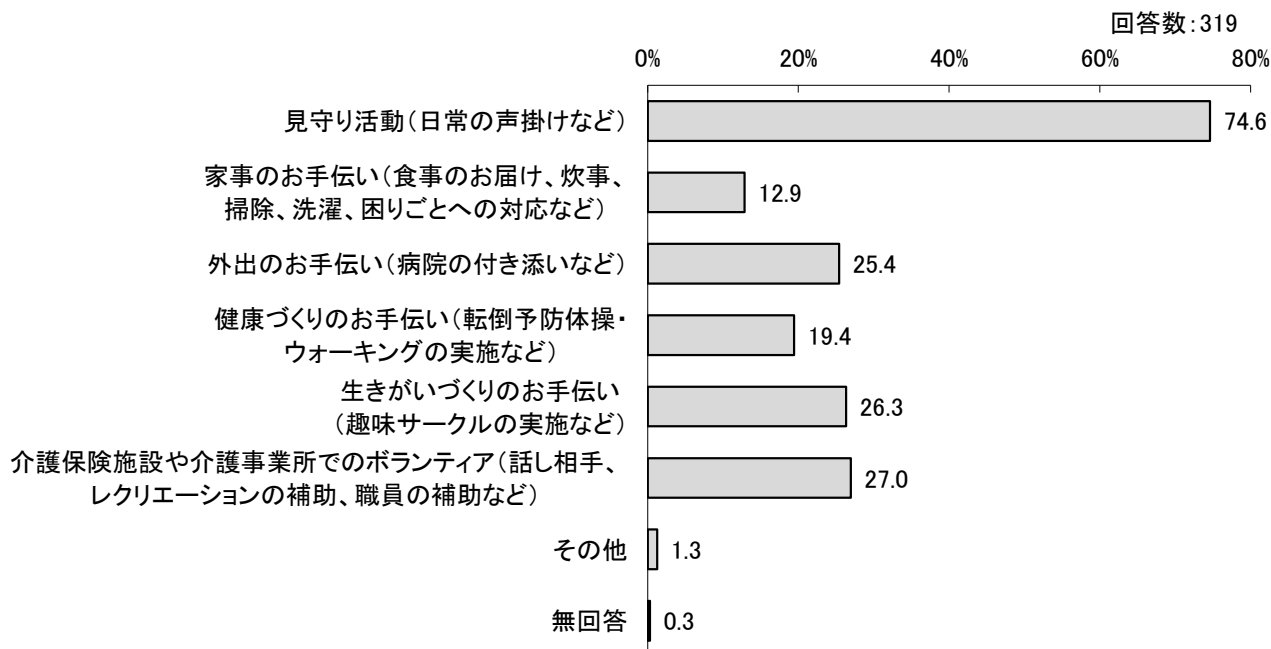


○「参加したくない」が51.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が41.7%などとなっている。

(7) 支援者として参加したい地域のボランティア

問 28-1 (地域のボランティアに「是非参加したい」、「参加してもよい」方のみ)

支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動では、支援者としてどの活動に参加したいですか。また、どの活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

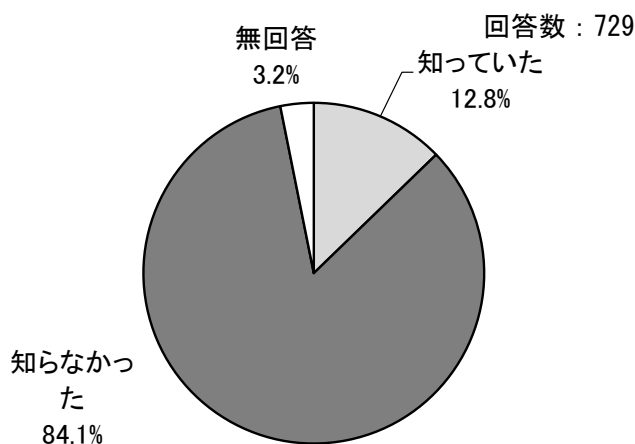


○「見守り活動(日常の声掛けなど)」が74.6%で最も多く、次いで「介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーションの補助、職員の補助など)」が27.0%、「生きがいづくりのお手伝い(趣味サークルの実施など)」が26.3%などとなっている。

(8) 高齢者外出支援事業の認知度

問 29 高齢者外出支援事業についてうかがいます。

市では、高齢者が自宅に引きこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する 75 歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1 枚 500 円のタクシー券を月 3 枚（年間最大 36 枚）、交付していますがご存じでしたか。

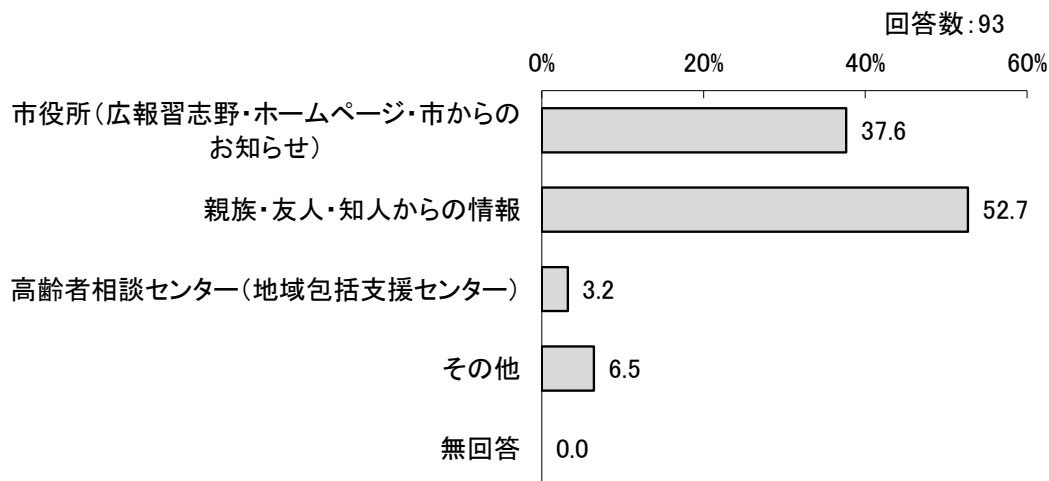


○「知らなかった」が 84.1%、「知っていた」が 12.8%などとなっている。

(9) 高齢者外出支援事業についての情報の入手先

問 29-1 (高齢者外出支援事業について「知っていた」方のみ)

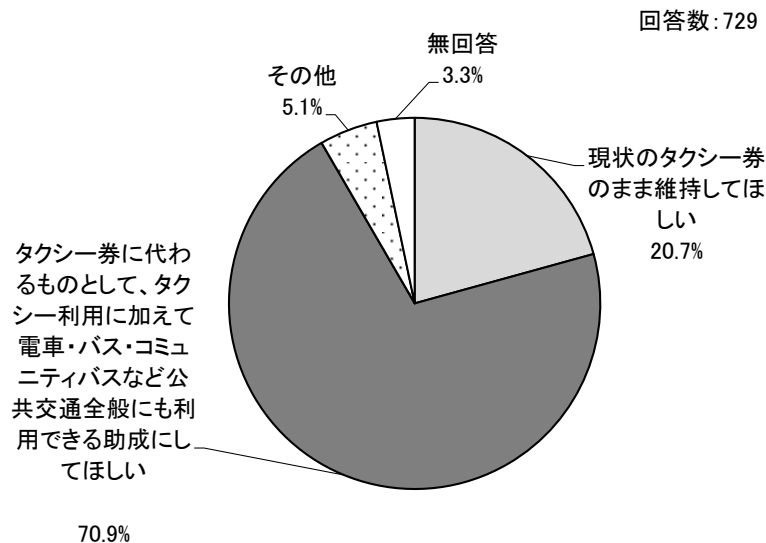
本事業を何で知りましたか。



○「親族・友人・知人からの情報」が 52.7%で最も多く、次いで「市役所(広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)」が 37.6%、「その他」が 6.5%などとなっている。

(10) 今後の高齢者外出支援事業の見直しについて

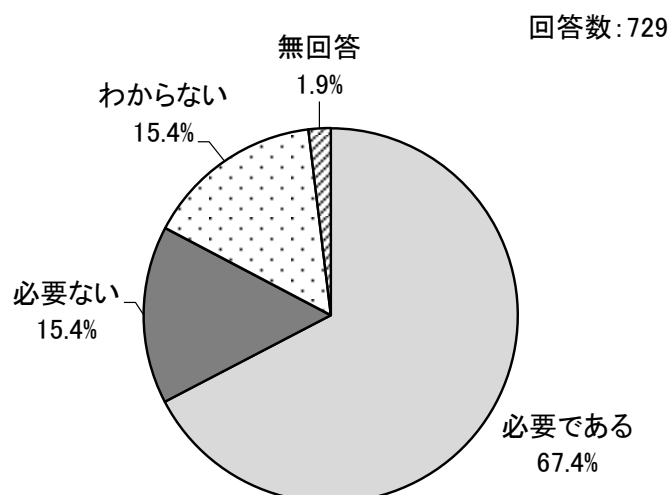
問 30 より良い高齢者の外出支援策とするには、今後どのような事業の見直しを行うのが良いと思いますか。



○「タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にしてほしい」が70.9%で最も多く、次いで「現状のタクシー券のまま維持してほしい」が20.7%などとなっている。

(11) 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納について

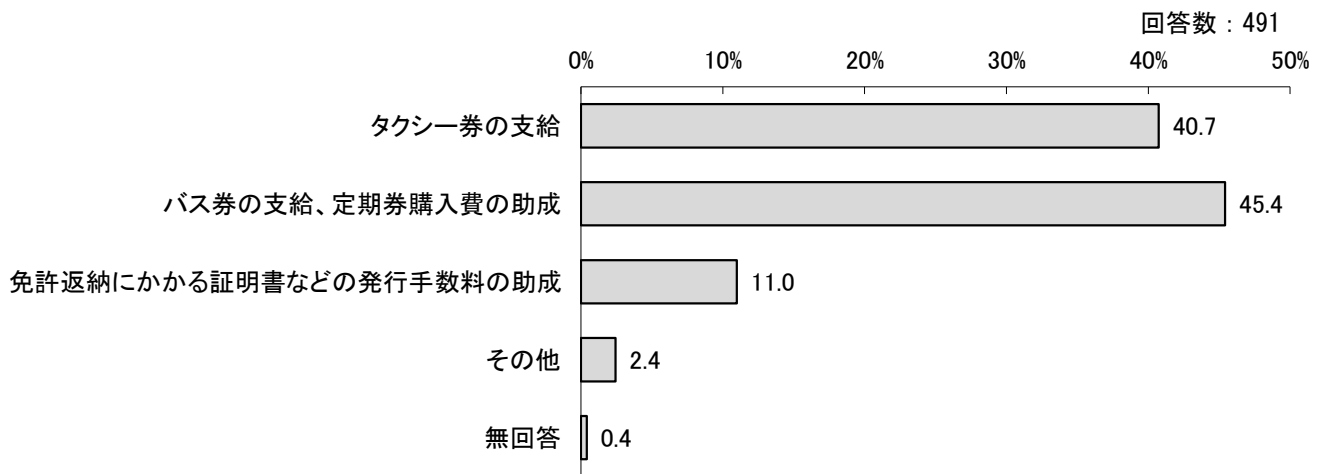
問 31 近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていないですが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。



○「必要である」が67.4%、「必要ない」が15.4%、「わからない」が15.4%などとなっている。

(12) 運転免許証を自主返納した方に必要な支援

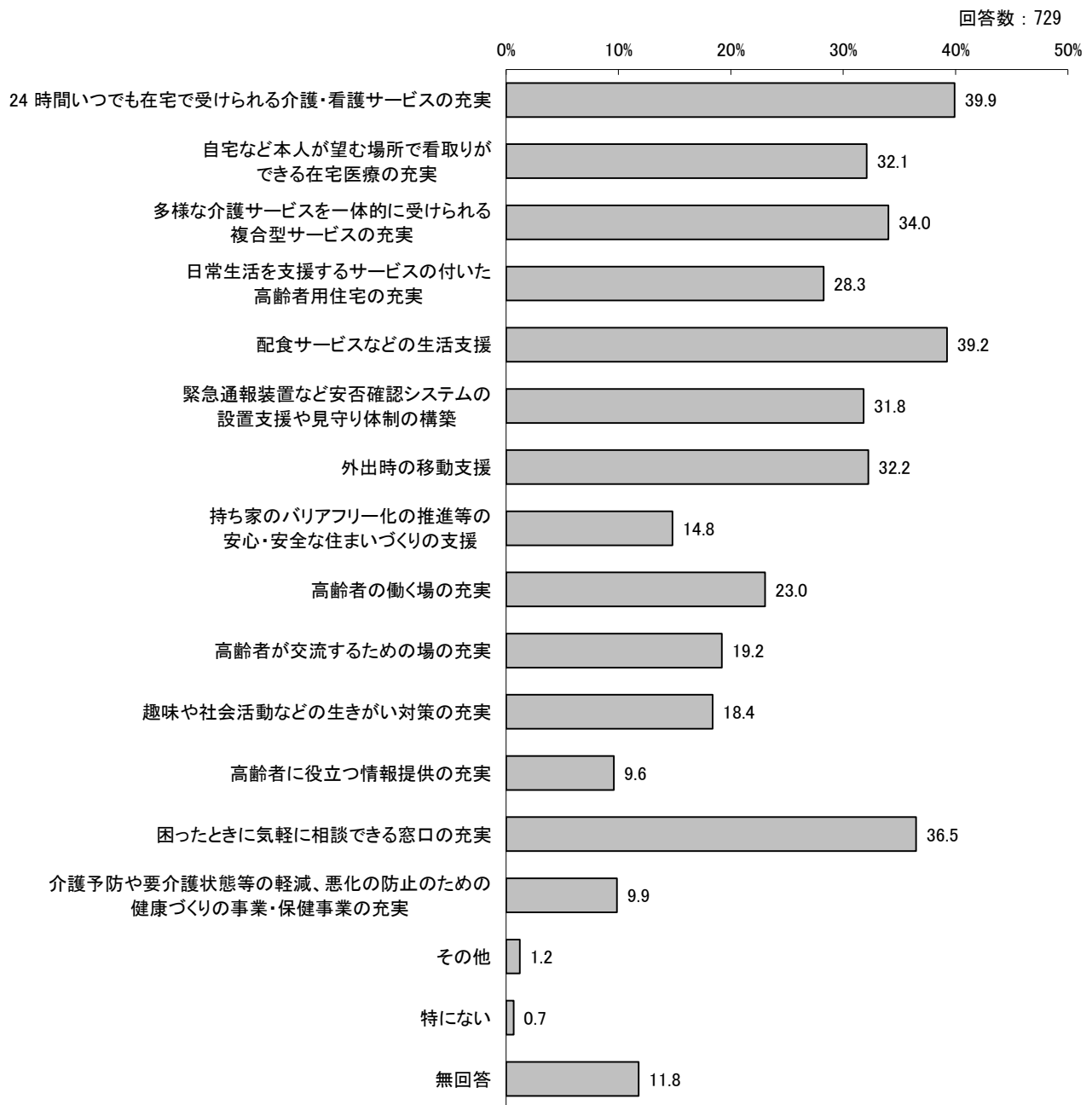
問 31-1 (運転免許証を自主返納した方に対する支援が「必要である」と思う方のみ)
どのような支援が必要であると思いますか。



○「バス券の支給、定期券購入費の助成」が 45.4%で最も多く、次いで「タクシー券の支給」が 40.7%、「免許返納にかかる証明書などの発行手数料の助成」が 11.0%などとなっている。

(13) 高齢者が地域で在宅生活を続けるために必要な施策

問 32 あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けていくために、主としてどのような市の施策が必要であると考えますか。(〇は5つまで)

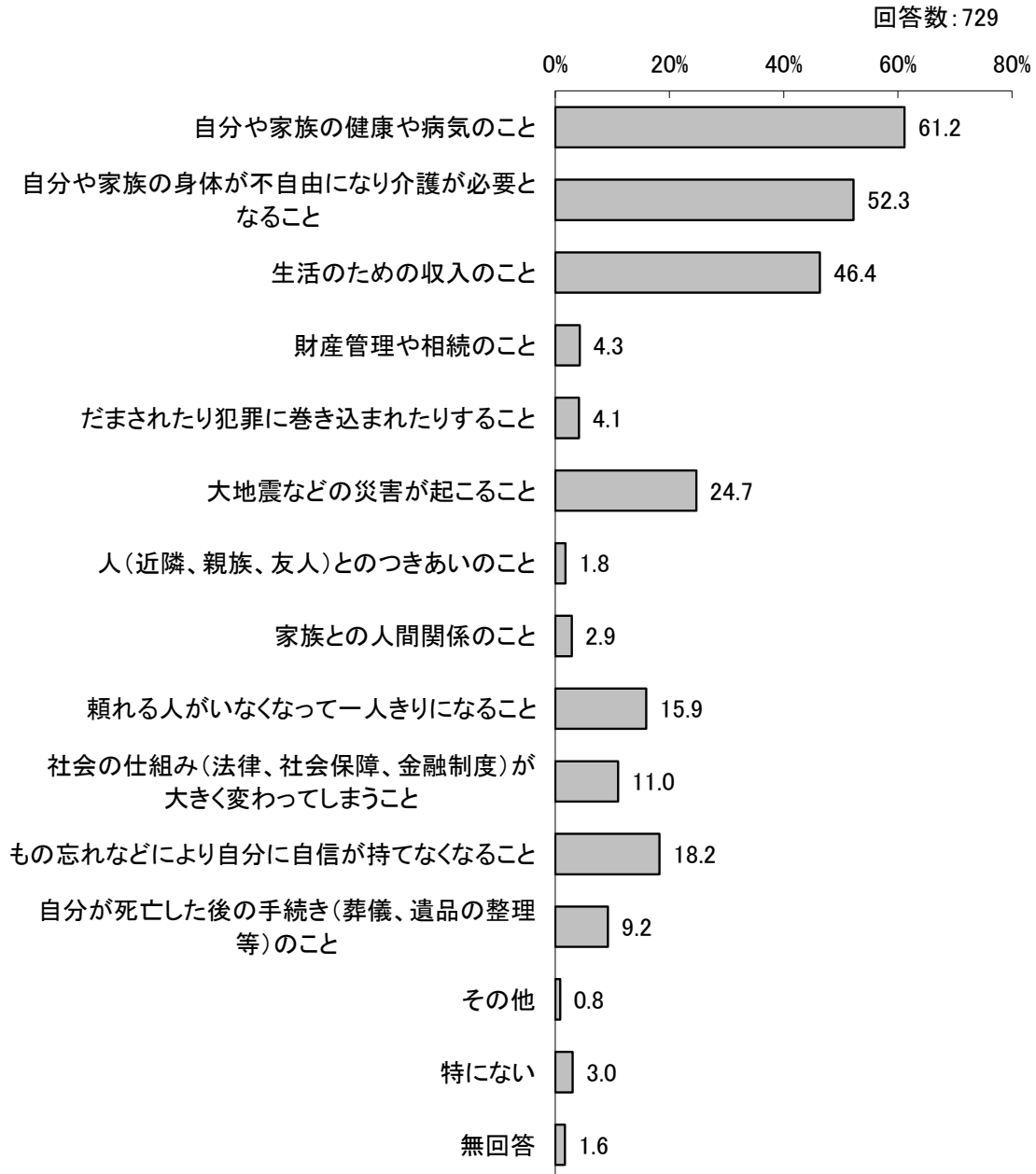


○「24 時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実」が 39.9%で最も多く、次いで「配食サービスなどの生活支援」が 39.2%、「困ったときに気軽に相談できる窓口の充実」が 36.5%、などとなっている。

6 将来の不安、備えについて

(1) 将来の不安

問 33 あなたは、ご自分の将来についてどんな不安がありますか。(○は3つまで)



○「自分や家族の健康や病気のこと」が61.2%で最も多く、次いで「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること」が52.3%、「生活のための収入のこと」が46.4%、「大地震などの災害が起こること」が24.7%などとなっている。

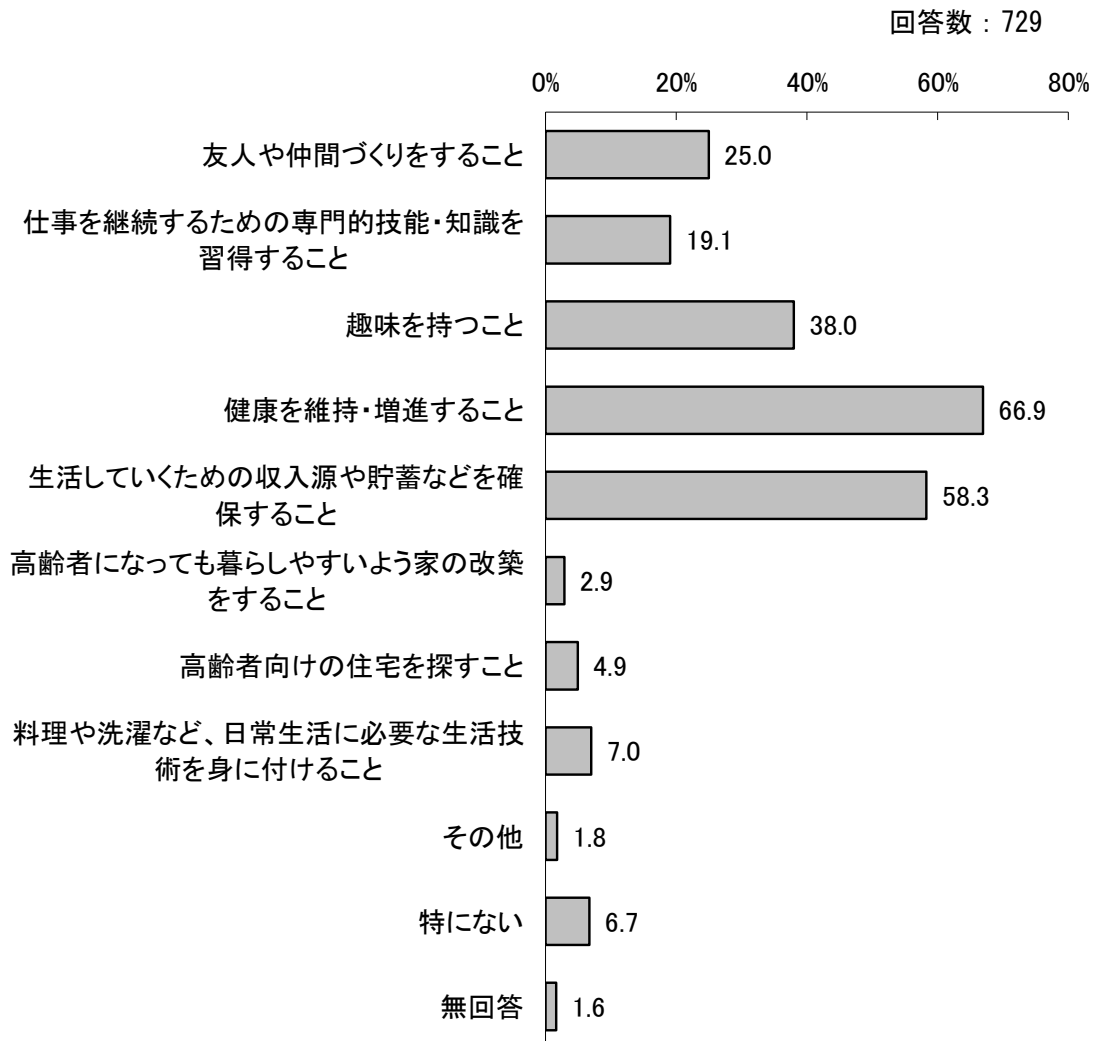
【年齢別 将来の不安】

上段： 回答数 下段： 割合 (%)	合計	自分や家族の健康や病気のこと	自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること	生活のための収入のこと	財産管理や相続のこと	だまされたり犯罪に巻き込まれたりすること	大地震などの災害が起こること	人（近隣、親族、友人）とのつきあいのこと	家族との人間関係のこと	頼れる人がいなくなって一人きりになること	社会の仕組み（法律、社会保障、金融制度）が大きく変わってしまうこと	もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなる こと	自分が死亡した後の手続き（葬儀、遺品の整理等）のこと	その他	特にない	無回答
全体	729	446	381	338	31	30	180	13	21	116	80	133	67	6	22	12
	100.0	61.2	52.3	46.4	4.3	4.1	24.7	1.8	2.9	15.9	11.0	18.2	9.2	0.8	3.0	1.6
40 歳 ～44 歳	122	82	51	53	3	11	35	3	4	17	12	13	16	0	7	2
	100.0	67.2	41.8	43.4	2.5	9.0	28.7	2.5	3.3	13.9	9.8	10.7	13.1	0.0	5.7	1.6
45 歳 ～49 歳	156	94	78	84	7	8	36	2	4	28	9	22	16	4	4	3
	100.0	60.3	50.0	53.8	4.5	5.1	23.1	1.3	2.6	17.9	5.8	14.1	10.3	2.6	2.6	1.9
50 歳 ～54 歳	162	104	93	78	5	7	43	3	3	30	19	31	10	0	3	1
	100.0	64.2	57.4	48.1	3.1	4.3	26.5	1.9	1.9	18.5	11.7	19.1	6.2	0.0	1.9	0.6
55 歳 ～59 歳	129	75	71	60	5	2	29	3	4	21	23	26	14	2	1	1
	100.0	58.1	55.0	46.5	3.9	1.6	22.5	2.3	3.1	16.3	17.8	20.2	10.9	1.6	0.8	0.8
60 歳 ～64 歳	156	89	84	61	11	2	37	2	6	18	17	40	10	0	7	5
	100.0	57.1	53.8	39.1	7.1	1.3	23.7	1.3	3.8	11.5	10.9	25.6	6.4	0.0	4.5	3.2
無回答	4	2	4	2	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0
	100.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0

○「自分や家族の健康や病気のこと」、「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること」、「生活のための収入のこと」はすべての年代にわたり多くなっている。「もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること」は高い年齢層において多く、年代の上昇とともに回答割合も多くなっている。

(2) 将来、老後の生活に備えて現在していることや必要だと思うこと

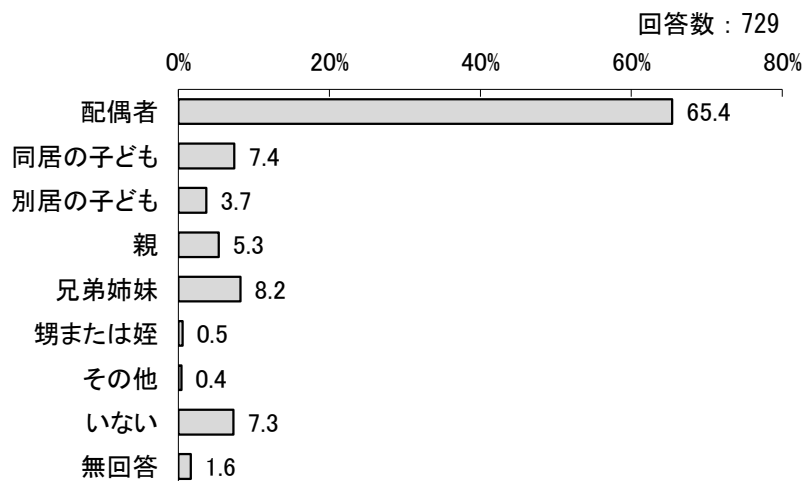
問 34 あなたは、ご自分の将来、特に老後の生活に備えて、現在どのようなことをしていますか、またはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



○「健康を維持・増進すること」が 66.9%で最も多く、次いで「生活していくための収入源や貯蓄などを確保すること」が 58.3%、「趣味を持つこと」が 38.0%などとなっている。

(3) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内の有無

問 35 あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症などに、必要な手続きや金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。(○は1つ)



○「配偶者」が65.4%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」が8.2%、「同居の子ども」が7.4%、などとなっている。

【性別 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内】

上段:回答数 下段:割合 (%)	合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親	兄弟姉妹	甥または姪	その他	いない	無回答
全体	729 100.0	477 65.4	54 7.4	27 3.7	39 5.3	60 8.2	4 0.5	3 0.4	53 7.3	12 1.6
男性	305 100.0	205 67.2	7 2.3	11 3.6	26 8.5	28 9.2	1 0.3	1 0.3	23 7.5	3 1.0
女性	416 100.0	269 64.7	46 11.1	16 3.8	12 2.9	31 7.5	3 0.7	2 0.5	30 7.2	7 1.7
その他	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3

○「配偶者」は「男性」が「女性」をやや上回り、「同居の子ども」は「女性」が「男性」より8.8ポイント、「親」は「男性」が「女性」より5.6ポイント多くなっている。

【年齢別 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内】

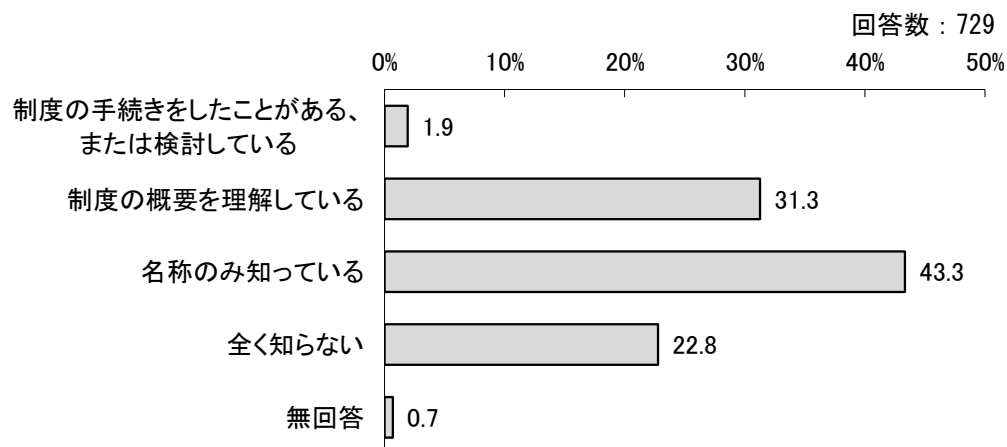
上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親	兄弟姉妹	甥または姪	その他	いない	無回答
全体	729 100.0	477 65.4	54 7.4	27 3.7	39 5.3	60 8.2	4 0.5	3 0.4	53 7.3	12 1.6
40歳～44歳	122 100.0	74 60.7	6 4.9	0 0.0	18 14.8	13 10.7	0 0.0	1 0.8	8 6.6	2 1.6
45歳～49歳	156 100.0	108 69.2	9 5.8	1 0.6	11 7.1	8 5.1	0 0.0	1 0.6	16 10.3	2 1.3
50歳～54歳	162 100.0	116 71.6	11 6.8	3 1.9	6 3.7	13 8.0	0 0.0	0 0.0	11 6.8	2 1.2
55歳～59歳	129 100.0	86 66.7	9 7.0	8 6.2	2 1.6	14 10.9	1 0.8	1 0.8	7 5.4	1 0.8
60歳～64歳	156 100.0	91 58.3	18 11.5	15 9.6	1 0.6	12 7.7	3 1.9	0 0.0	11 7.1	5 3.2
無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○「配偶者」はすべての年代にわたり多くなっている。また、「同居の子ども」、「別居の子ども」は年齢に比例して多くなっている。

(4) 成年後見制度の認知度

問 36 あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ)

「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法的に支援する制度です。



○「名称のみ知っている」が 43.3%で最も多く、次いで「制度の概要を理解している」が 31.3%、「全く知らない」が 22.8%などとなっている。

(5) 自由意見・要望

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策について、ご意見、ご要望がありましたら自由にご記入ください。

【記述内容(主なもの)】(年齢／性別)

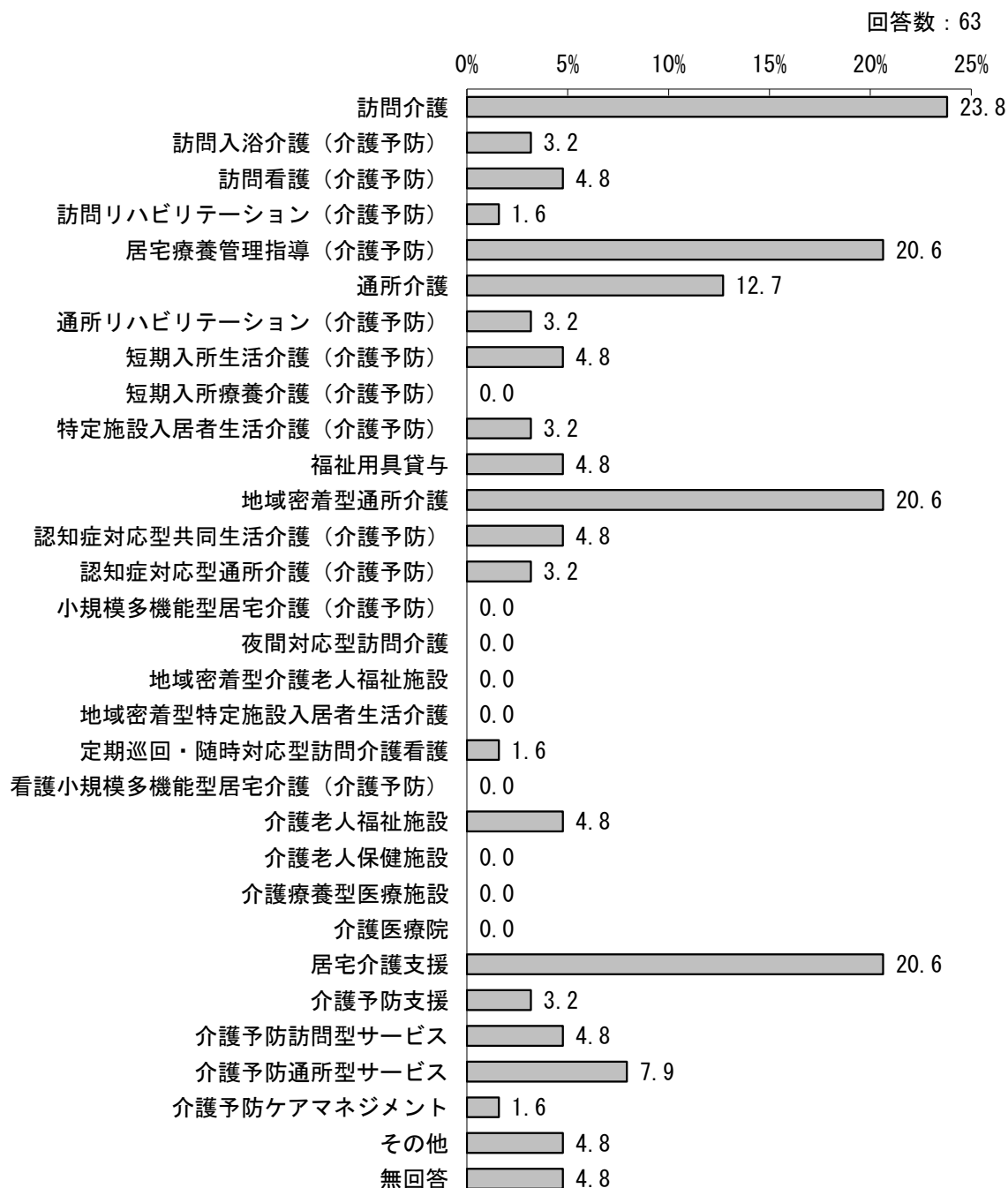
- 高齢者が住みやすい、とは恐らく、コミュニティが最寄にあり、気軽に楽しく出かけられる「場」があることだと思います。日々の楽しみとなることで生きがいになったりできれば、と願います。そのサポートをして頂けたら良いと思います。(60歳～64歳／女性)
- 利用できるサービスなどたくさんあるようですがそれを知らない高齢者は多いと思います。他人などから聞いてはじめて知るのではなくて、高齢者支援課などから個別にサービス内容を知らせてもらえるようになるといいと思います。一人暮らしの高齢者でどこに相談していいのかわからなくて困っている方たくさんいると思います。(60歳～64歳／男性)
- このアンケートを通して習志野市の支援サービスを新たに知ることができ、有意義でした。実際にサービスを利用する高齢者の世代に声を聞くことも大切ですが、親世代が高齢者の世代にどんなサービスがよりよいかを今回のようにヒアリングすることで現実的なサービスになると思います。(50歳～54歳／女性)
- 親の介護がはじまって、相談センターの人はとても親切に相談にのってくれた。が、正直制度はよくわからない。助けてもらいたくて初めて介護制度の複雑さや条件、ハードルの高さを感じた。老人も1個人で同じ環境はないのだからプロの意見や提案を受ける場が少ない。ケアマネにも差がある。個人個人で希望可能な介護内容や金額がわかるもの、又はおおよその事を教えてくれる窓口がほしい。(60歳～64歳／女性)
- 高齢者の仲間作りや、交流できる場所をたくさん作ってほしいです。介護保険施設を増やしてほしいです。(60歳～64歳／女性)
- 今後、認知症などの高齢者が増えていきます。その際習志野市役所にはお世話になることが多いと思います。そうならないように私も気をつけますが、市役所の皆様も身体に気をつけて、よい町づくりが出来るようにお願いします。(55歳～59歳／女性)
- 今回のアンケートで、実施されている施策についてあまり知らないことが分かりました。勉強不足もあると思いますが、応報活動に力を入れていただければ幸いです。(50歳～54歳／女性)
- 今回アンケートに答えてみて、自分自身が高齢者になるにあたっての心の準備ができていないと思いました。幸いにも、まだ働き盛りの状態なのですが、市の高齢者保健福祉施策についての概要がわかればよいと思いました。(55歳～59歳／男性)
- 高齢者のそれぞれの個人的に使える制度、サービスを市の方から提供していただけると有り難いと思います。なかなか自分で調べたりするのもむずかしくなってしまうので、今の状態で利用できるサービスなどをわかりやすく教えてほしいと思います。(55歳～59歳／女性)
- 専門的な知識や技術をもった高齢者が無理なく能力を発揮できるような仕事の機会があれば、と思います。また、軽度の認知症の方々がサポートを受けながら働いたり、気軽に集まって話をしたり遊んだりできるコミュニティが増えると、心の健康の改善につながるのではないかと考えています。「シルバー人材は草取り」のように、高齢者の扱いを一律にするのではなく、個人個人に応じた生きがい対策が充実すると、高齢者以外の人にとっても学んだり生きがいを感じたりすることが増えるように思います。(40歳～44歳／女性)

第4章 サービス提供事業者調査

Ⅰ 事業者の概要について

(Ⅰ) 実施しているサービス

問Ⅰ 貴事業者が現在、本市で実施しているサービスは何ですか。(〇はいくつでも)



○「訪問介護」(63 事業所中 15 事業所・23.8%)という回答が最も多く、次いで「通所介護」、「地域密着型通所介護」、「居宅介護支援」(13 事業所・20.6%)が多くなっている。

2 介護保険サービスについて

(1) 提供しているサービス

問2 次の①から③⑩までのうち、貴事業者で提供しているサービスについて、

(1) 利用者からの利用申込みへの対応

(単位: %)

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	余裕はない	余裕はややある	余裕は十分ある	無回答
①訪問介護 (総数15)	3 20.0	10 66.7	1 6.7	1 6.7
②訪問入浴介護(介護予防) (総数2)	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
③訪問看護(介護予防) (総数3)	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
④訪問リハビリテーション(介護予防) (総数1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
⑤居宅療養管理指導(介護予防) (総数13)	4 30.8	7 53.8	2 15.4	0 0.0
⑥通所介護 (総数8)	1 12.5	5 62.5	2 25.0	0 0.0
⑦通所リハビリテーション(介護予防) (総数2)	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
⑧短期入所生活介護(介護予防) (総数3)	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
⑨短期入所療養介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑩特定施設入居者生活介護(介護予防) (総数2)	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
⑪福祉用具貸与 (総数3)	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
⑫地域密着型通所介護 (総数13)	2 15.4	8 61.5	2 15.4	1 7.7
⑬認知症対応型共同生活介護(介護予防) (総数3)	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
⑭認知症対応型通所介護(介護予防) (総数2)	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
⑮小規模多機能型居宅介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑯夜間対応型訪問介護 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑰地域密着型介護老人福祉施設 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑱地域密着型特定施設入居者生活介護 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑲定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (総数1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
⑳看護小規模多機能型居宅介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉑介護老人福祉施設 (総数3)	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉒介護老人保健施設 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉓介護療養型医療施設 (総数)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉔介護医療院 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉕居宅介護支援 (総数13)	5 38.5	7 53.8	0 0.0	1 7.7
㉖介護予防支援 (総数2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
㉗介護予防訪問型サービス (総数3)	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3
㉘介護予防通所型サービス (総数5)	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0
㉙介護予防ケアマネジメント (総数1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
㉚その他 (総数3)	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7

○「余裕はない」とするサービスは、「介護老人福祉施設(総数3)」が 100.0%、「余裕はややある」は「訪問看護(介護予防)(総数3)」「訪問リハビリテーション(介護予防)(総数1)」「特定施設入居者生活介護(介護予防)(総数2)」「認知症対応型通所介護(介護予防)(総数2)」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護(総数1)」「介護予防ケアマネジメント(総数1)」がいずれも 100.0%、「余裕は十分ある」は「訪問入浴介護(介護予防)(総数2)」が 100.0%などとなっている。

(2) 事業者の収支状況

(単位:%)

上段:回答数 下段:割合(%)	赤字である	収支はほぼ均衡	黒字である	無回答
①訪問介護 (総数15)	5 33.3	8 53.3	1 6.7	1 6.7
②訪問入浴介護(介護予防) (総数2)	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
③訪問看護(介護予防) (総数3)	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0
④訪問リハビリテーション(介護予防) (総数1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
⑤居宅療養管理指導(介護予防) (総数13)	4 30.8	4 30.8	5 38.5	0 0.0
⑥通所介護 (総数8)	1 12.5	6 75.0	1 12.5	0 0.0
⑦通所リハビリテーション(介護予防) (総数2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
⑧短期入所生活介護(介護予防) (総数3)	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
⑨短期入所療養介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑩特定施設入居者生活介護(介護予防) (総数2)	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
⑪福祉用具貸与 (総数3)	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
⑫地域密着型通所介護 (総数13)	5 38.5	4 30.8	4 30.8	0 0.0
⑬認知症対応型共同生活介護(介護予防) (総数3)	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
⑭認知症対応型通所介護(介護予防) (総数2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
⑮小規模多機能型居宅介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑯夜間対応型訪問介護 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑰地域密着型介護老人福祉施設 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑱地域密着型特定施設入居者生活介護 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑲定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (総数1)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑳看護小規模多機能型居宅介護(介護予防) (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉑介護老人福祉施設 (総数3)	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
㉒介護老人保健施設 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉓介護療養型医療施設 (総数)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉔介護医療院 (総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉕居宅介護支援 (総数13)	3 23.1	7 53.8	2 15.4	1 7.7
㉖介護予防支援 (総数2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
㉗介護予防訪問型サービス (総数3)	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3
㉘介護予防通所型サービス (総数5)	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0
㉙介護予防ケアマネジメント (総数1)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉚その他 (総数3)	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7

○「赤字である」とするサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (総数1)」「介護予防ケアマネジメント (総数1)」がいずれも 100.0%、「収支はほぼ均衡」は「訪問リハビリテーション(介護予防) (総数1)」が 100.0%、「黒字である」は「特定施設入居者生活介護(介護予防) (総数2)」が 100.0%などとなっている。

(3) 今後の事業展開

(単位:%)

上段:回答数 下段:割合(%)	現時点では わからない	縮小を 考えている	現状のまま	拡大を 考えている	無回答
①訪問介護(総数15)	5 33.3	1 6.7	1 6.7	7 46.7	1 6.7
②訪問入浴介護(介護予防)(総数2)	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
③訪問看護(介護予防)(総数3)	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
④訪問リハビリテーション(介護予防)(総数1)	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
⑤居宅療養管理指導(介護予防)(総数13)	3 23.1	1 7.7	5 38.5	4 30.8	0 0.0
⑥通所介護(総数8)	1 12.5	0 0.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0
⑦通所リハビリテーション(介護予防)(総数2)	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
⑧短期入所生活介護(介護予防)(総数3)	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7
⑨短期入所療養介護(介護予防)(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑩特定施設入居者生活介護(介護予防)(総数2)	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
⑪福祉用具貸与(総数3)	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0
⑫地域密着型通所介護(総数13)	4 30.8	1 7.7	7 53.8	1 7.7	0 0.0
⑬認知症対応型共同生活介護(介護予防)(総数3)	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
⑭認知症対応型通所介護(介護予防)(総数2)	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
⑮小規模多機能型居宅介護(介護予防)(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑯夜間対応型訪問介護(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑰地域密着型介護老人福祉施設(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑱地域密着型特定施設入居者生活介護(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
⑲定期巡回・随時対応型訪問介護看護(総数1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
⑳看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉑介護老人福祉施設(総数3)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7
㉒介護老人保健施設(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉓介護療養型医療施設(総数)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉔介護医療院(総数0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉕居宅介護支援(総数13)	1 7.7	1 7.7	3 23.1	5 38.5	3 23.1
㉖介護予防支援(総数2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉗介護予防訪問型サービス(総数3)	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
㉘介護予防通所型サービス(総数5)	2 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
㉙介護予防ケアマネジメント(総数1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
㉚その他(総数3)	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7

○「縮小を考えている」とするサービスは「介護予防ケアマネジメント(総数1)」が100.0%、「現状のまま」は「通所リハビリテーション(介護予防)(総数2)」「短期入所生活介護(介護予防)(総数2)」「短期入所療養介護(介護予防)(総数1)」「認知症対応型共同生活介護(介護予防)(総数3)」がそれぞれ100.0%、「拡大を考えている」は「訪問看護(介護予防)(総数3)」「福祉用具貸与(総数3)」がそれぞれ66.7%(3事業所中2事業所)などとなっている。

(2) 新たに実施したいサービス

問 3 貴事業者が今後、新たに実施したいサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

	回答数	%
訪問介護	4	6.3
訪問入浴介護(介護予防)	0	0.0
訪問看護(介護予防)	3	4.8
訪問リハビリテーション(介護予防)	0	0.0
居宅療養管理指導(介護予防)	0	0.0
通所介護	4	6.3
通所リハビリテーション(介護予防)	1	1.6
短期入所生活介護(介護予防)	0	0.0
短期入所療養介護(介護予防)	0	0.0
特定施設入居者生活介護(介護予防)	1	1.6
福祉用具貸与	0	0.0
地域密着型通所介護	2	3.2
認知症対応型共同生活介護(介護予防)	2	3.2
認知症対応型通所介護(介護予防)	0	0.0
小規模多機能型居宅介護(介護予防)	2	3.2
夜間対応型訪問介護	0	0.0
地域密着型介護老人福祉施設	0	0.0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.0
看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)	1	1.6
介護老人福祉施設	1	0.5
介護老人保健施設	0	0.0
介護療養型医療施設	0	0.0
介護医療院	0	0.0
居宅介護支援	4	6.3
介護予防支援	0	0.0
介護予防訪問型サービス	0	0.0
介護予防通所型サービス	2	3.2
介護予防ケアマネジメント	0	0.0
移動支援に関するサービス	3	4.8
その他	9	14.3
無回答	39	61.9
全体(回答事業者数:63)	78	100.0

○「その他」(9事業所)という回答が最も多く、次いで「訪問介護」と「通所介護」と「居宅介護支援」(いずれも4事業所)が多くなっている。

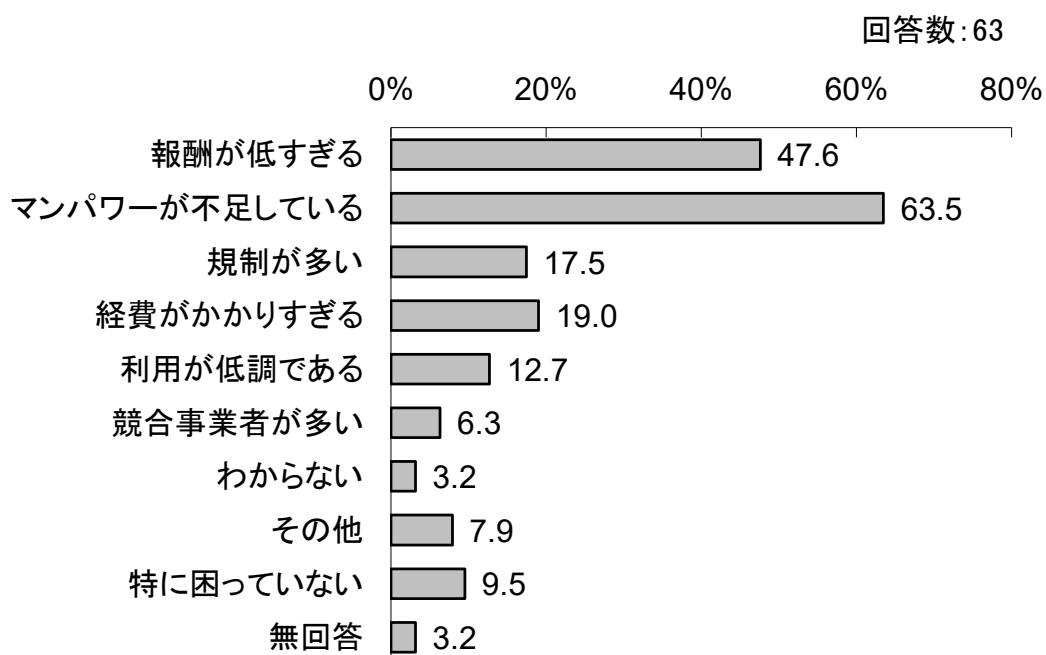
(4) 実施したい理由

問3-1 (新たに実施したいサービスがある事業者のみ)
上記を選択した理由をお教えてください。

新たに実施したいサービス	その理由
通所リハビリテーション (介護予防)	収支の安定がはかれれば、同様の形態で八千代市佐倉市も視野に入れ考えていきたいです。又、従業員確保も懸念されます。
通所介護	法人として千葉県内に事業所を拡大していきたい為。
通所介護	現在、フランチャイズ加入で事業を行い、半日型デイサービスを営業していますが、市内にもう一つ一日型のデイサービス(リハビリ)を創りたいと考えている。今現在、土地の購入、賃貸物件を探している。
通所介護	通所の利用者が上限に達している為、別のサービスを考えた時に一番導入しやすいと考えた為
訪問看護(介護予防)	訪問介護を行っている中で上記の事業のニーズが多く自社にて連携がとれると業務事態の効率が上がる為。
訪問看護(介護予防)	同じ業界にて参入がしやすい為、訪問看護と併用しやすいサービス
訪問看護(介護予防)	地域の中核となる訪問看護ステーションを目指しており、機能強化型訪問看護ステーションとして機能していきたい。
訪問入浴介護(介護予防)	顧客のニーズにより応えていくため。職員の活躍の場を拡大させるため。
介護予防通所型サービス	軽度者の受け入れ強化を図るため
介護予防通所型サービス	介護予防通所型サービスで地域の高齢者の身体機能維持、向上の手伝いをして介護の軽減のお手伝いをしたいと考えています。近隣地域の方々が買い物に行くことが困難だと伺っているのでその方が気持ちよく買い物、理髪等へ行けるように支援できればと考えます。
訪問介護	介護保険だけでは収支改善は出来ないので、自費対応サービスを考えている。
訪問介護	次期介護保険改正にて話が出ております、デイと訪問介護を組み合わせた新サービスに興味がございます。
地域密着型通所介護	今まで培ったノウハウを活かし、更に良いサービスを提供できる為。
地域密着型通所介護	経営改善の為
地域密着型通所介護	地域密着型サービスとして医療、住まいなど、在宅での生活を継続する上での必要な基盤を作っていきたい。
通所リハビリテーション (介護予防)	地域のニーズがあると思うので

(5) サービス提供上の困りごと

問4 貴事業者がサービスを提供するうえで困っていることはありますか。(〇はいくつでも)



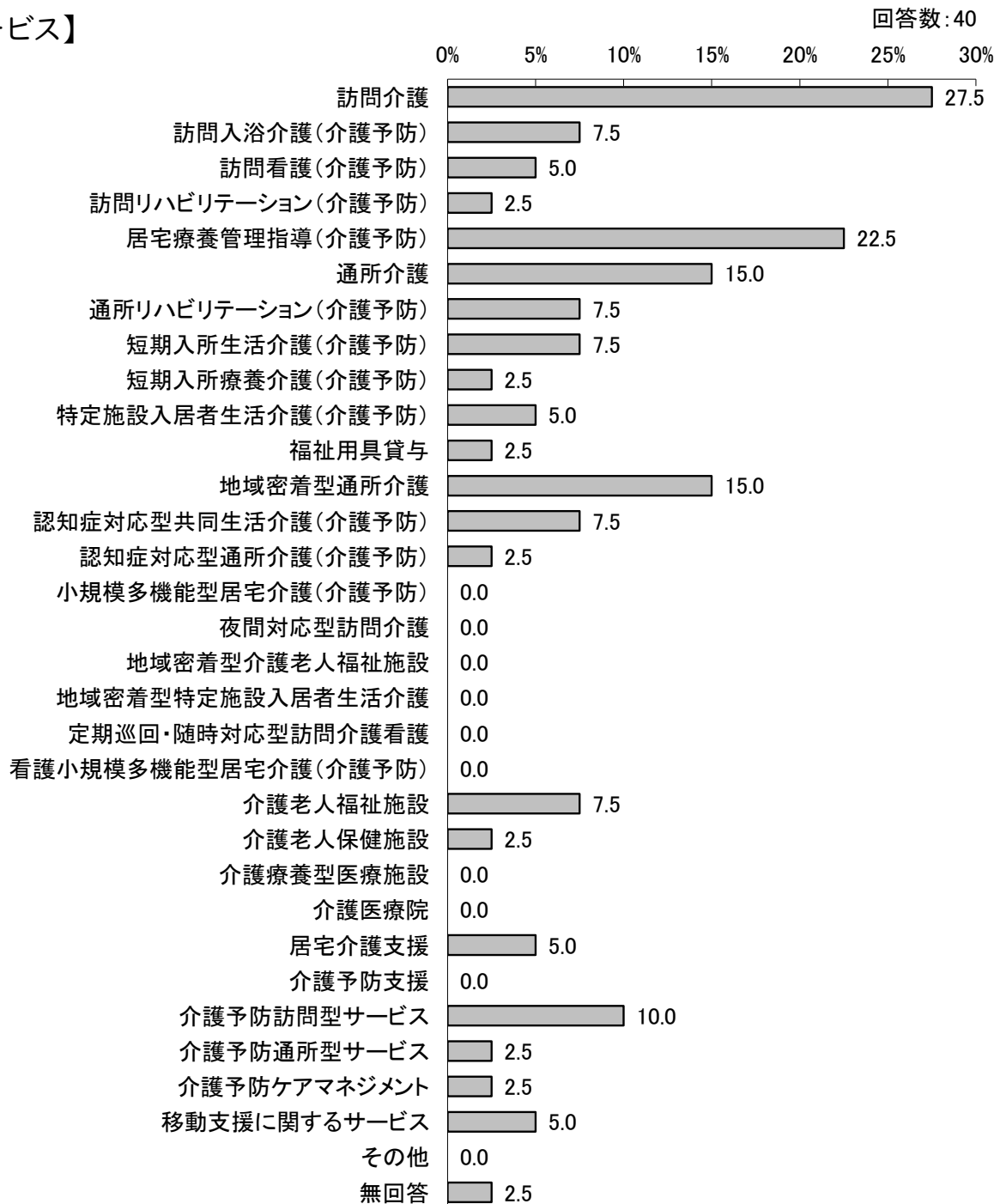
○「マンパワーが不足している」(63事業所中40事業所・63.5%)という回答が6割台で最も多く、次いで「報酬が低すぎる」(30事業所・47.6%)が多く、なっている。

(6)マンパワーが不足しているサービス・職種

問4-1 (マンパワーが不足している事業者のみ)

不足しているのはどのサービスですか。また、どの職種ですか。(〇はいくつでも)

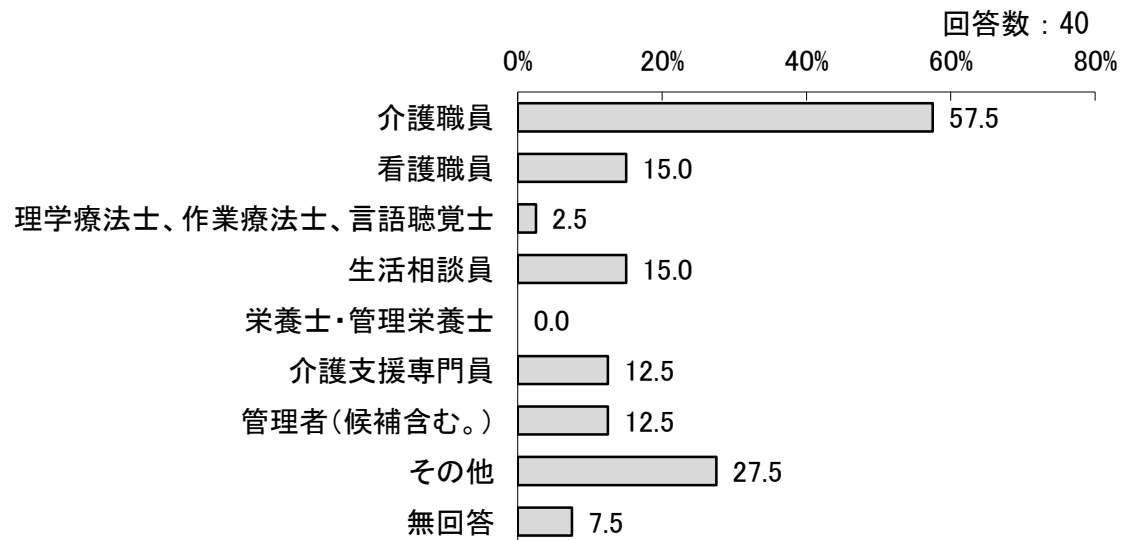
【サービス】



〇サービスでは「訪問介護」(40 事業所中 11 事業所・27.5%)という回答が最も多く、次いで「居宅療養管理指導(介護予防)」(9事業所・2.5%)が多くなっている。

職種については、「介護職員」(23 事業所・57.5%)という回答が最も多く、次いで「その他」(11 事業所・7.5%)が多くなっている。

【職種】

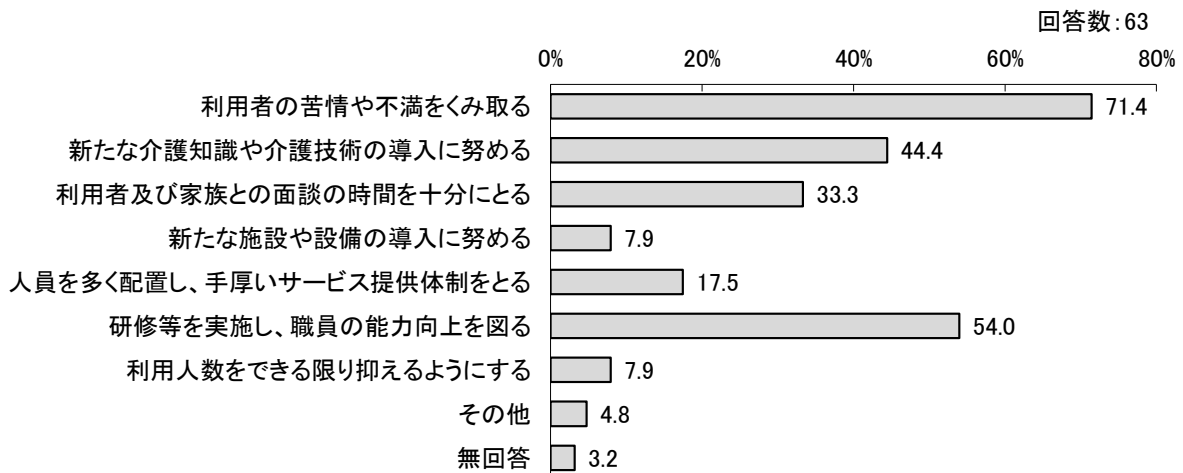


○職種については、「介護職員」(23 事業所・57.5%)という回答が最も多く、次いで「その他」(11 事業所・27.5%)が多くなっている。

3 サービスの質の向上について

(1) サービスの質を高めるために行っていること

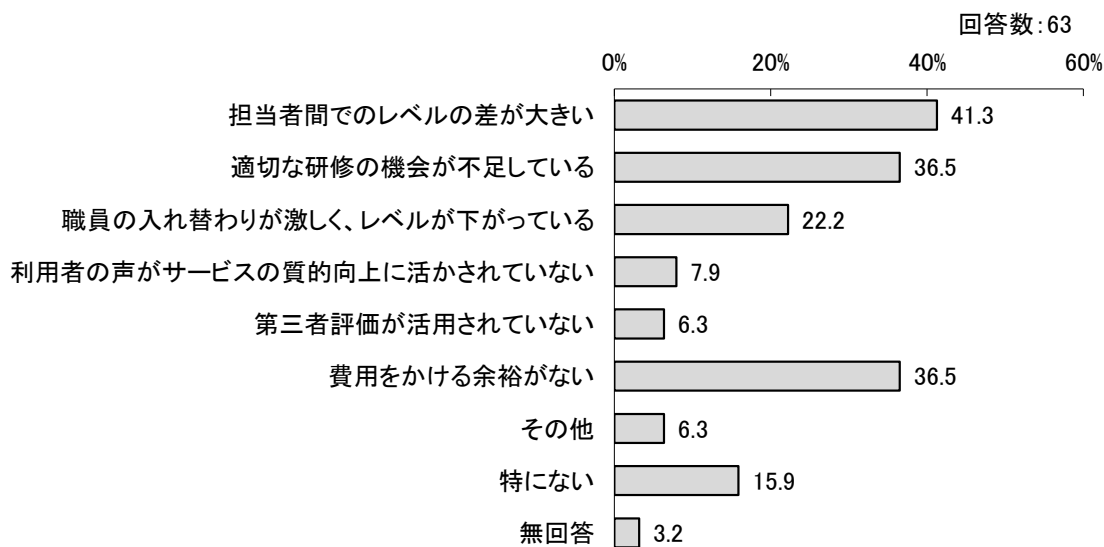
問5 サービスの質を高めるために貴事業者が行っていることはどんなことですか。(〇はいくつでも)



○「利用者の苦情や不満をくみ取る」(63 事業所中 45 事業所・71.4%)という回答が最も多く、次いで「研修等を実施し、職員の能力向上を図る」(34 事業所・54.0%)が多くなっている。

(2) サービスの質的向上を図るうえでの課題

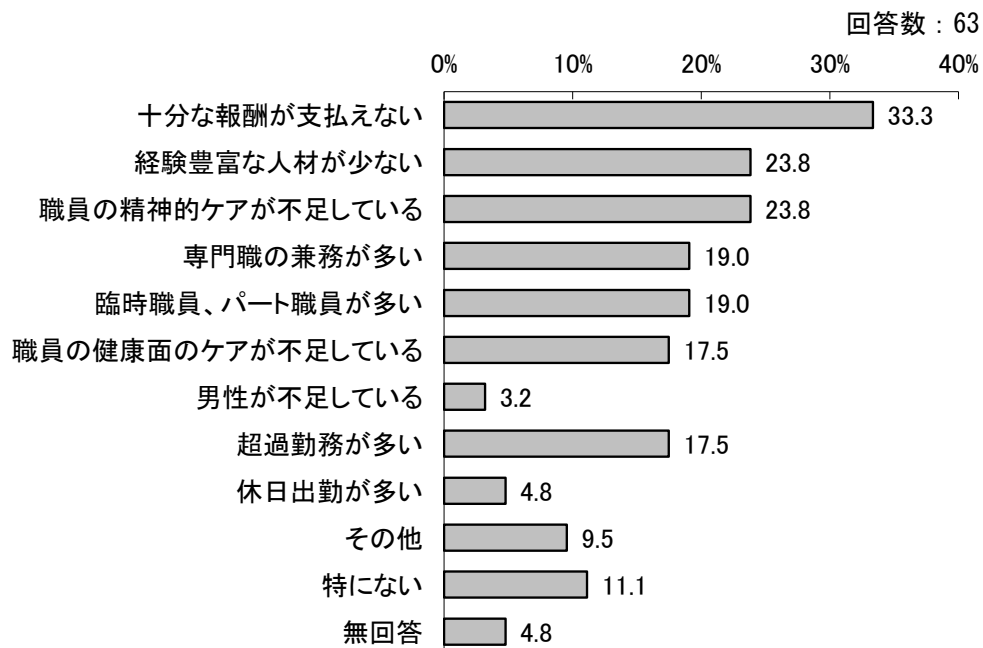
問6 介護知識や介護技術などをレベルアップし、サービスの質的向上を図るうえでの課題は何だと思いますか。(〇はいくつでも)



○「担当者間でのレベルの差が大きい」(63 事業所中 26 事業所・41.3%)という回答が最も多く、次いで「適切な研修の機会が不足している」と「費用をかける余裕がない」(ともに 23 事業所・36.5%)が多くなっている。

(3) 職員の雇用・勤務面での課題

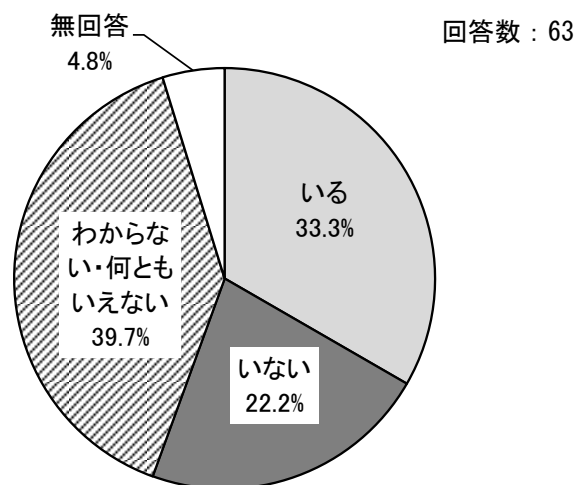
問7 貴事業者における職員の雇用・勤務面での課題は何ですか。(〇はいくつでも)



○「十分な報酬が支払えない」(63 事業所中 21 事業所・33.3%)という回答が最も多く、次いで「経験豊富な人材が少ない」と「職員の精神的ケアが不足している」(ともに 15 事業所・23.8%)が多くなっている。

(4) 福祉サービス利用に結びついていない要支援高齢者の有無

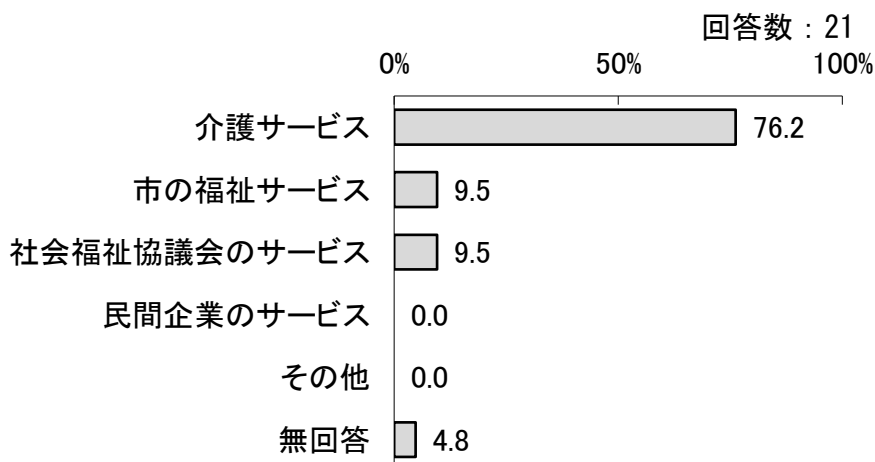
問8 貴事業者がサービスを提供したり利用者から声を聞く中で、支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない高齢者はいますか。



○「わからない・何ともいえない」(63 事業所中 25 事業所・39.7%)という回答がほぼ4割を占めて最も多く、次いで「いる」(21 事業所・33.3%)が多く、「いない」は 14 事業所(22.2%)となっている。

(5) 利用に結びついていないサービスの種類

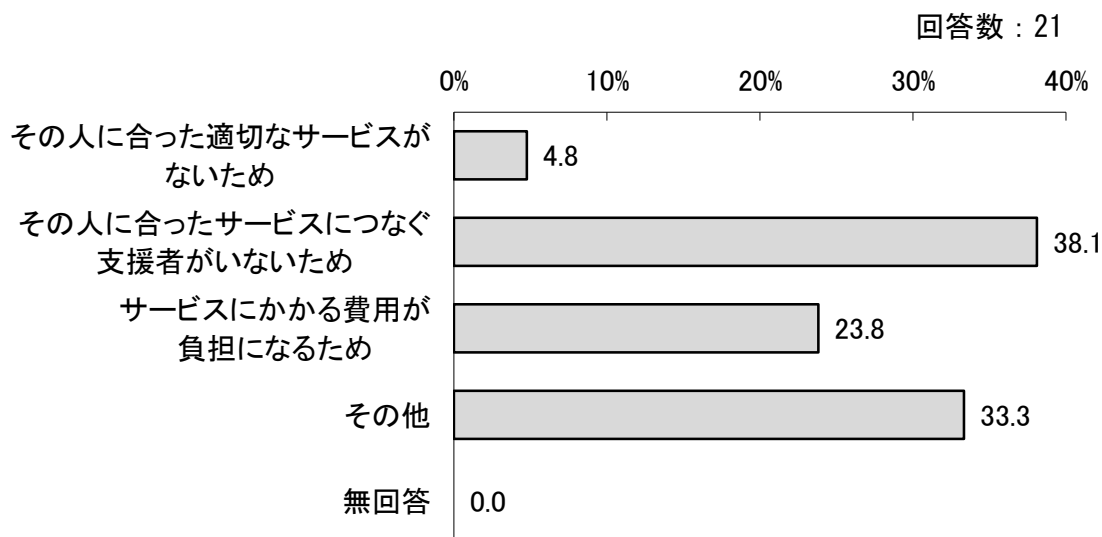
問8-1 (福祉サービスに結びついていない高齢者がいる事業者のみ)
結びついていないサービスは次のうちどれですか。



○該当する 21 事業所の中で、「介護サービス」(16 事業所・76.2%)という回答が最も多く、「市の福祉サービス」と「社会福祉協議会のサービス」(ともに2事業所・9.5%)が続いている。

(6) サービス利用に結びついていない理由

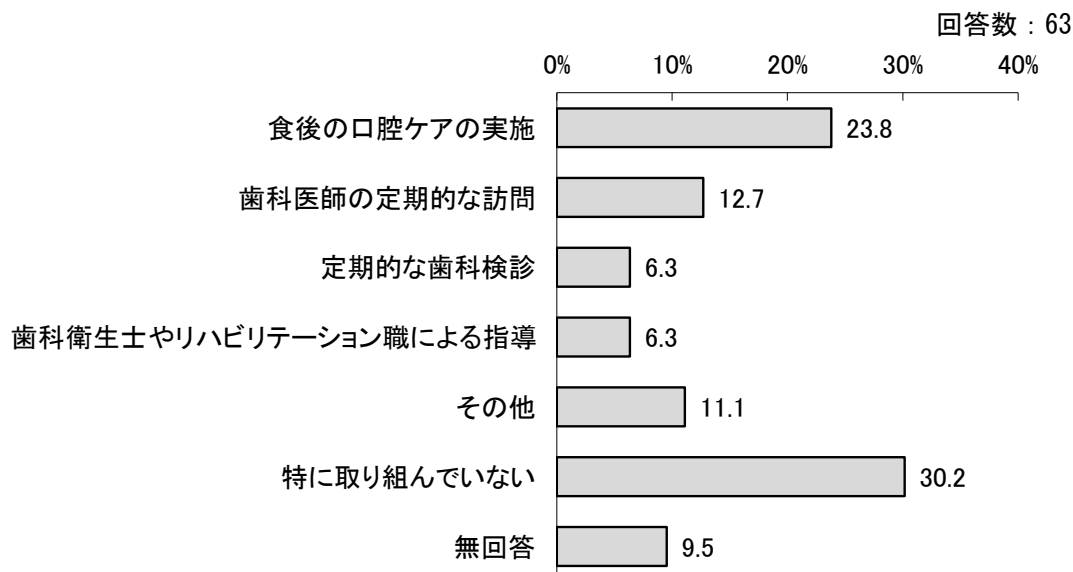
問8-2 (福祉サービスに結びついていない高齢者がいる事業者のみ)
結びついていない理由は次のうちどれですか。



○該当する 21 事業所の中で、「その人に合ったサービスにつなぐ支援者がいないため」(8事業所・38.1%)、「その他」(7事業所・33.3%)が多くなっている。

(7) 歯や口腔の健康づくりについて取り組んでいること

問9 貴事業者は、歯や口腔の健康づくりについて、どのようなことに取り組んでいますか。



○「特に取り組んでいない」(63 事業所中 19 事業所・30.2%)という回答が最も多く、次いで「食後の口腔ケアの実施」(15 事業所・23.8%)が多くなっている。

(8) 利用者からよく聞く意見等

問10 貴事業者では、利用者からどのような声をよく聞きますか。

【記述内容】

- やってほしい所を介護でやってもらえない。例えば、庭の手入れ、換気扇の掃除、エアコンのそうじ等。お礼をしたいのにもらってくれないから気分がわるい、など。
- 「支援1」の方が「週2回通所したい」というのをよく聞く。
- コロナに関する最新情報(施設内における感染状況)をタイムリーに発信してほしい。
- 「もっと増やしてほしい」とのお声。
- おほめいただくことが多いです。とても明るく活気がある、と言われ理学療法士も常勤でリラクゼーション(マッサージ)もあるので、利用者が辞める事が少ないです。
- 利用者からは「楽しい」「ありがとう」の声をいただいています。
- 独居の方はご自身の先々として申請やご自身の年金で生活をやっているのか、ご自身の身体が動けなくなった場合だれにお世話になればいいのか、不安を訴えられている。
- 高齢者は情報収集に困っているようです。特に介護保険を使うべき人が認定を受けていないことが多く、理由を尋ねると「よくわからないから」とのこと。
- 「サービスの向上について、」ご利用者からご指摘などは多くはいただいていないので分かりません。ご要望に沿った対応ができるよう努めております。
- 職員の入れ替えが多い。
- 面会が以前と同じように毎日でも施設に来てくれるとよい。
- 施設の食事はあまりおいしくない、という声。
- コロナの関係で換気を行う際、冬場は「寒い」との声をよくお聞きします。
- 薬について気軽に相談できるので、安心して治療を受けられる。
- 「助かっている」と。
- 薬を持ってきてくれると助かる。○一包化し、日付を印字しているため、カレンダー通り飲んで飲み忘れが減った。
- 薬以外でもいろいろなことを相談できて助かる。

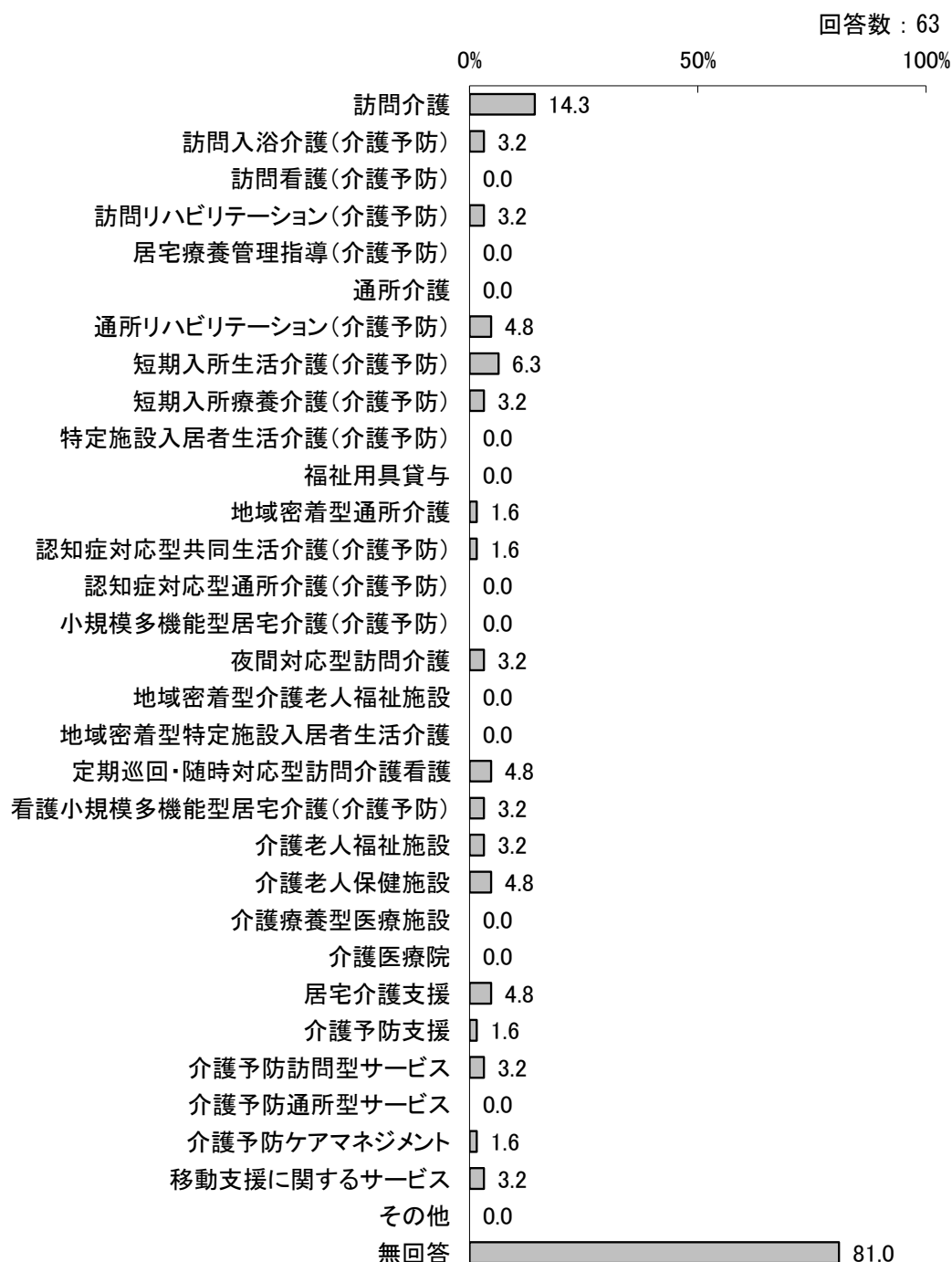
- 非常に助かっている、と聞いております。
- 介護サービスがあって助かっている、という声をよく聞きます。
- ご利用者様はご自分で散髪に行く事も、ご家族様での対応も難しいことでの声です。「デイサービス利用中に理容師さんがデイサービスに来てくれて、髪を切ってくれたら嬉しい」とのことです。

4 ケアマネジメントについて

(1) 現在不足しているサービス

問11 ※ケアマネジャーがいる事業者が教えてください。(ケアマネジャーがいない事業者は、問16へお進みください。)

現在不足していると感じるサービスは何ですか。(〇はいくつでも)



○「無回答」(63 事業所中 51 事業所・81.0%)を除いて、「訪問介護」(9事業所・14.3%)という回答が最も多く、次いで「短期入所生活介護(介護予防)」(4事業所・6.3%)が多くなっている。

(2) 利用者からよく聞く意見等

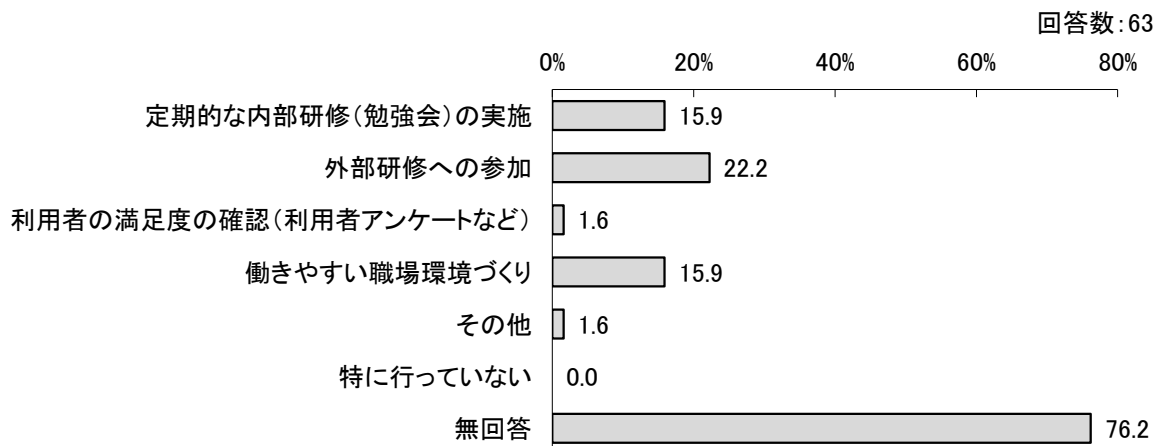
問 11-1 不足と感じている理由は何ですか。

【記述内容】

- 市等から送付される大切な郵便物(例、健康保険者証等)をどこかへ仕舞い込み探しても見つからない。ワクチン接種も申し込みができない。援助が必要。
- ヘルパー不足が大きい。
- 中重度者やターミナル期のご利用者さまを在宅で介護する場合、1日に何回も昼夜問わず支援が必要となるため、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)のサービスは不可欠だが、圧倒的に事業所が足りず、既存のサービスでは不十分となりやすいから。
- 必要な時に利用できない。
- 事業所がなかなか決まらない。決まっても利用者都合でキャンセルになる。
- マンパワー不足でサービスが受けられないという事業所が多いから。
- 特養に入れないと、ショートステイも多床室が少なく個室ユニット型が多いので、生活支援(生保)の方が多いと探すのに大変な時があります。ヘルパーさんが少ない様に思います。
- 介護サービスがあって助かっている、という声をよく聞きます。

(3) ケアマネジャーの質を高めるために行っていること

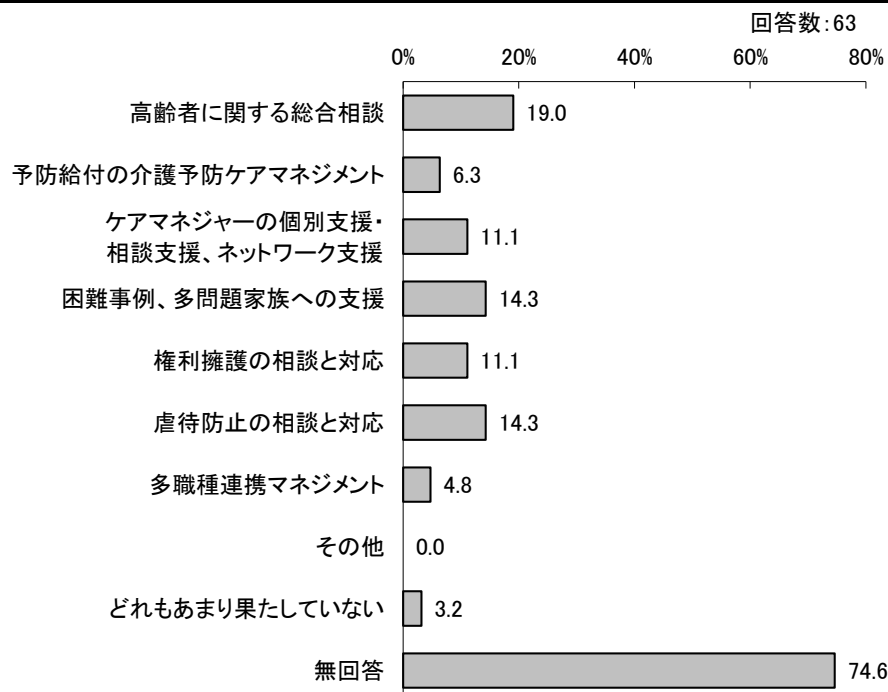
問 12 ケアマネジャーの質を高めるために行っていることは、どんなことですか。(○はいくつでも)



- 「無回答」(63事業所中48事業所・76.2%)を除いて「外部研修への参加」(14事業所・22.2%)という回答が最も多く、次いで「定期的な内部研修(勉強会)の実施」と「働きやすい職場環境づくり」(ともに10事業所・15.9%)が多くなっている。

(4) 高齢者相談センターが果たしている役割

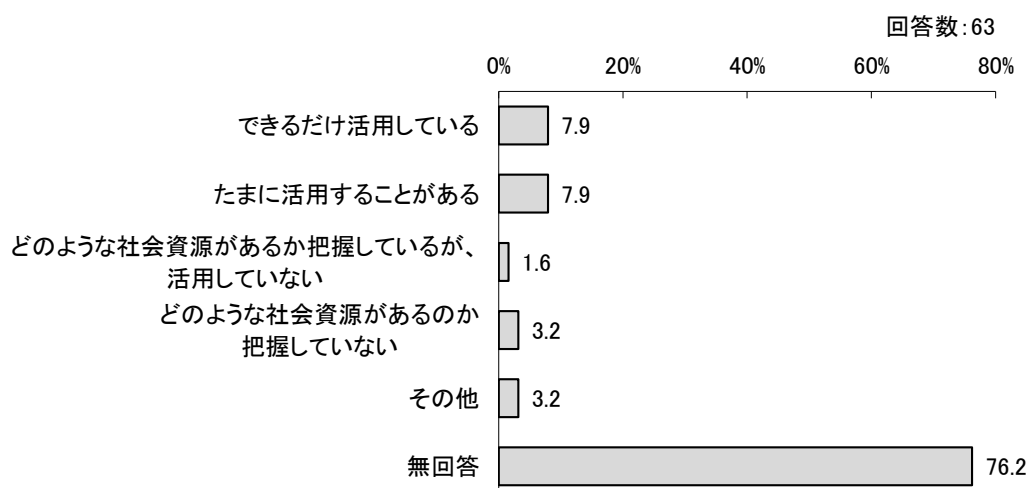
問 13 高齢者相談センター（地域包括支援センター）は、次のような役割を十分に果たしていると思いますか。果たしていると考えるものを選んでください。（○はいくつでも）



○「無回答」（63 事業所中 47 事業所・74.6%）を除いて「高齢者に関する総合相談」（12 事業所・19.0%）という回答が最も多く、「困難事例、多問題家族への支援」と「虐待防止の相談と対応」（ともに9事業所・14.3%）が続いている。

(5) インフォーマルなサービスの活用の状況

問 14 ケアプランを作成する際に、インフォーマルなサービスを活用して立てていますか。



○「無回答」（63 事業所中 48 事業所・76.2%）を除き、「できるだけ活用している」と「たまに活用することがある」（ともに5事業所・7.9%）という回答が最も多くなっている。

(6) 活用した／しているインフォーマルサービス

問 14-1 (インフォーマルサービスを活用した、またはしている方のみ)

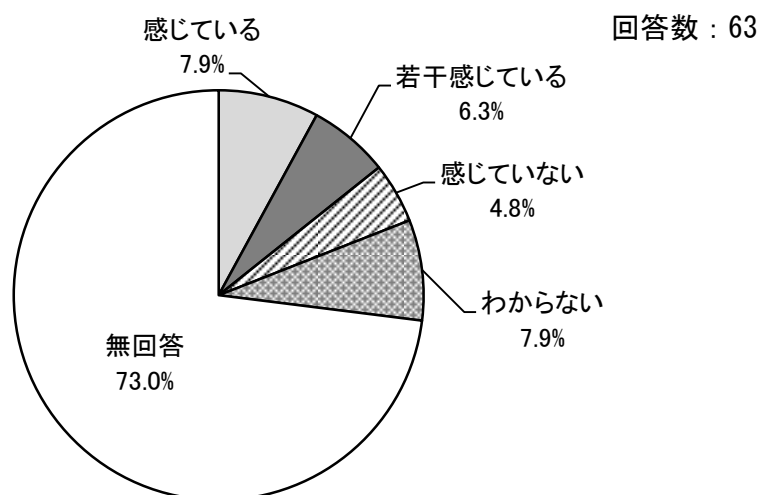
活用した／しているのはどのようなインフォーマルサービスですか。【自由記入式；具体的に記入。】

【記述内容】

- 福祉車両の利用、配食サービス、有料ヘルパー
- 配食サービス、訪問介護サービスのプライベートケア
- 緊急通報システム、オムツ給付、笑学校 等
- 配食サービス、福祉タクシー、有償ボランティア
- 訪問看護
- 配食サービス、移動支援サービス
- 地域の体操、つどい場(包括)地域のつどいの場を提供
- 地域の清掃ボランティアなど
- 配食サービス(安否確認)、緊急通報装置、ゴミ出し、訪問マッサージ、介護用品(オムツ)、高齢者タクシー券の高齢者支援の手続きを行っています。

(7) ケアマネジャーの対応の差

問 15 他事業者のケアマネジャーについて、ケアマネジャーの対応に差があると感じていますか。

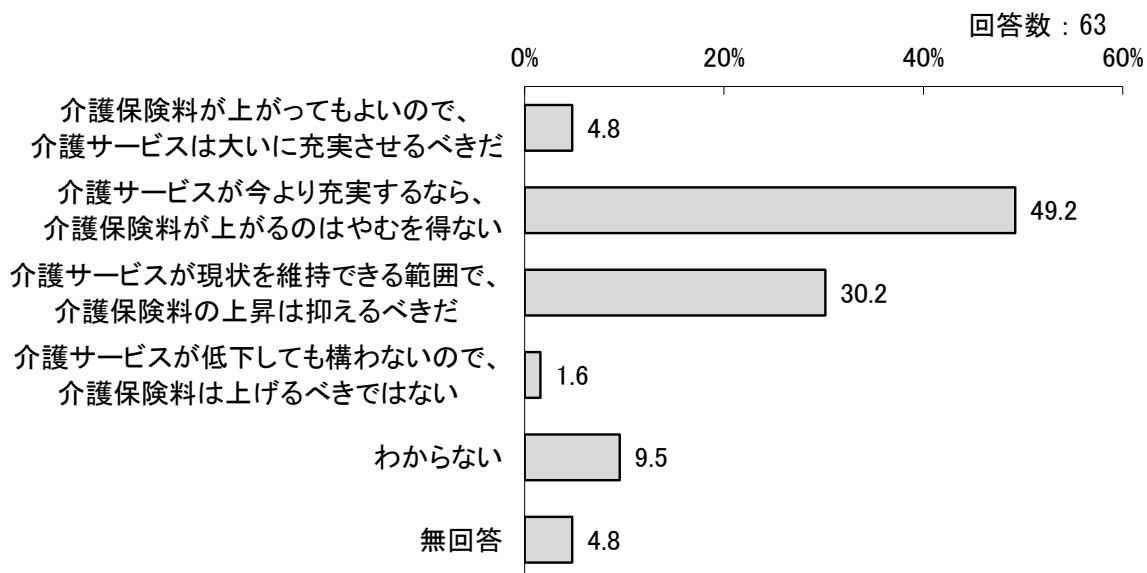


- 「無回答」(63 事業所中 46 事業所・73.0%) が最も多いが、それ以外では「感じている」と「わからない」が5事業所・7.9%、「若干感じている」が4事業所・6.3%、「感じていない」が3事業所・4.8%となっている。
- 「感じている」と「若干感じている」を合わせた“一定程度以上感じている”は9事業所・14.2%となっている。

5 今後の高齢者介護について

(1) 介護サービスの維持・充実と介護保険料とのバランスについて

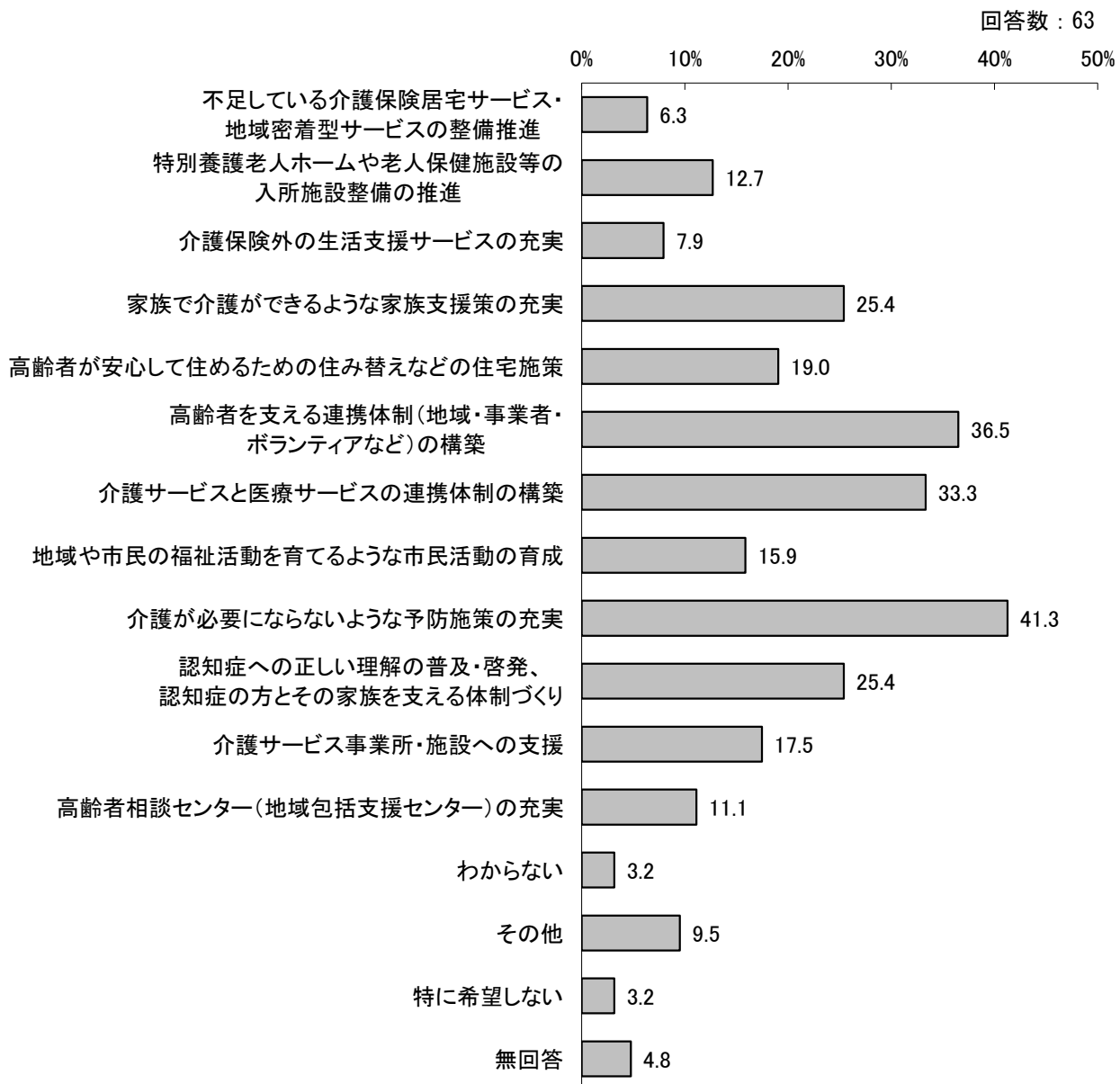
問 16 介護保険は急速に利用が増え、現状のまま伸びていくと、将来の介護保険料は現在よりもかなり高額になることが予測されます。介護サービスの維持・充実と介護保険料とのバランスについて、どう考えますか。



○「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」(63 事業所中 31 事業所・49.2%)という回答が最も多く、次いで「介護サービスが現状を維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」(19 事業所・30.2%)が多くなっている。

(2) 介護サービスの充実のため行政に希望すること

問 17 高齢者への介護サービスの充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)



○「介護が必要にならないような予防施策の充実」(63 事業所中 26 事業所・41.3%)という回答が最も多く、次いで「高齢者を支える連携体制(地域・事業者・ボランティアなど)の構築」(23 事業所・36.5%)が多く、「介護サービスと医療サービスの連携体制の構築」(21 事業所・33.3%)が続いている。

(3) 自治体に求める支援

問 18 貴事業者は、自治体にどのような支援をしてほしいですか。

【記述内容】(属性:事業所種別)

- 有料老人ホームなので、行政の支援(経済的支援等)は得られないことは理解しております。ただ、公的サービス(介護保険施設)を補完する市民の一つの選択肢という面からの啓発もしていただけると有難いです。(特定施設入居者生活介護(介護予防))
- ①ローカルルール統一:通所のサービス提供時間が異なる。千葉県+15分、東京都(大阪、名古屋)+10分、バッファをなくして頂きたい。②通所の管理者の業務の制限をなくしてほしい(介護職員の兼務ができない自治体がある)。③通所の生活相談員の資格要件:実務経験で資格有すると見做す。(例 東京都、神奈川県)(通所介護)
- 高齢者夫婦、特に共に慢性疾患を有する場合や障害児、障害者に対する支援の重要性、サポートの大変さ等をもっと把握すべきでは!(移動支援に関するサービス)
- 支援というよりは介護報酬を引き上げてほしい。在宅業務にかかる手間が大きい、報酬が少ないと思う。(居宅療養管理指導(介護予防))
- 多事業所間の情報共有の機会の増加。(居宅療養管理指導(介護予防))
- 過去2度、支援金を交付していただきました。今後も継続的にあると嬉しく思います。(地域密着型通所介護)
- 「半日デイ」ですが、点数をもう少し上げて欲しい。新規事業を始める際のハードルを下げてほしい(特にこちらは、広域で各自治体により考え方が違うことが困る)。(通所リハビリテーション(介護予防))

(4) 介護保険についての日頃からの考え

◎ 最後に、介護保険制度や介護保険サービスについて、日頃からお考えのこと等をご自由にお書きください。

【記述内容】(属性:事業所種別)

- 介護保険証の適用期間に認定有効期間がズレているため事務手続きが増えるので、改善していただきたい。(居宅療養管理指導(介護予防))
- 介護予防の充実が、現在抱えている介護保険サービス上の課題解決の一助になる、との思いで従事させていただいております。(地域密着型通所介護)
- 習志野市はよくやっていると思います。(居宅療養管理指導(介護予防))
- 2024年度からの報酬減や支給単位数減など今後の経営には不安の種が付き、要介護1、2の切り離しや原則2割負担など、その悩みは尽きません。安定してデイサービスを運営していきたい、その一心です。(地域密着型通所介護)
- セーフティネットの充実。(訪問介護/福祉用具貸与/地域密着型通所介護)
- 習志野市様は、他市町村に比べ、介護サービス事業者に対して手厚いご支援をして下さっています。現状のまま、変わらぬご支援、ご指導いただければ幸いです。(地域密着型通所介護)
- 「総合事業」は事業所として利幅が少ないので、人手不足も相まって撤退する所が増えると思う。(訪問介護/居宅介護支援)
- 医師、看護師、その他の医療従事者の方々、ケアマネジャー、ヘルパーなど介護事業者の方々ともっと連携を取り、薬局・薬剤師に対しての要望などをしっかりうかがいたい。薬の配薬などを含め、もっとこうしてほしいなど意見があれば伝えてほしい。(居宅療養管理指導(介護予防))

- 医療の立場からになりますが、元気な方々は多くいますが、そうでない人達にどのように楽しく暮らしてもらうか、口の中で云えば、当たり前のように箸を使い咀嚼を行っておりますが、それすら行えない方々が多くいらっしゃいます。「食べる支援」もとても大切であり、それに真剣に取り組んでいる方がどのくらいいるか、今後の課題となってくるでしょう。(移動支援に関するサービス)
- 認知症の人やその家族を支えていくためには、地域の人達に認知症を正しく理解してもらう事が大切です。今後も介護サービスや活動を通じて認知症への正しい理解の普及、啓発に取り組んでいきたいと考えております。(地域密着型通所介護)
- 利用者様は、介護保険制度の利用を難しく感じている方が多く感じられます。特に事業者、利用者との契約や手続等が多過ぎ、お互いに負担が多いと思われまます。(訪問介護)
- 介護保険サービスを利用し、自宅でその方ができるだけ過ごしていただけるように、と考えています。有料の施設等は費用が高いので、と話される方が多いです。独居で生保の方も、将来介護保険制度の事も考えてしまいます。家族が行う入院の用意、病院通院の付き添いも介護保険でできる事も、自費でできることもあるが、ケアマネの仕事となる方もいます。できることできないことがあり、わからない方もおり大変な時もあります。(居宅介護支援)
- 今後、介護保険料の値上げにより、質の高い事業所しか生き残れないと考えております。しかし、最近使用者様による無理難題を言われるハラスメントがあり対応に困りました。当事業所は撤退しましたが、がまんしている事業所もあるため、ハラスメント対策は相談にのっていただいたり利用者側にも啓蒙してほしいです。(訪問看護(介護予防))
- 専門用語が多く、請求も複雑。もう少しシンプルにできないか。(特定施設入居者生活介護(介護予防))
- 国の決まりで仕方ないことだが、この物価高で経費は増え処遇改善で人件費も少しずつ上がるのに、報酬は少しずつ下がっています。利益が出せず、会社が倒産していきます。人材確保しサービスを充実させ、この先の高齢化社会に対応していく為には、報酬を上げていただかないとこれ以上どうしようもありません。助成金や補助金には本当に感謝しています。(訪問看護(介護予防))
- 本当にサービスが必要な人が受けられないで必要ない人がサービスを受けている部分がある。(通所介護／地域密着型通所介護)
- ハラスメント(カスタマーハラスメント)に対する利用者と事業者を共に支援できる機関が今後必要なのではないかと考えます。(訪問入浴介護(介護予防)／通所介護／居宅介護支援)

資 料 <調査票>

(1) 一般高齢者調査

習志野市高齢者等実態調査

65 歳以上の方へ ご協力をお願い



日ごろより習志野市政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では現在、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を築くため、『習志野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画』を策定し、事業の推進を図っています。

この計画に皆さまのご意見を反映させるため、このたび **65 歳以上の市民の方 1,500 名を無作為に選び**、実態調査を行うことにいたしました。調査の結果は、高齢者への保健福祉や介護サービス充実のための貴重な資料とさせていただきます。

調査票の質問が多く、回答の際にはお手数をおかけしますが、なにとぞ趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年12月

習志野市長 宮本 泰介

【記入についてのお願い】

- ①この実態調査は、原則として、あて名のご本人がお答えください。ご本人の状態により、お答えが難しいときは、ご家族の方などが、ご本人の代わりに回答されてもかまいません。
- ②回答は、選択肢の番号を○で囲んでください。また、具体的な記述を書き入れていただく質問では、簡潔にご記入ください。
- ③回答は、「○はいくつでも」、「○は5つまで」等の表記が無い場合は、選択肢の中から 1 つお選びください。

・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

1月10日(火)まで にご返送ください。

・この調査は無記名です。ご回答内容は、調査の目的に沿って統計的に処理を行いますので、個人のプライバシーの侵害などご迷惑をお掛けすることはありません。

・この調査票は、令和4年11月15日現在の情報に基づきお送りしています。既に転出などにより習志野市にお住まいでない場合は、回答の必要はありません。

実態調査についての問い合わせ先

習志野市 健康福祉部 高齢者支援課 (Tel) 047-454-7533 (直通)

【高齢者等実態調査 調査票(65歳以上の方)】

○このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. あて名のご本人 | 2. あて名の方の配偶者(夫・妻) |
| 3. あて名の方の子ども | 4. あて名の方の親族 |
| 5. 友人・知人 | 6. その他() |

問A あなた(あて名のご本人)のご家族や生活状況などについて

①あなたの年齢をお答えください。

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 65歳～69歳 | 2. 70歳～74歳 | 3. 75歳～79歳 | 4. 80歳～84歳 |
| 5. 85歳～89歳 | 6. 90歳～94歳 | 7. 95歳～99歳 | 8. 100歳以上 |

②お住まいの地区名をお答えください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 谷津、谷津町、奏の杜 | 2. 秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦 |
| 3. 津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎 | 4. 花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保 |
| 5. 実籾、実籾本郷、新栄、東習志野 | |

③あなたの性別をお答えください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

④家族構成をお教えてください。

1. 一人暮らし ➡ ⑤へ
2. 夫婦二人暮らし(配偶者 65歳以上) ➡ ④-1へ
3. 夫婦二人暮らし(配偶者 64歳以下) ➡ ④-1へ
4. 息子・娘との2世帯 ➡ ④-1へ
5. その他(施設入所なども含む) ➡ ⑤へ

④-1 (ご家族と同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか。

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

⑤あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない ➡ ⑥へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ➡ ⑤-1へ
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) ➡ ⑤-1・⑤-2へ

⑤-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゅう のうしゅつけつ のうこうそく</small> | 2. 心臓病 |
| 3. がん(悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)
<small>はいきしゅ</small> |
| 5. 関節の病気(リウマチ等) | 6. 認知症(アルツハイマー病等)
<small>にんちしょう</small> |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病
<small>とうにょうびょう</small> |
| 9. 腎疾患(透析)
<small>じんしつかん</small> | 10. 視覚・聴覚障がい
<small>しかく ちょうかく</small> |
| 11. 骨折・転倒
<small>こっせつ てんとう</small> | 12. 脊椎損傷
<small>せきついそんしょう</small> |
| 13. 高齢による衰弱
<small>すいじゃく</small> | 14. その他() |
| 15. 不明 | |

⑤-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 |
| 3. 娘 | 4. 子の配偶者 |
| 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他() |

⑥現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

⑦お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 持家(一戸建て) | 2. 持家(集合住宅) |
| 3. 公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等) | 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 6. 借家(賃貸借契約を結んでいない住宅) |
| 7. その他 | |

⑧市民税の課税状況をお答えください。

1. 私を含む世帯全員の市民税が非課税である
2. 私の市民税は非課税だが、世帯員に市民税課税者がいる
3. 私は市民税課税者である

問B からだを動かすことについて

①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

③15分位続けて歩いていますか。(買い物、散歩など、目的は問いません)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

④過去1年間に転んだ経験がありますか。

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

⑤転倒に対する不安は大きいですか。

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である | 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |
|-------------|------------|-------------|----------|

⑥週に1回以上は外出していますか。(手段・目的は問いません)

- | | | | |
|--------------|--------|----------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 | 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |
|--------------|--------|----------|----------|

⑦昨年(令和3年)と比べて外出の回数が減っていますか。

- | | | | |
|-------------|----------|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている | 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |
|-------------|----------|--------------|-----------|

⑧外出を控えていますか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. はい → ⑧-1へ | 2. いいえ → ⑨へ |
|--------------|-------------|

⑧-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 病気 | 2. 障がい(脳卒中 ^{のうそっちゅう} の後遺症 ^{こういしょう} など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障がい(聞こえの問題など) | 6. 目の障がい |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他() |

⑨ 買い物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。

	① ほぼ毎日	② 週 4~5 日	③ 週 2~3 日	④ 週 1 日	⑤ 週 1 日未満
買い物	1	2	3	4	5
散歩	1	2	3	4	5

⑩ 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車(自分で運転) | 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす(カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他() | | |

問C 食べることについて

① 身長() cm	体重() kg
② 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい 2. いいえ
③ お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい 2. いいえ
④ 口の渇きが気になりますか。	1. はい 2. いいえ
⑤ 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。	1. はい 2. いいえ
⑥ 定期的に歯科受診(*健診を含む)をしていますか。	1. はい 2. いいえ

⑦ 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(*成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。)

- 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 ➡ ⑦-1 へ
- 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし ➡ ⑧ へ
- 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 ➡ ⑦-1 へ
- 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし ➡ ⑧ へ

⑦ー1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。	1. はい 2. いいえ
⑧噛み合わせは良いですか。	1. はい 2. いいえ
⑨6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい 2. いいえ
⑩どなたかと食事をともにする機会がありますか。 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	

問D 毎日の生活について

①物忘れが多いと感じますか。	1. はい 2. いいえ
②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	1. はい 2. いいえ
③今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい 2. いいえ
④バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
⑤自分で食品・日用品の買い物をしていますか。 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない →⑥へ →⑤-1へ →⑤-1へ	
⑤-1 食品・日用品の買い物をする人は主にどなたですか。(○は1つ) 1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配達を依頼 5. その他	
⑥自分で食事の用意をしていますか。 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない →⑦へ →⑥-1へ →⑥-1へ	
⑥-1 食事の用意をする人は主にどなたですか。(○は1つ) 1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配食サービスを利用 5. その他	
⑦自分で請求書の支払いをしていますか。 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
⑧自分で預貯金の出し入れをしていますか。 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
⑨年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。	1. はい 2. いいえ

⑩新聞を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
⑪本や雑誌を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
⑫健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい 2. いいえ
⑬友人の家を訪ねていますか。	1. はい 2. いいえ
⑭家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい 2. いいえ
⑮病人を見舞うことができますか。	1. はい 2. いいえ
⑯若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい 2. いいえ
⑰趣味はありますか。	1. 趣味あり → () 2. 思いつかない
⑱生きがいがありますか。	1. 生きがいあり → () 2. 思いつかない

問E 地域での活動について

①以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか（個人の活動も含みます）。

（1）～（10）について、あてはまる欄に○をつけてください。

会・グループ等	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
(1) ボランティア	1	2	3	4	5	6
(2) スポーツ関係	1	2	3	4	5	6
(3) 趣味関係	1	2	3	4	5	6
(4) 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
(5) てんとうむし体操 (転倒予防体操)	1	2	3	4	5	6
(6) 地域サロン (地域テラス)	1	2	3	4	5	6
(7) 高齢者のつどい	1	2	3	4	5	6
(8) 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
(9) 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
(10) 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

◎（1）～（10）のいずれかで「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」のいずれかを選択 ⇒ ①－1 へ

①－1 活動場所までの交通手段をお教えてください。（○はいくつでも）

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. バス・電車 5. その他 ()

1.是非参加したい 2.参加してもよい 3.参加したくない 4.既に参加している

1.是非参加したい 2.参加してもよい 3.参加したくない 4.既に参加している

(○は3つまで)

1. ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する
2. ボランティア研修を開催する
3. ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する
4. ボランティアについての普及啓発(積極的な呼びかけ)を行う
5. 自分自身の資格・趣味をいかして活動する仕組みをつくる
6. ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を援助する
7. その他()
8. わからない

①あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

以下に挙げる人について、あてはまる欄に○をつけてください。(それぞれ○はいくつでも)
「その他」の場合は具体的にご記入ください。

	1 配偶者	2 同居の 子ども	3 別居の 子ども	4 兄弟姉妹・親 戚・親孫	5 近隣（同じ 地域の人）	6 友人	7 その他	8 そのような 人はいない
(1)心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	1	2	3	4	5	6	7 ()	8
(2)反対に、心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	1	2	3	4	5	6	7 ()	8
(3)病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1	2	3	4	5	6	7 ()	8
(4)反対に、看病や世話をし てあげる人	1	2	3	4	5	6	7 ()	8

<p>②家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(○はいくつでも)</p> <p>1. 自治会・町内会・老人クラブ</p> <p>2. 社会福祉協議会・民生委員</p> <p>3. 高齢者相談員</p> <p>4. ケアマネジャー</p> <p>5. 医師・歯科医師・看護師</p> <p>6. 薬剤師</p> <p>7. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)・市役所</p> <p>8. その他()</p> <p>9. そのような人はいない</p>	
<p>③友人関係についておうかがいします。</p> <p>(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。</p> <p>1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある</p> <p>4. 年に何度かある 5. ほとんどない</p>	
<p>(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。</p> <p>※同じ人には何度会っても1人と数えることとします。</p> <p>1. 0人(いない) 2. 1~2人 3. 3~5人 4. 6~9人 5. 10人以上</p>	
<p>(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)</p> <p>1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ</p> <p>3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚</p> <p>5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人</p> <p>7. その他 8. いない</p>	

問G 健康について

<p>①現在のあなたの健康状態はいかがですか。</p> <p>1. とても良い 2. まあ良い 3. あまり良くない 4. 良くない</p>																																								
<p>②あなたは、現在どの程度幸せですか。</p> <p>「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数を「○」で囲んでください。</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>とても</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>とても</td> </tr> <tr> <td>不幸</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>幸せ</td> </tr> <tr> <td>0点</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>4点</td> <td>5点</td> <td>6点</td> <td>7点</td> <td>8点</td> <td>9点</td> <td>10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		とても												とても	不幸												幸せ	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		
とても												とても																												
不幸												幸せ																												
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点																														
<p>③この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。</p>	<p>1. はい 2. いいえ</p>																																							
<p>④この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。</p>	<p>1. はい 2. いいえ</p>																																							

1. 週1回以上 → ⑤-1へ
2. 月2~3回 → ⑤-1へ
3. 月1回程度 → ⑤-1へ
4. 2か月に1回程度 → ⑤-1へ
5. 3か月に1回程度 → ⑤-1へ
6. 通院していない → ⑥へ

1. はい 2. いいえ

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

1. ない	2. 高血圧
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	4. 心臓病
5. 糖尿病	6. 高脂血症(脂質異常)
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)
11. 外傷(転倒・骨折等)	12. がん(悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. 歯の病気	20. その他()

1. テレビ
2. インターネット(パソコン・スマートフォンなど)
3. 新聞・雑誌・本
4. 医師・病院
5. 市役所
6. 保健所
7. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
8. 家族・親族・知人・友人
9. その他()

1. 知っている → ⑩-1へ

8

⑩-1 ACPという言葉をごどこで知りましたか。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. テレビ・新聞・インターネット | 2. 雑誌・本 |
| 3. 医師・病院 | 4. 市役所 |
| 5. 保健所 | 6. 高齢者相談センター（地域包括支援センター） |
| 7. 家族・親族・友人・知人 | 8. その他（ ） |

⑪ 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはごどう思ひますか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 賛成である | 2. 反対である | 3. わからなひ |
|----------|----------|----------|

⑫ 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

⑬ 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. はい ➡ ⑬-1 へ | 2. いいえ ➡ ⑭ へ |
|---------------|--------------|

⑬-1 どこに相談すると思ひますか、または相談しましたか。（○はいくつでも）

1. 医師・病院
2. 民生委員・高齢者相談員
3. 市役所
4. ならしのオレンジテラス（認知症カフェ）
5. 高齢者相談センター（地域包括支援センター）
6. ケアマネジャー
7. 介護サービス事業所（ホームヘルパー、デイサービス等）
8. 家族・親族
9. 友人・知人
10. その他（ ）

⑭ 今までに、自分自身や家族が認知症になったときどうしたらいいのひ、考えたことがありますか。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 考えたことがある ➡ ⑭-1 へ | 2. 考えたことはなひ ➡ ⑭-2 へ |
|---------------------|---------------------|

⑭-1 どのようなことを考えましたか。（○はいくつでも）

- | | | |
|-----------|--------------------------------|----------|
| 1. 介護のこと | 2. 経済的なこと | 3. 症状のこと |
| 4. 地域との関係 | 5. その他（ ） | |

⑭-2 考えたことがなかつた理由は何だと思ひますか。

1. 自分や自分の家族は認知症にならなひと思ひから
2. 自分や自分の家族が認知症になるかどうかを考えたこともなかつたから
3. その他（ ）

⑮ 認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか。

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 受けたことがある | 2. 受けたことがなひ | 3. わからなひ |
|-------------|-------------|----------|

⑩あなたは、1年以内に健康診査（特定健康診査・後期高齢者健康診査・人間ドック・職場の健診等）を受けましたか。

1. はい ➡ ⑩-1へ

2. いいえ ➡ ⑩-2へ

⑩-1 どちらで健康診査を受けましたか。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 市が行う健康診査等 | 2. 職場または健康保険組合が行う健康診査 |
| 3. 人間ドック | 4. その他（ ） |

⑩-2 健康診査を受けなかった理由は何ですか。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 知らなかったから | 2. 時間が取れなかったから |
| 3. 定期的に通院しているから | 4. 健康状態に自信があり、必要性を感じないから |
| 5. 必要な時はいつでも医療機関を受診できるから | 6. 面倒だから |
| 7. その他（ ） | |

⑪あなたは、1年以内にがん検診を受けましたか。

1. はい ➡ ⑪-1へ

2. いいえ ➡ 問Hへ

⑪-1 どちらでがん検診を受けましたか。

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. 市が行うがん検診 | 2. 職場または健康保険組合が行うがん検診 |
| 3. 人間ドック | 4. その他（ ） |

問H 日常生活で困っていることや将来の不安について

①現在困っていることと、将来についての不安はありますか。

あてはまる欄に○を付けてください。（それぞれ○は3つまで）

	1 現在困っていること	2 将来についての不安
(1) 自分や家族の健康や病気のこと	1	2
(2) 自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること	1	2
(3) 生活のための収入のこと	1	2
(4) 財産管理や相続のこと	1	2
(5) だまされたり犯罪に巻き込まれたりすること	1	2
(6) 大地震などの災害が起こること	1	2
(7) 人（近隣、親族、友人）とのつきあいのこと	1	2
(8) 家族との人間関係のこと	1	2
(9) 頼れる人がいなくなって一人きりになること	1	2
(10) 社会の仕組み（法律、社会保障、金融制度）が大きく変わってしまうこと	1	2
(11) もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること	1	2
(12) 自分が死亡した後の手続き（葬儀、遺品の整理等）のこと	1	2
(13) その他（ ）	1	2
(14) 特にない	1	2

問I 介護保険制度・高齢者施策について

①介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。

1. 保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い
2. 使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い
3. どちらとも言えない

②65 歳以上の方の保険料に関して「低所得者に配慮するために、高所得者の負担を多少増やすのもやむを得ない」ということについて、あなたはどのようにお考えですか。

1. そう思う
2. そう思わない
3. どちらとも言えない

③今後、もしあなたご自身が介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は1つ)

1. 家族などを中心にしてできる限り自宅で介護を受けたい
2. 介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい
3. 高齢者向けの住宅に移り、介護を受けたい
4. 軽費老人ホーム(ケアハウス)のような低所得者に配慮した住宅に移り、介護を受けたい
5. 介護保険制度のサービス対象となる特別養護老人ホーム、老人保健施設などに入所したい
6. 介護は受けたいが、利用料等の負担を考え、介護保険制度のサービスの利用は控える
7. その他()
8. わからない

④介護予防のために参加したい活動はありますか。(○はいくつでも)

1. 体操や運動の方法を教えてくれる活動
2. 栄養や食事について教えてくれる活動
3. 病気に関する情報や知識を教えてくれる活動
4. 一緒に健康維持に取り組む仲間づくりを進める活動
5. 認知症予防につながる活動
6. 歯や口の健康を維持する方法を教えてくれる活動
7. その他()
8. 特になし

⑤「介護予防・日常生活支援総合事業」についてうかがいます。

介護予防・日常生活支援総合事業は、65 歳以上のすべての方の日常生活の支援を目的とした事業です。

本事業の利用状況や新たなサービスの実施に向けた意向について、おたずねします。

(それぞれ○は1つ)

	1 利用している	2 今後利用したい	3 知っているが利用したことはない	4 利用したくない
(1) 生活支援や見守り・介護予防のための訪問や通所の支援(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)	1	2	3	4
(2) 住民組織や NPO が主体となった、集いの場やサービス提供(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)	1	2	3	4

⑥支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、あなたはその活動に支援者として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい ➡⑥-1へ

2. 参加してもよい ➡⑥-1へ

3. 参加したくない ➡⑦へ

4. 既に参加している ➡⑥-1へ

⑥-1 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動では、支援者としてどの活動に参加したいですか。また、どの活動に参加していますか。(○はいくつでも)

1. 見守り活動(日常の声掛けなど)

2. 家事のお手伝い(食事のお届け、炊事、掃除、洗濯、困りごとへの対応など)

3. 外出のお手伝い(病院の付き添いなど)

4. 健康づくりのお手伝い(転倒予防体操・ウォーキングの実施など)

5. 生きがいづくりのお手伝い(趣味サークルの実施など)

6. 介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーションの補助、職員の補助など)

7. その他()

⑦高齢者外出支援事業についてうかがいます。

市では、高齢者が自宅に引きこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する 75 歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1 枚 500 円のタクシー券を月3枚(年間最大 36 枚)、交付していますがご存じですか。

1. 知っていた ➡ ⑦-1 へ

2. 知らなかった ➡ ⑧へ

⑦-1 本事業を何で知りましたか。

1. 市役所(広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)
2. 親族・友人・知人からの情報
3. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
4. その他()

⑧より良い高齢者の外出支援策とするには、今後どのような事業の見直しを行うのが良いと思いますか。

1. 現状のタクシー券のまま維持してほしい
2. タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にほしい
3. その他()

⑨近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていないですが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。

1. 必要である ➡ ⑨-1 へ

2. 必要ない ➡ ⑩へ

3. わからない ➡ ⑩へ

⑨-1 どのような支援が必要であると思いますか。

1. タクシー券の支給
2. バス券の支給、定期券購入費の助成
3. 免許返納にかかる証明書などの発行手数料の助成
4. その他()

⑩あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けていくために、主としてどのような市の施策が必要であると考えますか。(○は5つまで)

1. 24 時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実
2. 自宅など本人が望む場所で看取りができる在宅医療の充実
3. 多様な介護サービスを一体的に受けられる複合型サービスの充実
4. 日常生活を支援するサービスの付いた高齢者用住宅の充実
5. 配食サービスなどの生活支援
6. 緊急通報装置など安否確認システムの設置支援や見守り体制の構築
7. 外出時の移動支援
8. 持ち家のバリアフリー化の推進等の安心・安全な住まいづくりの支援
9. 高齢者の働く場の充実
10. 高齢者が交流するための場の充実
11. 趣味や社会活動などの生きがい対策の充実
12. 高齢者に役立つ情報提供の充実
13. 困ったときに気軽に相談できる窓口の充実
14. 介護予防や要介護状態等の軽減、悪化の防止のための健康づくりの事業・保健事業の充実
15. その他()
16. 特にない

問J 将来への備えについて

①あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症など)に、治療の方針の決定や介護サービスの利用に必要な手続き、金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|---|-----------|--------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども | 4. 親 |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. 甥 <small>おい</small> または姪 <small>めい</small> | 7. その他() | 8. いない |

②あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ)

「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。

1. 制度の手続きをしたことがある、または検討している
2. 制度の概要を理解している
3. 名称のみ知っている
4. 全く知らない

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

お答えいただいた内容をもとに、充実した計画となるよう検討してまいります。

誠に恐縮ですが、この調査票は 1月10日(火)まで に
返信用封筒にて返送していただきますよう、お願いいたします。

(2) 在宅要支援認定者等調査

習志野市高齢者等実態調査

要支援認定を受けている方、事業対象者の方へ ご協力のお願い

日ごろより習志野市政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。
本市では現在、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を
築くため、『習志野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画』を策定し、
事業の推進を図っています。



この計画に皆さまのご意見を反映させるため、このたび要支援認定を受けている方又は事業対象者の方 1,500 名を無作為に選び、実態調査を行うことにいたしました。調査の結果は、高齢者への保健福祉や介護サービス充実のための貴重な資料とさせていただきます。

調査票の質問が多く、回答の際にはお手数をおかけしますが、なにとぞ趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年12月

習志野市長 宮本 泰介

【記入についてのお願い】

- ①この実態調査は、原則として、あて名のご本人がお答えください。ご本人の状態により、お答えが難しいときは、ご家族などがご本人の代わりに回答されてもかまいません。一部、介護者の方に回答していただく質問もございます。
- ②回答は、選択肢の番号を○で囲んでください。また、具体的な記述を書き入れていただく質問では、簡潔にご記入ください。
- ③回答は、「○はいくつでも」、「○は5つまで」等の表記が無い場合は、選択肢の中から1つお選びください。

・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

1月10日（火）まで にご返送ください。

- ・この調査は無記名です。ご回答内容は、調査の目的に沿って統計的に処理を行いますので、個人のプライバシーの侵害などご迷惑をお掛けすることはありません。
- ・この調査票は、令和4年11月15日現在の情報に基づきお送りしています。既に転出などにより習志野市にお住まいでない場合は、回答の必要はありません。

実態調査についての問い合わせ先

習志野市 健康福祉部 高齢者支援課（TEL）047-454-7533（直通）

【高齢者等実態調査 調査票（要支援認定者、事業対象者の方）】

○このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

- | | | |
|-------------|-------------------|--------------|
| 1. あて名のご本人 | 2. あて名の方の配偶者(夫・妻) | 3. あて名の方の子ども |
| 4. あて名の方の親族 | 5. 友人・知人 | 6. ケアマネジャー |
| 7. 施設の職員 | 8. ホームヘルパー | 9. その他() |

問A あなた(あて名のご本人)のご家族や生活状況などについて

①あなたの年齢をお答えください。

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 65 歳～69 歳 | 2. 70 歳～74 歳 | 3. 75 歳～79 歳 | 4. 80 歳～84 歳 |
| 5. 85 歳～89 歳 | 6. 90 歳～94 歳 | 7. 95 歳～99 歳 | 8. 100 歳以上 |

②お住まいの地区名をお答えください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 谷津、谷津町、奏の杜 | 2. 秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦 |
| 3. 津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎 | 4. 花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保 |
| 5. 実籾、実籾本郷、新栄、東習志野 | |

③あなたの性別をお答えください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

④家族構成をお教えてください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦二人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他(施設入所なども含む) | |

◎「1」・「5」選択 ⇒⑤へ

「2」～「4」選択 ⇒④-1へ

④-1 (ご家族と同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか。

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

⑤あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 介護・介助は必要ない ⇒⑥へ |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒⑤-1へ |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている ⇒⑤-1・2へ |

⑤-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゅう のうしゅっけつ のうこうそく</small> | 2. 心臓病 |
| 3. がん(悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)
<small>はいきしゅ</small> |
| 5. 関節の病気(リウマチ等) | 6. 認知症(アルツハイマー病等)
<small>にんちしょう</small> |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病
<small>とうようびょう</small> |
| 9. 腎疾患(透析)
<small>じんしつかん</small> | 10. 視覚・聴覚障がい
<small>しかく ちょうかく</small> |
| 11. 骨折・転倒
<small>こっせつ てんどう</small> | 12. 脊椎損傷
<small>せきついそんしょう</small> |
| 13. 高齢による衰弱
<small>すいじやく</small> | 14. その他() |
| 15. 不明 | |

⑤-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-------------|----------|----------------|----------------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 | 4. 子の配偶者 |
| 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 | 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他() |

⑥あなたの認定区分は次のどれにあたりますか。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 事業対象者 |
|---------|---------|----------|

⑦現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

⑧お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 持家(一戸建て) | 2. 持家(集合住宅) |
| 3. 公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等) | 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 6. 借家(賃貸借契約を結んでいない住宅) |
| 7. その他 | |

⑨市民税の課税状況をお答えください。

1. 私を含む世帯全員の市民税が非課税である
2. 私の市民税は非課税だが、世帯員に市民税課税者がいる
3. 私は市民税課税者である

問B からだを動かすことについて

①階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

②椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

③15分位続けて歩いていますか。(買い物、散歩など、目的は問いません)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

④過去1年間に転んだ経験がありますか。

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

⑤転倒に対する不安は大きいですか。

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

⑥週に1回以上は外出していますか。(手段・目的は問いません)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

⑦昨年(令和3年)と比べて外出の回数が減っていますか。

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

⑧外出を控えていますか。

1. はい → ⑧-1へ

2. いいえ → ⑨へ

⑧-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 病気 | 2. 障がい(脳卒中 ^{のうそっちゅう} の後遺症 ^{こういしょう} など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障がい(聞こえの問題など) | 6. 目の障がい |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他() |

⑨買い物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。

	① ほぼ毎日	② 週4～5日	③ 週2～3日	④ 週1日	⑤ 週1日未満
買い物	1	2	3	4	5
散歩	1	2	3	4	5

⑩外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車(自分で運転) | 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす(カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他() | | |

問C 食べることについて

① 身長() cm		体重() kg	
②半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。		1. はい 2. いいえ	
③お茶や汁物等でむせることがありますか。		1. はい 2. いいえ	
④口の渇きが気になりますか。		1. はい 2. いいえ	
⑤歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。		1. はい 2. いいえ	
⑥定期的に歯科受診(*健診を含む)をしていますか。		1. はい 2. いいえ	
⑦歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 (*成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。)			
1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 ➡⑦-1へ 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし ➡⑧へ 3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 ➡⑦-1へ 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし ➡⑧へ			
⑦-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。		1. はい 2. いいえ	
⑧噛み合わせは良いですか。		1. はい 2. いいえ	
⑨6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。		1. はい 2. いいえ	
⑩どなたかと食事をともにする機会がありますか。 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない			

問D 毎日の生活について

①物忘れが多いと感じますか。	1. はい 2. いいえ
②自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	1. はい 2. いいえ
③今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい 2. いいえ
④バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
⑤自分で食品・日用品の買い物をしていますか。 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない ➡⑥へ ➡⑤-1へ ➡⑤-1へ	
⑤-1 食品・日用品の買い物をする人は主にどなたですか。(○は1つ) 1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配達を依頼 5. その他	
⑥自分で食事の用意をしていますか。 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない ➡⑦へ ➡⑥-1へ ➡⑥-1へ	
⑥-1 食事の用意をする人は主にどなたですか。(○は1つ) 1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配食サービスを利用 5. その他	
⑦自分で請求書の支払いをしていますか。 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
⑧自分で預貯金の出し入れをしていますか。 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	
⑨年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。	1. はい 2. いいえ
⑩新聞を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
⑪本や雑誌を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
⑫健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい 2. いいえ
⑬友人の家を訪ねていますか。	1. はい 2. いいえ
⑭家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい 2. いいえ
⑮病人を見舞うことができますか。	1. はい 2. いいえ
⑯若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい 2. いいえ
⑰趣味はありますか。	1. 趣味あり → () 2. 思いつかない
⑱生きがいはありますか。	1. 生きがいあり → () 2. 思いつかない

問E 地域での活動について

- ①以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(個人の活動も含みます)。
(1)～(10)について、あてはまる欄に○をつけてください。

会・グループ等	週4回 以上	週 2～3回	週 1回	月 1～3回	年に 数回	参加して いない
(1)ボランティア	1	2	3	4	5	6
(2)スポーツ関係	1	2	3	4	5	6
(3)趣味関係	1	2	3	4	5	6
(4)学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
(5)てんとうむし体操 (転倒予防体操)	1	2	3	4	5	6
(6)地域サロン (地域テラス)	1	2	3	4	5	6
(7)高齢者のつどい	1	2	3	4	5	6
(8)老人クラブ	1	2	3	4	5	6
(9)町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
(10)収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

◎(1)～(10)で「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の
いずれかを選択 ⇒①-1へ

①-1 活動場所までの交通手段をお教えてください。(○はいくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. バス・電車 5. その他()

- ②地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

- ③地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問F 「たすけあい」について

①あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

以下に挙げる人について、あてはまる欄に○印をつけてください。(それぞれ○はいくつでも)

「その他」の場合は欄に具体的にご記入ください。

	1 配偶者	2 同居の 子ども	3 別居の 子ども	4 戚・親・孫 兄弟姉妹・親	5 近隣(同じ 地域の人)	6 友人	7 その他	8 そのような 人はいない
(1)心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	1	2	3	4	5	6	(7)	8
(2)反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	1	2	3	4	5	6	(7)	8
(3)病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1	2	3	4	5	6	(7)	8
(4)反対に、看病や世話をし てあげる人	1	2	3	4	5	6	(7)	8

②家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. 高齢者相談員 | 4. ケアマネジャー |
| 5. 医師・歯科医師・看護師 | 6. 薬剤師 |
| 7. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)・市役所 | 8. その他() |
| 9. そのような人はいない | |

③友人関係についておうかがいします。

(1)友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(2)この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

*同じ人とは何度会っても1人と数えることとします。

- | | | | | |
|------------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 0人(いない) | 2. 1~2人 | 3. 3~5人 | 4. 6~9人 | 5. 10人以上 |
|------------|---------|---------|---------|----------|

(3)よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ |
| 3. 学生時代の友人 | 4. 仕事での同僚・元同僚 |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 | 8. いない |

問G 健康について

①現在のあなたの健康状態はいかがですか。

1. とても良い 2. まあ良い 3. あまり良くない 4. 良くない

②あなたは、現在どの程度幸せですか。

「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、あてはまる点数を「○」で囲んでください。

とても

とても

不幸

幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

③この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい 2. いいえ

④この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

1. はい 2. いいえ

⑤現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。また、その頻度はどれくらいですか。

1. 週1回以上 → ⑤-1へ
2. 月2~3回 → ⑤-1へ
3. 月1回程度 → ⑤-1へ
4. 2か月に1回程度 → ⑤-1へ
5. 3か月に1回程度 → ⑤-1へ
6. 通院していない → ⑥へ

⑤-1 通院に介助が必要ですか。

1. はい 2. いいえ

⑥お酒は飲みますか。

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

⑦タバコは吸っていますか。

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

⑧現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
のうそっちゅう のうしゅつけつ のうこうそくなど
4. 心臓病
5. 糖尿病
とうようびょう
6. 高脂血症(脂質異常)
こうしけっしょう ししついじょう
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
じんぞう ぜんりつせん
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)
きんこっかく こつそ しょう
11. 外傷(転倒・骨折等)
がいしやう てんとう こっせつなど
12. がん(悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気
めんえき
14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病等)
にんちしやう
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. 歯の病気
20. その他()

問H 地域交流・ボランティアについて

①独居世帯や高齢者世帯が近年増えていますが、隣近所や地域で高齢者を支えることが必要だと思いますか。

1. 必要である

2. 必要ない

3. わからない

②高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、支援を受けてみたいと思いますか。

1. 支援を受けたい ➡ ②-1へ

2. 支援を受けたくない ➡ 次ページへ

3. わからない ➡ 次ページへ

4. 支援を受ける必要がない ➡ 次ページへ

②-1 高齢者を支える地域のボランティア活動で、どの支援を利用したいですか。

(〇はいくつでも)

1. 見守り活動(日常の声掛けなど)

2. 家事のお手伝い(食事のお届け、炊事、掃除、洗濯、困りごとへの対応など)

3. 外出のお手伝い(病院の付き添いなど)

4. 健康づくりのお手伝い(転倒予防体操、ウォーキングの実施など)

5. 生きがいづくりのお手伝い(趣味サークルの実施など)

6. 介護保険施設や介護事業所でのボランティア

(話し相手、レクリエーションの補助、職員の補助など)

7. その他(

)

問I 日常生活で困っていることや将来の不安について

①現在困っていることと、将来についての不安はありますか。

あてはまる欄に○を付けてください。(それぞれ○は3つまで)

	1 現在困っていること	2 将来についての不安
(1)自分や家族の健康や病気のこと	1	2
(2)自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること	1	2
(3)生活のための収入のこと	1	2
(4)財産管理や相続のこと	1	2
(5)だまされたり犯罪に巻き込まれたりすること	1	2
(6)大地震などの災害が起こること	1	2
(7)人(近隣、親族、友人)とのつきあいのこと	1	2
(8)家族との人間関係のこと	1	2
(9)頼れる人がいなくなって一人きりになること	1	2
(10)社会の仕組み(法律、社会保障、金融制度)が大きく変わってしまうこと	1	2
(11)もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること	1	2
(12)自分が死亡した後の手続き(葬儀、遺品の整理等)のこと	1	2
(13)その他()	1	2
(14)特にない	1	2

問J 介護保険の利用について

①ケアマネジャーの対応に満足していますか。

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1. 満足している | 2. ほぼ満足している |
| 3. 不満なためケアマネジャーを
変更した結果、今は満足している | 4. 不満である |
| 5. わからない・何とも言えない | 6. ケアマネジャーに依頼したことがない |

②あなたは、この1か月に介護保険のサービスを利用しましたか。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 利用している ➡ ②-2・3へ | 2. 利用していない ➡ ②-1へ |
|--------------------|-------------------|

②-1 (利用していない方へ) 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 病院に入院しているから
2. 今のところ家族介護でやっていけるから
3. 今のところ自分でやっていけるから
4. 他人を自宅に入れたくないから
5. 外出したり、他人と関わったりしたくないから
6. どのようなサービスがあるのかわからないから
7. 利用者負担(費用の1~3割や実費)が大きいから
8. 家族が利用をいやがるから
9. ケアプラン(介護サービス計画)が自分の実情に合わないから
10. 念のため要介護認定を受けただけだから
11. 手続きが面倒だから
12. その他()

②-2 (利用している方へ) 以下のサービスを利用していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 訪問診療(医師の訪問) | 2. 訪問介護(ヘルパー) |
| 3. 訪問歯科診療 | 4. 夜間対応型訪問介護 |
| 5. 訪問入浴介護 | 6. 訪問看護 |
| 7. 訪問リハビリテーション | 8. 通所介護・地域密着型通所介護(デイサービス) |
| 9. 認知症対応型通所介護 | 10. 通所リハビリテーション(デイケア) |
| 11. 短期入所(ショートステイ) | 12. 小規模多機能型居宅介護 |
| 13. 認知症対応型共同生活介護
(グループホーム) | 14. 特定施設入居者生活介護
(有料老人ホームなどに入所して受ける介護や機能訓練のサービス) |
| 15. 管理栄養士や歯科衛生士などによる療養上の指導 | 16. 医師、歯科医師、薬剤師による療養上の指導 |
| 17. その他() | |

②-3 (利用している方へ) 現在利用しているサービスに満足していますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 満足している | 2. どちらとも言えない |
| 3. 不満である | 4. わからない |

③介護サービスを受けるためには、所得に応じてサービス利用費用（＊食費・居住費を除く）を自己負担していただく必要があります。

（１）あなたの自己負担割合をお答えください。

１．１割

２．２割

３．３割

（２）（１）でお答えいただいた費用（自己負担分）について、どのように感じていますか。

１．安いと感じている

２．適正だと感じている

３．高いと感じている

４．とても高いと感じている（サービスの利用をやめた、減らした、またはそれらを考えている）

５．どちらとも言えない

問K 介護保険制度・高齢者施策について

①介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。

１．保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い

２．使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い

３．どちらとも言えない

②65 歳以上の方の保険料に関して「低所得者に配慮するために、高所得者の負担を多少増やすのもやむを得ない」ということについて、あなたはどのようにお考えですか。

１．そう思う

２．そう思わない

３．どちらとも言えない

③今後希望する生活場所についてうかがいます。

１．現在のまま住み続けようと思う

２．現在の住まいを改修するなどして住み続けようと思う

３．家族や親族、兄弟姉妹のところへ移り住もうと思う

４．高齢者向けの住宅へ移り住もうと思う

５．介護保険の施設※ に入所しようと思う

６．その他（ ）

７．わからない

※介護保険の施設…介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設 等

④「介護予防・日常生活支援総合事業」についてうかがいます。

介護予防・日常生活支援総合事業は、65 歳以上のすべての方の日常生活の支援を目的とした事業です。

本事業の利用状況について、おたずねします。(それぞれ○は1つ)

	1 利用している	2 今後利用したい	3 知っているが利用したことはない	4 利用したくない
(1) 生活支援や見守り・介護予防のための訪問や通所の支援(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)	1	2	3	4
(2) 住民組織や NPO が主体となった、集いの場やサービス提供(要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)	1	2	3	4

⑤高齢者外出支援事業についてうかがいます。

市では、高齢者が自宅に引きこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する 75 歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1 枚 500 円のタクシー券を月 3 枚(年間最大 36 枚)、交付していますがご存じですか。

1. 知っていた → ⑤-1 へ

2. 知らなかった → ⑥へ

⑤-1 本事業を何で知りましたか。

1. 市役所(広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)
2. 親族・友人・知人からの情報
3. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
4. その他()

⑥より良い高齢者の外出支援策とするには、今後どのような事業の見直しを行うのが良いと思いますか。

1. 現状のタクシー券のまま維持してほしい
2. タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にしてほしい
3. その他()

⑦近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていないですが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。

1. 必要である → ⑦-1 へ

2. 必要ない → ⑧へ

3. わからない → ⑧へ

⑦ー1 どのような支援が必要であると思いますか。

1. タクシー券の支給
2. バス券の支給、定期券購入費の助成
3. 免許返納にかかる証明書などの発行手数料の助成
4. その他()

⑧あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けていくために、主としてどのような市の施策が必要であると考えますか。(○は5つまで)

1. 24 時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実
2. 自宅など本人が望む場所で看取りができる在宅医療の充実
3. 多様な介護サービスを一体的に受けられる複合型サービスの充実
4. 日常生活を支援するサービスの付いた高齢者用住宅の充実
5. 配食サービスなどの生活支援
6. 緊急通報装置など安否確認システムの設置支援や見守り体制の構築
7. 外出時の移動支援
8. 持ち家のバリアフリー化の推進等の安心・安全な住まいづくりの支援
9. 高齢者の働く場の充実
10. 高齢者が交流するための場の充実
11. 趣味や社会活動などの生きがい対策の充実
12. 高齢者に役立つ情報提供の充実
13. 困ったときに気軽に相談できる窓口の充実
14. 介護予防や要介護状態等の軽減、悪化の防止のための健康づくりの事業・保健事業の充実
15. その他()

問Ⅱ 将来への備え等について

①あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症など)に、治療の方針の決定や介護サービスの利用に必要な手続き、金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|---------------------------------------|-----------|--------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども | 4. 親 |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. 甥 ^{おい} または姪 ^{めい} | 7. その他() | 8. いない |

②あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ)

「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益^{こうむ}を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。

1. 制度の手続きをしたことがある、または検討している
2. 制度の概要を理解している
3. 名称のみ知っている
4. 全く知らない

③医療や介護についての知識や情報を、何から得ていますか。(○はいくつでも)

1. テレビ
2. インターネット(パソコン・スマートフォンなど)
3. 新聞・雑誌・本
4. 医師・病院
5. 市役所
6. 保健所
7. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
8. 家族・親族・知人・友人

④人生会議またはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)^{*}という言葉を知っていますか。

1. 知っている → ④-1へ 2. 知らない → ⑤へ

^{*}もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと

④-1 ACPという言葉はどこで知りましたか。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. テレビ・新聞・インターネット | 2. 雑誌・本 |
| 3. 医師・病院 | 4. 市役所 |
| 5. 保健所 | 6. 高齢者相談センター(地域包括支援センター) |
| 7. 家族・親族・友人・知人 | 8. その他() |

⑤人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要とされています。このような話し合いを進めることについて、あなたはごどう思いますか。

1. 賛成である
2. 反対である
3. わからない

⑥認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。		
1. はい	2. いいえ	
⑦認知症に関する相談窓口を知っていますか。		
1. はい ➡⑦へ	2. いいえ ➡⑧へ	
⑦-1 どこに相談すると思いますか。または相談しましたか。(○はいくつでも)		
1. 医師・病院	2. 民生委員・高齢者相談員	
3. 市役所	4. ならしのオレンジテラス(認知症カフェ)	
5. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)	6. ケアマネジャー	
7. 介護サービス事業者	8. 家族・親族	
(ホームヘルパー、デイサービス等)		
⑧今までに、自分自身や家族が認知症になったときどうしたらいいのか、考えたことがありますか。		
1. 考えたことがある ➡⑧-1へ	2. 考えたことはない ➡⑧-2へ	
⑧-1 どのようなことを考えましたか。(○はいくつでも)		
1. 介護のこと	2. 経済的なこと	3. 症状のこと
4. 地域との関係	5. その他()	
⑧-2 考えたことがなかった理由は何だと思えますか。		
1. 自分や自分の家族は認知症にならないと思うから		
2. 自分や自分の家族が認知症になるかどうかを考えたこともなかったから		
3. その他()		
⑨認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか。		
1. 受けたことがある	2. 受けたことがない	3. わからない

問M

主な介護者の方にうかがいます。

(介護者がいない場合は、回答されなくてかまいません。)

①あなたの年齢をお答えください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 18 歳未満 | 2. 18 歳～29 歳 | 3. 30 歳～39 歳 |
| 4. 40 歳～49 歳 | 5. 50 歳～59 歳 | 6. 60 歳～69 歳 |
| 7. 70 歳～79 歳 | 8. 80 歳～89 歳 | 9. 90 歳以上 |

②現在、主な介護者の方が行っている介護等は、次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 屋内の移乗(ベッド、車いす等)・移動 | 2. 外出の付き添い、送迎等 |
| 3. 入浴・洗身 | 4. 日中の排せつ |
| 5. 夜間の排せつ | 6. 食事の準備(調理等) |
| 7. 食事の介助(食べる時) | 8. 服薬 |
| 9. 認知症状への対応 | 10. 衣服の着脱 |
| 11. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 12. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 13. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |
| 15. その他 | 16. わからない |

③介護を行う上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 介護の方法がわからない
2. 本人が介護サービスを利用したがない
3. 家族や近隣の方などの理解が足りない
4. 介護者の心身の負担が大きい
5. 介護に要する費用がかかりすぎる
6. 仕事との両立が難しい
7. 早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である
8. 介護者のリフレッシュのための時間がとれない
9. 医療サービスが必要になった時に、相談先がない
10. 気軽に相談できる人や場所がない
11. その他()
12. 特にない

④介護サービスを利用することによって、介護している方はどのように変化しましたか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 介護に関わる時間が減った | 2. 介護に関わる時間が増えた |
| 3. 身体的に楽になった | 4. 身体的にきつくなった |
| 5. 精神的に楽になった | 6. 精神的にきつくなった |
| 7. 経済的に楽になった | 8. 経済的に苦しくなった |
| 9. 体調が良くなった | 10. 体調が悪くなった |
| 11. 時間に余裕ができた | 12. 時間に余裕がなくなった |
| 13. その他() | 14. 特に変化していない |
| 15. 介護サービスを利用していない | |

⑤介護者として、介護に関してどのような支援があったらいいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 介護に関する情報の提供
2. 介護の技術を教える講座の開催
3. 介護者同士の交流の場の開催
4. 介護に必要な物品の支給
5. 介護に関する相談窓口の充実
6. いざという時に利用しやすい短期入所の提供
7. 「老人福祉センター」や通所介護(デイサービス)など日中の居場所の充実
8. その他()

⑥あなたの現在の勤務形態等についてお答えください。

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 学生
5. その他()

⑥-1 (フルタイム、パートタイムで働いている方へ)

あなたは、勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

1. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
2. 制度を利用しやすい職場づくり
3. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
4. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
5. 介護をしている従業員への経済的な支援
6. その他()
7. わからない
8. 特にない
9. 自営業・フリーランス等のため勤め先はない

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

質問にお答えいただいた皆様のためにも、充実した計画を策定してまいります。

誠に恐縮ですが、この調査票は 1月 10 日(火)まで に

返信用封筒にて返送していただきますよう、お願いいたします。

(3) 在宅要介護認定者調査

習志野市高齢者等実態調査

要介護認定を受けている方へ ご協力をお願い



日ごろより習志野市政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では現在、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を築くため、『習志野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画』を策定し、事業の推進を図っています。

この計画に皆さまのご意見を反映させるため、このたびは要介護認定を受けている方 1,500 名を無作為に選び、実態調査を行うことにいたしました。調査の結果は、高齢者への保健福祉や介護サービス充実のための貴重な資料とさせていただきます。

調査票の質問が多く、回答の際にはお手数をおかけしますが、なにとぞ趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年12月

習志野市長 宮本 泰介

【記入についてのお願い】

- ①この実態調査は、原則として、あて名のご本人がお答えください。ご本人の状態により、お答えが難しいときは、ご家族などがご本人の代わりに回答されてもかまいません。一部、介護者の方に回答していただく質問もございます。
- ②回答は、選択肢の番号を○で囲んでください。また、具体的な記述を書き入れていただく質問では、簡潔にご記入ください。
- ③回答は、「○はいくつでも」、「○は5つまで」等の表記が無い場合は、選択肢の中から1つお選びください。

・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

1月10日（火）まで にご返送ください。

・この調査は無記名です。ご回答内容は、調査の目的に沿って統計的に処理を行いますので、個人のプライバシーの侵害などご迷惑をお掛けすることはありません。

・この調査票は、令和4年11月15日現在の情報に基づきお送りしています。既に転出などにより習志野市にお住まいでない場合は、回答の必要はありません。

実態調査についての問い合わせ先

習志野市 健康福祉部 高齢者支援課（TEL）047-454-7533（直通）

【高齢者等実態調査 調査票（要介護認定者の方）】

○このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. あて名のご本人 | 2. あて名の方の配偶者(夫・妻) |
| 3. あて名の方の子ども | 4. あて名の方の親族 |
| 5. 友人・知人 | 6. ケアマネジャー |
| 7. 施設の職員 | 8. ホームヘルパー |
| 9. その他() | |

問A あなた(あて名のご本人)のご家族や生活状況などについて

①あなたの年齢をお答えください。

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1. 40歳～64歳 | 2. 65歳～69歳 | 3. 70歳～74歳 | 4. 75歳～79歳 | 5. 80歳～84歳 |
| 6. 85歳～89歳 | 7. 90歳～94歳 | 8. 95歳～99歳 | 9. 100歳以上 | |

②お住まいの地区名をお答えください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 谷津、谷津町、奏の杜 | 2. 秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦 |
| 3. 津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎 | 4. 花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保 |
| 5. 実籾、実籾本郷、新栄、東習志野 | |

③あなたの性別をお答えください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

④家族構成をお教えてください。

1. 一人暮らし ➡⑤へ
2. 夫婦二人暮らし(配偶者 65歳以上) ➡④-1へ
3. 夫婦二人暮らし(配偶者 64歳以下) ➡④-1へ
4. 息子・娘との2世帯 ➡④-1へ
5. その他(施設入所なども含む) ➡⑤へ

④-1 (ご家族と同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか。

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

⑤あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない ➡⑥へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ➡⑤-1へ
3. 現在、何らかの介護を受けている ➡⑤-1・2へ

⑤-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゅう のうしゅつけつ のうこうそく</small> | 2. 心臓病 |
| 3. がん(悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)
<small>はいきしゅ</small> |
| 5. 関節の病気(リウマチ等) | 6. 認知症(アルツハイマー病等)
<small>にんちしょう</small> |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病
<small>とうにょうびょう</small> |
| 9. 腎疾患(透析)
<small>じんしつかん</small> | 10. 視覚・聴覚障がい
<small>しかく ちょうかく</small> |
| 11. 骨折・転倒
<small>こっせつ てんとう</small> | 12. 脊椎損傷
<small>せきついそんしゅう</small> |
| 13. 高齢による衰弱
<small>すいじゃく</small> | 14. その他() |
| 15. 不明 | |

⑤-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他() | |

⑥あなたの要介護区分は次のどれにあたりますか。

1. 要介護1 2. 要介護2 3. 要介護3 4. 要介護4 5. 要介護5

⑦現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

⑧お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 持家(一戸建て) | 2. 持家(集合住宅) |
| 3. 公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等) | 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 6. 借家(賃貸借契約を結んでいない住宅) |
| 7. その他 | |

⑨市民税の課税状況をお答えください。

1. 私を含む世帯全員の市民税が非課税である
2. 私の市民税は非課税だが、世帯員に市民税課税者がいる
3. 私は市民税課税者である

問B 地域交流・ボランティアについて

①独居世帯や高齢者世帯が近年増えていますが、隣近所や地域で高齢者を支えることが必要だと思いますか。

1. 必要である 2. 必要ない 3. わからない

②高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、支援を受けてみたいと思いますか。

1. 支援を受けたい ➡ ②-1へ 2. 支援を受けたくない ➡ 次ページへ
3. わからない ➡ 次ページへ 4. 支援を受ける必要がない ➡ 次ページへ

②-1 高齢者を支える地域のボランティア活動で、どの支援を利用したいですか。

(○はいくつでも)

1. 見守り活動(日常の声掛けなど)
2. 家事のお手伝い(食事のお届け、炊事、掃除、洗濯、困りごとへの対応など)
3. 外出のお手伝い(病院の付き添いなど)
4. 健康づくりのお手伝い(転倒予防体操、ウォーキングの実施など)
5. 生きがいづくりのお手伝い(趣味サークルの実施など)
6. 介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーションの補助、職員の補助など)
7. その他()

問C 日常生活で困っていることや将来の不安について

①現在困っていることと、将来についての不安はありますか。

あてはまる欄に○を付けてください。(それぞれ○は3つまで)

	1 現在困っていること	2 将来についての不安
(1)自分や家族の健康や病気のこと	1	2
(2)自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること	1	2
(3)生活のための収入のこと	1	2
(4)財産管理や相続のこと	1	2
(5)だまされたり犯罪に巻き込まれたりすること	1	2
(6)大地震などの災害が起こること	1	2
(7)人(近隣、親族、友人)とのつきあいのこと	1	2
(8)家族との人間関係のこと	1	2
(9)頼れる人がいなくなって一人きりになること	1	2
(10)社会の仕組み(法律、社会保障、金融制度)が大きく変わってしまうこと	1	2
(11)もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること	1	2
(12)自分が死亡した後の手続き(葬儀、遺品の整理等)のこと	1	2
(13)その他()	1	2
(14)特にない	1	2



問D 介護保険の利用について

①ケアマネジャーの対応に満足していますか。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 不満なためケアマネジャーを変更した結果、今は満足している
4. 不満である
5. わからない・何とも言えない

②あなたは、この1か月に介護保険のサービスを利用しましたか。

1. 利用している ➡ ②-2・3へ

2. 利用していない ➡ ②-1へ

②-1 (利用していない方へ) 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 病院に入院しているから
2. 今のところ家族介護でやっていけるから
3. 今のところ自分でやっていけるから
4. 他人を自宅に入れたくないから
5. 外出したり、他人と関わったりしたくないから
6. どのようなサービスがあるのかわからないから
7. 利用者負担(費用の1~3割や実費)が大きいから
8. 家族が利用をいやがるから
9. ケアプラン(介護サービス計画)が自分の実情に合わないから
10. 念のため要介護認定を受けたただけだから
11. 手続きが面倒だから
12. その他()

②-2 (利用している方へ) 以下のサービスを利用していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1. 訪問診療(医師の訪問) | 2. 訪問介護(ヘルパー) |
| 3. 訪問歯科診療 | 4. 夜間対応型訪問介護 |
| 5. 訪問入浴介護 | 6. 訪問看護 |
| 7. 訪問リハビリテーション | 8. 通所介護・地域密着型通所介護(デイサービス) |
| 9. 認知症対応型通所介護 | 10. 通所リハビリテーション(デイケア) |
| 11. 短期入所(ショートステイ) | 12. 小規模多機能型居宅介護 |
| 13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 14. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) |
| 15. 特定施設入居者生活介護
(有料老人ホームなどに入所して
受ける介護や機能訓練のサービス) | 16. 管理栄養士や歯科衛生士などによる
療養上の指導 |
| 17. 医師、歯科医師、薬剤師による
療養上の指導 | 18. その他() |

②-3 (利用している方へ) 現在利用しているサービスに満足していますか。

1. 満足している
2. どちらとも言えない
3. 不満である
4. わからない

③介護サービスを受けるためには、所得に応じてサービス利用費用（＊食費・居住費を除く）を自己負担していただく必要があります。

(1) あなたの自己負担割合をお答えください。

- 1.1割
2.2割
3.3割

(2) (1)でお答えいただいた費用(自己負担分)について、どのように感じていますか。

1. 安いと感じている
2. 適正だと感じている
3. 高いと感じている
4. とても高いと感じている（サービスの利用をやめた、減らした、またはそれらを考えている）
5. どちらとも言えない

問E 介護保険制度・高齢者施策について

①介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。

1. 保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い
2. 使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い
3. どちらとも言えない

②65 歳以上の方の保険料に関して「低所得者に配慮するために、高所得者の負担を多少増やすのもやむを得ない」ということについて、あなたはどのようにお考えですか。

1. そう思う 2. そう思わない 3. どちらとも言えない

③今後希望する生活場所についてうかがいます。

1. 現在のまま住み続けようと思う
2. 現在の住まいを改修するなどして住み続けようと思う
3. 家族や親族、兄弟姉妹のところへ移り住もうと思う
4. 高齢者向けの住宅へ移り住もうと思う
5. 介護保険の施設※ に入所しようと思う
6. その他()
7. わからない

※介護保険の施設…介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設 等

④高齢者外出支援事業についてうかがいます。

市では、高齢者が自宅に引きこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する 75 歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1 枚 500 円のタクシー券を月3枚(年間最大 36 枚)、交付していますがご存じでしたか。

1. 知っていた → ④-1へ

2. 知らなかった → ⑤へ

④-1 本事業を何で知りましたか。

1. 市役所（広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ）
2. 親族・友人・知人からの情報
3. 高齢者相談センター（地域包括支援センター）
4. その他（ ）

⑤より良い高齢者の外出支援策とするには、今後どのような事業の見直しを行うのが良いと思いますか。

1. 現状のタクシー券のまま維持してほしい
2. タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にしてほしい
3. その他()

⑥近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていないが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。

1. 必要である⇒⑥-1へ

2. 必要ない ➡ ⑦へ

3. わからない ➡ ⑦へ

⑥-1 どのような支援が必要であると思いますか。

1. タクシー券の支給
2. バス券の支給、定期券購入費の助成
3. 免許返納にかかる証明書などの発行手数料の助成
4. その他（ ）

⑦あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けていくために、主としてどのような市の施策が必要であると考えますか。(○は5つまで)

1. 24 時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実
2. 自宅など本人が望む場所で看取りができる在宅医療の充実
3. 多様な介護サービスを一体的に受けられる複合型サービスの充実
4. 日常生活を支援するサービスの付いた高齢者用住宅の充実
5. 配食サービスなどの生活支援
6. 緊急通報装置など安否確認システムの設置支援や見守り体制の構築
7. 外出時の移動支援
8. 持ち家のバリアフリー化の推進等の安心・安全な住まいづくりの支援
9. 高齢者の働く場の充実
10. 高齢者が交流するための場の充実
11. 趣味や社会活動などの生きがい対策の充実
12. 高齢者に役立つ情報提供の充実
13. 困ったときに気軽に相談できる窓口の充実
14. 介護予防や要介護状態等の軽減、悪化の防止のための健康づくりの事業・保健事業の充実
15. その他()
16. 特にない

問F 将来への備え等について

①あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症など)に、治療の方針の決定や介護サービスの利用に必要な手続き、金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|---|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 親 | 5. 兄弟姉妹 | 6. 甥 <small>おい</small> または姪 <small>めい</small> |
| 7. その他() | 8. いない | |

②あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ)

「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。

1. 制度の手続きをしたことがある、または検討している
2. 制度の概要を理解している
3. 名称のみ知っている
4. 全く知らない

③医療や介護についての知識や情報を、何から得ていますか。(○はいくつでも)

1. テレビ
2. インターネット(パソコン・スマートフォンなど)
3. 新聞・雑誌・本
4. 医師・病院
5. 市役所
6. 保健所
7. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
8. 家族・親族・知人・友人

④人生会議またはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)※という言葉を知っていますか。

1 知っている → ④-1へ

2 知らない → ⑤へ

※もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと

④-1 ACPという言葉はどこで知りましたか。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. テレビ・新聞・インターネット | 2. 雑誌・本 |
| 3. 医師・病院 | 4. 市役所 |
| 5. 保健所 | 6. 高齢者相談センター(地域包括支援センター) |
| 7. 家族・親族・友人・知人 | 8. その他() |

⑤人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 賛成である | 2. 反対である | 3. わからない |
|----------|----------|----------|

⑥認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

⑦認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1. はい → ⑦-1へ

2. いいえ → ⑧へ

⑦-1 どこに相談すると思いますか。または相談しましたか。(○はいくつでも)

1. 医師・病院
2. 民生委員・高齢者相談員
3. 市役所
4. ならしのオレンジテラス(認知症カフェ)
5. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
6. ケアマネジャー
7. 介護サービス事業者(ホームヘルパー、デイサービス等)
8. 家族・親族
9. 友人・知人
10. その他()

問G

主な介護者の方にうかがいます。

(介護者がいない場合は、回答されなくてかまいません。)

①あなたの年齢をお答えください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 18 歳未満 | 2. 18 歳～29 歳 | 3. 30 歳～39 歳 |
| 4. 40 歳～49 歳 | 5. 50 歳～59 歳 | 6. 60 歳～69 歳 |
| 7. 70 歳～79 歳 | 8. 80 歳～89 歳 | 9. 90 歳以上 |

②現在、主な介護者の方が行っている介護等は、次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 屋内の移乗(ベッド、車いす等)・移動 | 2. 外出の付き添い、送迎等 |
| 3. 入浴・洗身 | 4. 日中の排せつ |
| 5. 夜間の排せつ | 6. 食事の準備(調理等) |
| 7. 食事の介助(食べる時) | 8. 服薬 |
| 9. 認知症状への対応 | 10. 衣服の着脱 |
| 11. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 12. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 13. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |
| 15. その他() | 16. わからない |

③介護を行う上で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 介護の方法がわからない
2. 本人が介護サービスを利用したがない
3. 家族や近隣の方などの理解が足りない
4. 介護者の心身の負担が大きい
5. 介護に要する費用がかかりすぎる
6. 仕事との両立が難しい
7. 早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である
8. 介護者のリフレッシュのための時間がとれない
9. 医療サービスが必要になった時に、相談先がない
10. 気軽に相談できる人や場所がない
11. その他()
12. 特にない



④介護サービスを利用することによって、介護している方はどのように変化しましたか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 介護に関わる時間が減った | 2. 介護に関わる時間が増えた |
| 3. 身体的に楽になった | 4. 身体的にきつくなった |
| 5. 精神的に楽になった | 6. 精神的にきつくなった |
| 7. 経済的に楽になった | 8. 経済的に苦しくなった |
| 9. 体調が良くなった | 10. 体調が悪くなった |
| 11. 時間に余裕ができた | 12. 時間に余裕がなくなった |
| 13. その他() | 14. 特に変化していない |
| 15. 介護サービスを利用していない | |

⑤介護者として、介護に関してどのような支援があったらいいと思いますか。(○は3つまで)

1. 介護に関する情報の提供
2. 介護の技術を教える講座の開催
3. 介護者同士の交流の場の開催
4. 介護に必要な物品の支給
5. 介護に関する相談窓口の充実
6. いざという時に利用しやすい短期入所の提供
7. 「老人福祉センター」や通所介護(デイサービス)など日中の居場所の充実
8. その他()

⑥あなたの現在の勤務形態等についてお答えください。

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------|
| 1. フルタイムで働いている | 2. パートタイムで働いている | 3. 働いていない |
| 4. 学生 | 5. その他() | |

⑥-1 (フルタイム、パートタイムで働いている方へ)

あなたは、勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

1. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
2. 制度を利用しやすい職場づくり
3. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
4. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
5. 介護をしている従業員への経済的な支援
6. その他()
7. わからない
8. 特にない
9. 自営業・フリーランス等のため勤め先はない

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

質問にお答えいただいた皆様のためにも、充実した計画を策定してまいります。

誠に恐縮ですが、この調査票は 1月 10 日(火)までに

返信用封筒にて返送していただきますよう、お願いいたします。

(4) 施設入所者調査

習志野市高齢者等実態調査

介護保険施設ご利用の方へ

ご協力をお願い



日ごろより習志野市政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では現在、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を築くため、『習志野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画』を策定し、事業の推進を図っています。

この計画に皆さまのご意見を反映させるため、このたびは介護保険施設をご利用の方全員に、実態調査を行うことにいたしました。調査の結果は、高齢者への保健福祉や介護サービス充実のための貴重な資料とさせていただきます。

調査票の質問が多く、回答の際にはお手数をおかけしますが、なにとぞ趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年12月

習志野市長 宮本 泰介

【記入についてのお願い】

- ①この実態調査は、原則として、あて名のご本人がお答えください。ご本人の状態により、お答えが難しいときは、ご家族の方などがご本人の代わりに回答されてもかまいません。
- ②回答は、選択肢の番号を○で囲んでください。また、具体的な記述を書き入れていただく質問では、簡潔にご記入ください。
- ③回答は「○はいくつでも」、「○は5つまで」等の表記が無い場合は、選択肢の中から1つお選びください。

・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

1月10日(火)まで にご返送ください。

・この調査は無記名です。ご回答内容は、調査の目的に沿って統計的に処理を行うもので、個人のプライバシーの侵害などご迷惑をお掛けすることはありません。

・この調査票は、令和4年11月15日現在の情報に基づきお送りしています。既に転出などにより習志野市にお住まいでない場合は、回答の必要はありません。

実態調査についての問い合わせ先

習志野市 健康福祉部 高齢者支援課 (TEL) 047-454-7533 (直通)

【高齢者等実態調査 調査票（介護施設ご利用の方）】

○このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| 1. あて名のご本人 | 2. あて名の方の配偶者（夫・妻） |
| 3. あて名の方の子ども | 4. あて名の方の親族 |
| 5. 友人・知人 | 6. ケアマネジャー |
| 7. 施設の職員 | 8. その他（ ） |

【代理で回答される方へ】

アンケートのあて名の方が、質問の内容がわからなかったり、答えることができない場合には、その方の立場に立ってお答えください。

あなた（あて名のご本人）の年齢や性別などについて

問1 あなたの年齢をお答えください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 40～64 歳 | 2. 65～69 歳 | 3. 70～74 歳 |
| 4. 75～79 歳 | 5. 80～84 歳 | 6. 85 歳以上 |

問2 あなたの性別をお答えください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問3 あなたの要介護度は次のどれにあたりますか。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 要介護1 | 2. 要介護2 | 3. 要介護3 |
| 4. 要介護4 | 5. 要介護5 | |

問4 市民税の課税状況をお答えください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 私を含む世帯全員の市民税が非課税である |
| 2. 私の市民税は非課税だが、世帯員に市民税課税者がいる |
| 3. 私は市民税課税者である |

入所している施設について

問5 あなたは現在、どの施設に入所していますか。

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） ➡ 問5-1へ
2. 介護老人保健施設（老人保健施設）
3. 介護療養型医療施設（病院・診療所等）
4. 介護医療院（病院・診療所等）
- 問6へ

問5-1 入所申込をされてから、入所するまでの期間はどの程度でしたか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 3か月未満 | 2. 3か月以上6か月未満 |
| 3. 6か月以上1年未満 | 4. 1年以上2年未満 |
| 5. 2年以上3年未満 | 6. 3年以上4年未満 |
| 7. 4年以上 | 8. わからない |

問6 施設の入所を選んだ主な理由は何ですか。

1. 介護者がいなかったから
2. 介護している人の負担が大きかったから
3. 在宅サービスの利用では十分なサービスを受けられなかったから
4. 自宅の居住環境では介護を受け続けていくことが難しかったから
5. 専門的なケア（医療ケア、認知症ケア等）が必要だったから
6. 家族の勧めがあったから
7. その他（ ）

問7 あなたの部屋の定員は何人ですか。

1. 1人(個室・ユニット型個室) 2. 2人～4人 3. それ以上()人

問8 部屋は個室と多床室のどちらを望めますか。

1. プライバシーがしっかり守られる個室が良い
2. 話し相手がいるため多床室（定員2～4名）が良い
3. 居住費が安い多床室（定員2～4名）が良い
4. どちらともいえない
5. わからない

問9 今後、あなたはどのような介護を希望しますか。

1. 家族などを中心に自宅で介護してほしい
2. 介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい
3. 別の施設（介護保険施設または介護保険施設以外の施設）に入所したい
4. このまま現在の施設での生活を続けたい
5. わからない

問 10 現在入所している施設のサービスに満足していますか。

- | | | | |
|--------------|-------|-------------|-------|
| 1. 満足している | ➡問11へ | 2. ほぼ満足している | ➡問11へ |
| 3. どちらともいえない | ➡問13へ | 4. やや不満である | ➡問12へ |
| 5. 不満である | ➡問12へ | | |

問 11 あなたにとって、現在の施設サービスを受けて良かったと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 精神的に楽になった
2. 家族に対する気兼ねが減った
3. 外出の機会が増えた
4. 人と話す機会が増えた
5. 自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた
6. 体調が良くなった
7. その他()

⇒問13へお進みください。

問 12 あなたが、現在の施設サービスを受けて不満に思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある
2. 介護の仕方がおぼつかなくて、危なっかしい
3. 介護の内容や方法などについて、希望を聞き入れてくれない
4. 施設の職員の態度や言葉づかいなどが悪い
5. 入所者の人権やプライバシーに対する配慮が足りない
6. 食事の内容に不満がある(メニューや食事のあたたかさなど)
7. その他()

現在の心配ごとや悩みごとについて

問 13 あなたには、現在、心配ごとや悩みごとはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 自分の健康のこと | 2. 家族の健康のこと |
| 3. 家族に先立たれた後の生活のこと | 4. 生活費など経済的なこと |
| 5. 趣味や生きがいがないこと | 6. 自分が死亡した後の手続き |
| 7. その他() | (葬儀、遺品の整理等)のこと |
| 8. 特にない | |

介護保険制度・高齢者施策について

問14 介護保険制度をはじめ、介護に関わるこれからの施策のあり方について、特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は5つまで)

1. 自宅や地域で受けられる介護サービスの充実
2. 夜間や緊急時に受けられる介護サービスの充実
3. 入所の要望にすぐに応えられるような施設の確保
4. ケアマネジャーの質の向上
5. ケアマネジャーやサービス提供事業者に関する情報の充実
6. 介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報の充実
7. 認知症の方やその家族への支援
8. 成年後見制度などの権利を守るための施策の充実
9. 介護予防や要介護状態等の軽減、悪化の防止のための健康づくり事業・保健事業の充実
10. 家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実
11. その他()
12. わからない
13. 特にない

問15 介護保険制度は、40歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。

1. 保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い
2. 使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い
3. どちらとも言えない

問16 65歳以上の方の保険料に関して「低所得者に配慮するために、高所得者の負担を多少増やすのもやむを得ない」ということについて、あなたはどのようにお考えですか。

- | | | |
|---------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. どちらとも言えない |
|---------|-----------|--------------|

問17 介護サービスを受けるためには、所得に応じてサービス利用費用（＊食費・居住費を除く）を自己負担していただいております。

(1) あなたの自己負担割合をお答えください。

1. 1割

2. 2割

3. 3割

(2) (1) でお答えいただいた費用（自己負担分）について、どのように感じていますか。

1. 安いと感じている

2. 適正だと感じている

3. 高いと感じている（施設利用は継続する）

4. 高いと感じている（施設利用をやめることを考えている）

5. どちらとも言えない

将来への備えについて

問 18 あなたの身に緊急事態が起きた時（事故等による介護を要する状態、認知症など）に、治療の方針の決定や介護サービスの利用に必要な手続き、金銭管理をしてくれる身内の方はいませんか。いる場合は、主にどなたですか。（○は1つ）

1. 配偶者

2. 同居の子ども

3. 別居の子ども

4. 親

5. 兄弟姉妹

6. おい
甥または姪

7. その他（ ）

8. いない

問19 あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。（○は1つ）

「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。

1. 制度の手続きをしたことがある、または検討している

2. 制度の概要を理解している

3. 名称のみ知っている

4. 全く知らない

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら自由にご記入ください。

たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

質問にお答えいただいた皆様のためにも、充実した計画を策定してまいります。

誠に恐縮ですが、この調査票は 1月 10 日(火)まで に
返信用封筒にて返送していただきますよう、お願いいたします。

(5) 一般若年者調査

習志野市高齢者等実態調査

40歳以上 64歳以下の方へ ご協力のお願い



日ごろより習志野市政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では現在、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を築くため、『習志野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画』を策定し、事業の推進を図っています。

この計画に皆さまのご意見を反映させるため、このたび **40歳以上 64歳以下の方 1,500名を無作為に選び**、実態調査を行うことにいたしました。調査の結果は、高齢者への保健福祉や介護サービス充実のための貴重な資料とさせていただきます。

調査票の質問が多く、回答の際にはお手数をおかけしますが、なにとぞ趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年12月

習志野市長 宮本 泰介

【記入についてのお願い】

- ①この実態調査は、原則として、あて名のご本人がお答えください。
- ②回答は、選択肢の番号を○で囲んでください。また、具体的な記述を書き入れていただく質問では、簡潔にご記入ください。
- ③回答は、「○はいくつでも」、「○は5つまで」等の表記が無い場合は、選択肢の中から 1つ お選びください。

・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

1月10日（火）まで にご返送ください。

・この調査は無記名です。ご回答内容は、調査の目的に沿って統計的に処理を行いますので、個人のプライバシーの侵害などご迷惑をお掛けすることはありません。

・この調査票は、令和4年11月15日現在の情報に基づきお送りしています。既に転出などにより習志野市にお住まいでない場合は、回答の必要はありません。

実態調査についての問い合わせ先

習志野市 健康福祉部 高齢者支援課（TEL）047-454-7533（直通）

【高齢者等実態調査 調査票（40 歳～64 歳の方）】

あなた（あて名のご本人）の年齢や性別などについて

問1 あなたの年齢をお答えください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 40 歳～44 歳 | 2. 45 歳～49 歳 | 3. 50 歳～54 歳 |
| 4. 55 歳～59 歳 | 5. 60 歳～64 歳 | |

問2 お住まいの地区名をお答えください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 谷津、谷津町、奏の杜 | 2. 秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦 |
| 3. 津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎 | 4. 花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保 |
| 5. 実籾、実籾本郷、新栄、東習志野 | |

問3 あなたの性別をお答えください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問4 家族構成をお教えてください。

- | |
|--|
| 1. 一人暮らし（一世代） |
| 2. 夫婦二人暮らし（一世代） |
| 3. 息子・娘と同居（二世代） |
| 4. 親と同居（二世代）（同一敷地内や二世帯住宅も含みます） |
| 5. 三世代以上同居（同一敷地内や二世帯住宅も含みます） |
| 6. その他（「1」～「5」以外の世帯）（ ） |

問5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

- | |
|--------------------------|
| 1. 持家（一戸建て） |
| 2. 持家（集合住宅） |
| 3. 公営賃貸住宅（市・県営、都市機構、公社等） |
| 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） |
| 6. 借家（賃貸借契約を結んでいない住宅） |
| 7. その他 |

健康について

問6 あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。

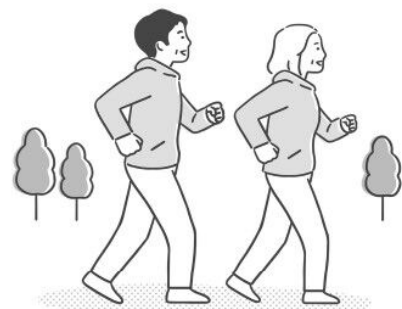
- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 気をつけている → 問6-1へ | 2. ある程度は気をつけている → 問6-1へ |
| 3. あまり気をつけていない → 問7へ | 4. 気をつけていない → 問7へ |

問6-1 何か実行していることがありますか。(○はいくつでも)

1. 食事、栄養に気をつけている(バランスの良い食事をとるようにしている)
2. 日頃、体を動かしたり、運動をするようにしている
3. 過労に注意し、睡眠・休養を十分とるようにしている
4. 規則正しい生活を送っている
5. 定期的に健康診断を受けている
6. 気持ちをなるべく明るく持つ、またはストレスを溜めないようにしている
7. 歯や口の健康に気をつけている
8. たばこを控えている
9. お酒を控えている
10. 安全な食品や飲み水に気をつけている
11. 体の具合が悪いときは、早めに医療機関を受診している
12. 健康について家族や友人などと話をする
13. 役割や目的意識を持って毎日生活している
14. 新聞、テレビ、雑誌などで健康に関する情報や知識を得るようにしている
15. その他()

問7 医療や介護についての知識や情報を、何から得ていますか。(○はいくつでも)

1. テレビ
2. インターネット(パソコン・スマートフォンなど)
3. 新聞・雑誌・本
4. 医師・病院
5. 市役所
6. 保健所
7. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
8. 家族・親族・知人・友人
9. その他()



問8 人生会議またはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)※という言葉を知っていますか。

1. 知っている → 問8-1へ

2. 知らない → 問9へ

※もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと

問8-1 ACPという言葉はどこで知りましたか。

1. テレビ・新聞・インターネット

2. 雑誌・本

3. 医師・病院

4. 市役所

5. 保健所

6. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)

7. 家族・親族・友人・知人

8. その他()

問9 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要とされています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。

1. 賛成である

2. 反対である

3. わからない

問10 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。

1. はい

2. いいえ

問11 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1. はい → 問11-1へ

2. いいえ → 問12へ

問11-1 どこに相談すると思いますか、または相談しましたか。(〇はいくつでも)

1. 医師・病院

2. 民生委員・高齢者相談員

3. 市役所

4. ならしのオレンジテラス(認知症カフェ)

5. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)

6. ケアマネジャー

7. 介護サービス事業所(ホームヘルパー、デイサービス等)

8. 家族・親族

9. 友人・知人

10. その他()

問 12 今までに、自分自身や家族が認知症になったときどうしたらいいのか、考えたことがありますか。

1. 考えたことがある ➡ 問 12-1 へ

2. 考えたことはない ➡ 問 12-2 へ

問 12-1 どのようなことを考えましたか。(○はいくつでも)

1. 介護のこと

2. 経済的なこと

3. 症状のこと

4. 地域との関係

5. その他()

問 12-2 考えたことがなかった理由は何だと思いますか。

1. 自分や自分の家族は認知症にならないと思うから

2. 自分や自分の家族が認知症になるかどうかを考えたこともなかったから

3. その他()

問 13 認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか。

1. 受けたことがある

2. 受けたことがない

3. わからない

問 14 あなたは、1年以内に健康診査(特定健康診査、人間ドック、職場の健診等)を受けましたか。

1. はい ➡ 問 14-1 へ

2. いいえ ➡ 問 14-2 へ

問 14-1 どちらで健康診査を受けましたか。

1. 市が行う健康診査等

2. 職場または健康保険組合が行う健康診査

3. 人間ドック

4. その他()

問 14-2 健康診査を受けなかった理由は何ですか。

1. 知らなかったから

2. 時間が取れなかったから

3. 定期的に通院しているから

4. 健康状態に自信があり、必要性を感じないから

5. 必要な時はいつでも医療機関を受診できるから

6. 面倒だから

7. その他()

問 15 あなたは、1年以内にがん検診を受けましたか。

1. はい ➡ 問 15-1 へ

2. いいえ ➡ 問 16 へ

問 15-1 どちらでがん検診を受けましたか。

1. 市が行うがん検診

2. 職場または健康保険組合が行うがん検診

3. 人間ドック

4. その他()

問 16 あなたは、1年以内に歯科健康診査を受けましたか。

1. はい → 問 16-1 へ

2. いいえ → 問 17 へ

問 16-1 どちらで歯科健康診査を受けましたか。

1. 市内医療機関

2. 市外医療機関

3. その他()

問 17 あなたは、ものを噛んで食べるとき、どのような状態ですか。(※入れ歯を使っても結構です。)

1. 何でも噛んで食べることができる

2. 噛めない食べ物が少しある

3. 噛めない食べ物が多い

4. 噛んで食べることができない

就労や社会参画などについて

問 18 あなたは、現在、仕事をしていますか。

1. している → 問 18-1 へ

2. 家事労働をしている → 問 18-1 へ

3. していない → 問 19 へ

問 18-1 あなたは何歳ぐらいまで働きたいと思いますか。

1. 60 歳ぐらいまで

2. 65 歳ぐらいまで

3. 70 歳ぐらいまで

4. 働ける限りずっと続けたい

5. できればやめたい

6. その他()

問 19 あなたが現在まで行っていることで、生きがいを感じるのとはどんなことですか。

また、今後やってみたい(続けたい)ことはどんなことですか。(○はそれぞれいくつでも)

	①現在、 生きがいを 感じる事	②今後、 やってみたい (続けたい)事
(1) 働くこと	1	1
(2) 学習や教養を高めるための活動	2	2
(3) 健康づくり・体力づくり	3	3
(4) スポーツ	4	4
(5) 家族や孫と過ごすこと(団らん)	5	5
(6) 友人や気の合った仲間とのつきあい	6	6
(7) 趣味の活動	7	7
(8) 社会奉仕(ボランティア)活動	8	8
(9) 町内会、自治会等の地域活動	9	9
(10) その他()	10	10

問 20 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

1. ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する
2. ボランティア研修を開催する
3. ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する
4. ボランティアについての普及啓発(積極的な呼びかけ)を行う
5. 自分自身の資格・趣味をいかして活動する仕組みをつくる
6. ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を援助する
7. その他()
8. わからない

地域における交流について

問 21 あなたは、隣近所とどの程度のつきあいをしていますか。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. お互いに訪問し合う | 2. 時々世間話をする |
| 3. あいさつをする程度 | 4. ほとんどつきあいはない |

問 22 あなたは、隣近所の方々との交流をどの程度望まれていますか。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 積極的に関わりたい | 2. 機会があれば関わりたい |
| 3. あまり関わりたいとは思わない | 4. 関わりたいとは思わない |

問 23 独居世帯や高齢者世帯が近年増えていますが、隣近所や地域で高齢者を支えることが必要だと思いますか。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. 必要である | 2. 必要ない | 3. わからない |
|----------|---------|----------|

介護保険制度・高齢者施策について

問 24 介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。

1. 保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い
2. 使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い
3. どちらとも言えない

問 25 今後、もしあなたが自身が介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。

(○は1つ)

1. 家族などを中心にできる限り自宅で介護を受けたい
2. 介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい
3. 高齢者向けの住宅に移り、介護を受けたい
4. 軽費老人ホーム(ケアハウス)のような低所得者に配慮した住宅に移り、介護を受けたい
5. 介護保険制度のサービス対象となる介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、老人保健施設などに入所したい
6. 介護は受けたいが、利用料等の負担を考え、介護保険制度のサービスの利用は控える
7. その他()
8. わからない

問 26 あなたは、ご家族などの介護をしたことがありますか。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 現在している ➡問 26-1 へ | 2. 以前したことがある ➡問 26-1 へ |
| 3. したことはない ➡問 27 へ | |

問 26-1 介護を行う上で困っていること(困ったこと)について教えてください。(○はいくつでも)

1. 介護の方法がわからない
2. 本人が介護サービスを利用したがない
3. 家族や近隣の方などの理解が足りない
4. 介護者の心身の負担が大きい
5. 介護に要する費用がかかりすぎる
6. 仕事との両立が難しい
7. 早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である
8. 介護者のリフレッシュのための時間がとれない
9. 医療サービスが必要になった時に、相談先がない
10. 気軽に相談できる人や場所がない
11. その他()
12. 特にない



問 27 介護予防・日常生活支援総合事業についてうかがいます。

介護予防・日常生活支援総合事業は、65 歳以上のすべての方の日常生活の支援を目的とした事業です。

本市では、下記の取組を行っていますが、ご存じですか。(それぞれ○は1つ)

	1 知っている	2 知らない
(1)生活支援や見守り・介護予防のための訪問や通所の支援 (要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)	1	2
(2)住民組織や NPO が主体となった、集いの場やサービス提供 (要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり)	1	2

問 28 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、あなたはその活動に支援者として参加してみたいと思いますか。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 是非参加したい ➡問 28-1 へ | 2. 参加してもよい ➡問 28-1 へ |
| 3. 参加したくない ➡問 29 へ | 4. 既に参加している ➡問 28-1 へ |

問 28-1 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動では、支援者としてどの活動に参加したいですか。また、どの活動に参加していますか。(○はいくつでも)

1. 見守り活動(日常の声掛けなど)
2. 家事のお手伝い(食事のお届け、炊事、掃除、洗濯、困りごとへの対応など)
3. 外出のお手伝い(病院の付き添いなど)
4. 健康づくりのお手伝い(転倒予防体操・ウォーキングの実施など)
5. 生きがいづくりのお手伝い(趣味サークルの実施など)
6. 介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーションの補助、職員の補助など)
7. その他()

問 29 高齢者外出支援事業についてうかがいます。

市では、高齢者が自宅に引きこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する 75 歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1 枚 500 円のタクシー券を月3枚(年間最大 36 枚)、交付していますがご存じでしたか。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 知っていた ➡問 29-1 へ | 2. 知らなかった ➡問 30 へ |
|--------------------|-------------------|

問 29-1 本事業を何で知りましたか。

1. 市役所(広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)
2. 親族・友人・知人からの情報
3. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
4. その他()

問 30 より良い高齢者の外出支援策とするには、今後どのような事業の見直しを行うのが良いと思いますか。

1. 現状のタクシー券のまま維持してほしい
2. タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にしてほしい
3. その他()

問 31 近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていないですが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。

1. 必要である ➡問 31-1へ 2. 必要ない ➡問 32へ 3. わからない

問 31-1 どのような支援が必要であると思いますか。

1. タクシー券の支給 ➡問 32へ
2. バス券の支給、定期券購入費の助成
3. 免許返納にかかる証明書などの発行手数料の助成
4. その他()

問 32 あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けていくために、主としてどのような市の施策が必要であると考えますか。(○は5つまで)

1. 24 時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実
2. 自宅など本人が望む場所で看取りができる在宅医療の充実
3. 多様な介護サービスを一体的に受けられる複合型サービスの充実
4. 日常生活を支援するサービスの付いた高齢者用住宅の充実
5. 配食サービスなどの生活支援
6. 緊急通報装置など安否確認システムの設置支援や見守り体制の構築
7. 外出時の移動支援
8. 持ち家のバリアフリー化の推進等の安心・安全な住まいづくりの支援
9. 高齢者の働く場の充実
10. 高齢者が交流するための場の充実
11. 趣味や社会活動などの生きがい対策の充実
12. 高齢者に役立つ情報提供の充実
13. 困ったときに気軽に相談できる窓口の充実
14. 介護予防や要介護状態等の軽減、悪化の防止のための健康づくりの事業・保健事業の充実
15. その他()
16. 特にない

将来の不安、備えについて

問 33 あなたは、ご自分の将来についてどんな不安がありますか。(○は3つまで)

1. 自分や家族の健康や病気のこと
2. 自分や家族の身体が不自由になり介護が必要となること
3. 生活のための収入のこと
4. 財産管理や相続のこと
5. だまされたり犯罪に巻き込まれたりすること
6. 大地震などの災害が起こること
7. 人(近隣、親族、友人)とのつきあいのこと
8. 家族との人間関係のこと
9. 頼れる人がいなくなって一人きりになること
10. 社会の仕組み(法律、社会保障、金融制度)が大きく変わってしまうこと
11. もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること
12. 自分が死亡した後の手続き(葬儀、遺品の整理等)のこと
13. その他()
14. 特にない

問 34 あなたは、ご自分の将来、特に老後の生活に備えて、現在どのようなことをしていますか、またはどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 友人や仲間づくりをすること
2. 仕事を継続するための専門的・技能・知識を習得すること
3. 趣味を持つこと
4. 健康を維持・増進すること
5. 生活していくための収入源や貯蓄などを確保すること
6. 高齢者になっても暮らしやすい家の改築をすること
7. 高齢者向けの住宅を探すこと
8. 料理や洗濯など、日常生活に必要な生活技術を身に付けること
9. その他()
10. 特にない

問 35 あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症など)に、治療の方針の決定や介護サービスの利用に必要な手続き、金銭管理をしてくれる身内の方はいいますか。いる場合は、主にどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|---|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 親 | 5. 兄弟姉妹 | 6. 甥 <small>おい</small> または姪 <small>めい</small> |
| 7. その他() | 8. いない | |

問 36 あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ)

「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。

1. 制度の手続きをしたことがある、または検討している
2. 制度の概要を理解している
3. 名称のみ知っている
4. 全く知らない

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら自由にご記入ください。

たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

質問にお答えいただいた皆様のためにも、充実した計画を策定してまいります。

誠に恐縮ですが、この調査票は 1月 10 日(火)まで に

返信用封筒にて返送していただきますよう、お願いいたします。

(6) サービス提供事業者調査

習志野市介護保険事業計画策定のための アンケート調査

介護サービス提供事業者様へ

ご協力をお願い

日頃より介護保険サービスの提供にご尽力いただき、ありがとうございます。

習志野市では、令和5年度に予定しております『習志野市高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画』策定に向けた基礎資料とするために、介護保険サービスを提供している事業者の状況について、実態調査を行うことといたしました。

調査の結果は、高齢者の保健福祉や介護サービスの充実のために活用させていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年12月

習志野市長 宮本 泰介

【記入についてのお願い】

- 1 回答は選択肢の番号を○で囲んでください。また、具体的な記述を書き入れていただく質問では、簡潔にご記入ください。
- 2 回答は、「○はいくつでも」との表記が無い場合は、選択肢の中から1つお選びください。

・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

1月10日（火）までにご返送ください。

実態調査についての問い合わせ先

習志野市 健康福祉部 高齢者支援課（TEL）047-454-7533（直通）

貴事業者名、所在地をお書きください。

事業者名	
所在地	

貴事業者の概要について

問1 貴事業者が現在、本市で実施しているサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問入浴介護(介護予防) |
| 3. 訪問看護(介護予防) | 4. 訪問リハビリテーション(介護予防) |
| 5. 居宅療養管理指導(介護予防) | 6. 通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション(介護予防) | 8. 短期入所生活介護(介護予防) |
| 9. 短期入所療養介護(介護予防) | 10. 特定施設入居者生活介護(介護予防) |
| 11. 福祉用具貸与 | 12. 地域密着型通所介護 |
| 13. 認知症対応型共同生活介護(介護予防) | 14. 認知症対応型通所介護(介護予防) |
| 15. 小規模多機能型居宅介護(介護予防) | 16. 夜間対応型訪問介護 |
| 17. 地域密着型介護老人福祉施設 | 18. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 20. 看護小規模多機能型居宅介護(介護予防) |
| 21. 介護老人福祉施設 | 22. 介護老人保健施設 |
| 23. 介護療養型医療施設 | 24. 介護医療院 |
| 25. 居宅介護支援 | 26. 介護予防支援 |
| 27. 介護予防訪問型サービス | 28. 介護予防通所型サービス |
| 29. 介護予防ケアマネジメント | 30. その他(具体的に:) |

介護保険サービスについて

問2 次の①から③⑩までのサービスのうち、貴事業者において提供しているサービスについて、(1)から(3)のそれぞれ当てはまるものに○をご記入ください。

	(1)利用者からの利用申込みへの対応は。			(2)事業者の収支状況は。			(3)今後の事業展開は。			
	余裕はない	余裕はややある	余裕は十分ある	赤字である	収支はほぼ均衡	黒字である	現時点ではわからない	縮小を考えている	現状のまま	拡大を考えている
①訪問介護	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
②訪問入浴介護	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
③訪問看護(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
④訪問リハビリテーション(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑤居宅療養管理指導(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑥通所介護	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑦通所リハビリテーション(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑧短期入所生活介護(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑨短期入所療養介護(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑩特定施設入居者生活介護(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑪福祉用具貸与	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑫地域密着型通所介護	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑬認知症対応型共同生活介護(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑭認知症対応型通所介護(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑮小規模多機能型居宅介護(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑯夜間対応型訪問介護	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑰地域密着型介護老人福祉施設	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑱地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑲定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
⑳看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
㉑介護老人福祉施設	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
㉒介護老人保健施設	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
㉓介護療養型医療施設	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
㉔介護医療院	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
㉕居宅介護支援	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
㉖介護予防支援	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
㉗介護予防訪問型サービス	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
㉘介護予防通所型サービス	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
㉙介護予防ケアマネジメント	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
③⑩その他	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4

問3 貴事業者が今後、新たに実施したいサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問入浴介護(介護予防) |
| 3. 訪問看護(介護予防) | 4. 訪問リハビリテーション(介護予防) |
| 5. 居宅療養管理指導(介護予防) | 6. 通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション(介護予防) | 8. 短期入所生活介護(介護予防) |
| 9. 短期入所療養介護(介護予防) | 10. 特定施設入居者生活介護(介護予防) |
| 11. 福祉用具貸与 | 12. 地域密着型通所介護 |
| 13. 認知症対応型共同生活介護(介護予防) | 14. 認知症対応型通所介護(介護予防) |
| 15. 小規模多機能型居宅介護(介護予防) | 16. 夜間対応型訪問介護 |
| 17. 地域密着型介護老人福祉施設 | 18. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 20. 看護小規模多機能型居宅介護(介護予防) |
| 21. 介護老人福祉施設 | 22. 介護老人保健施設 |
| 23. 介護療養型医療施設 | 24. 介護医療院 |
| 25. 居宅介護支援 | 26. 介護予防支援 |
| 27. 介護予防訪問型サービス | 28. 介護予防通所型サービス |
| 29. 介護予防ケアマネジメント | 30. 移動支援に関するサービス |
| 31. その他 | (送迎の空き時間の活用や買い物支援など) |

問3-1 上記を選択した理由をお教えてください。

問4 貴事業者がサービスを提供するうえで困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 報酬が低すぎる | 2. マンパワーが不足している |
| 3. 規制が多い | 4. 経費がかかりすぎる |
| 5. 利用が低調である | 6. 競合事業者が多い |
| 7. わからない | 8. その他(具体的に:) |
| 9. 特に困っていない | |

問4-1 (問4の質問で「2 マンパワーが不足している」と答えた事業者におたずねします。)

不足しているのはどのサービスですか。また、どの職種ですか。(○はいくつでも)

ーサービスー

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問入浴介護(介護予防) |
| 3. 訪問看護(介護予防) | 4. 訪問リハビリテーション(介護予防) |
| 5. 居宅療養管理指導(介護予防) | 6. 通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション(介護予防) | 8. 短期入所生活介護(介護予防) |
| 9. 短期入所療養介護(介護予防) | 10. 特定施設入居者生活介護(介護予防) |
| 11. 福祉用具貸与 | 12. 地域密着型通所介護 |
| 13. 認知症対応型共同生活介護(介護予防) | 14. 認知症対応型通所介護(介護予防) |
| 15. 小規模多機能型居宅介護(介護予防) | 16. 夜間対応型訪問介護 |
| 17. 地域密着型介護老人福祉施設 | 18. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 20. 看護小規模多機能型居宅介護(介護予防) |
| 21. 介護老人福祉施設 | 22. 介護老人保健施設 |
| 23. 介護療養型医療施設 | 24. 介護医療院 |
| 25. 居宅介護支援 | 26. 介護予防支援 |
| 27. 介護予防訪問型サービス | 28. 介護予防通所型サービス |
| 29. 介護予防ケアマネジメント | 30. 移動支援に関するサービス |
| 31. その他(具体的に:) | (送迎の空き時間の活用や買い物支援など) |

ー職 種ー

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 介護職員 | 2. 看護職員 |
| 3. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 | 4. 生活相談員 |
| 5. 栄養士・管理栄養士 | 6. 介護支援専門員 |
| 7. 管理者(候補含む。) | 8. その他(具体的に:) |

サービスの質の向上について

問5 サービスの質を高めるために貴事業者が行っていることはどんなことですか。(〇はいくつでも)

1. 利用者の苦情や不満をくみ取る
2. 新たな介護知識や介護技術の導入に努める
3. 利用者及び家族との面談の時間を十分にとる
4. 新たな施設や設備の導入に努める
5. 人員を多く配置し、手厚いサービス提供体制をとる
6. 研修等を実施し、職員の能力向上を図る
7. 利用人数をできる限り抑えるようにする
8. その他(具体的に:)

問6 介護知識や介護技術などをレベルアップし、サービスの質的向上を図るうえでの課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

1. 担当者間でのレベルの差が大きい
2. 適切な研修の機会が不足している
3. 職員の入れ替わりが激しく、レベルが下がっている
4. 利用者の声がサービスの質的向上に活かされていない
5. 第三者評価が活用されていない
6. 費用をかける余裕がない
7. その他(具体的に:)
8. 特にない

問7 貴事業者における職員の雇用・勤務面での課題は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 十分な報酬が支払えない | 2. 経験豊富な人材が少ない |
| 3. 職員の精神的ケアが不足している | 4. 専門職の兼務が多い |
| 5. 臨時職員、パート職員が多い | 6. 職員の健康面のケアが不足している |
| 7. 男性が不足している | 8. 超過勤務が多い |
| 9. 休日出勤が多い | 10. その他(具体的に:) |
| 11. 特にない | |

問8 貴事業者がサービスを提供したり利用者から声を聞く中で、支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない高齢者はいますか。

1. いる → 問8-1・8-2へ
2. いない → 問9へ
3. わからない・何ともいえない → 問9へ

問8-1 結びついていないサービスは次のうちどれですか。

1. 介護サービス
2. 市の福祉サービス
3. 社会福祉協議会のサービス
4. 民間企業のサービス
5. その他（具体的に： ）

問8-2 結びついていない理由は次のうちどれですか。

1. その人に合った適切なサービスがないため
2. その人に合ったサービスにつなぐ支援者がいないため
3. サービスにかかる費用が負担になるため
4. その他（具体的に：_____）

問9 貴事業者は、歯や口腔の健康づくりについて、どのようなことに取り組んでいますか。

1. 食後の口腔ケアの実施
2. 歯科医師の定期的な訪問
3. 定期的な歯科検診
4. 歯科衛生士やリハビリテーション職による指導
5. その他（具体的に：_____）
6. 特に取り組んでいない

問10 貴事業者では、利用者からどのような声をよく聞きますか。

[illegible]

ケアマネジメントについて

※ ケアマネジャーがいる事業者がお答えください。

(ケアマネジャーがいない事業者は、問16へお進みください。)

問11 現在不足していると感じるサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 訪問介護
2. 訪問入浴介護(介護予防)
3. 訪問看護(介護予防)
4. 訪問リハビリテーション(介護予防)
5. 居宅療養管理指導(介護予防)
6. 通所介護
7. 通所リハビリテーション(介護予防)
8. 短期入所生活介護(介護予防)
9. 短期入所療養介護(介護予防)
10. 特定施設入居者生活介護(介護予防)
11. 福祉用具貸与
12. 地域密着型通所介護
13. 認知症対応型共同生活介護(介護予防)
14. 認知症対応型通所介護(介護予防)
15. 小規模多機能型居宅介護(介護予防)
16. 夜間対応型訪問介護
17. 地域密着型介護老人福祉施設
18. 地域密着型特定施設入居者生活介護
19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
20. 看護小規模多機能型居宅介護(介護予防)
21. 介護老人福祉施設
22. 介護老人保健施設
23. 介護療養型医療施設
24. 介護医療院
25. 居宅介護支援
26. 介護予防支援
27. 介護予防訪問型サービス
28. 介護予防通所型サービス
29. 介護予防ケアマネジメント
30. 移動支援に関するサービス
31. その他(具体的に:)
- (送迎の空き時間の活用や買い物支援など)

問11-1 不足と感じている理由は何ですか。

[illegible]

問12 ケアマネジャーの質を高めるために行っていることは、どんなことですか。(○はいくつでも)

1. 定期的な内部研修(勉強会)の実施
2. 外部研修への参加
3. 利用者の満足度の確認(利用者アンケートなど)
4. 働きやすい職場環境づくり
5. その他(具体的に:)
6. 特に行っていない

問13 高齢者相談センター(地域包括支援センター)は、次のような役割を十分に果たしていると思いますか。果たしていると考えるものを選んでください。(○はいくつでも)

1. 高齢者に関する総合相談
2. 予防給付の介護予防ケアマネジメント
3. ケアマネジャーの個別支援・相談支援、ネットワーク支援
4. 困難事例、多問題家族への支援
5. 権利擁護の相談と対応
6. 虐待防止の相談と対応
7. 多職種連携マネジメント
8. その他(具体的に:)
- 9.どれもあまり果たしていない

問14 ケアプランを作成する際に、インフォーマルなサービスを活用して立てていますか。

1. できるだけ活用している
2. たまに活用することがある
3. どのような社会資源があるか把握しているが、活用していない
4. どのような社会資源があるのか把握していない
5. その他(具体的に:)

問14-1 (問14の質問で、「1」または「2」と答えた事業者におたずねします。)

活用した/している のはどのようなインフォーマルサービスですか。

問15 他事業者のケアマネジャーについて、ケアマネジャーの対応に差があると感じていますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 感じている | 2. 若干感じている |
| 3. 感じていない | 4. わからない |

今後の高齢者介護について

問16 介護保険は急速に利用が増え、現状のまま伸びていくと、将来の介護保険料は現在よりかなり高額になることが予測されます。介護サービスの維持・充実と介護保険料とのバランスについて、どう考えますか。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 介護保険料が上がってもよいので、介護サービスは大いに充実させるべきだ |
| 2. 介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない |
| 3. 介護サービスが現状を維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ |
| 4. 介護サービスが低下しても構わないので、介護保険料は上げるべきではない |
| 5. わからない |

問17 高齢者への介護サービスの充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 不足している介護保険居宅サービス・地域密着型サービスの整備推進
(具体的なサービス名:) |
| 2. 特別養護老人ホームや老人保健施設等の入所施設整備の推進 |
| 3. 介護保険外の生活支援サービスの充実
(具体的に:) |
| 4. 家族で介護ができるような家族支援策の充実 |
| 5. 高齢者が安心して住めるための住み替えなどの住宅施策 |
| 6. 高齢者を支える連携体制(地域・事業者・ボランティアなど)の構築 |
| 7. 介護サービスと医療サービスの連携体制の構築 |
| 8. 地域や市民の福祉活動を育てるような市民活動の育成 |
| 9. 介護が必要にならないような予防施策の充実 |
| 10. 認知症への正しい理解の普及・啓発、認知症の方とその家族を支える体制づくり |
| 11. 介護サービス事業所・施設への支援(*具体的には 問18で記入) |
| 12. 高齢者相談センター(地域包括支援センター)の充実 |
| 13. わからない |
| 14. その他(具体的に:) |
| 15. 特に希望しない |

問18 貴事業者は、自治体にどのような支援をしてほしいですか。

◎最後に、介護保険制度や介護保険サービスについて、日頃からお考えのこと等をご自由にお書きください。

たくさんの質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。

質問にお答えいただいた皆様のためにも、充実した計画を策定してまいります。

誠に恐縮ですが、この調査票は 1 月 10 日(火)まで に

返信用封筒にて返送していただきますよう、お願いいたします。

高齡者等実態調査結果報告書

令和5年3月

習志野市